

實例判例文例人事法總覽

【參照】

- (大正四年二月七日愛媛縣北宇和郡三間村長問合) 同年一月二十二日民第五九號法務局長回答
- (大正四年四月二十二日福井縣裁判所監督判事問合) 同年五月六日民第五六二號法務局長回答
- (大正四年十一月八日敦賀區裁判所判事問合) 大正五年三月二十二日民第三一六號法務局長回答
- (大正五年五月七日愛媛縣越前郡今治町長問合) 同年五月十四日民第一〇三〇號法務局長回答
- (大正七年八月十三日廣島縣瀨田郡福村長代理問合) 同年十一月二十一日民第一八五二號法務局長回答
- (大正八年四月二十八日廣島縣石郡豐松村長問合) 同年五月十七日民第一九八號民事局長回答

7、他市町村ヨリ轉籍分家等ニ依リ戶籍ヲ編製スル場合基本タル戶籍ニ欠缺アル左記事項ニシテ舊法施行中ノ記載ニ係ルモノハ屆書ノ記載ニ代ヘ該事項ノ記載アル身分登記簿ヲ添附セシメ之ニ基キ新戶籍ニ補記スヘキヤト云フニ基本タル戶籍ニ欠缺アル事項ニ付其ノ事實ヲ知ルコト能ハサルカ爲屆書ニ之ヲ記載セサル場合ハ其ノ記載ハ省略スルコトヲ得ルモ事實ノ明ナル場合ニ於テハ追完ノ届出ヲ爲サシムヘシ

- 一 出生事項 出生ノ場所届出人資格氏名
- 二 死亡事項 死亡ノ場所届出人資格氏名
- 三 縁組事項 縁組承諾者ノ資格氏名不明

【注意】

轉籍地ノ戶籍ニハ死亡其ノ他ノ事由ニ因リ除カレタル者ニ關スル事項ヲ記載セサルコトニ改正セリ (大正九年司法省令第十二號)

◎原籍地ニ於テ同一市町村内ニ數次本籍ヲ變更シタル場合ト新戶

籍ニ其ノ事項ノ總記

1、舊戶籍法時代ニ左ノ如キ同一市町村内ニ於ケル數次本籍地變更ヲ爲シタルモノアリ今他市町村ヘ轉籍シタルニ依リ其事項ヲ新記載例ニ改ムル場合ニ於テ轉籍先ヲ知ルコト能ハサルモノニ付テハ「福井市町名番地不明ニ轉籍届出年月日受附原戶籍ニ因リ新本籍ヲ知ルコト能ハサルニ付キ記載省略」ト記載スヘキヤト云フニ原籍地ニ於ケル本籍地變更ニ關スル事項ハ之ヲ記載セスシテ可ナリ

本籍地	前	後
福井市 佐佳枝下町六十二番地ノ二	何	某
照手中町百番地ノ一		
毛矢町二十七番地		
受附	王	戸
明治三十二年九月十四日日本籍地變更届出		
受附		
明治三十四年五月四日日本籍地變更届出受		
附		
明治三十七年十一月二十七日日本籍地變更届出受附		
明治四十五年七月七日日本籍地變更届出受		
	何	某

◎從前ノ戶籍ニ依リ不明ナル父母ノ氏名續柄等ヲ屆書ニ記載セシメ之ニ依リ新戶籍ノ記載ヲ爲シタル場合ノ事由ノ記載例
1、從前ノ戶籍上不明ナリシ父母ノ氏名續柄等ヲ轉籍又ハ家督相續届書ニ記載セシメ之ニ依リ記載シタル場合ハ其事由ヲ記載スルコトヲ要ス其ノ記載例ハ左ノ振合ニヨルモノトス

戸三號 (1111)

第一編 戶籍法規 第四章 届出 第十九節 轉籍及ヒ就籍 第五百五十八條

「父母ノ氏名續柄又ハ何々ノ事項家督相續届出(又ハ分家届出)ニ因リ追完ス」

- (大正五年二月九日福井區裁判所監督判事問合) 同年三月十五日民第二二六號法務局長回答
- (大正四年九月五日函館區裁判所監督判事問合) 同年六月二十四日民第六三四號法務局長回答

【同趣旨】

◎戶籍簿本ニ依リ不明ナル事項ヲ省キテ記載スヘキ場合ノ記載例
1、轉籍ニ依リ新戶籍編製ノ場合戶籍法ノ規定ニ依リ記載ヲ要スル事項カ屆書ニ添附ノ戶籍簿本ニヨリ不明瞭ニシテ且屆書ニ其記載ナカリシ爲メ之ヲ省クトキニ於テ同法施行細則第二十四條ニ準シ其事由ヲ記載スヘキ場合ノ記載方ハ「轉籍届ニ依リ何々ヲ知ルコト能ハサルニ付其記載省略」トスヘキナリ (大正四年十一月八日敦賀區裁判所判事問合) (大正五年三月二十二日民第三一六號法務局長回答)

◎附籍者ノ戶籍カ附籍主ノ戶籍ト同一用紙中ニ記載シタル場合附籍主カ轉籍シタルトキニ於ケル附籍者ノ戶籍編製手續

1、附籍者ノ戶籍カ附籍主ノ戶籍ト同一用紙中ニ記載シタル場合附籍主カ他ノ市町村ニ轉籍シタルトキハ附籍者ノ戶籍ヲ新ニ編製シ附籍者ヲ抹消シタル上附籍主ノ戶籍ヲ除クコトヲ得若附籍者カ家族トシテ實家ノ戶籍ニ記載シタル場合ハ附籍ハ脱籍ノ手續ニ因リ抹消スヘク脱籍ノ手續ヲ爲ササルトキハ附籍主ノ戶籍ハ之ヲ抹消シ附籍者ノ戶籍ハ其ノ儘ニ爲シ置キ戶籍ノ欄外ニ脱籍ノ手續ヲ爲ササルニ因リ抹消セサル旨ヲ記載シテ戶籍ヲ除籍簿ニ移スヘシ而シテ附籍者ノ新戶籍編製ノ事由ハ「何年何月何日附籍主何某轉籍シタルニ因リ本戶籍ヲ編製ス」ノ例ニ依リ抹消ノ事由ハ「何年何月何日附籍主何某轉籍

シタルニ因ク除籍」ノ例ニ依ルヘシ

- (大正五年九月十三日甲府區裁判所監督判事問合) 同年九月二十二日民第一三三七號法務局長回答

【參照】

2、附籍者ノ戶籍カ附籍主ノ戶籍ト同一用紙中ニ記載シタル場合附籍主カ他ノ市町村ニ轉籍スルニハ附籍者ハ轉籍セサル旨ヲ屆書ニ記載セシム (大正四年五月十七日五條區裁判所監督判事問合) 同年六月十二日民第七五二號法務局長回答

◎附籍者カ轉籍シタル場合ハ附籍者ノ戶籍ヲ編製ス

1、附籍者ノ戶籍カ附籍主ノ戶籍ト同一用紙中ニ記載シアリテ附籍者ニハ他ニ本籍ナク其籍ノ附シタル處ニ一戸ヲ有スルモノト看做スヘキ場合附籍者カ管内轉籍ノ届出ヲ爲シタルトキハ附籍者ノ戶籍ヲ編製スヘキモノナリ (大正五年九月十三日甲府區裁判所監督判事問合) 同年九月二十二日民第一三三七號法務局長回答

◎婚姻届書ニ嫡出子ノ身分ヲ取得スル庶子アル旨ノ記載ヲ脱漏シタル爲戸籍ノ記載ナキモノニ付轉籍ノ際ニ爲ス戶籍ノ訂正並記載例

1、舊戶籍法施行中庶子數人ヲ有スル(他家ニアルモノト父ノ家ニアルモノトアリ) 父カ庶子ノ母ト婚姻届出ノ際屆書中嫡出子ノ身分ヲ取得スル記載ヲ脱漏シタル結果戶籍ハ其儘庶子トナリ居リ婚姻後ノ出生子長二男ト記載セラレアル戶籍アリ右ノ場合前庶子ヲ嫡出子ト訂正スルニハ戶籍法第六十四條ノ手續ヲ爲スヘキモノニシテ他家ニ在ル庶子カ父母ノ家ニ入籍ヲ爲ス場合他家督相續轉籍等ニヨリ戶籍ノ改寫ヲ爲ス可

キ場合ハ戸籍法第六十五條ヲ援用シ其届書ニ追完事項トシ附記セシメ之レニ依リ戸籍ノ記載ヲ改メ差支ナシ

2、婚姻届ニ届出子ノ身分ヲ取得スル庶子ノ記載ヲ遺漏シ戸籍ニ庶子ト記載アル者ニ付家督相續轉籍等ニ依リ新戸籍ヲ編製スル場合ニ於テ追完事項トシテ届出タルトキハ追完事由記載方ハ左ノ振合ニ依ル

「年月日父何某母某ノ婚姻ニ因リ届出子ト爲ル家督相續轉籍届出ニ因リ追完ス」
（大正七年三月十九日宇都宮區裁判所監督判事問合）
（同年五月十一日民第五九七號法務局長回答）

3、庶子アル父母カ婚姻届書ニ届出子タル身分取得ノ記載ヲ脱漏シタル場合ハ追完ノ手續ニ依ルコトヲ得ルハ勿論其ノ他他家ニ在ル庶子カ父母ノ家ニ入籍スル届出又ハ定督相續、轉籍等ノ届出ニ基キ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ場合ニ於テモ脱漏シタル届出子身分取得事項ヲ其ノ届書ニ記載セシメテ追完スルコトヲ得ヘシ

（大正七年六月六日福岡市長問）
（同年七月四日民第一二九六號法務局長回答）

◎舊法施行前家督相續ニ因リ戸主ト爲リタル者ノ戸籍ニ付改寫ヲ爲ササリシ戸籍ノ謄本ヲ添附セル轉籍届ト受理方

1、民法施行前ニ於テ戸主カ死亡シ其法定ノ推定家督相續人カ正當ニ家督相續届出タルニ其當時町村長ニ於テ其届書ヲ受理シ其戸籍ノ編製ヲナサスシテ單ニ被相續人タル前戸主ノ事項欄ニ死亡ノ事項ヲ記載シ其氏名ヲ朱抹シ家督相續人ノ事項欄

ニ相續事項ヲ記載シ續柄欄ヲ戸主ト訂正シ尙他ノ家族トノ續柄欄モ相當訂正ヲナシ其儘戸籍原本トシテ備付ケ有リ此場合ニハ戸主カ他管ヘ轉籍スル場合戸籍謄本ヲ轉籍届ニ添附シ新本籍地町村長ニ届出テタルトキ其町村長ハ戸籍編製上基本タル事項ニ何等缺クル處無キニ付右届出ヲ受理シ新法規定ニ基キ戸籍ノ編製ヲナスヘキヤト云フニ添附戸籍謄本ニ基キ新戸籍ヲ編製スルニ差支ナキ限リ受理スヘキモノトス

2、戸籍謄本添附ノ上甲ヨリ轉籍届出タルニ依リ之ヲ受理シ新本籍地タル甲村役場ニ送附シタルニ本人ヨリ家督相續届出ニ基キ戸籍ヲ編製スヘキモノナレハ之ニ反シタル戸籍謄本添附ノモノハ絕對ニ受理シ難キ旨ヲ以テ此ノ届書ヲ返戻シ來レリ

此ノ場合ニハ如何スヘキヤト云フニ轉籍届ニ添附シタル戸籍謄本ニ基キ新戸籍ヲ編製スルニ差支ナキ限リハ届書ノ送附ヲ受ケタル甲村長ニ於テ直ニ新戸主甲ノ新戸籍ヲ編製スヘキモノナルヲ以テ返戻セラレタル届書ハ同役場ニ再送セラレ可シ
（大正七年一月二十二日佐賀市長問）
（同年二月九日民第一四三號法務局長回答）

◎夫カ英國ニ歸化シタル後妻カ日本ニ於テ分娩シタル子ニ付母ヨリ届出子出生ノ届出アリタルトキハ受理スヘシ

1、戸主タル身分ヲ有スル本邦人ノ夫ノミ許可ヲ得テ英國ニ歸化シ其夫ノミ國籍喪失ノ届出ヲ爲シ且ツ長男ヨリ相續届出アリタルヲ以テ妻カ家族トシテ新タニ戸籍ヲ編製シタル後三百日以上ヲ經テ本邦人ニシテ始終本邦在住ノ妻カ子女ヲ分娩シ

國籍喪失者タル夫ノ子トシテ届出子出生届出アリタル場合町町村長ハ之ヲ受理スヘキヤト云フニ母ヨリ届出子出生ノ届出アリタルトキハ母ノ認知アリタルモノト看做スヘキヲ以テ國籍法第五條第三號ノ規定ニ依リ子ハ日本ノ國籍ヲ取得シ母ノ家ニ入ルコトヲ得ヘシ而シテ市町村長ハ戸籍法第四百四十八條ノ規定ニ依リ出生届書ニ子ノ原國籍ヲ記載セシメ之ヲ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲スヲ相當トス

◎他市町村ヨリ轉籍ノ場合戸籍謄本ニ依リ戸籍ノ記載ヲ爲ス場合ト各移記事項ニ付轉籍届ニ因リ記載ノ旨ノ附記

1、他市町村ヨリ轉籍ノ場合其届書ニ添附ノ戸籍謄本ニ於テ不明ナル爲メ届書ニ明記シタル事項ヲ新戸籍ニ記載スルニハ轉籍届ニ依リ追完スル旨ヲ記載スヘキモ戸籍謄本ニ記載シタル事項ヲ新戸籍ニ其儘記載スルニハ轉籍届ニ依リ記載ノ旨ハ之ヲ記載スルノ要ナキヤト云フニ戸籍法施行細則附録戸籍記載例第百二十五ノ記載ヲ爲ス上ハ特ニ各移記事項ニ付轉籍届ニ因リ記載シタル旨ヲ附記スルニ及ハス

◎庶子父ノ家ニ入ルコトヲ得スシテ母ノ家ニ入ル場合ノ記載方ノ例示

1、戸籍法施行細則第十二條第三項ニ依ル附録第四號戸籍記載例中ノ庶子出生シ父ノ家ニ入ルコトヲ得スシテ母ノ家ニ入ル場合ノ記載事項ハ

「本籍ニ於テ庶子出生父甲野義太郎届出年月日受付父ノ家ニ入ルコトヲ得サルニ付入籍」トアルヲ
「本籍ニ於テ庶子出生父何縣何郡何町何番地戸主某何男甲野義太郎届出年月日受付父ノ家ニ入ルコトヲ得サルニ依リ入籍」ト記載スルハ戸籍ヲ明瞭ナラシムル爲メ可ナルモノトス

◎新戸籍編製又ハ轉籍ノ場合ニ於ケル追完事由及省略事由ノ移記

1、一度身分登記又ハ登記又ハ登記目録其他家督相續届若クハ分家届等ニ依リ追完シタル事由ノ記載事項及ヒ記載省略事由ハ共ニ爾後分家相續等ニ依リ新ニ編製スル毎ニ移記ヲ要スルモノナルヤ又轉籍ニ因リ新戸籍ノ記載ハ如何ト云フニ身分登記、登記目録又ハ届書ニ依リ追完シタル事由ノ記載ハ移記ヲ要スルモ記載省略ノ事由ハ新ニ戸籍ヲ編製スル毎ニ不明ナル事項ニ付更ニ記載スヘク移記スルコトヲ要セス又轉籍ニ因リ新戸籍ノ記載ヲ爲ス場合ニ不明ナル事項アラハ届書ニ之ヲ記載セシメ可成新記載例ニ例リテ記載スヘク尙不明ナル事項アルニ於テハ省略ノ事由ヲ記載シテ其ノ記載ヲ省クコトヲ得

2、戸籍編製ノ場合ニ既ニ身分登記又ハ届書ニ依リ補記シタル戸籍ニ基キ新ニ戸籍ヲ編製スルニハ身分登記ニ依リ記載又ハ届書ニ依リ追完ノ旨ノ移記ヲ要ス

（大正六年六月十九日福岡縣門司市長問）
（同年七月七日民第一二四六號法務局長回答）

實例判例文例人事法總覽

3. 甲村ヨリ乙村ニ轉籍又ハ分家ヲ爲シタル者ノ新戶籍ニ甲村ヨリ乙村ヘ分家シタル者ノ父ノ名「左工門」ヲ「右工門」ト本人ノ名「ウメ」ヲ「うめ」ト戸籍ニ誤記セラレタル儘丙村ニ轉籍スルニ付本家ノ戸籍謄本ヲモ添附シタルトキハ丙村ニ於テハ本家ノ戸籍謄本ニ基キ其誤謬ヲ更正シテ新戶籍ヲ編製シ其事由ヲ記載スヘキヤト云フニ轉籍地ノ戸籍ニハ轉籍届ニ添附シタル本家ノ戸籍謄本ニ基キ直ニ正シキ名ヲ記載スヘク別ニ事由ヲ記載スヘキニ非ス但シ原籍地ノ戸籍ノ記載ハ市町村長監督區裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職權ヲ以テ之ヲ訂正シ置クヘシ

(大正七年三月十九日京都區裁判所監督判事問合)
 (同年五月十一日民部第五九七號法務局長回答)

◎意思能力ヲ有セザル者ノ轉籍ト法定代理人ノ届出

1. 法定代理人ハ意思能力ヲ有セザル未成年者戶主ニ代リテ轉籍ヲ爲スコトヲ得

(大正八年八月二十一日大阪區裁判所監督判事問合)
 (同年十月一日民部第三十二六號民部局長回答)

【同綴旨】

◎甲村在籍者タリシ者轉籍等ニヨリ乙村ニ移轉シタル戸籍ニ錯誤遺漏アリタルトキト許可ヲ得テ乙村ノ戸籍ヲ訂正シ甲村ニ送附シタル場合ノ取扱方

1. 甲村在籍者タリシ者轉籍又ハ廢家入籍ニ因リ乙村ヘ移轉シタル處其ノ者ノ戸籍ニ錯誤遺漏等アリ之レカ訂正ノ許可ヲ得テ乙村ノ現戸籍ヲ訂正スルト同時ニ甲村ノ除籍ヲ訂正スル爲メ申請書ノ一通ヲ甲村ニ送附シ來リタルトキハ甲村ニ於テハ

◎甲村ヨリ乙村ニ轉籍ノ際ニ生シタル誤記ト丙村ニ轉籍スル場合ニ爲ス訂正方

1. 甲村ヨリ乙村ニ轉籍又ハ分家ヲ爲シタル者ノ新戶籍ニ村長ノ過誤ニ因リ婚姻其他ノ身分事項ニ錯誤又ハ遺漏ヲ生シ且戸籍法第五十四條ニ依リ届出人ノ爲シタル追完事項ニ誤リアリタル爲メ戸籍ニモ同様誤記シタルモノアルトキハ其ノ錯誤又ハ遺漏カ除籍若ハ戸籍謄本ニ依リ明ナル場合ニ於テハ其戶主カ更ニ丙村ニ轉籍シ又ハ家督相續ニヨリ新戶籍ヲ編製スル場合ニ於テハ轉籍又ハ家督相續ノ届書ニ原籍地又ハ本家ノ除籍

若クハ戸籍ノ謄本ヲ添附セシメ之ニ基キ直ニ正シキ記載ヲナスモ差支ナシ

◎元甲村在籍者轉籍ニ因リ乙村ニ移轉シ錯誤遺漏ノ爲戸籍訂正ノ許可ト甲村ノ除籍記載ノ訂正ノ處理方

1. 元甲村在籍者タリシ者カ轉籍ニ因リ乙村ヘ移轉シタル處其ノ者ノ戸籍ニ錯誤遺漏多ク之カ訂正ノ許可ヲ得テ乙村ノ現戸籍ヲ訂正スルト同時ニ甲村ノ保存ニ係ル除籍ノ記載ヲモ訂正ノ必要アリトシテ申請書ニ通提出シタル場合乙村長ハ其一通

【判例】

◎未成年女戶主カ親權者ノ同意ナキ轉籍届ト同時ニ家督相續人ノ指定届ヲ爲シタル場合ト戸籍ノ抹消

1. 未成年ノ女戶主カ其ノ親權者ノ同意ヲ得ス擅ニ他村ニ轉籍シ同時ニ甲ヲ家督相續人トシテ指定ノ届出ヲ爲シタルトキハ村長ハ法定代理人ノ同意ヲ缺除スル違法ノ届出トシテ之ヲ却下スヘキニ拘ラス之カ届出ヲ受理シ其ノ旨戸籍ノ記載ヲ爲シタル場合ニ於テハ之ニ對シ抗告ヲナシ其ノ戸籍記載ヲ抹消セシメ得ルモノトス

(盛岡地裁判所大正十三年四月六日判決)
 (法律評論一三卷諸法二二七頁)

本籍人ニ進シ取扱ヲ爲スヘキモノトス

2. 右ノ場合ニ於テハ訂正シタル事項ヲ貼掛紙ニ記載シテ監督區裁判所ニ送付シ正本副本ノ記載ヲ一致セシムル方法ヲ採ルヲ相當トス

◎戸主ノ妻ニシテ婚姻、離婚、再婚ヲ重ネタルモノト轉籍ニ依ル新戶籍編製ノ場合ノ身分事項ノ記載方

1. 戸主ノ妻ニシテ大正元年婚姻ニ因リ入籍シ大正五年離婚ニ因リ除籍シ大正八年再婚ニ因リ入籍シタル者アリ此場合ニハ其家族ノ記載方ハ妻某ト記載シタル事項欄ニ大正元年ノ婚姻事項及ヒ大正五年ノ離婚事項並大正八年ノ再婚事項ヲ記載スルモノトス

(大正九年一月二十一日高松區裁判所監督判事問合)
 (同年二月七日民部第二八四號民部局長回答)

ヲ甲村長ニ送付シ來レリ此ノ場合甲村ニ於テハ

(イ) 受付帳ノ記載及申請書ノ處理ハ本籍人ニ進シ取扱フヘキモノトス

(ロ) 除籍簿中訂正シタル事項ニ付テハ訂正シタル事項ヲ貼掛紙ニ記載シ之ヲ送付セシメ前ニ送付ヲ受ケタル除籍副本ノ相當箇所ニ貼付シ監督判事ニ契印ヲ爲シ置ク等正本副本ヲ一致セシムル方法ヲ採ルヲ相當トス

(大正九年一月二十一日高松區裁判所監督判事問合)
 (同年二月七日民部第二八四號民部局長回答)

實例判例文例人事法總覽

【文例】

◎同一市町村內ニ轉籍ノ場合本籍地市町村長ニ届出ツル轉籍届ノ例

轉籍届	原本籍 東京市麴町區 町 丁目 番地戶主
	甲野義太郎
	明治元年九月七日生
右東京市麴町區 町 丁目 番地ニ轉籍	
右轉籍及御届候也	
大正 年 月 日	
東京市麴町區長 何 某殿	届出人 甲野義太郎

備考

一、本例ニ依ル届書ハ二通ヲ差出スヘシ(戶籍法施行細則第四十三條ノ二參照)
一、所在地ニ届出ツル場合ハ本例ニ準シ作成ノコト

◎他ノ市町村ニ轉籍ノ場合ノ届

(1) 轉籍地市町村長ニ届出ツル場合ノ轉籍届ノ例

轉籍届	原本籍 東京市麴町區 町 丁目 番地戶主
	甲野義太郎
	明治元年十月七日生
右東京市神田區 町 丁目 番地ニ轉籍	
右轉籍別紙戶籍ノ謄本相添ヘ及御届候也	
大正 年 月 日	
東京市神田區長 何 某殿	届出人 甲野義太郎

備考 一、本例ニ依ル届書ハ二通ヲ差出スヘシ

第一編 戶籍法規 第四章 届出 第十九節 轉籍及ヒ就籍 第五百五十八條

實例判例文例人事法總覽

(2) 原籍地市町村長ニ届出ツル場合ノ轉籍届ノ例

轉籍届

原籍 東京市麹町區 町 丁目 番地 戸主

甲野義太郎

明治元年九月七日生

右東京市神田區 町 丁目 番地ニ轉籍

右轉籍別紙戸籍ノ謄本相添へ及御届候也

大正 年 月 日

届出人

甲野義太郎

東京市麹町區長 何 某殿

備考 一、本例ニ依ル届書ハ二通ヲ差出スヘシ

(3) 所在地市町村長ニ届出ツル場合ノ轉籍届ノ例

轉籍届

原籍 東京市麹町區 町 丁目 番地 戸主

甲野義太郎

明治元年九月七日生

右東京市神田區 町 丁目 番地ニ轉籍

右轉籍別紙戸籍ノ謄本相添へ及御届候也

大正 年 月 日

所在 何縣 郡 村 番地

届出人

甲野義太郎

何縣 郡 村 長 何 某殿

備考 一、本例ニ依ル届書ハ三通ヲ差出スヘシ

二、所在ノ場所カ寄留ノ場所ナルトキハ同一市町村内ニ於ケル轉籍ノ場合ノ届(二)ノ例ニ依リ「所在」ノ下ニ「住所寄留」又ハ「居所寄留」ナル旨記載ヲ爲スヘシ

第一編 戶籍法規 第四章 届出 第十九節 轉籍及ヒ就籍 第五百五十八條

實例判例文例人事法總覽

◎戸主カ未成年者ナル場合ノ届

(1) 戸主カ意思能力ヲ有スル者ナル場合ノ轉籍届ノ例

轉籍届	原本籍 東京市麹町區 町 丁目 番地 戸主 甲野智太郎 明治三十九年一月一日生
右東京市神田區 町 丁目 番地ニ轉籍	
右轉籍別紙戸籍ノ謄本相添へ及御届候也	
大正 年 月 日	
東京市麹町區長 何 某殿	届出人 甲野智太郎
右轉籍ニ對シ本人ノ求ニ因リテ同意致候	親權ヲ行フ母 甲野梅子 明治三十年五月五日生

備考

一、本例ニ依ル届書ハ二通ヲ差出スヘシ

二、親權者ヲシテ特ニ本人ノ求ニ因リ同意爲シタル旨ヲ記載セシムルハ本人ニ意思能力アルコトヲ證セシメンカ爲ナリトス

(2) 戸主カ意思能力ヲ有セサル者ナル場合ノ轉籍届ノ例

轉籍届	原本籍 東京市麹町區 町 丁目 番地 戸主 甲野智太郎 大正五年二月七日生
右東京市神田區 町 丁目 番地ニ轉籍	
右轉籍別紙戸籍ノ謄本相添へ及御届候也	
大正 年 月 日	
東京市麹町區長 何 某殿	届出人 甲野梅子 明治三十年五月五日生
右智太郎意思能力ヲ有セサル未成年者ナルニ付キ親權ヲ行フ母	

備考

一、本例ニ依ル届書ハ二通ヲ差出スヘシ

第一編 戶籍法規 第四章 届出 第十九節 轉籍及ヒ就籍 第一百五十八條

實例判例文例人事法總覽

◎轉籍届ニ因リテ戸籍記載事項ヲ追完スル場合ノ例

轉籍届	原本籍	東京市麴町區 町 丁目 番地 戶主	甲野義太郎
	新戸籍ニ追完スヘキ事項		明治元年九月七日生
一	母松子ノ父母ノ氏名及父母トノ續柄	父亡 丙山信太郎 二女	
二	叔父義二郎養子正之助ノ父母ノ氏及父母トノ續柄	父 乙川孝輔 三男	
三	祖父仁太郎ノ母ノ氏名	母亡	
右轉籍別紙戸籍ノ謄本相添ヘ及御届候也			
大正 年 月 日			
東京市神田區長 何 某殿	届出人	甲野義太郎	

備考 一、本例ニ依ル届書ハ二通ヲ差出スヘシ

第百五十九條 轉籍ノ届出ハ轉籍地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

參照ニ大正九年司法省令第十二號。

參照ニ戸籍法五四條、一五八條、一八四條。

【實例】

◎轉籍届出ヲ轉籍地ノ市町村ニ差出ストキ新本籍ト所在地トカ同

一 ナラサルトキト所在地ノ記載

1、轉籍届ヲ轉籍地ノ市町村ニ差出ストキハ届出人ノ所在地ヲ記載セシムヘキヤ(所在地カ新本籍地ナル場合)ト云フニ新本籍ト所在トカ同一ナラサルトキハ所在地ヲ記載スルモノトス

(大正四年一月二十三日廣島縣品川郡東城町長同) (同年七月十三日民部省令第九二號司法省令同)

◎轉籍地ノ戸籍ニ爲スヘキ除籍者ノ記載及除籍者ノ記載順序

1、戸籍法第百五十八條第二項ノ轉籍ニ因ル新戸籍編製ニ付テハ死亡又ハ婚姻其他ノ事由ニ依リ戸籍ヨリ除カレタル者ハ届書ニ添附ノ戸籍謄本其儘ヲ移記スヘキモノトス

(大正三年十二月十五日九條區裁判所民事部) (大正四年一月九日民部省令第九九號司法省令同)

【注意】 大正九年司法省令第十二號ニ依リ轉籍地ノ戸籍ニ

ハ除籍者ヲ記載セサルコトニ改正セラレタリ

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第十九節 轉籍及ニ就籍 第百五十九條

2、前項他ノ町村ヨリ轉籍ノ場合添附ノ戸籍謄本中除籍シタル者ハ改正戸籍ニハ除籍者ノ記載ヲ要セサルモ轉籍ニ因ル新戸籍ニハ其ノ記載ヲ要ス

(大正四年六月八日廣島縣品川郡東城町長同) (同年七月十三日民部省令第九二號司法省令同)

【注意】 同上

(轉籍地ニ於テ戸籍ヲ編製スル場合) 戶主及家族ノ順序ハ届書ニ添附シタル戸籍謄本ニ依ラス戸籍法第十九條同施行細則第十二條所定ノ順序ニ依リテ記載ス

1、轉籍届出ノ戸籍謄本ニ基キ編成スル戸籍ノ記載ハ戸籍法第十九條ノ第二ヨリ第六ノ正當順序ニ依ラス戸籍謄本ノ儘ヲ謄寫シ事項欄ノ記載ハ現行法記載ニ引直スヘキモノナルヤト云フニ家族ノ順序ハ戸籍謄本ニ依ラス戸籍法第十九條ニ依リ又事項欄ハ可成現行法ノ記載例ニ準據シ記載スヘシ

實例判例文例人事法總覽

〔大正四年六月十六日愛媛縣越智郡今治町長何
同年七月六日民第九八〇號法務局長何答〕

【同趣旨】

〔大正四年十一月八日愛媛縣越智郡今治町長何
大正五年三月二十二日民第三二六號法務局長何答〕

〔大正五年二月二十四日廣島縣尾道郡福相村長代理何
同年三月二十四日民第二一六號法務局長何答〕

〔大正五年四月十六日廣島縣尾道郡福相村長代理何
同年十月二十一日民第六二九號法務局長何答〕

〔大正六年一月十八日廣島縣尾道郡中島郡村長何
同年一月三十日民第二一三號法務局長何答〕

〔大正八年六月十七日廣島縣尾道郡福相村長何
同年八月一日民第二一一五號法務局長何答〕

【參照】

- 2、轉籍地ニ於テ戸籍ヲ編製スル場合ハ其除カレタルモノト否トナ問ハス戸籍法第十九條同法施行細則第十二條所定ノ順序ニ從フヘキヤト云フニ轉籍届ニ添附シアル戸籍謄本ニ依リテ記載スヘシ

〔大正三年十二月十五日愛媛縣西宇和郡千丈村戸籍更何
同年十二月二十八日民第一九六二號法務局長何答〕

【同趣旨】

〔大正四年一月七日愛媛縣北宇和郡三間村長何
同年一月二十二日民第五九號法務局長何答〕

〔大正三年三月二十五日京都府長岡郡所屬管野間町長何
大正四年一月二十二日民第一九九七號法務局長何答〕

〔大正四年一月二十六日高知縣高岡郡所屬管野間町長何
同年二月十九日民第一五三號法務局長何答〕

◎轉籍地ニ於ケル戸籍編製方ト轉籍届ニ添附シアル戸籍謄本

- 1、轉籍地ノ戸籍編製ハ戸籍法施行細則第十五條ノ外新戸籍編

製ノ例ニ依ルヤ將タ前戸籍ヲ其ノ儘移記スルヤト云フニ轉籍

届ニ添附シアル戸籍謄本ニ依リテ記載スヘシ

〔大正四年一月七日長岡縣長岡郡所屬管野間町長何
同年一月八日民第三二號法務局長何答〕

◎轉籍地戸籍ノ記載ハ新記載例ニ依ル

- 1、家督相續、轉籍等ニ依リ戸籍ヲ編製スル場合ニ基本タル戸籍ニ記載シアル事項ハ改正戸籍記載例ニ準シ更正シ記載スヘキモノトス

〔大正四年一月二十三日愛媛縣中島郡朝日村長何
同年二月十五日民第一三二號法務局長何答〕

- 2、前項ノ如ク記載スルモノナルトキハ出生事項ニシテ原戸籍ニ「大正三年一月七日出生届出同日受附」トアルモノ、如キハ「出生届出大正三年一月七日受附入籍」ト更正記載スヘキヤト云フニ第八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ補足シ得ヘキ事項ハ可成之ヲ補ヒ戸籍法施行細則附録第四號戸籍記載例ニ依リ新戸籍ノ記載ヲ爲スヘシ

〔大正四年一月二十三日愛媛縣中島郡朝日村長何
同年二月十五日民第一三二號法務局長何答〕

- 3、轉籍届添附ノ戸籍謄本ニ依リ戸籍ヲ編製スル場合ハ家族ノ記載順序ヲ更正シ事項欄其他ノ記載ヲ新法ノ記載例ニ引直シ記載スヘキヤ將タ添附ノ戸籍謄本ノ通り毫モ之ヲ變改セスシテ移記スヘキヤト云フニ事項欄ノ記載ハ新戸籍記載例ニ依リ

家族ノ記載順序ハ戸籍謄本ノ記載順序ニ依ルヘシ

〔大正四年二月四日長岡縣長岡郡所屬管野間町長何
同年二月十八日民第二一五號法務局長何答〕

- 4、家督相續等ニ因リ編製スヘキ新戸籍ニハ舊戸籍ノ養親事項欄ニ記載アル縁組事項ハ移記ヲ要セサルモノトス

〔大正四年一月二十二日弘前縣鹿角郡所屬管野間町長何
同年二月十九日民第一三九號法務局長何答〕

- 5、右養親事項欄ニ記載アル縁組事項ト雖モ戸籍法施行細則第十五條ニ規定スル轉籍地ノ戸籍ニハ却テ漏レナク記載ヲ要スル趣旨ナリヤト云フニ此ノ場合ハ記載ヲ要スルモノニアラス

〔大正四年一月二十二日弘前縣鹿角郡所屬管野間町長何
同年二月十九日民第一三九號法務局長何答〕

- 6、前項細則第十五條ノ轉籍ノ戸籍ヲ記載スルニ當リ轉籍届ニ添附シタル戸籍謄本ノ身分ニ關スル届出事項力舊戸籍法ニ依リ記載シタルモノニ係リ新戸籍法ノ戸籍記載例ニ適合セサルモノニ付テモ可成新法ニ依リ記載例ニ準據スヘシ

〔大正四年一月二十二日弘前縣鹿角郡所屬管野間町長何
同年二月十九日民第一三九號法務局長何答〕

- 7、前項舊戸籍謄本ノ記載事項ニシテ其記載當時ノ法規ニ照ラシ不適法ノ記載ニ係ルモノト雖モ其儘轉籍地ノ戸籍ニ記載シ置クヘキモノトス

〔大正四年一月二十二日弘前縣鹿角郡所屬管野間町長何
同年二月十九日民第一三九號法務局長何答〕

【同趣旨】

〔大正四年六月八日廣島縣尾道郡福相村長代理何
同年七月十三日民第九二二號法務局長何答〕

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第十九節 轉籍及ヒ就籍 第五百九十九條

製ノ例ニ依ルヤ將タ前戸籍ヲ其ノ儘移記スルヤト云フニ轉籍

届ニ添附シアル戸籍謄本ニ依リテ記載スヘシ

〔大正四年一月七日長岡縣長岡郡所屬管野間町長何
同年一月八日民第三二號法務局長何答〕

◎轉籍地戸籍ノ記載ハ新記載例ニ依ル

- 1、家督相續、轉籍等ニ依リ戸籍ヲ編製スル場合ニ基本タル戸籍ニ記載シアル事項ハ改正戸籍記載例ニ準シ更正シ記載スヘキモノトス

〔大正四年一月二十三日愛媛縣中島郡朝日村長何
同年二月十五日民第一三二號法務局長何答〕

- 2、前項ノ如ク記載スルモノナルトキハ出生事項ニシテ原戸籍ニ「大正三年一月七日出生届出同日受附」トアルモノ、如キハ「出生届出大正三年一月七日受附入籍」ト更正記載スヘキヤト云フニ第八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ補足シ得ヘキ事項ハ可成之ヲ補ヒ戸籍法施行細則附録第四號戸籍記載例ニ依リ新戸籍ノ記載ヲ爲スヘシ

〔大正四年一月二十三日愛媛縣中島郡朝日村長何
同年二月十五日民第一三二號法務局長何答〕

- 3、轉籍届添附ノ戸籍謄本ニ依リ戸籍ヲ編製スル場合ハ家族ノ記載順序ヲ更正シ事項欄其他ノ記載ヲ新法ノ記載例ニ引直シ記載スヘキヤ將タ添附ノ戸籍謄本ノ通り毫モ之ヲ變改セスシテ移記スヘキヤト云フニ事項欄ノ記載ハ新戸籍記載例ニ依リ

8、大正五年一月二十四日廣島縣福相村長代理何同年三月二十

四日民第二一六號法務局長何答ハ大正三年十二月十五日愛媛

縣千丈村戸籍吏何同年同月三十八日民第一九六二號法務局長

何答ヲ變更セラレタルモノナリ隨テ大正四年七月十三日民第

九五二號何答ノ可成新記載例ニ依リ記載スヘシトノ省議ハ新記載例ニ引直シ記載スヘシト變更セラレタルモノトス而シテ其ノ順序ハ婚姻、除籍者、死亡者ハ在籍者ト看做シ順序ヲ定ムヘキモノトナリトス

〔大正五年四月十八日廣島縣尾道郡福相村長代理何
同年十月二十一日民第六二九號法務局長何答〕

- 9、身分登記目録又ハ届書ニ依リ追完シタル事由ノ記載ハ移記ヲ要スルモ記載省略ノ事由ハ新ニ戸籍ヲ編成スル毎ニ不明ナル事項ニ付更ニ記載スヘク移記スルコトヲ要セス又轉籍ニ因リ新戸籍ノ記載ヲ爲ス場合ニ不明ナル事項アラハ届書ニ之ヲ記載セシメ可成新記載例ニ依リテ記載スヘク尙不明ナル事項アルニ於テハ省略ノ事由ヲ記載シテ其ノ記載ヲ省クコトヲ得

〔大正五年九月十一日廣島縣尾道郡福相村長代理何
同年十一月十一日民第一五二三號何答〕

- 10、本年九月十一日稟何同年十一月十一日民第一五二三號何答ニヨレハ可成新記載例ニ依リテ記載スヘシトアルモ同年十月

實例判例文例人事法總覽

二十一日民第六二九號回答ニハ大正四年七月十三日民第九五二號ノ可成新記載例ニ依リ記載スヘシトノ省議ハ新記載例ニ引直シ記載スヘシト變更セラレタリトアリ右第六二九號回答ハ又々變更セラレタルモノナルヲ云フニ民第一五二三號回答ハ總テ新記載例ニ引直シテ記載スル趣旨ナリ

(大正五年十一月十一日廣島縣郡縣部郡長代理助役兼同) (同年六月二十四日民第一〇二號法務局長回答)

管内轉籍ノ場合ト新戸籍ノ編製

1、舊法ノ規定ニ依ル戸籍ノ戸主又ハ舊法ノ規定ニヨリ改正セサル戸籍ノ戸主カ管内轉籍ヲ爲シタル場合ハ管外轉籍ノ場合ト同シク新戸籍ヲ編製スルコトニ便宜取計フヘキヤト云フニ管内轉籍ノ場合ハ之ニ依リテ新戸籍ヲ編製スルコトヲ得ス

(大正四年三月九日愛媛縣郡縣部郡長代理助役兼同) (同年二月二十日民第一三一號法務局長回答)

轉籍ノ場合ト出生ニ關スル記載ナキモノノ新戸籍ノ記載方

1、他ノ市町村ヨリ轉籍ノ届出ニ基キ新戸籍ヲ編成スル場合ニ於テ子ノ事項欄ニ出生ニ關スル職權記載ナキモノ、新戸籍ハ如何ニ記載スヘキヤト云フニ新戸籍ニ何々ノ事項ハ不明ナル旨ノ事由ヲ記載シ置キ脱漏アル事項ニ付テハ後日訂正ノ手續ニ出ツヘキモノトス

(大正四年三月八日山縣縣北區郡縣部郡長代理助役兼同) (同年四月二十三日民第一七五號法務局長回答)

戸籍謄本ニ記載シタル家族ノ順序ニ誤リアル場合ノ更正

1、轉籍届ニ添附ノ戸籍謄本ニヨリ新戸籍編製ノ場合家族ノ順序ニ誤リアル場合ハ之ヲ更正スヘキモノトス

(大正四年三月十七日八戶區裁判所監督判事問合) (同年四月二十六日民第一四七號法務局長回答)

2、轉籍者ノ戸籍編製ニ關シ大正三年十二月十五日愛媛縣西宇和郡千丈村戸籍吏伺同月二十八日民第一九六號回答ノ趣旨及大正四年三月十七日八戶區裁判所監督判事問合同年四月二十六日民第四二七號回答ノ趣旨ハ轉籍者ノ戸籍ハ轉籍届書ニ添附シタル戸籍謄本ヲ基本トシテ編成スヘキモノナルモ其家族ノ順序ニ誤リアルトキハ縱令戸籍編製當時ノ誤リナルト編製後届出ノ都度戸籍ノ末尾ニ記載シタルモノナルトテ問ハス苟モ戸籍法第十九條同法施行細則第十二條所定ノ順序ニ違背シタル記載ハ所謂順序ノ誤リナルニ付是等ハ凡テ更正シテ記載スヘキモノトノ趣旨ナリ

(大正八年五月二十日宮城縣縣吏部郡長代理助役兼同) (同年六月十一日民第一六四七號法務局長回答)

【參照】

3、本年三月十七日八戶區裁判所監督判事問合同年四月二十六日民第四二七號回答ノ趣旨ハ轉籍届ニ添付ノ戸籍謄本ニヨリ

新戸籍編製ノ場合家族ノ順序ニ誤リアルトキハ更正スヘキモノナリトス

(大正四年五月二十日青森縣郡縣部郡長代理助役兼同) (同年五月二十九日民第一四六號法務局長回答)

基本タル戸籍ニ記載セル事項カ新記載例ニ依リ難キ場合ハ届書ニ其ノ事項ヲ記載セシメテ補充スヘク尙ホ知レサル事項ハ其事由ヲ記載シテ省クコトヲ得

1、家督相續、分家、轉籍等ニ依リ新戸籍編製ノ場合ニ於テ基本タル戸籍ニ記載アル事項カ舊戸籍法施行前ナルカ又ハ他ノ市町村ヨリ分家、轉籍ニ依リ轉屬シタル爲メ身分登記ノ調査スヘキモノナキトキハ細則附錄第四號ノ記載例ニ依ルコトヲ得サルニ付其儘移記スヘキヤト云フニ基本タル戸籍ニ記載セル事項ニシテ新記載例ニ依リ難キモノアルトキハ戸籍法第五十四條ニ依リ届書ニ記載セシメ之ニ依リテ記載ノ補充ヲ爲スヘク尙ホ知レサル事項ハ其事由ヲ記載シテ之ヲ省クコトヲ得

(大正四年三月九日愛媛縣郡縣部郡長代理助役兼同) (同年六月二十三日民第一三八四號法務局長回答)

【注意】 舊戸籍法施行前ニ爲シタル記載事項ハ其ノ儘新戸籍ニ移記スヘキコトニ省議變更セラレタリ

2、轉籍届書ニ添附セル戸籍謄本カ舊戸籍法又ハ同法施行以前

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第十九節 轉籍及ヒ就籍 第五百九條

ノ戸籍ニ係リ戸主及家族ノ身分ニ關スル事項其ノ他新戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ記載ノナキモノ又ハ記載ノ不備ナルモノアラハ戸籍法第五十四條ニ依リ轉籍届書ニ記載セシメ之ニ依リテ記載ノ補充ヲ爲スヘク尙事實ノ知レサルモノアル場合ハ之ヲ記載テ省略スルコトヲ得

(大正四年六月十六日愛媛縣縣吏部郡長代理助役兼同) (同年七月六日民第一九八〇號法務局長回答)

【注意】 舊戸籍法施行前ニ爲シタル記載事項ハ其ノ儘新戸籍ニ移記スヘキコトニ省議變更セラレタリ

3、基本タル戸籍ノ記載事項ヲ新戸籍ニ移記スル場合ニ於テハ可成記載例ノ振合ニ依リ補充更正スヘク其ノ身分登記ノ存在セサルニ因リ父母ノ氏名續柄等重要ナル事項ヲ知ルコト能ハサルトキハ戸籍法第五十四條ニ依リ轉籍届又ハ家督相續届書ニ記載セシメ之ニ依リテ記載ノ補充ヲ爲シ其ノ届出人ノ氏名又ハ届書報告書ノ發送者ノ職氏名ノ如キ事項ハ不知ノ事由ヲ附記シ記載セサルコトヲ得ヘシ

(大正四年三月十九日大正區裁判所監督判事問合) (同年七月六日民第一六六號法務局長回答)

4、轉籍ノ場合ニ於テ死亡婚姻其他ノ事由ニ依リ除カレタル者

實例判例文例人事法總覽

ニ關スル事項ヲ移記スル場合亦同様補充更正スヘキモノトス
(大正四年三月十九日大阪區裁判所監督官事務同會
同年七月六日民部第一六號法務局長回答)

5、右ハ戸籍ノ記載ヲ可成完全ナラシムル方法トシテ諸所ノ何ニ對シ回答シタル趣旨ナルモ失費ト煩瑣ナル手數トヲ顧ミス必ス此方法ヲ執ルヘキコトヲ命シタルニ非ス法令ノ趣旨ノ那邊ニ存スルヤチ明ニシタルニ外ナラサルヲ以テ何レノ程度マテ之ヲ實行スルコトヲ得ヘキヤニ付テハ監督官ノ常智ニ依リ相當ノ裁量ヲ爲スコトヲ妨ケス
(大正四年二月十四日大阪區裁判所監督官事務同會
同年七月六日民部第一六號法務局長回答)

【注意】 轉籍地ノ戸籍ニハ除籍者ニ關スル事項ヲ記載セサルコトニ改正セリ(大正九年司法省令第十二號)

6、轉籍ニ依リ新戸籍編製ノ場合戸籍法ノ規定ニ依リ記載ヲ要スル事項カ屆書ニ添附ノ戸籍謄本ニヨリ不明瞭ニシテ且屆書ニ其記載ナカリシ爲メ之ヲ省クトキニ於テモ亦同法施行細則第二十四條ニ準シ其事由ヲ記載スヘキヤト云フニ事實ヲ知ルコト能ハサルカ爲屆書ニ其ノ事項ヲ記載セサル場合ハ質疑ノ通ナルモ事實ノ明ナル場合ニ於テハ追完ノ届出ヲ爲サシムヘ
(大正四年十一月八日東京區裁判所事務同會
大正五年三月二十二日民部第一一六號法務局長回答)

◎轉籍地ノ新戸籍ハ成ル可ク新記載例ニ依リテ記載シ且新法ニ依リ記載ヲ要セサル事項ハ移記スルニ及ハス

1、他ノ町村ヨリ轉籍シタル者ノ戸籍編製ノ場合ハ戸籍謄本ニ記載シタル事項ハ可成新記載例ニ依リ記載スヘシ但シ新法ニ依リ記載ヲ要セサル事項ハ之ヲ移記スルニ及ハス
(大正四年六月八日廣島縣品川郡品川村助役同會
同年七月十三日民部第一二六號法務局長回答)

◎轉籍ノ新戸籍ニ移記ヲ要セサル事項

- 1、他ノ町村ヨリ轉籍シ新戸籍編製ノ場合左ノ事項ハ新戸籍ニ移記スルニ及ハサルモノナリ
- イ 族稱欄ノ平民記載
- ロ 戸主及ヒ家族カ他家ヨリ入籍シタルモノナルトキ原籍戸主ノ族稱
- ハ 養親ノ事項欄ニ記載アル縁組及離縁ニ關スル届出事項
- ニ 届書發送年月日
- ホ 徴兵ニ關スル事項
- ヘ 民法施行前ノ失踪届出ニ關スル事項
(大正四年七月十九日廣島縣品川郡品川村助役同會
同年八月三日民部第一二六號法務局長回答)

第六十條 本籍ヲ有セサル者ハ其就籍セント欲スル地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ十日内ニ就籍ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス
届書ニハ第十八條ニ掲ケタル事項ノ外就籍許可ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス
参考 戸籍法四三條、五四條、六三條、一六〇條、一六二條。

【實例】

◎單身未成年者ノ就籍許可ノ申請ト本人ナルコト

1、單身ノ未成年者(意思能力ヲ有スル者)カ就籍許可申請ノ手續ヲ爲スニハ法定代理人ニ依ラスシテ本人ヨリ爲シ得ルモノナリ
(大正四年五月六日福井縣裁判所監督官事務同會
同年七月七日民部第一三八號法務局長回答)

◎一家ヲ爲シ居ル無籍者ノ就籍ノ手續

1、無籍者アリ父母ノ氏名及父母トノ續柄等ヲ知ルト雖其父母ノ本籍ノアル所全ク不明ナル場合現在ノ住所ヲ本籍トシ戸主トシテ就籍セシムルコトヲ得サルヤ(但無籍者ハ一私生子及其私生子ノ私生子(孫)アリ共ニ無籍ニシテ現住所ニ一家ヲ爲

シ居レリ)ト云フニ民法上戸主タルコト明ナルニ於テハ住所ヲ本籍トシ戸主トシテ就籍スルコトヲ得
(大正四年八月二十一日神岡區裁判所監督官事務同會
同年九月十七日民部第一四一三號法務局長回答)

◎無籍ノ僮婚姻シタル女カ離婚シタルトキト除籍ノ手續

1、舊戸籍法施行中無籍ノ女カ無籍ノ僮婚姻ヲ爲シ夫ノ家ニ入りタルモノ今日ニ至リ協議上ノ離婚ヲ爲ス場合ニ於テハ明治三十一年十月十二日熊本縣飽託郡川口村戸籍吏同同年十二月七日民部第一九二〇號民刑局長回答ニ準シ直チニ一家創立セシメ除籍差支ナキヤト云フニ就籍ノ手續ヲ爲サシメタル上除籍スヘク其ノ手續ヲ爲ササルニ於テハ戸籍法第六十四條第三

實例判例文例人事法總覽

項ノ規定ニ依リ市町村長職權ヲ以テ就籍ニ因ル新戶籍ヲ編製シタル後妻ノ除籍ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年九月二十三日熊本縣裁判所監督判事問合) (同年十月二日民部第一五七四號法務局長回答)

2、無籍ノ女婚姻ニ依リ夫ノ籍ニ入りタルモノカ離婚ノ場合就籍ノ手續ヲ爲サシムルニハ其ノ女カ就籍セントスル家ノ所在分明ナラサル場合ニハ離婚届ニ「無籍者ニシテ其屬スル家分明ナラサルニ付キ(又無籍者ニシテ其屬スル家ナキニ付)何郡何村番地ニ一家創立」ノ旨記載セシメ之ニ基キ其者ノ戶籍ヲ編製シ夫ノ戶籍ヨリ除籍スヘキモノナリヤト云フニ此場合ニ於テモ大正四年九月二十三日熊本區裁判所監督判事問合ニ對スル同年十月二日民部第一五七四號法務局長回答ノ趣旨ニ從ヒ取扱フナ相當トス

(大正八年十月八日島根縣那賀郡濱田町長事問合) (同年十月二十二日民部第四七二號法務局長回答)

◎父母共ニ死亡シ未ダ出生届ヲ爲ササル二十歳ノ無籍ノ男子ト就籍ノ手續

1、年二十歳ノ男子ノ無籍者アリ父母共ニ死亡シ届出義務者全クナク丁年ニ達スルモ出生届ヲナス事ヲ得サル場合之ヲ有籍者ト爲スニハ就籍ノ手續ニ依ルモノトス

(大正四年十一月十七日長崎縣那賀郡五ヶ野村長事問合) (同年十一月二十七日民部第一七八五號法務局長回答)

◎出生届漏ノ者ヲ就籍セシムルトキト届出義務者アル場合ノ出生届竝ニ然ラサルトキノ就籍手續

1、左ノ一家アリ甲ノ死亡ニ因リ乙ノ出生届脱漏ヲ發見セリ之ヲ有籍者ト爲スニハ出生届ニ依ルヤ就職ノ手續ニ依ルカ何レトスルモ其届出ハ何レヨリナスヘキヤト云フニ同居者其ノ他ノ届出義務者ヨリ出生届ヲ爲サシムヘク届出義務者ナキ場合ニ於テハ就籍ノ手續ヲ爲サシムヘシ

大正五年三月死亡 戶主甲 明治十五年四月生
母 丙 元治元年十二月生
弟 丁 明治二十二年五月生
妻 戊 明治二十一年二月生
大正四年四月夫ト 協議離婚
長女 己 明治四十一年三月生
長男 乙 明治四十三年生
無籍者出生届漏

(大正五年三月二十八日愛知縣那賀郡那賀町長事問合) (同年六月十日民部第四六五號法務局長回答)

◎朝鮮人内地ニ在住ノ場合ト其ノ就籍

1、朝鮮人ト雖モ内地ニ在住スルトキハ就籍スルコトヲ得ルヤト云フニ内地ニ就籍スルコトヲ得ス

(大正六年十二月十三日山口縣那賀郡那賀町長事問合) (大正七年五月十一日民部第六一三號法務局長回答)

◎戶籍改寫ノ際遺漏シ無籍ト爲リタル者ニ付テハ就籍ノ手續ヲ爲

スヘシ

1、別紙ノ如キ場合甲野義太郎 戶籍ヲ編製スルニハ就籍ノ手續ヲ爲サシムヘシ

舊戶籍謄本

備中國川上郡小泉村三十八番屋敷借宅居住

同居 鑛山 藤渡世

父 當村 農 丁野八之助 亡長男

明治七年五月貳拾七日死ス 甲野 仁 吉

文久十癸酉年三月十五日生 壬申年六十

跡目相續自今 父八之助 亡次男

明治七年十一月戶主タリ 鑛山 藤 死亡 弟 甲野 禮太郎

文政八乙酉年三月十五日生 年四十八

常縣川上郡成羽村農 紡績 死亡 弟 禮太郎 妻 ヒ サ

乙原信吉長女 天保元庚申寅二月五日生 年四十三

同人長男

鑛山 藤

安政四丁乙五月二十六日生 甲野 義太郎 年十六

備考

仁吉ノ生年文久トアルハ文化ノ誤ナラン

第一編 戶籍法規 第四章 届出 第十九節 轉籍及ヒ就籍 第六十條

禮太郎ノ戶主ハ明治七年七月十一日ナラン

禮太郎ノ死亡ハ明治二十五年一月四日トノコトナリ

義太郎ハ幼少ノ頃ヨリ父母ニ隨ヒ各地ニ流浪シ一定ノ住所ナキ爲戶籍編製(明治壬申)ノ當時遺脱セラレタリシカ令同發見セシモノ

(大正四年九月二十九日高松縣那賀郡那賀町長事問合) (同年十月二日民部第一五九〇號法務局長回答)

【參照】

2、明治五年戶籍編製ノ際當時戶長ノ錯誤ニヨリ戶籍ノ抹消其他ノ事由ニヨリ本籍ヲ有セサルモノアル時ハ當時戶籍ノ手續書ヲ徵シ戶籍吏ヨリ理由ヲ具シ編籍出願監督區裁判所ノ許可ヲ得ヘキヤ前項然ラストセハ戶籍法第九十七號ニ依リ本籍ヲ有セサルモノ又ハ其戶主ヨリ出願許可ヲ得届出ヘキヤト云フニ戶籍法第九十七條ニ據ル就籍ノ届出ニ基キテ戶籍ヲ編製スヘキモノトス

(明治三十一年八月十一日滋賀縣那賀郡那賀町長事問合) (同年八月二十七日民部第一〇一九號法務局長回答)

◎民法施行前願濟ノ上他家ノ同居ニ送籍シタル者ト無籍ノ發見ニヨル就籍手續

1、元甲縣甲郡甲村何番邸 甲次男乙長女

實例判例文例人事法總覽

丙

明治元年八月二十八日生

右ハ明治十九年六月五日分家願濟ノ上同年同月八日同縣乙郡乙村何今同同人ノ戸籍取調ノ必要ヲ生シ其ノ實父乙ヨリ乙村役場ニ對シ戸籍謄本下付方請求シタルニ同人ハ同村在籍者ニアラストノ回答アリ而シテ甲村役場ニ保存セル舊戸籍簿ニハ別紙甲號(略)戸籍謄本ノ通除籍アルヲ以テ乙村役場ヘ取調方ヲ照會シタルニ前記丙ナルモノハ現今同村ニ本籍ナキノミナラス既往ニ遡リ調査スルモ曾テ本籍ヲ有シタル形跡モ無之旨回答來リタリ就テハ戸籍法第三十九條第二項但書ニ準シ乙村長ニ於テ右戸籍訂正ノ手續ヲ爲スヘキヤト云フニ戸籍法第六十四條第六十條ノ規定ニ依リ就籍ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

(大正六年九月二十二日關山縣小田郡並町長與同答) (同年十月五日民部第一八九二號法務局長回答)

◎寄留地市町村長へ出生届ヲ爲シ其ノ市町村長届書ノ一通ヲ本籍地ニ送付セシモ身分登記及戸籍ノ記載漏ト爲リ居ル者ノ記載方

1、明治三十七年中寄留地市町村長へ出生届出チナシ寄留地市町村長ハ直ニ届書ノ一通ヲ本籍地市町村長へ送付シタルニ本籍地市町村長ハ身分登記戸籍記載等ヲ爲サス其儘トナリ大正

四年中寄留地へ轉籍シタル後出生子遺漏ヲ發見セリ此場合ニ於テ非本籍人出生身分登記簿ニヨリ直ニ轉籍地ニアル戸籍へ出生ノ記載チナスヲ以テ足ルヘキヤ又ハ戸籍法第三十九條第一項但書ニヨリ裁判所ノ許可ヲ得テ職權記載ヲ爲シ同法第三十四條ニヨリ許可書ノ謄本ヲ除籍地市町村長へ送付スヘキヤト云フニ就籍ノ手續ヲ爲スヘシ但シ就籍ノ届出チ爲サシムルコトヲ得サルトキハ第六十四條ノ規定ニ依リ職權ヲ以テスヘシ

(大正七年八月十七日字都宮市長代理助同答) (大正七年五月二十四日民部第一〇一號法務局長回答)

◎戸籍改寫漏ノ結果無籍ト爲リタル者ト就籍ノ手續

1、甲村生甲女ナル者數年以前ヨリ乙町ニ現住セリ然ルニ同人ハ明治五年ノ戸籍編製ノ際ハ其出生地甲村役場ニ於テ編製セラレタル別紙添附甲村長認證ノ舊戸籍謄本寫ノ通リナルニ現今ニ於テハ無籍ト相成居リ今般現住地ニ於テ是カ就籍手續ヲ爲サント欲ス右ハ假ヘ明治五年ニ一旦戸籍編製ヲ爲シタルモノト雖モ其後取扱者ノ下落等ニヨリ無籍ト相成タルモノナルカ故ニ無籍者本人ヨリ戸籍法第六十條ニヨリ就籍セント欲スル地ノ管轄區裁判所へ手續ヲ申請スヘキモノナルヲ云フニ舊戸籍ノ存スル甲村長ニ於テ戸籍法第三十九條第二項ノ規

戸三號(二三九)

定ニ依リ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ改寫漏ト爲シタル戸籍ヲ新ニ編製スヘク戸籍法第六十條ニ依リ就籍ノ手續ヲ爲スヘキモノト非ス

(大正七年九月十七日愛媛縣越智郡今治町長與同答) (同年十一月五日民部第二二〇四號法務局長回答)

◎無籍者ノ就籍手續

1、甲戸主(慶應三年六月九日生)ノ姉乙(萬延元年三月十日生)ハ本籍ヲ有セサルヲ以テ甲戸主ノ戸籍ニ家族トシテ就籍セントス然ルニ姉乙ノ母ハ戸籍編製前姉乙ヲ携帶シテ甲戸主ノ父ト婚姻シ其後甲戸主ヲ擧ケタル故甲戸主ハ姉乙ノ異父弟ナリ而シテ姉乙ノ母死亡シ其他ノ親族ニ於テモ姉乙ノ父ヲ知ルモノナク從テ其ノ生家及嫡出子ナルヤ私生子ナルヤモ判明セス斯ル場合ニハ甲戸籍ノ家族トシテ就籍セシムヘキモノトス (大正七年十月十六日伊丹區裁判所判事問合) (大正八年二月二十七日民部第二九〇二號法務局長回答)

(別紙)

明治二十七年出生年月日不詳

甲野 甲太郎

私ハ去ル明治三十年二月頃(四歳)母親ニハ死別致シタルヤ又ハ生別致シタルヤハ知ラサルモ片方ノ父親ニ連レラレテ今ノ朝鮮釜山ニ著港シテ邦人ノ宿屋ニ泊リマシタ而シテ泊リシ其翌日父親ニハ脚氣衝心ヲ起シテ急死致シマシタ其ノ

時ハ私ハ勿論何モ記憶シテ居マセンテシタ投宿シタ計リテ宿泊届モ出サナク夫ノミナラス又所持品トシテ信支袋一個丈而カモ原籍姓名ヲ調フヘキ書付ハ何一ツ無カリシ爲メ只宿泊ニ來タ當初宿主ニ對シ父親ハ今度内地ヨリ來タル甲野ト申ス者ト話シタ事故早速當時邦船(入港シタル船)ニモ問合セタレトモ皆目知レス(中略)私ノ來歴ハ上記ノ通り相違有リマセンカラ今更原籍ヲ調フル事ハ不可能トスカラ只一ツノ條件(必要)モ持タナイ人間ニハ籍ヲ取得スル方法有無ヲ調ヘテ下サレハ死シテモ本望トス

大正八年五月二十八日

甲野 甲太郎

(大正八年七月九日外務大臣照會) (同年九月十三日民部第二九〇〇號司法次官回答)

◎就籍ノ記載例

1、甲戸主(慶應三年六月九日生)ノ姉乙(萬延元年三月十日生)ハ本籍ヲ有セサルヲ以テ甲戸主ノ戸籍ニ家族トシテ就籍セントス姉乙ノ母ハ戸籍編製前姉乙ヲ携帶シテ甲戸主ノ父ト婚姻シ其後甲戸主ヲ擧タル故甲戸主ハ姉乙ノ異父弟ナリ斯ル場合ノ就籍事項ハ「何年何月何日附何區裁判所ノ就籍許可ヲ裁判ニ因リ何某届出何月何日受附原籍不詳母某婚姻ニ付キ共ニ入籍シタルニ因リ就籍」ノ例ニ依リ記載スヘク戸主トノ續柄ハ「姉」父母トノ續柄ハ「父不詳母名女」ト記載スヘシ (大正七年十月十六日伊丹區裁判所判事問合) (大正八年二月二十七日民部第二九〇二號法務局長回答)

◎朝鮮人ハ内地ニ於テハ無籍者トシテ取扱フ

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第十九節 轉籍及ヒ就籍 第六十條

實例判例文例人事法總覽

1、朝鮮人ハ内地ニ分家スルコトヲ得ルヤト云フニ朝鮮人ハ内地ニ分家ヲ爲スコトヲ得ス

(大正五年七月十日洲本區裁判所判事問合
同年七月二十四日第一二七號法務局長回答)

2、前項分家スルコトヲ得サルカ故ニ朝鮮人ハ内地ニ於テ之ヲ無籍者トシテ取扱フ可キモノナリ

(大正五年七月十日洲本區裁判所判事問合
同年七月二十四日第一二七號法務局長回答)

○轉籍又ハ廢家人籍等ニ因リ他村へ移轉シタル場合ト錯誤遺漏アル場合ノ取扱方

1、元甲村在籍者タリシモノカ轉籍又ハ廢家人籍等ニ因リ乙村へ移轉シタル處其ノ者ノ戸籍ニ錯誤遺漏等アリ之カ訂正ノ許可ヲ得テ乙村ノ現戸籍ヲ訂正スルト同時ニ甲村ノ保存ニ係ル除籍ノ記載ヲモ訂正ノ必要アリトシテ申請書ニ通提出シタルヲ以テ乙村長ハ其一通ヲ甲村長ニ送付シ來レリ此場合甲村ニ於テハ受付帳ノ記載及申請書ノ處理ハ本籍人ニ準シ取扱フモノトス

(大正九年一月二十一日高松區裁判所監督判事問合
同年二月七日民事第二八四號民事局長回答)

○大正十年七月一日以前ニ於ケル内地ノ女ト朝鮮人ノ婚姻ニヨリ生シタル出生子ト其ノ就籍手續

1、大正十年七月一日以前ニ於テ内地ノ女カ朝鮮人トノ婚姻ニ依リ其ノ間ニ擧ケタル男子ヲ女ヨリ其本籍地ニ出生届出ヲ爲シタルモ廣島區裁判所監督判事ニ對スル大正五年十二月十六日民第一八四六號回答ニ依リテ戸籍ニ記載セラレスシテ無籍ト爲リ居レルモノアリ右出生子ハ前項同様出生届ヲ受ケ居レ

ル村長ニ於テ該出生届書ノ謄本ヲ作り女ノ本籍地府尹又ハ面長ニ送付スヘキ義ナリ

(大正十一年六月五日下午關區裁判所監督判事問合
同年六月十三日民事第二二〇五號民事局長回答)

【文例】

○許可ノ裁判ニ因ル戸主カ就籍スル場合ニ於ケル就籍届出

(1) 就籍地ニ届出ツル場合ノ就籍届ノ例

就籍届	就籍所	東京市麹町區 町丁目 番地 戸主 士族
	父 亡	甲 野 仁 吉 長男
	母 亡	秋 子 長男
	明治何年何月何日前 戸主 仁吉 死亡	甲 野 義 太郎
	ニ因リ 家督相續届出ノ年月日 不明	明治元年一月十日 生
	右大正 年 月 日 附東京區裁判所ノ就籍許可ノ裁判ニ因リ就籍	
	右就籍別紙裁判ノ謄本相添へ及御届候也	
	大正 年 月 日	届出人 甲 野 義 太郎
	東京市麹町區長 何 某殿	

備考

- 一、本例ニ依ル届書ハ一通ヲ差出スヘシ
- 二、就籍者ノ族稱ハ士族又ハ華族ナルトキニ限り之ヲ記載スヘク平民ナルトキハ其ノ記載ヲ要セ
- 三、就籍者ノ身分ニ關スル事項ハ本例相續ノ事項ニ從ヒ凡テ之ヲ記載スヘシ

實例文例判例人事法總覽

(2) 所在地ニ届出ツル場合ノ就籍届ノ例

就 籍 届

就籍所 東京市麴町區 町 丁目 番地 戸主 土族
父死 甲 野 仁 吉 長男
母亡 秋 子

甲 野 義 太 郎
明治元年一月十日生

右大正 年 月 日 附東京區裁判所ノ就籍許可ノ裁判ニ因リ就籍
右就籍別紙裁判ノ謄本相添へ及御届候也

大正 年 月 日

所 在 東京市神田區 町 番地

届 出 人 甲 野 義 太 郎

東京市神田區長 何 某殿

備考 一、本例ニ依ル届書ハ二通ヲ差出スヘシ

二、所在カ寄留ノ場所ナルトキハ所在ノ下ニ「住所寄留」ノ例ニ依ル記載ヲ爲スヘシ

三、前文例備考參照

◎許可ノ裁判ニ因ル家族カ就籍スル場合ニ於ケル就籍ノ届出

(1) 本人ヨリ届出ツル場合ノ就籍届ノ例

就 籍 届

就籍家 東京市麴町區 町 丁目 番地 戸主 甲野義太郎弟
父亡 甲 野 仁 吉 二男
母亡 松 子

甲 野 義 二 郎
明治十年八月七日生

右大正 年 月 日 附東京區裁判所ノ就籍許可ノ裁判ニ因リ就籍

右就籍別紙裁判ノ謄本相添へ及御届候也

大正 年 月 日

届 出 人 甲 野 義 二 郎

東京市麴町區長 何 某殿

備考 一、本例ニ依ル届書ハ一通ヲ差出スヘシ

二、届出地ノ變化ニ依ル記載方ハ前々文例ニ依リ了知セラルヘシ

第一編 戶籍法規 第四章 届出 第十九節 轉籍及ヒ就籍 第六十條

實例文例判例人事法總覽

(2) 戸主ヨリ届出ツル場合ノ就籍届ノ例

就籍届

就籍家 東京市麴町區 町 丁目 番地戸主甲野義太郎弟
父亡 甲野仁 子 吉 二男
母亡 松 子 二男

甲野義二郎[㊦]
明治十年八月七日生

右大正 年 月 日附東京區裁判所ノ就籍許可ノ裁判ニ因リ就籍

右就籍別紙裁判ノ謄本相添へ及御届候也

大正 年 月 日

右義二郎届出ヲ爲ササルニ付キ戸主

届出人 甲野義太郎[㊦]
明治元年九月七日生

東京市麴町區長 何 某殿

備考 一、本例ニ依ル届書ハ一通ヲ差出スヘシ

◎許可ノ裁判ニ因ル戸主及家族ノ就籍ヲ届出ツル場合ノ就籍届ノ例

就籍届

就籍所 東京市麴町區 町 丁目 番地戸主士族
父亡 甲野仁 子 吉 長男
母亡 秋 子 長男

明治何年何月何日前戸主仁吉死亡

ニ因リ家督相續届出ノ年月日不明

甲野義太郎[㊦]
明治元年二月十日生

母 乙川孝輔 二女
父 乙川冬子

何縣何郡何町何番地戸主乙川孝輔二女明治何年何月何日甲野義太郎ト婚姻届出同日入籍

義太郎妻 梅子[㊦]
明治三年四月八日生

右大正 年 月 日附東京區裁判所ノ就籍許可ノ裁判ニ因リ就籍

右就籍別紙裁判ノ謄本相添へ及御届候也

大正 年 月 日

届出人 甲野義太郎[㊦]

東京市麴町區長 何 某殿

備考 一、本例ニ依ル届書ハ一通ヲ差出スヘシ

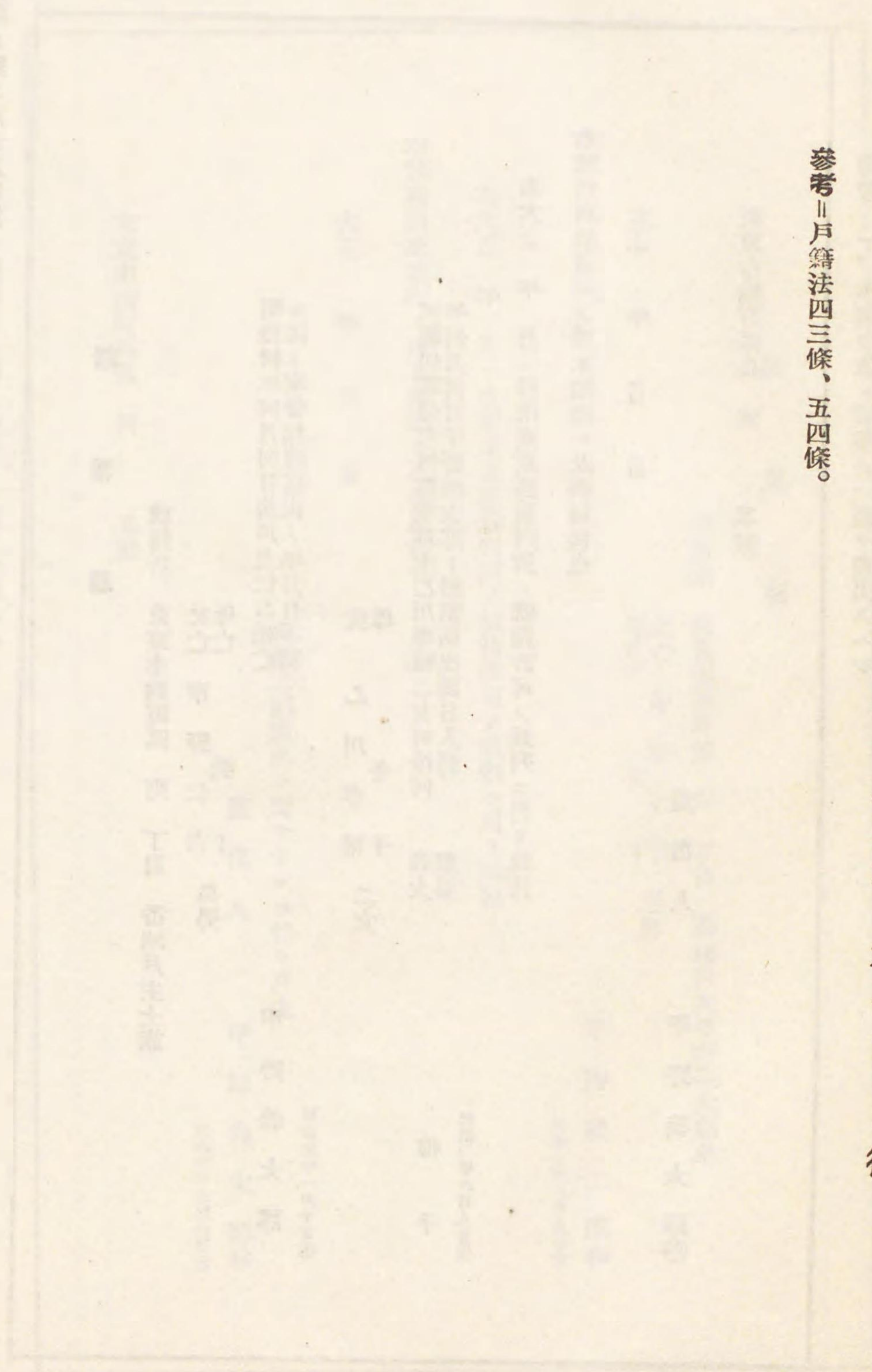
二、届出地ノ變化ニ因ル記載方ハ前各文例ニ依リ了知セラルヘシ

第一編 戶籍法規 第四章 届出 第十九節 轉籍及ヒ就籍 第六十條

實例文例判例人事法總覽

第六十一條 就籍ノ届出ハ就籍地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

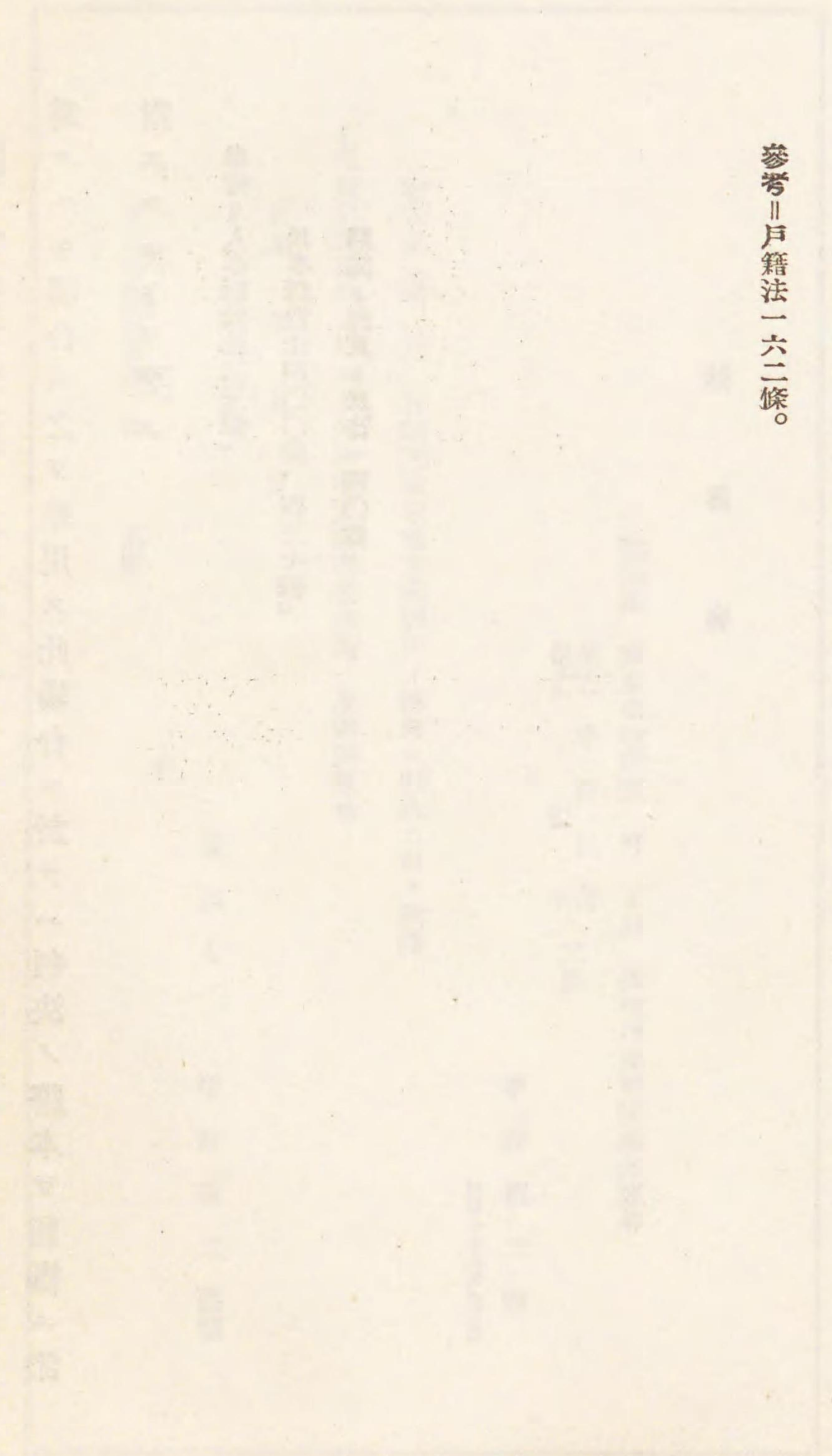
参考||戸籍法四三條、五四條。



第六十二條 就籍許可ノ裁判ヲ得タル者カ就籍ノ届出ヲ爲ササル

トキハ戶主之ヲ爲スコトヲ要ス

参考||戸籍法一六二條。



第一編 戸籍法規 第四章 届出 第十九節 轉籍及ヒ就籍 第六十二條

實例文例判例人事法總覽

第六十三條 第六十條ノ規定ハ確定判決ニ因リテ就籍ノ届出ヲ

爲スヘキ場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テハ判決ノ謄本ヲ届書ニ添

附スルコトヲ要ス

參考 人事訴訟法三三條。

民事訴訟法四〇〇條、四三七條。

期間ノ起算 民法一四〇條。

【文例】

◎確定判決ニ因ル就籍ヲ届出ツル場合ノ就籍届ノ例

就 籍 届

就籍家 東京市麴町區 町 丁目 番地 戸主 甲野義太郎弟

父 亡 甲 野 仁 子 吉 二 男

母 亡 松 子 甲 野 義 二 郎

明治十年八月七日生

右大正 年 月 日 確定東京地方裁判所ノ就籍ノ判決ニ因リ就籍

右就籍別紙裁判ノ謄本及判決確定證明書相添ヘ及御届候也

大正 年 月 日

届 出 人 甲 野 義 二 郎

東京市麴町區長 何 某 殿

備考 一、本例ニ依ル届書ハ一通ヲ差出スヘシ

二、百六十條文例備考参照

第一編 戶籍法規 第四章 届出 第十九節 轉籍及ヒ就籍 第六十三條

第五章 戶籍ノ訂正

【實例】

◎戶籍簿記載カ偽造ニ係ル爲沒收ノ判決アリタル時ト戶籍ノ訂正

1、戶籍記載カ偽造ニ係ル爲其沒收ノ判決アリタルトキハ其記載ハ即チ錯誤ノ記載ニ外ナラサルニ付キ市町村長カ沒收ノ通知ヲ受ケタルトキハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職權ヲ以テ戶籍ノ訂正ヲ爲シ養子ノ除籍及廢家戶籍ノ復活ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

(大正六年二月六日高松區裁判所監督區裁判所問答) (同年二月二十六日民第三五二號法務局長回答)

百三號(二四一)

【學說】

◎本條ニ依リ訂正シ得ヘキ事項ノ範圍

1、戶籍法第六十四條ニ依ル戶籍ノ訂正ハ其ノ事項カ親族法上又ハ相續法上重大ナル影響アル場合ニ於テハ之ヲ爲スコトヲ得ス親族法上又ハ相續法上重大ナル影響アル場合トハ身分關係ニ變動ヲ及ホシ又ハ相續ノ順位ニ變更ヲ來スカ如キ場合ヲ云フモノトス

(大正十三年二月六日法曹會決議) (法曹會雜誌三卷五號一〇五頁)

第一編 戶籍法規 第五章 戶籍ノ訂正 第六十四條

第六十四條 戶籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノナルコト又

ハ其記載ニ錯誤若クハ遺漏アルコトヲ發見シタル場合ニ於テハ利

害關係人ハ其戶籍ノ存スル市役所又ハ町村役場ノ所在地ヲ管轄ス

ル區裁判所ノ許可ヲ得テ戶籍ノ訂正ヲ申請スルコトヲ得

參考リ戶籍法三九條、一六五號、一六六條、一六八條。

大正九年司法省令第十二號。大正二年法律第三號裁判所管轄區域。

2、生年月日ノ訂正ノ如キハ之カ訂正ニヨリテ相續順位ニ影響

ヲ及ホス場合ニ於テハ戶籍法第六十四條ニ依リテ訂正ヲ求ムルコトヲ得サレトモ斯ル影響ヲ及ホササル場合ニ於テハ同條ニ依リテ訂正ヲ求ムルコトヲ得ヘキモノトス

(大正十三年二月六日法曹會決議) (法曹會雜誌三卷五號一〇五頁)

3、長女ト胎兒トヲ有スル戶主死亡ニヨリテ相續開始シ長女家督相續ノ届出ヲ爲シタル後胎兒カ男子トシテ生シタルトキハ

實例判例文例人事法總覽

長女ニシテ異議ナクンハ戶籍訂正ノ方法ニヨリ戶主ノ記載ヲ變更スヘク異議アレハ家督相續回復ノ訴ヲ提起セサルヘカラス

大正十一年五月三十日法曹會決議
法曹記事三二卷一〇號五四頁

◎未成年者モ獨立シテ戶籍訂正ヲ爲シ得ヘキヤ

1、戶籍事件ニ關スル未成年者ノ行爲能力ハ戶籍法第四十九條第五十條、第六十八條ノ定ムル處ナリ即チ第四十九條ニ於テハ未成年者又ハ禁治産者ハ出生死亡其他單純ノ事實ニ關スルモノノ外ハ届出ヲ爲スノ能力ナシト爲シ第五十條ニ於テハ無能力者ハ其法定代理人ノ同意ヲ得スシテ爲スコトヲ得ヘキ行爲ニ付テハ届出ヲ爲スノ能力アリト爲シ第六十八條ニ於テ戶籍訂正ノ申請ニ準用セリ故ニ第六十四條ニ規定シタル戶籍訂正ノ申請ハ出生、死亡其他單純ノ事實ニ關スル戶籍訂正並ニ法定代理人ノ同意ヲ得スシテ爲スコトヲ得ヘキ行爲(例ハ、隱居認知等ノ如シ)ニ關スル戶籍訂正ニアリテハ未成年者自ラ之ヲ爲スコトヲ得ヘキモ其他ノ戶籍訂正ノ申請ハ未成年者自ラ之ヲ爲スコトヲ得ス其親權者若クハ後見人ニ於テ之ヲ爲スヘキモノト解ス

大正十年四月十六日法曹會決議
法曹記事三一卷七號三二頁

【實例】

◎第六十四條ノ「戶籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノ」ノ意義

1、戶籍法第六十四條中戶籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノナルモノトハ如何ナル場合ヲ指サヤト云フニ法律上戶籍ニ記載スヘカラサル事項例ハ外國人ノ身分ニ關スル事項若ハ非本籍人ノ戶籍ニ關スル事項ノ如ク又權限ナキ者ノ爲シタル戶籍ノ記載若ハ其ノ形式上戶籍ノ記載タルニ適セサル事項例ハ權利者ニ非サル者ノ爲シタル婚姻又ハ認知ニ關スル記載ノ如ク戶籍ノ記載ヲ存セシムヘカラサルモノヲ謂フ

大正三年四月三十日山口縣熊手郡室積町戶籍吏代理助役伺
同年十二月二十八日民部省第八九三號法務局長回答

◎第六十四條ノ適用アル場合ノ例示

1、左記「イ」乃至「ホ」ハ戶籍法第三十九條ニ所謂法律上許スヘカラサルモノ又「ヘ」乃至「チ」ハ錯誤ト解スヘク而シテ「ト」及「ニ」ノ場合ノ外同條第二項ニ因ル職權訂正ヲ爲シ得ヘキモノト解スヘキヤト云フニ「イ」(口)及「ホ」ハ所謂法律上許スヘカラサル場合(ハ)及「ニ」ニ錯誤ノ記載ニ屬ス(ヘ)中第一例ハ本則トシテ民法第九百六十六條ノ家督相續回復ノ裁判ニ因リ回復ノ届出ヲ爲スヘキ場合ニ該ルモ相續届出人自カラ訂正ノ

第一編 戶籍法規 第五章 戶籍ノ訂正 第六十四條

◎入夫ト戶主權ノ訂正

1、入夫婚姻ニ入夫カ戶主ト爲ル旨ノ記載(戶籍法第百條第五號)ヲ遺脱シタルカ爲戶籍簿上入夫ハ民法第七百三十六條ニ依リ其ノ家ノ戶主ト爲ルヘキヲ以テ戶籍ノ記載カ實體上ノ權利關係ニ添ハサル錯誤アルモノトシテ戶籍法第六十四條ニ依リ之カ訂正手續ヲ以テ入夫ヲ戶籍簿上戶主ト爲スコトヲ得ヘク之カ訂正ヲ爲ササル限リ入夫ヨリ家督相續届出ヲ爲シ得サルモノト解セサル可カラス

大正五年十二月十六日法曹會決議
法曹記事二七卷八五四頁

申請ヲ爲ス場合ニハ錯誤ト解スヘク第二例ハ法律上許スヘカラサル記載(ト)ノ場合ハ第六十五條ニ依ルヘク(チ)ノ場合ハ取消ノ判決ニ基キ第六十七條ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

イ 規定ナキ届出ニ基ク記載
例 父カ子ニ對スル親權ニ關スル事項ノ記載
家督相續人選定ニ關スル事項ノ記載

ロ 規定上必要ノ記載

例 被指定者ノ戶籍ニ爲シタル家督相續人指定ニ關スル事項ノ記載
胎兒認知ニ關スル事項ノ記載

ハ 届出ニ基カサル記載

例 婿養子縁組届ノミニヨリ爲シタル婿養子婚姻ニ關スル事項ノ記載
離婚届ノミニ因リ編製シタル絶家再興ノ戶籍ノ記載
ニ 虚偽ノ届出ニ基ク記載
例 他人ノ子ヲ自己ノ子トシテ出生届出ヲ爲シタルニ基ク記載
死亡セサル者ノ死亡届出ヲ爲シタルニ基ク記載

ホ 無効ノ届出ニ基ク記載

實例判例文例人事法總覽

例 届出義務者ニアラサル者カ爲シタル届出ニ基ク記載
偽造變造ノ届出ニ基ク事項ノ記載

ハ 違法ノ届出ニ基ク記載

例 正當相續人ニアラサル者カ届出ヲ爲シタル家督相續
ニ關スル事項ノ記載

裁判所ノ許可ヲ受ケスシテ爲シタル届出ニ基ク廢家
ニ關スル事項ノ記載

ト 届出ニ因リ效力ヲ生スヘキ行爲ニ關シ無効ノ行爲ニ基
キ届出ヲ爲シタルニ因ル記載

例 人違ノ婚姻又ハ縁組ニ關スル事項ノ記載

法定推定家督相續人アル者ノ家督相續人指定ニ關ス
ル事項ノ記載

チ 届出ニ因リ效力ヲ生スヘキ行爲ニ關シ取消シ得ヘキ行
爲ニ基キ届出ヲ爲シタルニ因ル記載

例 重婚又ハ年長者ヲ養子トスル縁組ニ關スル事項ノ記
載

裁判所ノ許可ヲ受ケスシテ爲シタル隠居ニ關スル事
項ノ記載

(大正三年七月七日福岡地方裁判所長問合
大正四年一月十六日民第一八四號法務局長回答)

◎新法施行前父母婚姻前ノ出生子ヲ婚姻後ノ出生ニ届出テ後年齢

訂正ノ申請ヲ爲シタル場合ト父母共ニ嫡出子出生届ヲ爲シタル
モノトシテ年齢ノミノ訂正ノ可否

1、新法施行前ニ於テ婚姻届出前ノ出生子ヲ恰モ婚姻後出生シ
タルモノノ如ク出生年齢ヲ詐リ婚姻後ニ至リ父ヨリ長男ノ出
生届出ヲ爲シ新法施行後ニ至リ其年齢ヲ實際ノ年月日(婚姻
前ノ年月日)ニ戸籍訂正申請アリテ其申請カ理由アリタルト
キト雖モ直チニ年齢訂正ノミヲ許可スルヲ得スシテ之ト同時
ニ一旦妻ノ私生子男ト訂正スルニ非サレハ許可スヘカラサル
ヤト云フニ此場合ノ如キハ父母共ニ嫡出子出生ノ届出ヲ爲シ
タルモノト看做シ新法第八十三條ヲ適用シ直チニ年齢ノミノ
訂正ヲ許可スヘキナリ(民法施行前ノ事件ヲ除外ス)

(大正三年七月二十九日長岡區裁判所監督判事問合
同年十二月十七日民第一二七二號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正六年四月十八日長崎區裁判所監督判事問合
同年六月十一日民第七四九號法務局長回答)
(大正六年五月二十八日神奈川縣橫須賀市長問合
同年六月二十一日民第一〇一七號法務局長回答)

◎復本籍ノ除籍ハ戸籍訂正ノ手續ニ依ルヘシ

1、現行法第九十七條第九十九條ノ除籍ハ新法ノ戸籍訂正
ノ手續ニ依ルハ勿論ナリ

(大正三年七月二十九日長岡區裁判所監督判事問合
同年十一月十七日民第一二七二號法務局長回答)

◎非本籍地役場ニ於テ戸籍法施行前身分登記變更申請書ヲ受理登
記シ其ノ一通ヲ本籍地役場ニ送附シタルトコロ戸籍法施行後到
達シタル場合ノ手續

1、非本籍地役場ニ於テ昨年自分登記變更申請書ヲ受理登記シ
申請書ノ一通ヲ本籍地役場ニ送付シ本年ニ至リテ本籍地役場
ニ該申請書カ到達シタル場合ハ如何ナル取扱ヲ爲スヘキヤト
云フニ送付ヲ受ケタル身分登記變更申請書ニ基キ新法ニ依リ
テ戸籍訂正ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年一月十四日青森區裁判所監督判事問合
同年一月二十八日民第九四號法務局長回答)

◎自己ノ私生子ヲ他人ノ嫡出子トシテ届出タルヲ自己ノ子ニ訂正
スル場合ノ手續

1、甲家ノ戸主甲男乙家ノ乙女トノ間ニ婚姻ヲ爲ササル以前ニ
一子丙男生マレタルモ之ヲ私生子トシテ届出ツルヲ厭ヒ丁家
ノ丁男戊女ノ嫡出子トシテ出生届出ヲ爲シ其旨戸籍ニ記載セ
ラレタリ甲乙婚姻届出ヲ爲シ其數年後ノ今日ニ於テ戸籍ヲ訂
正スル手續ハ戸籍法第六十四條ニ依リ戸籍訂正ノ申請ニ基
キ丁家ノ戸籍中丙男ノ記載ヲ抹消シ乙家ノ戸籍ニ乙女ノ私生
子トシテ記載シタル後之ヲ甲男ニ於テ認知スルカ又ハ丙男ニ
付直チニ嫡出子出生ノ届出ヲ爲シ得ル便宜ノ爲メ戸籍訂正ノ

申請ニ基キ丁家ノ戸籍中丙男ノ記載ヲ抹消シタル後直チニ甲
男乙女ヨリ嫡出子出生ノ届出ヲ爲スコトヲ得

(大正四年五月六日青森區裁判所監督判事問合
同年五月十日民第六三五號法務局長回答)

2、前項前段ノ取扱ヲ爲ス場合ニ於テハ丁家ノ所在地ヲ管轄ス
ル裁判所ノ許可ノ裁判ニ因ル訂正申請ニ基キ雙方ノ戸籍ノ記
載ヲ爲スコトヲ要ス

(大正四年五月六日青森區裁判所監督判事問合
同年五月十日民第六三五號法務局長回答)

【注意】 第一項後段嫡出子出生届ハ甲男一人ヨリ之ヲ爲ス
コトヲ得ル趣旨ニ省議變更セラレタリ

【同趣旨】

(大正五年十月十三日北海道釧路郡余別村長問合
同年十一月十日民第一五九〇號法務局長回答)

◎戸籍法施行前ニ受理シタル身分登記變更許可申請未濟事件ト戸
籍訂正ノ申請

1、戸籍法施行前ニ受理シタル身分登記變更許可申請未濟事件
ハ舊法ノ規定ニ依リ裁判ヲ爲スヘキモノナルヤト云フニ戸籍
法施行前ニ受理シタル身分登記變更許可申請未濟事件ハ既ニ
身分登記ノ廢止セラレタル今日ニ在リテハ之ヲ却下シ更ニ戸
籍訂正許可ノ申請ヲ爲サシムヘキモノトス

(大正四年一月二十六日札幌區裁判所監督判事問合
同年二月十九日民第二三二號法務局長回答)

◎他人ノ子ヲ自己ノ子トシテ出生届ヲ爲シ其ノ後相續ニ因リ戸主ト爲リタル者ニ付戸籍訂正ノ申請アリタル場合ノ手續

1、他人ノ出生子ヲ自己ノ子トシテ出生届出ヲ爲シタル爲メ同一人ニシテ二個ノ戸籍ヲ有スルニ至レリ而シテ其ノ虚偽ノ届出ニ基クモノハ其ノ後家督相續ニ因リ戸主トナレリ今日復本籍ヲ事由トシテ現在戸主タル戸籍中ヨリ除籍ノ許可アリタル場合ニ於テ除籍許可ノ裁判牒本ヲ添ヘ戸籍訂正申請アリタル時ハ單ニ除籍ノ記載ヲ爲スノミニテ他ニ何等ノ手續ヲ要セサルモノトス

(大正四年五月六日五條區裁判所監督判事問合) 同年五月二十二日民第六五三號法務局長回答

◎身分登記ニ錯誤アリタル爲之ニ基ク戸籍ノ記載ニ錯誤アル場合ト戸籍訂正ノ申請

1、新戸籍法ニハ身分登記ノ變更ニ關スル規定ナク戸籍ノ訂正ニ關スル規定アルノミナルヲ以テ本登記ニ錯誤アリ隨テ戸籍記載ニ錯誤アル場合ハ本法第六十四條ニ依リ戸籍ノ訂正ヲ申請セハ足ルモノトス

(大正四年三月六日秋田區裁判所監督判事問合) 同年六月十六日民第三五四號法務局長回答

◎轉籍届ニ添附セル戸籍謄本ノ記載ニ錯誤アル爲新戸籍ノ記載カ原戸籍ノ記載ト符合セサル場合ノ手續

正ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年三月二十三日大阪區裁判所監督判事問合) 同年六月二十四日民第四二八號法務局長回答

【注意】大正九年司法省令第十二號ニ依リ除籍者ニ關スル事項ハ轉籍地ノ戸籍ニ記載ヲ要セサルコトニ改正セラレタリ

◎父母ノ名ノ錯誤又ハ改名ニ基ク父母ノ名ノ訂正方

1、戸籍中ノ他ノ家族又ハ戸主ノ父又ハ母ノ名或ハ戸主トノ続柄ハ市町村長限リ直チニ訂正スルコトヲ得ルヤト云フニ錯誤訂正許可ノ裁判ニ基ク戸籍訂正申請又ハ名變更届ニ因リ戸主又ハ家族ノ父又ハ母ノ名ヲ訂正シタルカ爲メ他ノ家族又ハ戸主ノ父又ハ母ノ名自然變更ヲ來シタル場合ハ父母ノ名ヲ訂正スルヲ要セス

(大正四年五月十二日下關區裁判所監督判事問合) 同年七月一日民第六九一號法務局長回答

◎届書中戸籍ニ記載ヲ要スル事項ノ誤記アリシコトヲ發見セス其ノ儘戸籍ノ記載ヲ爲シ後其ノ誤記ヲ發見シタル場合ノ手續

1、届書中戸籍ニ記載ヲ要スル事項ニシテ誤記アリシコトヲ發見セスシテ其儘戸籍ノ記載ヲ了リ而シテ後其届書ノ誤記ヲ發見シ得タルトキノ如キハ戸籍訂正ノ手續ニ依ルモノトス

(大正四年六月十日島根縣邑智郡川本村長稟伺) 同年七月七日民第一〇〇八號法務局長回答

1、戸籍法第五十八條第二項ノ場合ニ於テ新本籍地ノ市町村

長カ轉籍届ニ添附シタル戸籍ノ謄本ニ基キ戸籍ヲ編製シタルニ其戸籍謄本ノ記載ニ錯誤アリタル爲メ原本籍地ノ戸籍ノ記載ト符合セサル戸籍ノ記載ヲ生シタル場合ニハ新本籍地ノ戸籍ニ付キ戸籍法第六十四條ノ規定ニ依リ戸籍訂正ノ手續ヲ爲スヘシ其錯誤カ戸籍法施行細則第十五條ニ依リ記載シタル死亡婚姻其他ノ事由ニ依リ戸籍ヲ除カレタル者ニ關スルモノト雖モ尙該規定ニ依リ戸籍訂正ノ手續ヲ爲スヘキモノナリ

(大正四年三月二十三日大阪區裁判所監督判事問合) 同年六月二十四日民第四二八號法務局長回答

2、前項既ニ戸籍ヲ除カレタル者ナルカ故ニ縱令原戸籍ト異ナル記載ヲ爲スモ其儘ニ差置クヘキモノナルヤ若シ戸籍訂正ノ手續ヲ爲スヘキモノトセハ死亡ニ依リ除カレタル者ノ出生年月日、出生届出年月日又ハ戸主トノ續柄等ノ事項ニ付キテハ何人ヲ以テ利害關係人ト爲スヘキヤ或ハ此場合ニハ其錯誤カ市町村長ノ作成シタル戸籍謄本ノ記載ノ過誤ニ原因スルモノナレハ同法第三十九條第一項但書及同條第二項ニ依リ原本籍地ノ市町村長ヨリ戸籍訂正ノ手續ヲ爲スヘキモノナルヤト云フニ利害關係人ナキカ爲第三十九條第二項ノ通知ヲ爲スコト能ハストセハ市町村長ハ區裁判所ノ許可ヲ得職權ヲ以テ訂

◎甲村男ト乙村女トノ婚姻届出ヲ爲シ甲村ニ於テハ既ニ戸籍ノ記載アリシコトヲ發見シタルニ乙村ハ妻ニ關スル事項ニ誤記アル爲其ノ届書ヲ甲村ニ返戻シタル場合ノ手續

1、甲村ノ男ト乙村ノ女ト婚姻シタルカ如ク一ノ届出ニシテ兩村ノ戸籍ニ記載セラルヘキ場合ニ甲村ハ已ニ戸籍ノ記載ヲ了リ届書ヲ乙村ニ送付シタルニ乙村ハ妻ノ地番又ハ出生年月日等ノ如キ部分ニ誤記アル爲メ戸籍ノ記載ヲ爲スコト能ハストノ理由ヲ以テ届書ヲ甲村ニ返戻スルコト屢々アルモ此場合ハ甲村ハ已ニ戸籍ノ記載ヲ了リタル故戸籍訂正ノ手續ニ依リアラサレハ訂正スルコトヲ得ス但シ妻ノ本籍地タル乙村長ハ妻ニ人違ナキコト明ナル以上甲村長ヨリ送付ヲ受ケタル届書ニ基キ直チニ妻ノ除籍ヲ爲スヘキモノナルヲ以テ届書ヲ乙村長ニ再送スヘシ

(大正四年六月十日島根縣邑智郡川本村長稟伺) 同年七月七日民第一〇〇八號法務局長回答

◎舊戸籍法施行當時ニ於テ轉籍届書ノ副本ヲ原籍地ニ送附ノ途中紛失シタル爲原籍地ニ於ケル戸籍カ除カレサリシ處轉籍後家族カ原籍ヲ本籍地ト記載シ婚姻届ヲ原籍地ニ爲シ其後ニ於テ更ニ轉籍シタル場合ノ取扱方

1、舊戸籍法施行時代ニ於テ甲町戸籍役場ニ於テ家族數名ヲ有

實例判例文例人事法總覽

スル何某タル者ノ轉籍届書ヲ受理シ戸籍ヲ作製シ届書副本ヲ原本籍地(乙村)戸籍役場ニ送付シタルニ該届書途中ニ於テ紛失シタル爲メ原本籍地(乙村)ニ於ケル戸籍ヲ除カレサリシコト及ヒ轉籍後家族カ原本籍ヲ本籍ト記載シ丙村何某ナル者ト婚姻届出ニ依リ原本籍地(乙村)戸籍役場ニ於テ戸籍ノ記載ヲ爲シ除籍セルコトヲ新法施行後發見シタルニ付甲町役場ハ乙村(原本籍地)役場ノ請求ニ依リ更ニ轉籍届書ノ謄本ヲ作り送付セリ然ルニ乙村長ヨリ戸籍法施行細則第十六條第一項ノ規定ニ依リ轉籍後受理シタル届書ニ依リ爲シタル戸籍ノ記載ヲ抹消シタル趣ヲ以テ婚姻ニ關スル身分登記ノ謄本ノ送付ヲ受ケタリ然ルニ戸主何某ハ既ニ丁村ニ轉籍シ現今甲町本籍人ニアラサル場合ニ於テハ婚姻當時ノ本籍地甲町長ニ於テハ送付ノ身分登記ノ謄本ニ依リ除カレタル戸籍ニ記載ヲ爲スヘキヤト云フニ甲町長ハ乙村長ヨリ送付ヲ受ケタル婚姻ニ關スル身分登記ノ謄本ヲ丁村長ニ轉送スヘシ

(大正四年六月十四日兵庫縣武庫郡西宮町長伺
同年七月十三日民第九七三號法務局長回答)

2、前項除カレタル戸籍ニ記載ヲ爲スヘキモノトセハ婚姻ニ因リ入籍シタル家ノ戸籍ニ關スル記載(本籍)ノ錯誤ハ如何ナル方法ニ依リテ訂正スヘキヤト云フニ婚家ノ戸籍ハ戸籍訂正ノ

手續ニ依リ訂正スヘキモノトス

(大正四年六月十四日兵庫縣武庫郡西宮町長伺
同年七月十三日民第九七三號法務局長回答)

◎夫カ失踪宣告ヲ受ケ死亡者ト看做サレタル時ヨリ後ニ懐胎シタル出生子ハ妻ノ私生子ナリ從テ嫡出子トシテ戸籍ノ記載ヲ爲シタルトキハ私生子ト訂正ス

1、戸主某大正六年失踪宣告ニ依リ大正三年ニ死亡ト看做サレタル場合該戸主ノ妻ハ大正五年ニ一子ヲ擧ケタルモ夫カ失踪ノ宣告前ナルヲ以テ婚姻中ノ子トシテ即チ戸主ノ嫡出子トシテ届出(參照明治三十一年七月十七日)ヲ爲シアルモノハ子ノ否認ノ裁判ナキモ失踪宣告ノ結果ニ依リ妻ノ私生子ノ訂正ノ手續ヲ要セサルヤト云フニ夫カ失踪宣告ヲ受ケ死亡者ト看做サレタル時ヨリ後ニ懐胎シ出生シタル子ハ妻ノ私生子トシテ取扱フヘキモノナルニ付戸籍訂正ノ手續ニ依リ嫡出子ヲ私生子ニ訂正スヘキモノトス

(大正六年五月三日靜岡區裁判所監督判事問合
同年七月十三日民第八五三號法務局長回答)

◎妻カ婚姻繼續中他男ト通シ出生シタル子ヲ他人ノ私生子トシテ出生ノ届出ヲ爲シタル後之ヲ他男ニ於テ認知シタル場合ニ於ケル戸籍ノ訂正

1、別紙戸籍面(略)ノ甲女ハ其夫乙ト事實上ノ離婚ヲナシ婚家

◎市町村カ監督區裁判所ノ管轄ヲ各異ニスル場合ニ於ケル戸籍ノ訂正申請方

ヲ去リタル後丙ト内縁ヲ結ヒ其間ニ丁及戊出生シタリ然ルニ乙カ正式ノ離婚届ヲ爲スコトヲ肯セサリシ爲メ右出生届ヲ爲ス能ハス當時同番地ニ居住セシ戸主巳妹庚女ニ依頼シ同人ノ私生子トシテ出生届ヲナシ其後丙ニ於テ右兩兒ニ對スル認知届ヲナシ其庶子トシテ入籍シ其後大正三年乙ハ死亡シタリ而シテ今父丙ヨリ丁及戊ノ事項欄及母ノ氏名欄共母庚トアルヲ甲女ト戸籍訂正ノ申請ヲ爲シタリ此場合ニハ丁及戊ハ例令事實丙甲女間ノ子ナリトスルモ甲女ト乙ト婚姻中ニ出生シタルモノナルヲ以テ一旦乙ノ嫡出子トシテ届出ツヘキモノ(參照明治二十二年七月十七日民刑第一〇三三號民刑局長回答)ニシテ甲女ノ私生子トシテ取扱フヘキモノニアラス從テ右ノ如キ戸籍訂正申請ハ許可スヘキモノニアラス但シ庚女ノ私生子トシテノ戸籍ノ記載並丙ノ認知ニ基ク戸籍ノ記載ハ戸籍法第六十四條ノ手續ニ依リテ之ヲ抹消シタル上乙ノ嫡出子トシテ其ノ戸籍ニ記載スルヲ相當トス

(大正六年七月三日玉島區裁判所監督判事問合
同年八月四日民第一四二二號法務局長回答)

1、甲地在籍者カ乙地ニ身分ニ關スル届出ヲ爲シ兩地市町村長カ入除籍ノ手續ヲ完了後其届出ノ無効ナルコト判明シタル場

第一編 戸籍法規 第五章 戸籍ノ訂正 第六十四條

合ハ乙地管轄區裁判所ニ對シ戸籍ヲ抹消シ併セテ甲地ノ戸籍ヲ復活スル旨ノ戸籍訂正申請ヲナスヘキモノトス

(大正六年九月十八日北海道小樽區長官問合
同年十月五日民第一八八四號法務局長回答)

2、甲町甲女戸主ノ法定推定家督相續人タル私生子ヲ乙市ノ乙戸主ニ於テ認知シ其届書ヲ甲町へ差出シ甲町ハ誤テ其ノ一通ヲ乙市へ送付シタルニ乙市ハ之レニ依リ庶子ノ入籍記載ヲ爲シ其ノ通知書ヲ甲町へ送付シタルニ由リ甲町ハ之レニ依リ除籍シタリ

其ノ後ニ至リ乙戸主ハ廢家ノ上庶子ト共ニ丙市ノ丙親族へ入籍シ爾後丙市内へ庶子ト共ニ分家シタリ
右庶子ハ形式上ノ入除ニシテ實體ニ於テ依然母ノ家ニ在テ扶養セラレツツアリ

右ノ場合戸籍吏カ戸籍法第三十九條第一項但書及第六十四條ニ依リ訂正ヲ爲サントスルニハ戸籍法第六十四條ノ戸籍訂正ニ付其ノ戸籍ノ存スル役場カ各區裁判所管轄ヲ異ニスルトキハ執レカ一區裁判所ノ許可ヲ得テ各戸籍ヲ訂正スルコトヲ得ルモノトス

(大正七年九月十二日岡山縣吉田郡津山町長代理助役問合
同年十月十八日民第二〇二六號法務局長回答)

3、戸籍法第六十四條第六十五條ノ規定ニ依ル戸籍訂正許

實例判例文例人事法總覽

可ノ申請ハ其ノ訂正ヲ要スル者カ轉籍入籍其他ニ依リ既ニ除籍セラレタル場合ハ轉籍又ハ入籍等ニ依リ其者ノ戶籍カ現存スル市役所又ハ町村役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ爲スヘキヤ將々既ニ其者ハ除籍セラレ居ルモ訂正ヲ要スル事項ノ生シタル戶籍ノ存スル市役所又ハ町村役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ申請スヘキヤト云フニ孰レカ一區裁判所ニ戶籍訂正許可ノ申請ヲ爲シ其ノ許可ニ基キ兩戶籍ノ記載ヲ訂正スルコトヲ得ルモノトス

(大正八年七月十九日靜岡區裁判所監督判事問合) 同年九月十五日民事第二八六號民事局長回答)

舊戶籍法施行當時非本籍地ニ於テ出生、死亡等ニ關スル届出ヲ爲シ非本籍地戶籍吏ハ之カ身分登記ヲ爲シタルモ本籍地戶籍吏ニ於テハ該届書ノ送附ヲ受ケテ身分登記ヲ爲ササリシモノニ付戶籍ノ記載ヲ爲ス場合ノ手續

1、舊戶籍法施行當時非本籍地ニ於テ出生、死亡等ニ關スル届出ヲ爲シ非本籍地ノ戶籍吏ハ之カ自分ノ登記ヲ爲シタルモ本籍地戶籍吏ニ於テハ該届書ノ送附ヲ受ケテ身分登記ヲ爲ササリシ者ニ付今日右届出事項ニ付戶籍ノ記載ヲ爲サントスルニハ非本籍地役場ニ保存中ノ自分登記簿ノ謄本ノ送付ヲ受ケ之ニ基キ記載スヘキモノトス

遺言ニ依ル廢除ノ裁判確定シ其ノ届出前既ニ相續人ヨリ相續届ヲ爲シタル場合ノ手續

(大正四年七月二十日栃木區裁判所監督判事問合) 同年八月二日民事第一二七號民事局長回答)

1、遺言ニ依ル推定家督相續人廢除ノ裁判確定シ之カ届出ヲ爲ス場合既ニ推定家督相續人(被廢除者)ヨリ家督相續ノ届出ヲ爲シアルトキハ戶籍法第六十四條ノ規定ニヨリ訂正ノ手續ニ依ルモノトス

(大正四年七月二十七日靜岡區裁判所判事代理問合) 同年八月六日民事第一二九三號民事局長回答)

甲家ノ家族甲女ノ死亡ヲ乙家ノ家族乙女ノ死亡トシテ届出テ之ニ基キ乙女ヲ除籍シタル後乙家ノ相續届ニ因リ新戶籍編製シタル爲現ニ生存セル乙女ノ記載ナキヲ發見シタル場合ノ訂正方

1、甲家ノ家族甲女ノ死亡届ヲ受理シタル市町村長カ或事情ノ爲メ届出人ノ請ニ依リ故意ニ乙家ノ家族乙女ヲ死亡シタルモノトシテ除籍シタル後乙家ノ相續届ニ因リ新戶籍ヲ編製シタル爲メ現ニ生存セル乙女カ其戶籍ニ記載ナキニ至レリ之カ訂正方ニ付テハ除カレタル戶籍モ亦現在ノ戶籍ト同シク其記載ニ事實ト符合セサル錯誤又ハ遺漏アル以上ハ之ヲ訂正スヘキ必要アルコト恰モ現在ノ戶籍中一部抹消ノ記載ニ錯誤又ハ遺漏アルトキ之ヲ訂正スルト同様ニシテ戶籍法第五章ニ所謂戶

籍ハ右兩者ヲ包含スル廣義ノモノナルカ故ニ本問ノ場合ニ於テハ戶籍法第六十四條ノ申請ニ基キ乙家ノ除カレタル戶籍中乙女ノ死亡ニ關スル記載ヲ抹消シテ復活セシメ之ヲ新戶籍ニ移記スヘキモノトス

(大正四年八月十一日奈良區裁判所監督判事問合) 同年九月十一日民事第一三八六號民事局長回答)

甲ノ相續ニ因ル戶籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノトシテ乙カ戶籍訂正ノ申請後更ニ家督相續ノ届出ヲ爲シタルヲ以テ市町村長ハ新ニ戶籍ヲ編製シタリ然ルニ甲ハ地方裁判所ニ對シ抗告ヲ爲シタルニ理由アリトシテ乙ノ戶籍訂正申請ハ却下セラレ依テ甲カ更ニ乙ノ戶籍訂正申請ヲ爲セリ此場合甲ノ爲シタル訂正申請ハ受理スヘキモノニ非ス

1、本年五月二十一日管轄區裁判所ニ於テ當町何番地戶主甲野甲郎ノ姉乙ノ申請ニ依リ戶主甲郎ノ戶籍ノ記載ハ法律上許スヘカラサルモノトシ戶籍抹消ノ許可ヲ與ヘラレ該決定書ヲ添附シ同月二十四日當町長ニ對シ戶籍訂正ノ申請ヲ爲シタルヲ以テ之ヲ受理シ戶主甲郎名義ノ戶籍ヲ抹消シ次テ姉乙ハ前戶主某ノ推定家督相續人ナルヲ以テ家督相續届出ヲ爲シ乙ノ爲メ新戶籍ヲ編製シタリ然ルニ甲郎ハ區裁判所ノ決定ニ對シ管轄地方裁判所ニ抗告ヲ爲シ抗告裁判所ハ抗告ヲ理由アリトシ

虛無ノ地番ニ本籍ヲ置キタルモノヲ實際地番ト符合セシムルニハ戶籍訂正ノ手續ヲ爲サシム

(大正四年九月二十九日廣安縣深安郡福山町長問合) 同年十一月六日民事第一五九二號民事局長回答)

1、町名番地ノ改正ニ因リ甲町甲番地ヲ甲町ヨリ分割シ乙町ト爲シ若クハ甲町ヲ廢シ丙丁兩町ニ併合等ヲ爲シタル場合ニ於テ當事者ノ誤信ニヨリ事實虛無ノ番地ニ本籍ヲ置キタルモ地番變更ノ當時當事者ノ所在不明ニシテ本籍トシテ定メタル場所ヲ知ル事能ハサル場合ニ於テハ如何ニ取扱フヘキヤト云フニ戶籍法第三十九條第二項前段ノ規定ニ依リ市町村長職權ヲ以テ虛無ノ番地ノ記載ヲ抹消スヘシ

(大正四年十月十二日小樽區長問合) 同年十月二十五日民事第一六七四號民事局長回答)

2、前項ノ場合ニ於テ當事者カ實際ノ地番ト符合セシメントスル場合ニ於テハ戶籍法第六十四條ノ規定ニヨリ戶籍訂正申請ノ手續ヲ爲サシムヘキモノトス

(大正四年十月十二日小樽區長問合) 同年十月二十五日民事第一六七四號民事局長回答)

婚姻セサル男女間ニ出生シタル子ヲ誤テ嫡出子トシテ出生届ヲ

實例判例文例人事法總覽

爲シタル場合ト訂正

1、婚姻セサル男女間ニ出生セル子ヲ誤テ嫡出子出生届ヲ爲シタルトキハ戸籍法第六十四條ノ規定ニヨリ裁判所ノ許可ヲ得テ該戸籍ヲ取消シ一面正當ノ出生届ヲナスヘキヤ又ハ追完届ノ手續ニヨリ補正スルコトヲ得ルヤト云フニ戸籍法第八十三條前段ノ規定ニ依リ庶子出生届ヲ爲スヘキヲ誤テ嫡出子出生届ヲ爲シタル場合ナルニ於テハ戸籍訂正ノ申請ニ依リ嫡出子ヲ庶子ニ更ムヘキモノトス

(大正四年十月十三日福島縣福島市長稟伺
大正五年二月五日民第一六四五號法務局長回答)

◎御歴代ノ御諱ト同一ノ熟字ヲ用ヒタル名ノ訂正

1、戸籍中 御歴代御諱ト同一ノ熟字ヲ用ヒタル名アルヲ發見シタルトキハ戸籍法第三十九條同第六十四條ニ依リ其名ヲ抹消スルノ戸籍訂正手續ヲ爲サシムヘキモノトス

(大正四年十二月二十日大洲區裁判所判事問合
大正五年三月四日民第三二八號法務局長回答)

2、郡長ノ許可ヲ得テ改名シ其届出ニ依リ戸籍ノ記載ヲ爲シタル名カ歴代天皇ノ御諱ト同一熟字ヲ使用シタルトキハ戸籍法第六十四條ノ規定ニ依リ戸籍訂正ノ申請ヲ爲サシメ舊名ヲ復活スヘク若シ訂正ノ申請ヲ爲ササルトキハ戸籍法第三十九條第二項ノ規定ニ依リ市町村長ノ職權ヲ以テ新名ヲ抹消シ舊

名ヲ復活スヘキモノトス

(大正十四年一月十三日山梨縣韮崎郡都木生村長稟伺
同年二月二十七日民事第二三九號民部局長回答)

◎法定ノ推定家督相續人タルヘキ男養子ヲ有スル者カ更ニ男養子ヲ爲スヘキ届出ヲ非本籍地ニ於テ受理シ其ノ届書ノ送附ヲ受ケタル場合ノ手續

1、非本籍地ニ於テ未成年者親權者ナキニ依リ裁判所ノ許可ヲ得親族會ノ同意ヲ得タル養子縁組届ヲ受理シ双方ノ役場ヘ送附シタリ養父母ニハ既ニ(其養子ヨリ年長者ナル)養子アルヲ以テ養家ノ本籍地役場ヨリ返戻シ來レリ然レ共實家ノ役場ニ於テハ戸籍ノ記載ヲ了シタリ然ルトキハ其養子タル本人ハ無籍者ノ如クナリタル次第ナリ其場合ハ戸籍訂正ノ外ニ道ナキヤト云フニ法定ノ推定家督相續人タル男養子ヲ有スル者カ更ニ男養子ヲ爲シタル場合ニ於テハ該縁組ハ非本籍地市町村長ニ於テ其ノ届出ヲ受理シタルニ因リ既ニ其ノ效力ヲ生シタルモノニシテ無効ノ縁組ニ非サルニ付届書ノ送付ヲ受ケタル養家ノ本籍地市町村長ニ於テモ之ヲ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキモノニシテ戸籍ノ訂正ヲ爲スヘキモノニ非ス故ニ此ノ趣旨ヲ以テ届書ヲ再送スヘシ但シ本件縁組ハ民法第八百五十四條ノ規定ニ依リテ其ノ取消ヲ請求スルコトヲ得ヘク而シテ取消

ノ裁判カ確定シタルトキハ戸籍法第九十三條ノ届出ヲ爲スヘキモノトス

(大正五年一月二十六日栃木縣上都賀郡日光町長稟伺
同年三月七日民第一三八號法務局長回答)

◎婚姻届ニ嫡出子ノ身分ヲ取得スヘキ庶子ノ記載ヲ遺漏シタルコトヲ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後發見シタルトキト戸籍訂正ノ手續並記載例

1、婚姻届ニ嫡出子ノ身分ヲ取得スル庶子ノ記載ヲ遺漏シタルコト戸籍記載完了後發見シタル場合ニ於テハ戸籍訂正ノ手續ヲ爲サシムヘシ

(大正五年二月九日福井區裁判所監督判事問合
同年三月十五日民第一二六號法務局長回答)

2、舊戸籍法施行中庶子數人ヲ有スル(他家ニアルモノト父ノ家ニアルモノトアリ)父カ庶子ノ母ト婚姻届出ノ際届出中嫡出子ノ身分ヲ取得スル記載ヲ脱漏シタル結果戸籍ハ其儘庶子トナリ居リ婚姻後出生子長二男ト記載セラレアル戸籍アリ右ノ場合前庶子ヲ嫡出子ト訂正スルニハ戸籍法第六十四條ノ手續ヲ爲スヘキモ他家ニ在ル庶子カ父母ノ家ニ入籍スル場合其他家督相續轉籍等ニヨリ戸籍ノ改寫ヲ爲ス可キ場合ハ戸籍法第六十五條ニヨリ其届書ニ追完事項トシ附記セシメ之レニ依リ戸籍ノ記載ヲ改ムルモ差支ナキモノトス

(大正五年五月二十五日北海道札幌區長稟伺
同年十月二十六日民第八五九號法務局長回答)

3、本年二月九日附福井區裁判所監督判事問合第二項「婚姻届ニ嫡出子ノ身分ヲ取得スル庶子ノ記載ヲ遺漏シタルコトヲ戸籍記載完了後發見シタル場合ニ於テハ追完手續ニ依ルコトヲ得ヘキヤ」ニ對シ同年三月十五日民第二二六號ヲ以テ「戸籍訂正ノ手續ヲ爲サシムヘシ」トノ回答ハ追完届ヲ爲スヘキ者ナキ場合ニ關スル取扱ニシテ然ラサル場合ニ於テハ追完手續ニ依ルモ妨ケナキ趣旨ナリヤト云フニ戸籍ノ記載ヲ完了シタル後其ノ記載ヲ訂正スルニ非スシテ遺漏シタル事項ヲ補記スル場合ニ限り追完ノ手續ニ依ルコトヲ得

(大正五年五月三十一日大阪區裁判所監督判事問合
大正六年一月九日民第九〇六號法務局長回答)

4、婚姻届ニ嫡出子ノ身分ヲ取得スル庶子ノ記載ヲ遺漏シタルニ付父母トノ續柄ヲ長男ト訂正スルコトノ許可ノ裁判ヲ得テ戸籍訂正ノ申請アリタル場合ハ戸籍記載例四十八ノ記載ヲ爲スコトノ許可ノ裁判ヲ得シメテ其記載ヲ爲スヲ相當トス

(大正七年三月十九日京都區裁判所監督判事問合
同年五月十一日民第五九七號法務局長回答)

5、前項ノ場合ノ記載例ハ左ノ例ニ依ル

「何年何月何日父何某母某ノ婚姻ニ因リ嫡出子ト爲ル何年何月何日區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ父何某戸籍訂正申請何

實例判例文例人事法總覽

月何日受附

(大正七年三月十九日京都府區裁判所監督判事問合) 同年五月十一日民第五九四號法務局長回答

◎戸籍ニ關スル届書ノ一通ヲ本籍地ニ送附後錯誤遺漏ノ追完届ヲ追送シタルニ既ニ戸籍ノ記載後ナルヲ以テ訂正手續ニ依ルヘキモノトシ追完届ヲ返戻セラレタル場合ノ取扱方

1、戸籍ニ關スル届書ヲ非本籍地ニ受理シ届書ノ一通ヲ本籍地ニ送付後(前届書受理ノ日乃至翌日)前届ニ對スル錯誤遺漏ノ追完届ヲ受理追送スルニ本籍地ニ於テハ既ニ戸籍記載ヲ了シタルハ戸籍訂正ノ手續ヲ履行セシムヘキ旨ヲ以テ届書ヲ返戻セル場合ノ届書ノ整理ハ遺漏ノ事項ニ付テハ追完ノ記載ヲ爲ス外戸籍ノ記載ヲ更正スル必要ナキ限ハ追完ノ手續ヲ爲スヘク其ノ他ハ質疑ノ通但シ訂正ノ手續ヲ爲スコトヲ要スル場合ニ於テハ追完届ハ之ヲ届出人ニ差戻スヘシ

(大正四年十一月二十五日北海道空知郡岩見澤町長問合) 大正五年三月二十三日民第三二九號法務局長回答

◎違法ノ家督相續ヲ戸籍訂正ノ手續ニ依リ抹消シ得ル場合

1、違法ノ家督相續届ヲ受理シ新戸籍ヲ編製シアル場合當事者等ニ争ヒナキトキハ右ノ家督相續届出人以外ノ者ト雖モ家督相續回復ノ手續ニ依ルコトヲ要セス戸籍法第六十四條ニ依リ抹消スルコトヲ得ルヤ、云フニ家督相續届出人ニ於テ自ラ

戸籍訂正ノ申請ヲ爲スニ於テハ家督相續回復ノ手續ニ依ルヲ要セス

(大正五年一月二十四日廣島縣盛品郡福相村長代理助役問合) 同年三月二十四日民第二一六號法務局長回答

◎母カ既ニ私生子出生届ヲ爲シタル後父ニ於テ庶子出生届ヲ爲シ其ノ記載ヲ了シタルトキハ私生子ノ記載ハ第六十四條ニ依リ抹消スヘシ

1、戸籍法第八十三條ノ規定ニ依リ父ヨリ庶子出生ノ届出アリタル場合ニ於テ母ハ之ニ連署セス且ツ母ノ本籍等ヲ確ムルコト能ハサル事情アルトキハ市町村長ハ届書記載ノ通戸籍ノ記載ヲ爲スコトヲ得ヘシ若シ之カ爲メニ錯誤ヲ來シタルトキハ第六十四條ニ依リ戸籍訂正ノ申請ヲ爲サシムヘシ母ノ家ニ在ル私生子ノ記載ハ同條ノ規定ニ依リ之カ抹消ノ申請セシムヘシ

(大正五年三月十七日北海道空知郡江部乙村長問合) 同年五月十七日民第四一七號法務局長回答

◎禁治産者自ラ爲シタル相續人指定届出ニ因ル戸籍記載ニ對シ後见人ヨリ其ノ取消ヲ届出タルヲ受理シ指定事項ノ抹消ヲ爲シタル場合ノ復活方

1、禁治産者自ラ爲シタル相續人指定届出ニ因ル戸籍ノ記載ニ對シ後见人ヨリ指定取消ヲ届出タルニ村長誤テ之ヲ受理シ指

定事項ノ抹消ヲ爲シタリ今指定セラレタルモノヨリ利害關係人トシテ抹消事項ノ復活ヲ求メントスルニハ戸籍法第六十四條ニ依リ本人又ハ利害關係人ヨリ戸籍訂正ノ申請ヲ爲サシムヘキモノトス

(大正五年五月十六日川内區裁判所監督判事問合) 同年五月三十日民第七七八號法務局長回答

◎死亡者ニ關スル戸籍ト訂正ノ申請並其記載例

1、死亡者ニ關スル戸籍ト雖モ左記ノ如キ關係アル場合ハ其ノ利害關係人ヨリ之カ戸籍ノ訂正ヲ爲シ得ルモノトス

「分家ノ際分家戸主甲ナル者カ分家ノ家族ト爲スコトヲ得サル直系卑屬以外ノ弟乙ナルモノヲ分家ノ家族トシテ分家届ヲナシ分家ノ家族トシテ戸籍ノ記載ヲ受ケタル後其ノ弟乙ナル者ハ死亡シ其ノ分家ノ戸籍ニ於テ死亡ノ記載ヲ受ケタリ然ルニ其ノ弟乙ナル者ノ遺族ハ扶助料ヲ受クヘキ權利ヲ有スルモノナルヲ以テ若シ乙カ分家ノ家族トナラスシテ本家ニ在ルニ於テハ其ノ本家ニアル直系尊屬タル母ハ之カ扶助料ヲ請求スルコトヲ得ルモ錯誤ノ分家届ニ依リ分家ノ家族ト爲リタル爲メ母ハ之ヲ請求スルコトヲ得サルノミナラス分家戸主タル甲ハ扶助料請求ノ權利ヲ有セサルニ付該扶助料ハ權利ヲ喪失スルニ依リ母ニ於テ戸籍ヲ訂正スヘキ利害ノ關係アリ」

2、前項ノ場合ニ於ケル訂正ノ戸籍記載例ハ左ノ振合ニ依リ分家ノ戸籍ハ

「年月日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ母何某戸籍訂正ノ申請何月何日受附除籍」

本家ノ戸籍ハ

「年月日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ母何某戸籍訂正ノ申請何月何日受附入籍」

(大正五年六月十三日鹿兒島市長稟問) 同年七月十一日民第九六五號法務局長回答

3、前項ノ如ク戸籍訂正ノ記載ヲ爲シタルトキハ分家戸籍ニ記載シタル乙ノ死亡事項ハ之ヲ本家戸籍ノ乙ノ事項欄ニ移記スヘキモノトス

(大正五年六月十三日鹿兒島市長稟問) 同年七月十一日民第九六五號法務局長回答

◎戸籍法施行前ヨリ屬スル身分登記抹消ノ抗告事件ニ對シテハ之ヲ却下シ更ニ戸籍訂正許可ノ申請ヲ爲サシムヘキモノトス

1、戸籍法施行前ヨリ繫屬スル身分登記ノ抹消ヲ求ムル戸籍更正ノ處分ニ對スル抗告事件ニ就テハ戸籍法實施ノ今日ニ於テハ身分登記簿廢止セラレタルノミナラス從來抗告ニ因リテ取消シ得ヘキ事項ハ戸籍訂正ノ途ニ據ルコトト解釋セサルヘカラ

サルヲ以テ抗告却下ノ決定ヲ與フルノ外ナシト思考スルモ依然舊法ノ規定ニ因リ處理スヘキモノ又ハ該抗告ハ訂正許可ノ申請ト看做シ戸籍訂正許可ノ決定ヲ與フヘキモノナリトノ説ヲ爲スモノアリ果シテ然ルヤト云フニ戸籍法施行前ヨリ繫屬スル身分登記ノ抹消ヲ求ムル戸籍吏ノ處分ニ對スル抗告事件ハ既ニ身分登記ノ廢止セラレタル今日ニ在リテハ之ヲ却下シ更ニ戸籍訂正許可ノ申請ヲ爲サシムヘキモノトス

(大正四年一月二十五日福岡地方裁判所長問合) (同年二月八日民第一五六號法務局長回答)

◎戸籍法施行後施行前ニ與ヘタル舊法ノ規定ニ依ル身分登記ノ取消ヲ命スル抗告事件ノ決定ノ送達ヲ受ケタル場合ノ手續

1、戸籍法施行後施行前與ヘタル舊法ノ規定ニ依ル身分登記ノ取消ヲ命スル抗告事件ノ決定ノ送達ヲ受ケタルトキハ身分登記ヲ抹消スルコトナク該決定ノ趣旨ニ從ヒ直ニ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年一月二十五日福岡地方裁判所長問合) (同年二月八日民第一五六號法務局長回答)

◎附籍者ニシテ復本籍ヲ有スル場合ノ訂正手續

1、民法施行前ニ於ケル附籍者ニシテ戸主ナルトキハ其ノ籍ノ附シアル地ニ一家ヲ有スル戸主ト看做スヘキニ付新潟ニ於ケル乙川權平ノ戸籍ハ戸籍訂正ノ手續ニヨリテ之ヲ抹消シ其ノ

籍事項ヲ抹消スヘキ戸籍訂正ノ手續ヲ要スヘキモノトス

(大正五年八月十八日小倉市長問合) (同年九月二十一日民第一三〇八號法務局長回答)

◎民法施行前ノ婚姻ニ付戸籍上其ノ年月日不明ナル場合ニ於ケル手續

1、婚姻ハ届出ニ依リ效力ヲ生スルモノナルカ故ニ後日ニ至リ婚姻ノ年月日ハ之ヲ訂正スルコトヲ得サルモノナレトモ明治二十年戸籍改寫以前ノ戸籍ノ記載ニシテ妻又ハ夫ノ事項欄ニ戸籍編製以前ニ付入籍年月不詳又ハ明治何年何月何日入籍トアルカ如キハ共ニ婚姻ノ年月日不明ト云ハサルヘカラス此ノ場合ニ於テハ婚姻ノ年月日ヲ明確ニスル爲メ當事者ノ記憶ニ依リ事實結婚シタル日又ハ其夫婦間ニ於テ擧ケタル實子ノ生年月日等正確ナル證據ヲ具シ戸籍法第六十四條ニ依リ裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍訂正ノ申請ヲ爲スコトヲ得ヘキモノトス

(大正五年四月二十四日岡山縣淺口郡大島村長問合) (同年十月二十一日民第六八〇號法務局長回答)

◎婚姻成立後二百日内ノ子ニ付父一人ヨリ出生届ヲ爲シ母カ認知前死亡シタル場合ハ嫡出子トス

1、婚姻成立後二百日以内ノ出生子ニシテ若シ母カ認知前死亡シタルトキハ假令戸籍上ノ嫡出子ノ記載アルモ庶子ナルヘキニ付戸籍訂正ノ手續ヲ要スルモノナルヤト云フニ妻ノ出生子

家族ト共ニ片柳仁作ノ家ニ入籍セシム可キモノトス

(大正五年五月十五日栃木縣都賀郡栃木町長問合) (同年八月七日民第一〇四二號法務局長回答)

◎復本籍ヲ有スル者カ家督相續ヲ爲シタル場合ニ於ケル除籍手續

1、本市大字堺町五十六番地ノ四戸主甲野義太郎及其家族全部復本籍ノ故ヲ以テ何レモ戸籍記載ノ全部ヲ抹消スヘキ戸籍訂正申請ヲ受理シ別紙(略)戸籍謄本ノ通り戸籍記載ヲ爲シタリ然ルニ戸主甲野義太郎ニ關スル戸籍記載全部ヲ抹消シタルニ付テハ前戸主甲野トリノ戸籍ヲ復活スルコトヲ要スヘク其ノ戸籍ヲ復活スルニハ新戸籍用紙ニトリニ關スル戸籍ノ記載ノ全部ヲ轉寫シタル上其事項欄ニ「甲野義太郎ノ家督相續ニ關スル戸籍ノ記載抹消ニ付年月日附小倉區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ何某戸籍訂正申請年月日受附本籍ヲ編製ス」トシ又ハ職權記載ノ時ハ「甲野義太郎ノ家督相續ニ關スル戸籍ノ記載ヲ抹消シタルモ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ス者ナキニ付キ年月日附小倉區裁判所ノ許可ニ因リ同月何日本戸籍ヲ編製ス」ノ例ニ依リ記載(抹消シタル義太郎等ニ關スル記載ハ轉寫セス)スヘキモノトス

(大正五年八月十八日小倉市長問合) (同年九月二十一日民第一三〇八號法務局長回答)

2、前項甲野トリノ戸籍ヲ復活シタル上トリノ隱居及他家へ入

ニ非サルコト定マラサル以上戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得ス

(大正五年五月四日東京府北多摩郡神代村長問合) (同年十月二十一日民第七一三號法務局長回答)

〔注意〕 戸籍法第八十三條後段ノ届出ハ父ノミヨリ之ヲ爲スコトヲ得ル趣旨ニ省議變更セラレタリ

2、婚姻成立後二百日内ノ出生子ニ對シ父ノミヨリ嫡出子出生ノ届出ヲ爲シ之ヲ受理シタル場合ニ於テ母ヨリ認知ノ届出ヲ爲サハルトキハ庶子ノ取扱ヲ爲スヘキモノナルヤト云フニ母ノ子ニ非サルコト定マラサル限嫡出子ト爲スヘシ

(大正五年五月十八日福岡區裁判所監督判事問合) (同年十月二十五日民第七九〇號法務局長回答)

〔注意〕 前項(1)注意參照

◎財産ノ管理ヲ辭シタル母カ管理權回復ヲ理由トシテ後見終了ノ届出ヲ爲シタル場合ニ於ケル手續

1、母カ一旦財産ノ管理ヲ辭シタル以上ハ更ニ意思ヲ續シテ管理權ヲ行フコトヲ得ルヤ否ヤニ付キテハ既ニ其管理權ヲ拋棄シタル以上ハ民法第八百九十九條ノ精神ニ於テ消極說ヲ相當トシ例ヘハ母カ再ヒ財産ノ管理權ヲ行フニ至リタル事由ヲ以テ後見終了届出ヲ爲シタルモノアリトセハ其戸籍記載ハ法律上許スヘカラサルモノトシテ戸籍訂正ノ方法ニ依リ抹消スヘキモノトス

實例判例文例人事法總覽

◎轉居ノ催告ニ應セサル法定ノ推定家督相續人ニ對スル離籍届ヲ誤テ受理シ次順位者ニ於テ相續ヲ爲シタル後申請ニ基ク離籍訂正ノ手續及戸籍ノ復活

(大正五年九月十九日九縣區裁判所監督判事問合)
 (同年十一月十日民第一四二〇號法務局長回答)

1、法定家督相續人ニ對シ民法第七百四十九條ノ原因ニ依ル離籍届ヲ誤テ市町村長カ受理シタル爲メ其後家督相續開始シ次順位者ニ於テ家督相續ヲ爲シタルニ其ノ後ニ至リ離籍セラレタル者ヨリ戸籍法第六十五條ニ依リ離籍無効ヲ理由トシテ區裁判所ノ許可ヲ得タル上戸籍訂正ノ申請アリタルトキハ更ニ其者ヲ戸籍ニ記載シ且ツ其者ノ離籍セラレタル以前ニ於ケル身分ニ關スル事項ヲ總テ移記シタル上訂正事項ヲ記載シテ離籍事項ヲ抹消スヘキモノトス

(大正五年十月十四日靜岡區裁判所監督判事問合)
 (同年十一月十日民第一五〇五號法務局長回答)

2、前項離籍ノ抹消ヲ爲シタルトキハ現在戸主ノ家督相續ハ家督相續回復ノ確定判決ニ依ラス戸籍法第六十四條ニ依リ戸籍訂正ノ手續ニ依リ抹消スルコトヲ得ルヤト云フニ民法第九百六十六條ノ規定ニ從ヒ家督相續回復ノ裁判ニ因リ回復ノ届出ヲ爲スヲ本則トスレトモ相續届出人自カラ訂正ノ申請ヲ爲スニ於テハ戸籍法第六十四條ニ依リ之ヲ抹消スルコトヲ得

ヘシ

◎既ニ私生子出生届出アル子ニ付父母婚姻後更ニ嫡出子出生届ヲ爲シ其記載ヲ爲シタル場合ト第百六十四條ニ依ル私生子ノ記載ノ抹消

(大正五年十月四日靜岡區裁判所監督判事問合)
 (同年十一月十日民第一五〇九號法務局長回答)

1、甲家ノ家族乙女カ私生子男丙ヲ出生シ其届出ヲ爲シタル後丙ノ父丁ト婚姻ヲ爲シ丙ノ出生届ヲ爲シタルコトヲ遺忘シ戸籍法第八十三條後段ニヨリ嫡出子出生届ヲ爲シテ二男ヲ出生シ其届出ヲ爲シタル後丙ノ復本籍ト爲レルコトヲ發見シタル場合ハ戸籍法第六十四條ニヨリ地家ニ於ケル丙ノ記載ヲ抹消シ甲家ニ在ル私生子丙ニ付其父母ノ嫡出子出生届ノ時適法ノ認知アリタルモノトシテ丁ノ家ニ入ル、コトヲ得ルヤト云フニ戸籍法第六十四條ニ依リ甲家ニ在ル私生子丙ノ記載ヲ抹消スヘシ

(大正四年十一月八日敦賀區裁判所判事問合)
 (大正五年三月二十二日民第三一六號法務局長回答)

◎民法施行前願濟ノ上他家ノ同居ニ送籍シタル者ニ付無籍ナルコトヲ發見シタル場合ノ手續

元甲縣甲郡甲村何番邸
 1、 甲次男乙長女

戸三號(二五九)

◎甲男乙女離婚後三ヶ月ニシテ丙男ヨリ乙女ノ胎兒認知ノ届出アリタルトキハ之ヲ受理スヘク其ノ後子カ婚姻解消後三百日丙ニ生レ甲男ヨリ嫡出子出生ノ届出ヲ爲シタルトキハ認知ノ記載ハ訂正ノ手續ニ依ルヘキモノトス

第一編 戸籍法規 第五章 戸籍ノ訂正 第六百六十四條

明治元年八月二十八日生

丙

右ハ明治十九年六月五日分家願濟ノ上同年同月八日同縣乙郡乙村何番邸丁方同居ニ送籍シタルモノニシテ爾後他ニ轉籍セシ事無ク今同同人ノ戸籍查詢ノ必要ヲ生シタル處同人ハ同村在籍者ニ非サル旨回答アリタルニ依リ調査シタルニ甲村役場ニ保存セル舊戸籍簿ニハ別紙甲號(略)戸籍謄本ノ通除籍シアルモ送籍地タル乙村役場ハ現今同村ニ本籍ナキノミナラス既往ニ遡リ調査スルモ曾テ本籍ヲ有シタル形跡モ無キ由申シ來レリ從テ取扱者ノ過誤ニ因リ之ヲ脱漏シ遂ニ無籍者ノ如ク爲リタルモノト推考スルモ此場合戸籍法第三十九條第二項但書ニ準シ乙村長ニ於テ右戸籍訂正ノ手續ヲ爲スヘキヤト云フニ戸籍法第六十四條第六十條ノ規定ニ依リ就籍ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

(大正六年九月二十一日岡山縣小郡笠岡町長稟伺)
 (同年十月五日民第一八九二號法務局長回答)

(大正七年二月五日舞鶴區裁判所判事問合)

◎法定ノ推定家督相續人タル私生子ヲ認知ニ因リ父ノ家ニ入レタル場合ノ訂正

1、被認者カ推定家督相續人ナルトキハ父ノ戸籍ニ入ルヲ得ス
 (參照大正四年八月十六日北海道空知郡岩見澤町長伺) 推定家督相續人ヲ父ノ戸籍ニ入籍セシメタルモノニ付テハ戸籍法第六十四條ノ規定ニ從ヒ戸籍訂正ノ手續ヲ爲スヘシ

(大正六年十月二十五日兵庫縣明石郡明石町長伺)
 (大正七年五月二十三日民第二〇二號法務局長回答)

1、 長男ノ庶子ヲ誤テ戸主ノ庶子トシテ届出タルモノノ訂正

戸主 甲
 妻 乙
 長男 丙

實例判例文例人事法總覽

庶子男 父 甲 春野花子 丁 大正三年生

孫 母 丙 春野花子 庶子男 大正五年生

右庶子男丁ハ事實長男丙ノ庶子男ナルヲ誤ツテ戸主甲ノ庶子トシテ届出アリ今般長男丙カ花子ト婚姻届出ヲ爲スニ當リ其ノ錯誤ナルコトヲ發見セリ依テ庶子ニ關スル記載全部ヲ抹消シ更ニ母ノ私生子トシテ記載スルコトノ戸籍訂正ノ許可ヲ求メントス此場合戸籍法第六十五條ニ依ル戸籍訂正ハ届出人又ハ届出事件ノ本人間ニ其ノ戸籍訂正ニ異議ナキ場合ニ限ルヘキコトハ大正六年(ク)第二八號事件ニ對スル同年三月五日大審院第二民事部決定ノ趣旨ニ依リ明カナル所ナルカ本件ノ如キ届出人ハ勿論異議ナキ所ナルモ事件本人タル被認知者カ意思能力ナキ未成年者タル場合ニ於テハ其ノ異議ナキ旨ノ意思表示ハ母カ代ハリテ爲セハ可ナリヤト云フニ此場合ニ於テハ戸主甲其ノ他利害關係人ヨリ戸籍法第六十四條ニ依ル戸籍訂正ノ申請ヲ爲サシメ戸主甲ノ庶子トシテノ記載ヲ抹消シタル上更ニ父丙ヨリ庶子出生ノ届出ヲ爲サシメ之ニ基キテ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキモノナ

◎事實上離婚ヲ爲シタル女ト他男トノ間ニ出生シタル子ニ付他男ヨリ他女ノ子トシテ爲シタル庶子出生ノ届出ニ基キ戸籍ノ記載ヲ爲シタルモノノ訂正

(大正七年四月十五日大阪府西成郡鷺洲町長伺
同年八月三日民第八四一號法務局長回答)

1、乙妻甲夫ト事實十數年前離婚シタルモ戸籍上離婚ノ手續ヲ爲サスシテ更ニ丙男ト内縁ヲ結ビ子ヲ擧ケタルモ甲夫生存セル爲メ乙妻ノ私生子トシテ出生届出ヲ爲シ得サルヨリ全ク關係ナキ丁女ヲ實母トシテ丙男ヨリ庶子出生届出ヲ爲シ丙男ノ戸籍ニ登載ヲ經タリ此場合丁女ハ他ノ利害關係人ニ於テ異議ナキトキハ戸籍法第六十四條ニ依ル戸籍訂正ノ手續ニ依リテ母タル關係事項ノ抹消ヲ求ムルコトヲ得ヘキヤ又此場合ニ於テ子カ意思無能力者ナル場合其父タル丙男ハ子ニ代リテ右戸籍訂正ニ異議ナキコトノ意思ヲ表示シ得ヘキヤト云フニ甲乙間ノ婚姻中ノ子トシテ嫡出子出生ノ届出ヲ爲サシムヘキ場合ナルニ拘ハラズ丙男ヨリ爲シタル庶子出生ノ届出ニ基キ丙男ノ戸籍ニ其ノ記載ヲ爲シタルハ錯誤ニシテ固ヨリ甲男ノ嫡出子ニ戸籍訂正ヲ爲スヘキモノナレハ單ニ丁女ノ母タル關係事項ノミニ付戸籍訂正ヲ求ムルコトヲ得サルモノトス

◎外國人ノ養子ト爲リタル日本人ヲ國籍喪失者トシテ除籍シタルトキノ訂正方

(大正七年五月二十一日勝山區裁判所判事問合
同年六月二十二日民第一一二號法務局長回答)

1、日本人カ外國人ノ養子ト爲リタル爲其ノ國籍ヲ取得シタルトキト雖日本ノ國籍ヲ喪失セサルモノトス

(大正七年六月二十五日民第一三九〇號法務局長回答
法曹記事二八卷七號七六頁)

2、外國人ノ養子ト爲リタル日本人カ既ニ國籍喪失者トシテ除籍セラレタル者ニ付テハ戸籍法第六十四條ノ規定ニ依リ戸籍訂正ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

(大正七年六月二十五日民第一三九〇號法務局長回答
法曹記事二八卷七號七六頁)

3、明治三十九年當時ノ清國ノ法規ニ於テハ清國人ハ日本人(外國人)ヲ養子ト爲スコトヲ得サリシモノナルヲ以テ養子縁組及縁組ニ因ル國籍喪失ニ關スル事項ハ何レモ戸籍訂正手續ニ依リ之ヲ抹消シタル上前ニ朱抹セラレタル者ノ記載ヲ回復スヘキモノトス

(大正十四年六月二十三日木更津區裁判所判事問合
同年十月十日民事第六八〇號民事局長回答)

◎甲ノ子ヲ乙ノ子トシテ届出タル場合ト戸籍ノ訂正方

1、甲ノ子ヲ乙ノ子トシテ届出タル後甲ノ子ト爲スヘク戸籍

◎改元ト出生年月日ノ訂正

(大正十一年五月三十日天草區裁判所判事問合
同年六月七日民事第二二五六號民事局長回答)

キ更ニ問合アルヘシ

實例判例文例人事法總

1、明治ノ改元ニ付テハ明治元年九月八日ノ詔書ヲ以テ一世一元ノ旨被仰出タルモ同詔書ニ於テ更ニ慶應四年ヲ改メテ明治元年ト爲ス旨被仰出特ニ明治ノ年號ハ之ヲ御治世ノ始(慶應二年十二月二十五日陽曆一月三十日)ニ遡リテ稱セサルコトヲ明ニセラレタルモノト解スヘキニ付明治元年ハ其ノ年ノ一月一日ヨリ之ヲ稱スヘキモノトス次ニ慶應以前ノ改元ニ付テハ歴史學者ノ意見區々ニ涉リ歸一ノ解釋ヲ定ムルコトハ至難ノ事ナルノミナラス新舊孰レノ年號ヲ用フルモ戸籍記載ノ實質ニ於テ錯誤アルニ非サルニ付強テ現在ノ戸籍ヲ訂正スルノ必要アラサルヘク就籍ニ付テモ同様ノ趣旨ニ於テ取扱振ヲ定メ戸籍全體ノ記載ヲ一致シ以テ從來ノ慣例ニ從フヲ可トス

(大正六年三月四日大阪區裁判所監督判事問合)
(大正七年十二月三日民部第二一六五號法務局長回答)

◎除カレタル戸籍ノ訂正

1、戸籍法ニ戸籍トハ現戸籍ヲ指稱シ除籍簿ヲ包含セサル義ハ戸籍法第十七條ニヨリ明瞭ナルヲ以テ同法第六十四條ノ戸籍ノ訂正モ現戸籍ノ記載ニ毫モ錯誤遺漏ナク只除籍ニノミ存スルトキハ同條ヲ適用スヘキモノニアラサルヤト云フニ除カレタル戸籍ノ記載ニ錯誤又ハ遺漏アル場合ニ於テモ戸籍法第六十四條ノ規定ニ依リ其ノ訂正ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

(大正七年十一月五日若松區裁判所監督判事問合)
(同年十一月二十二日民部第二四八七號法務局長回答)

◎戸籍訂正許可ト除籍簿ノ訂正方

1、元甲村在籍者タリシ者カ轉籍又ハ廢家入籍等ニ依リ乙村へ移轉シタル處其ノ者ノ戸籍ニ錯誤遺漏多ク之カ訂正ノ許可ヲ得テ乙村ノ現戸籍ノ訂正スルト同時ニ甲村ノ保存ニ係ル除籍簿ノ記載ヲモ訂正ノ必要アリ

(大正九年一月二十一日高松區裁判所監督判事問合)
(同年二月七日民部第二八四號民事局長回答)

◎父母ノ婚姻前ニ出生シタル子ヲ婚姻後出生シタル子トシテ父ノ

ミヨリ嫡出子出生ノ届出ヲ爲シタルモノト出生年月日ノ訂正
1、事實父母ノ婚姻前ニ出生シタル子ヲ婚姻後ニ出生シタル嫡出子トシテ父ノミヨリ出生ノ届出ヲ爲シ數年後ノ今日ニ至リテ父ヨリ其子ノ出生年月日(父母ノ婚姻前ノ年月日)ノミニ付戸籍訂正ヲ求ムルコトヲ得(但母ハ婚姻ニ因リ他家ヨリ入籍シタルモノ又子ノ出生届出ハ新戸籍法實施前ニ係ルモノナリ)

(大正八年三月二十一日勝山區裁判所判事問合)
(同年三月三十一日民部第七四一號法務局長回答)

◎民法施行前ニ婚姻ヲ爲シタル者當時戸籍ニ登錄セラレザリシ場合ト記載手續並其出生子ヲ父ヨリ嫡出子トシテノ届出

1、民法施行前既ニ有效ニ成立シタル婚姻ニ付今日ニ於テ之カテハ更ニ此際前記載ニ訂正ヲ爲サシムルヲ相當トス

戸三三(二六五)

(大正八年一月十三日高松區裁判所判事問合)
(同年二月十日民部第九七號法務局長回答)

◎所在不明者ノ父カ隱居ヲ爲シタル上分家、縁組等ヲ爲シタル後所在不明者ニ付失踪宣告アリタル場合ト戸籍ノ訂正

1、甲カ所在不明ナルニ拘ハラズ相續ノ承認ヲ爲シタル乙ノ隱居竝ニ甲ノ相續ハ無効ナルヲ以テ利害關係人タル弟丁丙戊ヨリ戸籍法第六十五條ニ依リ戸籍訂正ノ申請ヲ爲サシメ之ニ基キテ甲ノ乙號戸籍ヲ抹消シ乙ノ甲號戸籍ヲ回復スヘシ而シテ隱居後ニ爲シタル分家等ニ基キ編製シタル丙號乃至庚號戸籍ハ之ヲ抹消シタル上戊號戸籍ノ丙及養女乙ニ付テハ乙家族トシテ回復シタル戸籍ニ其ノ記載ヲ爲スヘキモノトス

(大正六年六月二十八日山口區裁判所監督判事問合)
(大正七年五月二十四日民部第一〇六號法務局長回答)

◎非本籍地ニ於テ婚姻ヲ受理シ之ヲ夫妻雙方ノ本籍地ニ送附シタルニ夫ノ本籍地ニ於テハ之ニ基キ戸籍ノ記載ヲ爲シタルモ妻

ノ本籍地ニ於テハ其ノ届書ニ欠缺アリトシテ返戻シタル場合ノ訂正手續
1、非本籍地市町村ニ於テ婚姻届ヲ受理シ之ヲ夫妻雙方ノ本籍地市町村ニ送付シタルニ夫ノ本籍地市町村ニ於テハ之ニ依リ戸籍ノ記載ヲ了シタルモ妻ノ本籍地ヨリ其届出ニ欠缺アル爲

戸籍ノ記載ヲ爲スニハ戸籍法第六十四條ノ規定ニ從ヒ當事者ヨリ戸籍訂正ノ申請ヲ爲サシムヘキモノナルモ若シ當事者ニシテ其ノ手續ヲ爲ササルニ於テハ戸籍法第六十四條第三項同第三十九號第二項ノ規定ニ從ヒ市町村長監督區裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ記載ヲ爲スコトヲ得ヘク新ニ婚姻ノ届出ヲ爲サシムヘキモノニ非ス

(大正八年一月十日延岡區裁判所判事問合)
(同年二月六日民部第一一三號法務局長回答)

2、前項ノ場合ニ婚姻届出前夫婦間ニ出生シタル子ハ婚姻届出ト同時ニ戸籍法第八十三條ニ依ラスシテ父ヨリ直ニ嫡出子出生ノ届出ヲ爲サシムヘキモノナリ

(大正八年十月十日延岡區裁判所判事問合)
(同年二月六日民部第一一三號法務局長回答)

◎先例變更前父ノミヨリ第八十三條後段ニ依ル届出ヲ爲シタルモノニ付嫡出子ト記載シタルヲ庶子ニ訂正シタルモノハ先例變更後ニ於テハ嫡出子ニ訂正セシム

1、戸籍法第八十三條後段ノ届出ニ付母ノ知レタル場合ニ於テハ父ノミノ届出ニ依リ認知届出ノ效力ヲ生スルコトニ先例變更(參照大正七年五月三十日福岡市長稟例)セルモ既ニ先例ニ基キ父ノミノ届出ニ依リ爲シタル嫡出子出生ノ記載ヲ錯誤ナリトシテ庶子出生ノ記載ニ訂正ヲ了シタルモノアリ是等ノ者ニ對シ

メ戸籍ノ記載ヲ爲シ能ハストシ返付シ来リタルトキハ之カ更
正方ハ妻ノ本籍地ニ對スル分ニ付テハ追完届出ヲ爲サシメ既
ニ戸籍ノ記載ヲ了シタル夫ノ本籍地ニ對スル分ニ付テハ戸籍
訂正ノ手續ヲ爲サシムヘキモノナリ

(大正四年五月九日函館區裁判所監督判事問合)
(同年六月二十四日民部第六三四號法務局長回答)

◎轉籍ノ場合ニ於テ原籍地ノ除籍手續ヲ爲サス且其ノ後婚姻、認
知、死亡、相續等ノ届出ヲ原籍地ニ爲シタル場合ノ取扱方

1、三重縣鈴鹿郡書生村大字三寺十三番屋敷戸主甲(當時家族
ハ長男乙一人)ハ明治四十二年九月二十九日滋賀縣大津市上
榮町四十七番地へ轉籍シ別紙甲號ノ如ク戸籍編製セラレタル
處原籍地タル書生役場ニ於テ除籍ノ手續ヲ爲ササリシ爲復本
籍ヲ有スルニ至リタリ然ルニ其後長男乙ヨリ妻丙トノ婚姻届
妻ノ私生子タル丁戊巳ノ認知届並ニ右認知シタル長男巳ノ死
亡届等ヲ舊本籍地ニナシタル爲メ別紙乙號ノ如キ戸籍ヲ有ス
ルニ至リタルニ付テハ之カ訂正方ハ轉籍地ノ甲號戸籍ニ前記
婚姻認知死亡ニ因ル入除籍ノ記載ヲ爲ス爲メ轉籍地ヲ管轄ス
ル區裁判所ノ訂正許可ヲ受ケシメ其ノ記載ヲ了シタル上更ニ
舊本籍地ノ管轄區裁判所ニ復本籍ヲ除籍スヘキ旨ノ訂正申請
ヲ爲サシムヘキモノナリヤト云フニ轉籍地市長ヲシテ戸主甲

ノ戸籍ノ謄本ヲ原籍地村長ニ送付セシメ原籍地村長ハ其ノ戸
籍謄本ニ基キテ復本籍ノ除籍手續ヲ爲スヘク而シテ轉籍後原
籍地ニ届出タル婚姻、認知及死亡ニ付テハ戸籍法施行細則第
十六條ノ規定ニ從ヒ原籍地村長ハ其ノ届出ニ因リテ爲シタル
婚姻、認知及死亡ノ記載ヲ抹消シタル上其ノ届書ヲ轉籍地市
長ニ送付スヘキモノナルモ既ニ監督區裁判所ニ送付シタル後
ナルニ於テハ便宜戸籍ノ謄本ヲ送付シ之ニ基キテ轉籍地ノ戸
籍ノ記載ヲ爲スヲ相當トス

(大正五年十一月十日安濃津區裁判所監督判事問合)
(同年十二月十五日民部第一八三〇號法務局長回答)

2、甲市ニ本籍ヲ有スル甲戸主家族ヲ從ヘ乙市ニ轉籍届出タル
ニ轉籍届ノ副本未到達ニシテ甲市ノ戸籍ハ除籍セラレサル爲
メ甲市ト乙市トニ復本籍ヲ有スルニ至リタレ共甲市ノ戸籍ハ
已ニ架空ノ戸籍ニ屬スルヲ以テ戸籍訂正申請ニ依リ當然抹消
スヘキモノナルモ轉籍後甲戸主カ死亡ニ當リ其家族等ハ依然
甲市ニ在籍セルモノト誤信シテ死亡届出ヲ爲シ其ノ相續開始
ニヨリテ法定ノ推定家督相續人ナキニヨリ(乙市ノ戸籍ニハ
法定ノ推定家督相續人タル丙女アリ)亡戸主甲ノ父某ノ選定
ニ因リ乙男(甲戸主ノ弟)カ相續シタリ然レトモ右ハ架空ノ
戸籍ニ依リ形式上相續セシト雖モ實質上無効ノ行爲タルヲ免

百三號(二六五)

レス故ニ本件ノ如キ場合ニ於テハ家督相續回復ノ訴ニ依ラス
シテ直チニ戸籍訂正申請ニ依リ甲市ノ戸籍ヲ抹消シ得ルヤト
云フニ相續ノ無効及轉籍ニ因ル原本籍ノ抹消ニ付戸籍訂正ノ
手續ヲ爲サシメタル上甲市在籍ノ乙男名義ノ戸籍ヲ抹消シ一
面轉籍地タル乙市ノ戸籍ニ甲市ノ戸籍並除籍ノ記載ニ基キ婚
姻、出生、死亡ノ事項ヲ移記スヘシ而シテ丙女ヨリ家督相續
ノ届出ヲ爲サシメ之ニ基キテ新戸籍ヲ編製スヘシ尤モ利害關
係人ニ於テ戸籍訂正ノ手續ヲ爲ササルニ於テハ市町村長監督
區裁判所ノ許可ヲ得テ以上ノ手續ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

(大正八年六月七日小樽區長代理助役稟伺)
(同年六月二十四日民事第一九一九號民事局長回答)

◎入夫カ戸主ト爲ル場合ニ其ノ旨ヲ記載セサリシ入夫婚姻届ニ基
ク戸籍ノ記載又ハ戸主ト爲ラサル入夫ニ付戸主ト爲ル旨ノ記載
ヲ爲シタル入夫婚姻届ニ基ク戸籍記載ノ訂正

1、民法第七百三十七條第二項入夫カ戸主トナラサル旨ノ意思
表示ハ婚姻當事者間ニ於テナスヘク市町村長ニ對シ婚姻届出
ノ際之ヲ爲スヘキモノニ非ラスト解スヘキヤト云フニ戸主ト
爲ル旨ノ記載ヲ爲ササルニ因リ民法上特別ノ意思表示アルモ
ノト看做スヘシ

(大正四年七月二日島根縣瀨戶郡八代村長伺)
(同年七月十五日民部第一二二二號法務局長回答)

2、舊戸籍法ニハ前項ノ場合婚姻届ニ戸主トナラサル旨特別記
載ヲ要シタルモ改正戸籍法ハ之ト反對ニ入夫カ戸主トナルト
キニハ其旨記載ヲ要スルモ戸主トナラサルトキハ何等ノ記載
ヲ要セス即チ民法ハ特別意思ノ明示ヲ要求シ戸籍法カ届出
ヲ要セサルコトトナル然ラハ當事者間ニ婚姻ノ當時別段ノ意
思表示ナカリシ爲メ入夫ハ民法上戸主トナリタルニ拘ハラ
ス婚姻届書ニ其旨記載ヲ爲ササリシカ故ニ市町村長ハ入夫ヲ家
族トシテ戸籍ノ記載ヲ爲シタリトセハ此場合當事者ハ入夫カ
戸主ト爲リシ旨ヲ以テ届書ノ脱漏ヲ事由トシテ戸籍訂正ノ申
請ヲ爲シ得ルモノトス

(大正四年七月二日島根縣瀨戶郡八代村長伺)
(同年七月十五日民部第一二二二號法務局長回答)

3、前項ノ婚姻届ニハ入夫カ戸主トナル旨ノ記載ヲ爲シタルモ
全ク誤記ニシテ當事者間ニハ入夫カ戸主トナラサル旨ノ意思
表示アリシ場合モ亦戸籍訂正ノ手續ヲ以テ訂正シ得ルナリ

(大正四年七月二日島根縣瀨戶郡八代村長伺)
(同年七月十五日民部第一二二二號法務局長回答)

◎戸籍ノ記載ヲ爲ササル前届書ノ欠缺ヲ發見シタル場合及既ニ其
ノ記載ヲ爲シタル後届書ノ欠缺ヲ發見シタル場合ノ追完並訂正
1、錯誤ニ依ル戸籍ノ欠缺ニシテ一ノ市町村長カ戸籍ノ記載ヲ
爲ササル前發見シタルトキハ追完ノ手續ヲナサシムルコトヲ

實例判例文例人事法總覽

得ルヤト云フニ欠缺アル届書ニ基キ其ノ儘爲シ得ル戸籍ノ記載ヲ完了シ置キ其ノ他ノ記載ハ追完届ヲ爲サシメテ之ヲ爲スヘシ

(大正四年六月十二日愛媛縣西宇和郡千丈村長伺
同年七月十六日民第九八四號法務局長回答)

2、前項已ニ戸籍ノ記載ヲ爲シタル市町村長モ之ニ基キ直ニ訂正ヲ爲スコトヲ得ルヤト云フニ此場合戸籍訂正ノ手續ヲ爲サシムヘシ

(大正四年六月十二日愛媛縣西宇和郡千丈村長伺
同年七月十六日民第九八四號法務局長回答)

3、市町村長カ二個所以上ノ市町村長カ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ届書ヲ受理シ發送シタルニ其届書中錯誤遺漏ノ廉アリ返戻セラレタル爲メ一個所以上ノ市町村長カ未タ戸籍ノ記載ヲ完了セサル場合ニ利害關係人カ戸籍ノ記載ヲ完了セシムル趣旨ヲ以テ其手續ヲ履踐セントスルニハ追完ノ手續ニ依ルヘキヤ將タ戸籍訂正申請ニ依ルヘキモノナルヤト云フニ既ニ戸籍ノ記載ヲ爲シタル市町村長ハ戸籍訂正ノ手續ニ依リ戸籍ノ記載ヲ訂正シ返戻セラレタル届書ハ之ヲ再送スヘク届書ノ送付ヲ受ケタル市町村長ハ之ニ基キ其ノ儘爲シ得ル戸籍ノ記載ヲ完了シ置キ其ノ他ノ記載ハ追完届ヲ爲サシメテ之ヲ爲スヘキモノトス

◎新戸籍法施行前戸主ト爲ル入夫カ相續届ヲ爲サヌ女戸主ノ家族トシテ戸籍ニ記載シアルモノニ付入夫ノ戸籍ノ編製方

(大正四年七月十七日小樽區長伺
同年七月二十九日民第一二二七號法務局長回答)

1、現戸籍法施行前(舊戸籍法施行當時)入夫ハ戸主トナラサル旨ノ反對ノ意思表示ナクシテ入夫婚姻ヲ爲シタルモ入夫ハ其當時家督相續届ヲ爲サヌ女戸主ノ家族トシテ女戸主ノ戸籍ニ記載セラレアルモノアリ此場合ニ今日右入夫ヲ戸主トシテ戸籍ヲ編製スルニハ戸籍訂正ノ手續ニ據リ入夫ノ戸籍ヲ編製スヘキモノナリ

(大正六年三月十四日土浦區裁判所監督判事問合
同年四月二十六日民第九八五號法務局長回答)

【同趣旨】

◎舊法ニ依ル身分登記變更許可裁判ノ謄本ヲ添附シ新法施行後新法ニ依ル戸籍訂正申請ヲ爲シタル場合ノ手續

(大正七年十月二日水戸區裁判所判事問合
同年十月二十五日民第二三一五號法務局長回答)

1、舊法ニ依ル身分登記變更許可裁判謄本ヲ添附シ新法實施後新法ニ依ル戸籍訂正申請ヲ爲シタル場合ハ新法ニ依ル戸籍訂正許可裁判謄本ヲ添附セサルニ於テハ之ヲ受理スヘカラサルモノナリ

(大正四年一月十四日青森區裁判所監督判事問合
同年一月二十八日民第九四號法務局長回答)

◎戸籍法施行前ヨリ屬スル身分登記抹消ノ抗告事件ニ對シテハ之ヲ却下シ更ニ戸籍訂正許可申請ヲ爲サシムヘシ

(大正四年一月二十五日福岡地方裁判所長問合
同年二月八日民第一五六號法務局長回答)

1、戸籍法施行前ヨリ繫屬スル身分登記ノ抹消ヲ求ムル戸籍吏ノ處分ニ對スル抗告事件ハ既ニ身分登記ノ廢止セラレタル今日ニ在テハ之ヲ却下シ更ニ戸籍訂正許可申請ヲ爲サシムヘキモノトス

(大正四年一月二十五日福岡地方裁判所長問合
同年二月八日民第一五六號法務局長回答)

◎戸籍法施行後施行前ニ與ヘタル舊法ノ規定ニ依ル身分登記ノ取消ヲ命スル抗告事件ノ決定ノ送達ヲ受ケタル場合ノ手續

(大正四年一月二十五日福岡地方裁判所長問合
同年二月八日民第一五六號法務局長回答)

1、戸籍法施行後施行前與ヘタル舊法ノ規定ニ依ル身分登記ノ取消ヲ命スル抗告事件ノ決定ノ送達ヲ受ケタルトキハ身分登記ヲ抹消スルコトナク該決定ノ趣旨ニ從ヒ直ニ戸籍ノ記載ヲ爲スノ外ナシ

(大正四年一月二十五日福岡地方裁判所長問合
同年二月八日民第一五六號法務局長回答)

◎轉籍地ノ戸籍ニ家族ヲ脱漏シタル場合及婚姻届ニ嫡出子ノ身分ヲ取得スル庶子ノ記載ヲ遺漏シタル場合ノ手續

(大正五年二月九日福井區裁判所監督判事問合同年三月十五
日民第二二六號回答第一項ハ轉籍地ノ戸籍ニ脱漏シタル家族

ヲ記載スヘキ場合ニ於テモ追完届ニ基キ其ノ記載ヲ爲スヘシトノ趣旨ナリ而シテ同回答第一項ト第二項ト其ノ手續ヲ異ニセルハ第一項ノ場合ハ既ニ爲シタル戸籍ノ記載ニ變更ヲ來スコトナキモ第二項ノ場合ハ子ノ續柄ヲ訂正スルノ必要アルヲ

第一編 戸籍法規 第五章：戸籍ノ訂正 第六十四條

以テナリ

(大正七年十一月七日山口縣豐浦郡豐田中村長稟伺
大正八年四月七日民第八三五號法務局長回答)

◎違法相續ニ基キ編製シタル戸籍ハ本人ニ於テ異議ナキニ於テハ市町村長職權ニ依リ訂正スルコトヲ得ルモ本人ノ訂正申請ニ基キテ訂正スルヲ妥當トス

(大正八年六月十七日廣島縣廣品郡福村長稟伺
同年八月一日民第二二一五號法務局長回答)

1、正當ノ相續人ニアラサル者カ家督相續ヲ爲シ誤テ之ヲ受理シ新戸籍ヲ編製シタル場合相續人自ラ訂正スル場合ハ錯誤ト解釋シ戸籍訂正手續ニ依リ右戸籍ヲ抹消スルコトヲ得ルハ勿論ナルモ右届出人ニ於テ戸籍訂正申請ハ爲ササルモ市町村長ニ於テ職權ヲ以テ訂正スルコトニ異議ナキ場合ニ市町村長ニ於テ許可ヲ得テ戸籍ヲ抹消スルコトヲ得テ本人ニ於テ訂正ニ異議ナキ以上本人ヲシテ訂正ノ申請ヲ爲サシムルヲ妥當トス

(大正八年六月十七日廣島縣廣品郡福村長稟伺
同年八月一日民第二二一五號法務局長回答)

◎母ヨリ胎兒相續ノ届出ヲ爲シタル後胎兒カ父母婚姻ノ日ヨリ二百日以内ニ出生シタル場合相續ノ記載ハ母ノ訂正申請ニ基キ之ヲ抹消スヘシ

(大正八年六月十七日廣島縣廣品郡福村長稟伺
同年八月一日民第二二一五號法務局長回答)

1、母ヨリ胎兒ノ家督相續届出ヲ爲シタル後其胎兒ハ父母ノ婚姻成立ノ日ヨリ二百日以内ニ出生シタルトキハ私生子出生ノ届出ヲ爲スヘキモノナルニ付胎兒相續ノ記載竝ニ其ノ胎兒相續ノ記載ハ母ヨリ戸籍訂正ノ手續ヲ爲サシメタル上之ヲ抹消スヘク戸籍ノ記載方ハ左ノ例ニ依ルヘシ

實例判例文例人事法總覽

「胎兒ノ家督相續無効ニ付キ大正何年何月何日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ母何某戶籍訂正申請何月何日受附家督相續ノ記載抹消」

(大正八年七月十九日福岡區裁判所監督判事問合) (同年九月十五日民事第二八一六號民事局長回答)

◎市町村長死亡届ヲ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後其ノ者カ婚姻等ニ依リ他家ヘ入籍スヘキ死亡以前ノ日時ノ届書(郵送ニ係ル)ヲ受理シタルトキノ取扱方

1、市町村長カ死亡届ヲ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後其ノ者カ他家養子縁組又ハ婚姻等ニ依リ入籍スル届書ノ郵送ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ郵便ニ付シタル日時ハ死亡ノ日時ヨリ前ナルトキハ市町村長ハ入ルヘキ家カ他ノ市町村ナルトキハ戸籍法施行細則第十六條ニヨリ死亡届ヲ新管轄ノ市町村長ニ送付シ戸籍ノ死亡ノ記載ハ之ヲ抹消スヘキヤト云フニ此場合ハ戸籍法施行細則第十六條ニ依ル手續ヲ爲スヘキ場合ニ該當セサルヲ以テ既ニ爲シタル死亡ノ記載ハ之ヲ抹消スヘキニ非ス而シテ縁組又ハ婚姻事項ニ付死亡トノ關係ヲ明ナラシムル爲メ「縁組(婚姻)事項ハ年月日死亡届出受附後ニ受理シタル届書ニ依リ記載」ノ例ニ依リ事由ヲ記載シ置キ一面養家又ハ婚家地ノ市町村長ニ縁組又ハ婚姻ノ届書ト共ニ死亡届書ノ謄本ヲ送付スヘシ第二段ノ場合ニ於テモ之ニ準シテ取扱フヘシ

(大正八年九月二十三日廣島縣安藝郡安藝野町長問合) (同年十月二十日民事第四四九號民事局長回答)

◎乙亥及壬申戸籍時代ニ於テ手續遺漏ノ爲メ訂正並遺漏アル戸籍

ノ訂正手續ト現行戸籍法
1、乙亥(明治八年)戸籍時代甲家ヨリ乙家ヘ嫁シタルモノアリ而シテ甲家戸籍ニハ其旨ノ記入ヲ爲シ既ニ除籍シタルニ不拘乙家戸籍ニ之レカ入籍手續ヲ遺漏シタル爲メ遂ニ無籍者ト爲リ且明治十九年内務省令第二十二號ニ依ル戸籍編製前年月日不詳死亡シタリ然ルニ今日乙家ニアル其直系卑屬ニ於テ同人名義ナル不動産ノ遺産相續登記ノ必要上右戸籍ノ訂正ヲ爲サムトスル場合ニハ之ヲ許容ス可キモノナリ而シテ又壬申(明治五年)戸籍時代ニ前同様ノ死亡者アルトキモ其壬申戸籍ノ訂正ハ之レヲ許ス可キモノトス

(大正八年十月九日福岡區裁判所判事問合) (同年十一月四日民事第四六四一號民事局長回答)

2、前項ノ場合ニハ其訂正手續ハ現行戸籍法ニ依リ又孰レモ死者ニ屬スル訂正ナレハ其記入ハ乙亥或ハ壬申ノ各遺漏アル戸籍ニ爲ス可キモノナリ

(大正八年十月九日福岡區裁判所判事問合) (同年十一月四日民事第四六四一號民事局長回答)

◎相續、婿養子縁組及婚姻等ニ關シ故意ニ兄弟間相互ニ其名ヲ偽リ届出ヲ爲シタル者ノ戸籍訂正申請

1、甲家ノ法定推定家督相續人タル長男一耶カ大正四年一月弟二耶ノ名ヲ用ヒ婿養子縁組ニヨリ乙家ニ入り家女ト婚姻ヲ爲シ二子ヲ擧ケ二耶ノ名ヲ以テ届出ヲ爲シ一面弟二耶ハ甲家ニ在リテ兄一耶ノ名ヲ以テ他家ト婚姻シ一子ヲ擧ケ其届出ヲ爲シタリ而シテ乙家ニ入りタル長男一耶ハ養父タル戸主死亡ニ

付弟二耶ノ名ニテ相續届出ヲ爲シ乙家ノ戸主トナレリ然ルニ今日ニ至リ其届出ノ違法ナリシヲ悔ヒ婿養子縁組及婚姻ニ關スル事項ハ戸籍法第六十五條ニ依リ出生及相續ニ關スル事項ハ同法第六十四條ニ依リ根本ヨリ訂正方申請セリ右ハ許容スヘキヤト云フニ無効ナルコト確實ナルニ於テハ申請ヲ許可スヘキモノトス

(大正八年十一月十五日川内區裁判所監督判事問合) (同年十一月二十一日民事第五一〇一號民事局長回答)

◎甲ノ子ヲ乙ノ子トシテ届出タルトキ之カ訂正方

1、甲ノ子ヲ乙ノ子トシテ届出タル後チ甲ノ子ト爲スヘク戸籍訂正ヲ爲スニハ本條ニ依ルヘキヤ第六十七條ニ依ルヘキヤト云フニ一概ニ決定スルコトヲ得サルモ戸籍記載ノ錯誤カ戸籍面ニ於テ顯カナラス且戸籍訂正ノ結果身分ニ重大ノ變更ヲ來スカ如キ場合ニ於テハ確定判決ニ因リテ戸籍訂正ヲ爲スヲ相當トス

(大正十一年五月三十日天草區裁判所判事問合) (同年六月七日民事第二一五六號民事局長回答)

◎長女ノ私生子ヲ戸主ノ嫡出子トシテ届出後戸籍訂正ニ先チテ長女ヨリ私生子出生届ヲ爲シタル場合ノ受理方

1、戸主ニ妻ト長女トアリ長女ノ私生子ヲ戸主ノ嫡出子トシテ虚偽ノ届出ヲ爲シ之レヲ戸籍法第六十四條ニヨリ戸籍訂正ノ手續ヲ爲スニ先チテ長女ヨリ私生子トシテ戸主ノ同意ヲ得テ出生届ヲ爲シタル場合ハ市町村長ハ受理スヘキモノナルヤト云フニ此場合同一人ナルコト明ナルトキハ市町村長ハ受理

スヘカラス

(大正八年四月四日大阪區裁判所監督判事問合) (同年六月二十六日民事第八四一號民事局長回答)

【判例】

◎戸籍記載後ト訂正抹消處分ノ性質

1、既ニ一旦戸籍記載ノ處分ヲ了シタル以上ハ村長ノ職權ヲ以テ任意之カ訂正若クハ抹消ヲ爲スコトヲ得ス必スヤ訂正ノ申請アルカ又ハ監督區裁判所ノ許可ヲ得ルニ非ラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

(大審院大正八年一月十三日判決) (法律新聞一五〇號一六頁)

◎本條ノ趣旨

1、本條ハ戸籍記載ニ著シキ誤謬アル場合ニ於テ利害關係人ニ管轄區裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ス事ヲ許シタルモノニ過キス

(大審院大正七年八月二日判決) (法律新聞一四八三號二三頁)

◎本條ニ所謂戸籍ノ意義

1、戸籍法第六十四條ニ所謂戸籍ハ獨リ現在ノ戸籍ノミナラス既ニ除カレタル戸籍ヲモ包含スルモノニシテ且現ニ其ノ家ヲ異ニスルト否ト問ハサルモノト解釋スルヲ相當ナリトス

(大審院大正十一年四月二十五日判決) (最近判例集第一卷二二頁)

◎戸籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノトノ意義

1、某甲ハ乙某ナル法定推定家督相續人アルヲ無視シ他家ノ法定推定相續人タル丙某ヲ相續人ニ指定シ同人ハ甲某死亡ニヨリ家督相續ヲ爲シ以テ甲ノ戸籍ヲ抹消シ右乙某ハ本來甲某ノ相續人ナルニ拘ラス分家ヲ爲シ新ニ戸籍ヲ編製セラレアルコ

ト明白ナレハ右某甲ノ家督相續人指定ハ民法第九百七十九條ニ丙某ノ相續ハ其届出手續ノ適不適ヲ問ハス民法相續法規ニ乙某ノ分家ハ同法第七百四十四條ニ全然違背シテ爲シタル當然無効ナルモノニシテ法律上戸籍ノ記載ヲ許スヘキモノニアラス

(長野地方裁判所大正五年四月十三日判決) (法律新聞二一九八號二〇頁)

2、戸籍法第六十四條ニ所謂法律上許スヘカラサル記載トハ戸籍ノ記載自體ヨリ其記載事項カ法律上許スヘカラサルコトノ顯ハルル場合ヲ指稱ス

(大審院大正五年二月三日決定) (法律新聞一一一號三二頁)

3、戸籍法第六十四條ノ規定ニ依ル戸籍訂正ノ申請ハ其訂正スヘキ事項カ輕微ニシテ親族法若クハ相續法上何等ノ影響ヲ及ボスヘキ虞ナキ場合ニ限リ認許セラルルモノニシテ同條ニ別段ノ制限ナケレハトテ利害關係人ノ異議ノ有無ニ依リ訂正ノ許可ヲ決スヘキモノニ非ス

(大審院大正十一年六月一日判決) (判決錄第二十七輯第十六卷一〇二頁)

◎親族及相續法上重大ナル影響ヲ及ボス戸籍訂正ト確定判決ニ依ルノ必要

1、戸籍訂正カ親族法上重大ナル影響ヲ及ボスヘキモノニ付テハ確定判決ニ依ルニアラサレハ戸籍ノ訂正ヲ許可スヘキモノニ非ルモノトス

◎本條ノ訂正ノ範圍

1、隱居ニ因ル家督相續ナカリシ舊態ニ戸籍ヲ訂正セントスル戸籍訂正申請ハ親族法並ニ相續法上ニ重大ナル影響ヲ及ボス場合ナルヲ以テ戸籍法第六十四條ニ依リテ訂正ヲ求ムルコトヲ得ス

(大審院大正十三年七月二十八日決定) (法律新聞二三〇四號二二頁) (判例集報一輯諸法一〇四頁)

2、戸籍訂正許可申請並其ノ裁判ニ對スル抗告カ戸籍法第六百六十四條ニ基キ爲サレタルモノナルニ抗告裁判所カ右ノ同法第六百六十四條ニヨリ申請セルモノト誤認シ同條ノ事案ノ如キ親族又ハ相續法上重大ナル影響ヲ及ボスヘキ場合ニ適用スヘキモノニ非ストノ理由ノ下ニ右抗告ヲ棄却シタルハ失當ナリトス

◎戸籍ノ訂正ト記載事項

1、戸籍法第六十四條ニ依リ區裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍ノ訂正ヲ申請スルコトヲ得ル場合ハ戸籍ノ記載自體ヨリ其記載事項ハ法律上許スヘカラサルコト顯ハルル場合又ハ戸籍ノ記載ニ顯著ナル錯誤若クハ遺漏アル場合ニ限ルモノナルヲ以テ本件ノ如ク抗告ノ戸籍簿謄本ニヨレハ抗告人ハ安政六年三月三十日北村山郡宮澤村大字正嚴番外地ニ分家トノ記載アレトモ抗告人ハ先代之小八郎ノ法定家督相續人ニシテ變テ分家ノ事實ナク抗告人ノ不在中何者カ後日右戸籍ノ記載ヲ變造シタルニ他ナラサル事由トシテ右第六十四條ノ規定ニ依リテ戸籍訂正ノ許可ヲ申請スルヲ得サルナリ

(大審院大正十三年二月十五日判決) (法律新聞一三三號一五八頁)

2、戸籍中孫傳太郎トアルヲ長男傳太郎ト訂正セントスルハ親等相續順位等親族法上並ニ相續法上重大ナル影響ヲ及ボスモノナルヲ以テ假令錯誤ノ事實アリトスルモ確定判決ニ依ルニ非サレハ訂正ヲ許スヘカラサルモノトス

(東京地方裁判所大正十四年十月二十三日判決) (法律新聞二四七二號二四頁)

3、戸籍法第六十四條ニ依レハ戸籍ノ記載カ法律上許ス可カラサルコト又ハ其記載方ニ錯誤若クハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ利害關係人ハ區裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍ノ訂正ヲ申請スルコトヲ得ヘキモ斯ノ如キ届出人又ハ届出事件ノ本人ニ非スシテ利害關係ヲ有スルニ過キサル者ニ於テ申請ヲ爲スコトヲ得且ツ單ニ區裁判所ノ許可ヲ得ル如キ簡易ナル手續ヲ經ルヲ以テ足ルハ其訂正スヘキ事項ノ輕微ニシテ親族法若クハ相續法上重大ナル影響ヲ及ボス可キ場合ニ於テハ確定判決ニ因ルニ非サレハ戸籍ノ訂正ヲ許サス

(大審院大正五年四月十九日判決) (法律新聞一四四號二七頁)

◎戸籍記載ノ誤記訂正

1、戸籍法第六十四條ニ依ル戸籍訂正ハ單ニ其記載ニ錯誤ノ存スル場合ノミナラス戸籍ノ届出自體ニ錯誤アリタル場合ニ於テモ亦之ヲ許容シ得ヘキコト論ナシト雖事項輕微ニシテ親族法上若ハ相續法上重大ナル影響ヲ及ボササル場合ニ限リテ之ヲ許スヘク然ラサル場合ニ於テハ確定判決ニ依ルヘキモノト解釋スルヲ相當トス

(東京地方裁判所大正十四年十月二十三日判決) (判例研究三卷一號四二頁)

◎戸籍ニ所謂法律上許スヘカラサル記載ノ意義

1、戸籍法第六十四條ニ所謂法律上許スヘカラサル記載トハ戸籍ノ記載自體ヨリ其記載事項カ法律上許スヘカラサルコトノ顯ハルル場合ヲ指稱ス

(大審院大正五年二月三日決定) (法律新聞一一一號三二頁)

◎本家、分家關係並伯姪關係ト戸籍ノ訂正

實例判例文例人事法總覽

1、本家、分家關係並伯姪ノ身分關係ヲ有スルニ過キサルモノハ單ニ庶子ヲ嫡出子ノ如ク記載シタル戸籍簿竝ニ除籍簿ノ錯誤ニ關シ法律上毫モ利害關係ヲ有スルモノニ非ラズト認ムルノミナラス此ノ場合ニハ本條ニヨリ裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍訂正ノ申請ヲ許シタルモノナリ

◎戸籍訂正ノ申請ト委任ノ欠缺

1、甲カ代理人トシテ爲シタル戸籍訂正許可申請カ乙ノ名義ヲ以テ作製セラレタルニ拘ラズ乙ノ委任狀ナク單ニ丙ノ委任狀添附セラレタルニ止ルトキハ其申請ハ適法ナル委任狀ナキモノトシテ却下ス

◎戸籍申請ト其申請ノ獨立資格

1、戸籍ノ訂正ハ其區裁判所ノ許可ヲ得テ爲ス場合ナルト確定判決ニ依リ爲ス場合タルヲ問ハズ届出人以外ニ尙届出事件ノ本人又ハ利害關係人ニ於テ獨立シテ自ら其申請ヲ爲シ得ヘキモノトス

◎所謂戸籍法上ノ戸籍訂正ヲ許スヘキ場合

1、本條ハ戸籍記載自體ニ依リ其記載事項カ法律上許シ可カラサルコトノ明白ナルカ又ハ顯著ナル錯誤遺漏アリテ訂正カ親族法上又ハ相續法上第三者ノ利害ニ影響ヲ及ボサル場合ニ限リ特ニ許容セラレル簡易手續ナリ依テ叙上ノ如キ影響アル場合ニ於テハ假令届出人又ハ届出事件ノ本人ニ異議ナキトキト雖モ判決ニ依リテ訂正ヲ許スヘキモノニアラス

【同趣旨】

(名古屋地方裁判所大正九年六月五日判決)
(法律新聞一七二九號一四頁)
(大審院大正十年六月一日決定)
(法律新聞一八六一號二二頁)

◎戸籍訂正ノ申請ヲ爲シ得ヘキ場合

1、本條ニヨリ利害關係人カ戸籍訂正ヲ申請スルコトヲ得ル場合ハ戸籍ノ記載自體ヨリ其記載事項カ法律上許スヘカラサルコト顯ハルルカ又ハ戸籍記載ニ顯著ナル錯誤遺漏アリ且ツ訂正ニヘキ事項モ輕微ニシテ訂正ニヨリ毫モ法律上何等影響ナキ場合ニ限ルモノトス

◎戸籍訂正ノ許可申請ヲ爲シ得サル場合ノ例

1、私生子認知ノ届出ヲ受理シタル村長カ認知者ノ戸籍ニ何等ノ記載ヲ爲ササル場合ニ於テハ區裁判所ノ訂正許可ヲ必要トスル戸籍ノ記載全然存在セサルヲ以テ戸籍訂正許可ノ申請ヲ爲スコトヲ得ス

◎戸籍届出錯誤ト復活

1、戸籍法第六十四條ハ必シモ戸籍ヲ編製スルニ際シ之ニ錯誤遺漏ヲ生シタル場合ノミニ限ルニアラス届出ニ錯誤遺漏アリタル爲メ之レニ基キ編製シタル戸籍ニ錯誤遺漏ヲ生シタル場合ニ於テモ適用スヘク又一部訂正又ハ加入ニ必要トスル場合タルト全部ノ抹消ヲ要スル場合タルトヲ問ハズ戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得

◎戸籍訂正ノ方法

1、届出人又ハ届出事件本人間ニ於テ其戸籍ノ訂正ニ異議ナキトキハ管轄區裁判所ノ許可ヲ得テ直チニ戸籍ノ訂正ノ申請ヲ爲スヲ得ヘク若シ届出人又届出事件ノ本人間ニ届出行爲ノ效力ニ爭アルトキハ判決ニ依リテ訂正ノ申請ヲ爲スヘキモノトス

◎戸籍ノ訂正ト戸籍ノ範圍

1、戸籍法第十七條ニ依レハ戸籍簿及戸籍ニ關スル同法第十三條乃至第十五條ノ規定ハ除籍簿及除カレタル戸籍ニ適用セラレルノミナラス戸籍法施行細則第四十五條第五十一條ニ於テハ戸籍法第六條ノ規定ニ基キ除籍簿ノ保存期間ヲ戸籍法施行後タルト否トヲ論セス總テ五十年ト定メ其ノ取扱及保存方法等ニ付テハ兩者殆ント相異ナル處ナシ斯ク既ニ除カレタル戸籍ト雖モ其取扱ヲ鄭重ニシ且ツ永年之間之ヲ保存スルモノハ蓋シ其ノ内容ノ極メテ重要ニシテ且其存否ノ利害關係人ニ及ボス結果ノ重大ナルモノアルコト戸籍簿及戸籍ニ關ラサルモノアルカ故ナリ依テ此等ノモノニ法律上許スヘカラサル記載アルカ又ハ記載カ錯誤若クハ遺漏アル場合ニハ兩者共ニ廣ク其ノ利害關係人ヲシテ之レカ訂正ヲ申請セシムルコトヲ許容セサル可カラズ依テ本條ノ所謂戸籍トハ現在ノ戸籍ノミナラス除カレタル戸籍ヲモ包含ス

◎戸籍簿記載ノ錯誤ト隱居ノ效力

1、隱居ノ届出日附ト相續届出トハ其ノ日附ヲ異ニシ之レカ戸籍簿爲シタル場合ト雖モ隱居ハ無効ニアラス戸籍簿ノ記載カ錯誤アルモノトシテ訂正ノ申請ヲ爲スコトヲ得ルニ過キス

◎不成立ノ縁組カ戸籍ニ記載サレタル場合ノ效力

1、養子縁組カ初メヨリ全然成立セサル場合ニ於テ其ノ縁組ノ不存ヲ主張スルニハ訴又ハ戸籍訂正手續ヲ要セサルハ勿論戸籍上右ノ如キ養子縁組ノ記載アルモ實際養子縁組カ法律上成立セサル場合ニ於テハ其ノ記載ハ法律上何等ノ效力ヲモ有セサルモノトス

第一編 戸籍法規 第五章 戸籍ノ訂正 第六百六十四條

◎本條ノ注意

1、本條ハ裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍訂正ノ申請ヲ爲スヘキコトヲ定メタルニ過キスシテ戸籍訂正ニ付キ利害關係人ニ判決ヲ受クヘキ訴權アルコトヲ定メタルモノニ非ス

【同趣旨】

(長崎地方裁判所大正八年十二月二十五日判決)
(法律新聞一六四七號二二頁)

◎身分關係確定請求訴訟ノ當否

1、遺產相續回復ノ訴ヲ爲ス前提トシテ他人ノ自分關係ノ確定ヲ求ムル訴訟ハ法律上許スヘキモノトス

◎戸籍訂正ノ訴權ト民法及人事訴訟法

1、戸籍訂正ノ訴權ヲ有スルヤ否ヤハ戸籍法ニ依ルモノニアラス民法及人事訴訟法ノ規定ニヨリ定ムヘキナリ

◎戸籍記載ノ抹消手續ノ實例

1、戸籍ノ記載ヲ訂正抹消スルニハ必シモ戸籍法第六十四條以下ニ規定スル戸籍訂正ノ申請手續ニ據ラサルヘカラサルモノニアラス市町村ノ處理處分ニシテ違法ナルニ於テハ之ニ對スル抗告ノ審判ニ於テモ亦戸籍記載ノ抹消ヲ許スヘキモノトス

◎本條訂正許可申請事件ト準據規定

1、戸籍法第六十四條ニ基ク戸籍訂正許可申請事件ニ就テハ別ニ手續ヲ定メタル法規ナキヲ以テ非訟事件手續法第一編ノ規定ノ適用アルコト論ナク而シテ非訟事件手續法第十九條ニ依リテ裁判所ハ一旦其裁判ヲ爲シタル後該裁判所ヲ不用ナリト認ムルトキハ之ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得

(大阪控訴院大正十四年四月十四日判決)
(法律新聞二四二二號一九頁、法律評論一四卷民法六五七頁)

(大審院大正七年九月二十六日判決)
(法律新聞一四九一號二二頁)

(盛岡地方裁判所大正十三年四月六日判決)
(法律評論一三卷民法二二六頁)

(東京地方裁判所大正十四年十二月四日判決)
(法律新聞六一號二二頁)

實例判例文例人事法總覽

第六百六十五條 届出ニ因リ効力ヲ生スヘキ行爲ニ付キ戸籍ノ記載ヲ

爲シタル後其行爲ノ無効ナルコトヲ發見シタルトキハ届出人又ハ届出事件ノ本人ハ前條ノ區裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍ノ訂正ヲ申請スルコトヲ得

參考 民法七四三條、七五二條以下、七七五條、八一〇條、八二九條、八四七條、八六四條、九八〇條。

戸籍法一三八條、一三九條、一四一條、一四三條、一四五條、一五八條。

非訟事件手續法二條、三條、六條、八條、九條、一七條。

【實例】

◎第六百六十五條ノ「行爲ノ無効」ノ意義

1、戸籍法第六百六十五條ノ行爲ノ無効トハ行爲自體ノ無効ヲ云フモノニシテ左ノ届書ニ基キ爲シタル戸籍ノ記載ヲ發見シタルカ如キハ同條ニ所謂「届出ニ因リ効力ヲ生スヘキ行爲ニ付戸籍ノ記載ヲ爲シタル後其ノ行爲ノ無効ナルコトヲ發見シタルトキ」トアルニ該當スルモ同意又ハ承認ヲ要スル事件ノ届出ニ付戸籍ノ記載ヲ爲シタル後單ニ市町村長カ其届書ニ同法

第五十八條第一項ノ手續ノ遺脱アリシコトヲ發見シタルカ如キ場合ハ右ニ該當セサルモノトス

イ 法定ノ推定家督相續人ヲ被離籍者トシテ爲シタル離籍届(民法第七百五十條第二項ノ離籍ヲ除ク)

ロ 法定ノ推定家督相續人カ分家者ト爲リテ爲シタル分家届

ハ 十五年以上ノ未成年者ノ養子縁組ニ付父母カ代テ爲シ

タル縁組届

ニ 父母アル十五年未滿ノ未成年者ノ養子縁組ニ付父母以

外ノ者カ代テ承諾者トシテ爲シタル縁組届

(大正三年六月二十六日山口區裁判所監督判事問合
同年十二月二十八日民第一二二五號法務局長回答)

◎第六百六十五條ノ適用アル場合ノ例示

1、左記(イ)(ロ)(ホ)ハ戸籍法第三十九條ニ所謂法律上許スヘカラサルモノ(ハ)(ニ)ハ錯誤ノ記載ト解スヘク又(ヘ)(ノ)一例ハ本則トシテ民法第九百六十六條ノ家督相續回復ノ裁判ニ因リ回復ノ届出ヲ爲スヘキ場合ニ該ルモ相續届出人自カラ訂正ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ錯誤ト解スヘク第二例ハ法律上許スヘカラサル記載(ト)ノ場合ハ第六百六十五條ニ依ルヘク(チ)ノ場合ハ取消ノ判決ニ基キ第六百六十七條ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

イ 規定ナキ届出ニ基ク記載

例 父カ子ニ對スル親權ニ關スル事項ノ記載

家督相續人選定ニ關スル事項ノ記載

ロ 規定上不要ノ記載

例 被指定者ノ戸籍ニ爲シタル家督相續人指定ニ關スル

事項ノ記載

第一編 戸籍法規 第五章 戸籍ノ訂正 第六百六十五條

戸籍法 (二七五)

胎兒認知ニ關スル事項ノ記載

ハ 届出ニ基カサル記載

例 婿養子縁組届ノミニヨリ爲シタル婿養子婚姻ニ關スル事項ノ記載

離籍届ノミニ因リ編製シタル絶家再興ノ戸籍ノ記載

ニ 虚偽ノ届出ニ基ク記載

例 他人ノ子ヲ自己ノ子トシテ出生届出ヲ爲シタルニ基ク記載

死亡セサル者ノ死亡届出ヲ爲シタルニ基ク記載

ホ 無救ノ届出ニ基ク記載

例 届出義務者ニアラサル者カ爲シタル届出ニ基ク記載

偽造變造ノ届書ニ基ク事項ノ記載

ヘ 違法ノ届出ニ基ク記載

例 正當相續人ニアラサル者カ届出ヲ爲シタル家督相續

ニ關スル事項ノ記載

裁判所ノ許可ヲ受ケスシテ爲シタル届出ニ基ク廢家ニ

關スル事項ノ記載

ト 届出ニ因リ効力ヲ生スヘキ行爲ニ關シ無効ノ行爲ニ基

キ届出ヲ爲シタルニ因ル記載

實例判例文例 人事法總覽

例 人違ノ婚姻又ハ縁組ニ關スル事項ノ記載
法定推家督相續人アル者ノ家督相續人指定ニ關スル
事項ノ記載

子 届出ニ因リ效力ヲ生スヘキ行爲ニ關シ取消シ得ヘキ行
爲ニ基キ届出ヲ爲シタルニ因ル記載

例 重婚又ハ年長者ヲ養子トスル縁組ニ關スル事項ノ記
載裁判所ノ許可ヲ受ケスシテ爲シタル隠居ニ關スル事
項ノ記載

◎本條ト第六十七條トノ訂正申請方ノ區別ノ標準

(大正三年七月七日福岡地方裁判所長問合
大正四年一月十六日民第一一八四號法務局長回答)

1、戸籍法第六十四條ノ規定ニ依リテ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ス
ヘキ場合ト同法第六十七條ノ規定ニ依リテ戸籍訂正ノ申請
ヲ爲スヘキ場合ト區別セハ大體ニ於テ戸籍記載ノ錯誤カ戸
籍面ニ於テ顯カナラス且戸籍訂正ノ結果身分ニ重大ノ變更ヲ
來スカ如キ場合ニ於テハ確定判決ニ因リテ戸籍ノ訂正ヲ爲ス
ヲ相當トス

(大正十一年五月三十日天草區裁判所判事問合
同年六月七日民事第二二五六號民事局長回答)

◎他家入籍届ノ受理後ニ於テ入籍者カ配偶者ナリシコトヲ發見セ
シトキノ取扱方

シ戸籍訂正ノ手續ヲ爲サシムヘキモノトス

(大正十一年十一月九日小倉市長問合
同年十一月二十日民事第四三一四號民事局長回答)

◎女戸主ノ夫ノ養父カ夫ト共ニ分家シタルトキハ戸籍訂正ノ手續
ニ依リテ女戸主ノ夫ヲ分家ヨリ除籍ス

1、女戸主ノ夫乙(女戸主ノ繼父丙ト婿養子縁組ヲ爲シ同時ニ
婚姻シタルモノ)養父丙分家ニ際シ民法第七百四十三條二項
ニ依リ分家ノ家族トシテ分家届出タリ該分家届ヲ受理スルモ
差支ナキヤト云フニ斯ル分家届ハ離婚ヲ爲スニアラサレハ受
理スルヲ得ス

(大正三年七月九日若松區裁判所監督判事問合
大正四年一月二十八日民第一一七九號法務局長回答)

2、前項若シ既ニ分家届ヲ受理セシトキハ如何ナル取扱ヲ爲ス
ヘキヤト云フニ戸籍訂正ノ手續ニ依リテ乙ヲ分家ヨリ除籍セシ
ムヘシ

(大正三年七月九日若松區裁判所監督判事問合
大正四年一月二十八日民第一一七九號法務局長回答)

◎民法第七百四十四條第一項ノ規定ニ違背シタル婚姻ト雖モ市町
村長其ノ届出ヲ受理シタル上ハ效力ヲ生ス

1、甲家ノ法定ノ推定家督相續人タル女子カ乙家ノ男女ト婚姻
ノ届出ヲ爲シ戸籍吏ハ婚姻カ民法第七百四十四條ニ違背ス

第一編 戸籍法規 第五章 戸籍ノ訂正 第六十五條

1、甲村甲女ノ乙村乙家ヘノ入籍届ヲ乙村戸籍吏受領ノ上甲村
戸籍吏ニ送付セシニ甲女ハ甲村丙男ノ配偶者ニシテ未タ離婚
實家ニ復籍シ居ラサル旨ヲ以テ乙村戸籍吏ニ該入籍届ヲ戻シ
越セリ(事實ハ離婚實家ニ復籍シ居ルモ手續未済)此ノ場合
入籍取消ノ手續前甲女丙男ハ離婚ノ上妻ハ實家ニ復籍ヲ爲シ
タル後猶ホ入籍取消ノ手續ヲ爲ササルニ於テハ乙村戸籍吏ハ
入籍取消ヲ待ツノ要ナク保留ノ入籍届ヲ甲村ヘ再送シ甲村戸
籍吏ハ直ニ除籍ノ手續ヲ了シ差支ナキヤト云フニ離婚セサル
甲女ノ乙家ヘノ入籍ハ無効ナルヲ以テ戸籍訂正ノ手續ヲ爲サ
シムヘキモノトス

(大正三年四月二十一日愛媛縣西宇和郡眞穴村戸籍吏問合
大正四年一月十九日民第七五二號法務局長回答)

◎實父ト繼母トアル十五年未滿ノ子ノ養子縁組ニ付キ子ノ本籍地
市町村長カ繼母ノ承諾ナキ届書ノ送付ヲ受ケタルトキノ取扱方

1、實父ト繼母トアル十五年未滿ノ子ノ養子縁組ニ付養子ノ本
籍地市町村長カ繼母ノ承諾ナキ養子縁組ノ送付ヲ受ケタルト
キハ同市町村長ハ繼母ヲシテ縁組承諾ノ追完ヲ爲サシメタル
上戸籍ノ記載ヲ爲スヘシ若シ其ノ追完ヲ爲ササルトキハ縁組
ハ無効ナルヲ以テ届書ヲ養親ノ本籍地市町村長ニ返送スヘク
同市町村ハ戸籍法第三十九條第一項ニ依リ届出人ニ通知ヲ爲

ルモノナルコトヲ知ラスシテ其儘受理シ乙家ニ入籍ノ手續ヲ
爲シタル後甲家ノ戸主死亡シ家督相續ヲ開始シタル場合ニ其
家督相續人ハ何人ナルヤ前記婚姻ハ民法第七百四十四條ニ違
背シ無効ナレハ縱令婚姻ノ爲メ除籍スルモ戸籍法第六十五
條又ハ第六十八條第六十四條ニ依リ戸籍訂正ノ手續ヲ爲シ
其女子ヲ以テ家督相續人トシテ取扱フヘキヤ或ハ又民法第七
百四十四條ニ違背シタル婚姻ト雖モ戸籍吏カ届出ヲ受理スル
トキハ其ノ效力ヲ生スルモノトシ次順位ノ者ヲ家督相續人ト
シテ取扱フヘキモノナルヤト云フニ民法第七百四十四條第一
項ノ規定ニ違背シタル婚姻ト雖モ市町村長其ノ届出ヲ受理シタ
ル上ハ其效力ヲ生スヘキヲ以テ次順位ノ者ヲ家督相續人トス

(大正四年七月十日大阪區裁判所監督判事問合
同年七月二十日民第一一五五號法務局長回答)

【同趣旨】

(明治三十一年九月十六日東京市芝區戸籍吏問合
同年十月二十七日民刑第一五四〇號民刑局長回答)
(明治三十三年十二月二十五日福島縣喜多方町戸籍吏問合
明治三十四年五月一日民刑第三六號民刑局長回答)

◎重婚ヲ爲シタル場合ノ取扱方

1、婚姻ニ因リ乙村乙家ニ入籍シ已ニ戸籍ヨリ除カレタル甲村
甲家ノ二女丙カ數年ノ後丁村丁家ノ戊ト重婚(丙ハ甲村甲家
ノ二女ト記載シアリ)ヲ爲シタル届書ヲ丁村長ヨリ送付ヲ受

實例判例文例人事法總覽

ケタル甲村長ハ届出事件ノ本人及ヒ丁村長ニ其錯誤ノ通知ヲ爲スヘキモノナルヘキモ右送付ヲ受ケタル届書ハ事由ヲ付シテ一應之ヲ成ト婚姻當時ノ丙ノ本籍地タル乙村長ニ送付シ乙村長ハ其届書ニ依リ乙家ノ戸籍中丙ノ事項欄ニ丁村丁家ノ戊トノ婚姻事項ヲ重ネテ記載(除籍スルコトヲ得サルハ勿論ナリ)シ置クヘキモノナルヤ又ハ甲村長ハ甲家ノ戸籍中已ニ除カレタル丙ノ事項欄ニ丁村丁家ノ戊ト婚姻シタル事項ヲ記載スヘキモノナルヤト云フニ丙ハ既ニ乙村乙家ニ入籍シタル者ナルヲ以テ甲村甲家ノ二女トシテ爲シタル婚姻ノ届出ハ受理スヘカラサルモノナルニヨリ丁村長ノ爲シタル戸籍ノ記載ハ戸籍訂正ノ手續ニ依リ之ヲ抹消スヘク甲村長ハ送付ヲ受ケタル届書ヲ丁村長ニ返戻スヘシ

(大正五年十一月九日山口區裁判所監督判事問合) 同年十二月十六日民第一八二五號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正八年五月十三日香川縣小豆郡坂手村長問合) 同年五月二十七日民第一四〇二號民事局長回答)

2、甲町甲男乙村乙女ノ婚姻届ヲ甲町ニ受理届書ノ一通ヲ乙村ニ送付セシニ乙女ハ丙村丙男ト數年前婚姻ニ因リ除籍セシモノナリトノ理由ニヨリ届書ヲ返戻セリ此場合右返戻ヲ受ケタル届書ハ如何スヘキヤト云フニ返戻セラレタル届書ハ之ヲ届

出人ニ差戻スヘシ但シ甲男ノ戸籍ニ爲シタル婚姻ノ記載ハ戸籍訂正ノ手續ニ依リ之ヲ抹消スヘキモノトス

(大正六年三月二十三日三重縣南牟婁郡入鹿村長問合) 同年四月十八日民第五八九號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正八年五月十三日香川縣小豆郡坂手村長問合) 同年五月二十七日民第一四〇二號民事局長回答)

【參照】

3、重婚取消ノ裁判確定シタルトキハ戸籍法第六十七條ニ依リ戸籍訂正ノ申請ヲ爲スヘキモノナル旨本年一月二十三日付廣島縣比婆郡東城町長ノ伺ニ對シ同年二月二十三日民第一七七號ノ回答ナルモ婚姻ノ取消ハ民法第七百八十七條ニ依リ其ノ效力既往ニ遡及セス只將來ニ向ツテノミ消滅スヘキモノナレハ婚姻ノ戸籍記載ハ錯誤トナラサルニ付戸籍訂正ノ申請アルモ細則第二十一條ニ依リ婚姻事項ヲ抹消スルコトヲ得サルノミナラス戸籍法第二百二條ニ如上ノ場合ニ於ケル特別ノ規定アルヲ以テ同條ニ依リ取消ノ届出ヲ爲スヘキモノトス(省議變更)

(大正四年八月十六日北海道空知郡岩見澤町長問合) 同年九月八日民第一三三四號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正四年八月十六日北海道空知郡岩見澤町長問合) 同年九月二十日民第一四二六號法務局長回答)

4、甲村ノ某女乙村ノ某男ト婚姻ヲ爲シ數年ノ後離婚ヲナサスシテ實家ニ歸リ後丙村某男ト婚姻ヲナシ某女ハ甲村在籍者トシテ丙村長ニ婚姻ノ届出ヲナシタリ丙村長ハ之ヲ受理シ某女ノ入籍手續ヲナシ甲村長ニ届書ヲ送付ヲナシタルニ甲村長ハ某女ハ先年乙村某男ト婚姻ヲナシ除籍シタルモノニシテ甲村在籍者ニアラサル旨ヲ付シテ届書ヲ返戻シ來レリ此ノ場合ニ於テ丙村長ハ該婚姻ハ民法第七百六十七條ニ該當シ全然無効ノ旨當事者ニ通知シ當事者ハ同法第七百八十條ニヨリ婚姻ノ無効取消ヲ裁判所ニ請求シ其許可ヲ得テ戸籍法第六十五條ニヨリ丙村長ニ戸籍訂正ノ申請ヲナスヘキモノナルヤト云フニ某女ト丙村男トノ婚姻ハ民法第七百六十六條ノ規定ニ違反シタルモノトシテ同第七百八十條ノ規定ニ依リ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得而シテ婚姻取消ノ裁判カ確定シタルトキハ戸籍法第六十七條ノ規定ニ依リ丙村長ニ戸籍訂正ノ申請ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年一月二十三日廣島縣比婆郡東城町長問合) 同年二月十三日民第一七七號法務局長回答)

5、前項某女未タ丙男ト婚姻ノ届出ヲナササル前一子ヲ擧ケ丙男ヨリ庶子出生届ヲナシ丙男ノ戸籍ニ入籍シ父母ノ婚姻ニヨリ嫡出子トナリタル某子アリ然ルニ婚姻無効トナルトセハ民

第一編 戸籍法規 第五章 戸籍ノ訂正 第六百六十五條

法第八百二十條ニヨリ乙村某男ヨリ嫡出子出生ノ届出ヲナシシメ丙村某男ハ戸籍法第六十五條ノ規定ニ從ヒ裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍訂正ノ申請ヲナスヘキヤト云フニ婚姻カ取消サルコトアルモ其ノ效力ハ既往ニ遡ラサルニ付戸籍ノ記載ハ其ノ儘ニ爲シ置クヘシ

(大正四年一月二十三日廣島縣比婆郡東城町長問合) 同年二月十三日民第一七七號法務局長回答)

◎届出人又ハ届出事件本人數名アル場合ニ於テ區裁判所ノ許可ヲ受クヘキ者及戸籍訂正ノ申請ヲ爲スヘキ者

1、戸籍法第六十五條ニ依ル戸籍訂正ノ場合ハ區裁判所ノ許可ヲ受クルニハ届出人又ハ届出事件本人カ二名アルトキハ二名ヨリ申請ヲ要スルモ區裁判所ノ許可ヲ得テ市町村長ニ戸籍訂正ノ申請ヲ爲スニハ戸籍法施行細則附錄第四號戸籍記載例百三十六ノ如ク届出人又ハ事件本人ノ内ノ一人ヨリ之カ申請ヲ爲スヘキモノナリヤト云フニ戸籍法第六十五條ノ許可ノ裁判ハ届出人又ハ届出事件ノ本人カ數人アル場合ニ於テ其一人ヨリ之ヲ求ムル事ヲ得ヘシ而シテ許可ノ裁判アリタル時ハ其裁判ヲ求メタル者ヨリ戸籍訂正ノ申請ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年八月二十一日靜岡區裁判所監督判事問合) 同年九月十七日民第一四一三號法務局長回答)

◎戸主ト爲リタル養子ノ離縁届出ニ基キ既ニ復籍ニ關スル戸籍ノ

記載ヲ爲シタルトキハ訂正ノ手續ニ依ル

1、法定ノ推定家督相續人タル養子甲ノ養父タル戸主乙死亡シ甲ハ家督相續ニ因リ戸主トナリタルモ相續届ヲ爲サス甲村養家ニアル乙ノ妻タル養母丙ト乙村養子實家ニ在ル養子甲間ニ離縁ノ協議ヲ爲シ乙村長ニ届出タルヲ受理シ復籍セシメタル上届書ノ一本ヲ甲村長ニ發送シタル場合ニ於テ甲村長ハ有効ノ離縁トシ受理スヘキヤ(參照民法第八百六十五條第二項)若シ受理スヘカラストセハ養子カ實家ニ復籍シタル戸籍記載ノ始末ハ如何スヘキヤト云フニ戸主ト爲リタル養子甲ノ離縁ハ無効ナルニ付其ノ届ノ送付ヲ受ケタル甲村長ハ之ヲ受理スルコトヲ得ス乙村長カ爲シタル甲ノ離縁復籍ニ付テノ戸籍記載ハ戸籍訂正ノ手續ニ依リ之ヲ訂正スヘシ

(大正四年十二月二日尾道區裁判所監督判事問合
大正五年一月二十四日民第一八三五號法務局長回答)

廢家シテ他家ニ入ルヘキ場合廢家届出後入籍不能トナリタル場合ノ訂正手續

1、戸主カ婚姻其他ノ事由ニヨリ他家ニ入ラントスルニハ其前提行爲トシテ廢家ヲ爲ササルヘカラス然ルニ廢家ノ届出ヲ爲シタル後其入籍スヘキ原因即婚姻其他ノ法律行爲ノ届出カ不能ト爲リタルトキハ曩ニ爲シタル廢家ノ行爲ハ戸籍訂正申請

スル戸籍ノ記載ヲ抹消スルコトヲ得ヘキモノトス

(大正五年九月二日大阪區裁判所監督判事問合
同年十一月二日民第一三三三號法務局長回答)

3、認知セラルヘキモノハ私生子ニ限リ庶子ニ對シテハ更ニ他ノ男子ニ於テ認知スルヲ得サルコトハ民法第八百二十七條ノ規定ニ依リ明カナルヲ以テ若シ他ノ男子ニ於テ其子カ自己ノ子ナルコトヲ主張セントセハ同第八百三十四條ニ依リ訴ノ方法ヲ以テ反對ノ事實ヲ主張シ其ノ身分關係ヲ確定セシムヘク更ニ認知ヲ爲スカハ法律ノ許ササル處ナレハ當然無効ノ届出ナリトシテ戸籍訂正ノ方法ニ依ルコトヲ得ヘキハ勿論認知者カ自ラ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ササルトキハ市町村長ハ戸籍法第三十九條ニ所謂戸籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノトシ職權ヲ以テ戸籍訂正ヲ爲シ得ヘシ

(大正五年九月二日大阪區裁判所監督判事問合
同年十一月二日民第一三三三號法務局長回答)

父ノ認知ニヨリ父ノ家ニ入籍ト戸籍訂正ノ申請

1、別紙戸籍ニ於イテ「ハル」ヲ認知ニ依リ父ノ籍ニ入籍セシムルニハ戸籍訂正許可ノ裁判ヲ要スルヲ以テ戸籍訂正ノ申請ヲ爲サシムルモノトス

(別紙略)

(大正十三年六月二十三日熊本縣八代郡高田村長問合
同年八月十二日民第一〇二七二號民事局長回答)

ノ手續ニヨリ廢家ノ事項ヲ抹消スルモノトス

(大正四年十二月十日小樽區長問合
大正五年二月三日民第一九〇一號法務局長回答)

2、廢家後其届出處分前ニ於テ家族ノ身分ニ關スル届出アリタルトキハ身分ニ關スル届出ニ基キ廢家者ノ戸籍ニ記載ヲ爲スヘシ

(大正四年十二月十日小樽區長問合
大正五年二月三日民第一九〇一號法務局長回答)

◎甲女ノ私生子ヲ乙男ニ於テ認知シ入籍ノ手續ヲ爲シタル後同一私生子ニ付又他男丙ニ於テ認知ノ届出ヲ爲シタル場合ノ訂正手續

1、甲女ノ私生子ヲ乙男カ認知シ庶子トシテ入籍ノ手續ヲ爲シタル後同一私生子ニ對シ丙男ニ於テ更ニ私生子認知ノ届出ヲ爲シタルニ依リ之ヲ受理シタル市町村長ハ其ノ届出ニ基ク戸籍記載ヲ完了シタル處母ノ本籍地ヨリ該私生子ハ既ニ乙男ニ認知セラレアル旨ヲ以テ届書ノ返戻ヲ受ケタル場合ニ於テハ認知者タル丙男ハ無効ノ届出ナリトシテ戸籍法第六十五條ニ依リ戸籍訂正ヲ爲スヘキモノトス

(大正五年九月二日大阪區裁判所監督判事問合
同年十一月二日民第一三三三號法務局長回答)

2、右ノ場合ニ於テ届出人タル丙男カ自ラ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ササルトキハ市町村長ハ職權ヲ以テ戸籍訂正ヲ爲シ認知ニ關

戸三號 (二八一)

居所指定ノ催告ニ應ゼサル爲離籍セラレタル長男ニ關スル戸籍記載ノ訂正

1、戸主ニ長男ト二男トアリ長男ハ明治三十五年中戸主ノ居所指定ノ催告ニ應ゼサルヲ理由トシテ離籍セラレ一家ヲ創立セリ而シテ今日戸主ノ死亡ニ因リ家督相續開始シタルトキハ長男ニ相續權アリヤ將タ二男ニ相續權アリヤト云フニ法定ノ推定家督相續人ハ離籍スルコトヲ得サルモノナルニ付其ノ離籍及一家創立ハ無効トス從テ戸籍法第六十五條ニ依リ戸籍訂正ノ手續ヲ爲サシメ長男ヲ以テ相續人ト爲スヘキモノトス

(大正五年十一月二十七日大阪區裁判所監督判事問合
同年十二月十九日民第一八九三號法務局長回答)

◎丁女トノ婚姻ヲ女乙トノ婚姻ト誤記シタル場合ニ於ケル戸籍ノ訂正

1、別紙戸籍謄本ニ於ケル死亡戸主甲三女乙ハ明治三十八年八月三日丙ト婚姻ニ因リ除籍ト爲リ居ルモ右其姉(甲二女)丁カ丙トノ婚姻届出ヲ爲スニ際シ誤テ乙ト記載シタルニ因リ今之レカ訂正ヲ爲サントスルニハ戸籍法第六十五條ニ依リ丙及乙ノ兩人ヨリ婚姻無効ノ原因トシ所轄裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍訂正申請ヲ爲セハ可ナリトス

(大正六年六月二十五日西條區裁判所監督判事代理判事問合
同年九月十四日民第一二八四號法務局長回答)

實例判例文例人事法總覽

2、前項ノ場合ニ其申請ヲ受理シタル某町長ハ乙ノ事項欄ニ「婚姻無効ニ因リ年月日附某區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ丙乙戸籍訂正申請年月日受附」ト記載シ申請書ノ一通ヲ乙ノ原籍地村長ニ送付シ同村長ハ「婚姻無効ニ因リ年月日附某區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ丙乙戸籍訂正申請年月日某町長何某受附月日送付入籍」ト記載シタル後入籍通知書ヲ送付シ某町長ハ之ニヨリ更ニ月日除籍ト記載スヘキモノナルヤト云フニ記載例中「婚姻無効ニ因リ云々」トアルヲ「婚姻無効ニ付キ云々」ニ改メ、除籍記載例ハ「月日入籍通知ニ因リ除籍」ノ例ニ依ルヘシ

(大正六年六月二十五日西條區裁判所監督判事代理判事問合
同年九月十四日民第一二八四號法務局長回答)

3、右訂正ノ結果丙長男戊ハ嫡出子タル身分ヲ失ヒ母ノ氏名及父母トノ續柄ニ相違ヲ生スヘキニ依リ更ニ母ノ氏名ヲ丁父母トノ續柄ヲ庶子ト訂正許可申請ヲ爲スコトヲ得ルヤト云フニ前項ノ手續ヲ爲シタル上丙丁ヨリ更ニ婚姻ノ届出ヲ爲サシメ且父母ヨリ子女ノ認知ノ届出ヲ爲サシムヘク從テ子ハ嫡出子ト爲ルヲ以テ父母トノ續柄ハ之ヲ訂正スルニ及ハサルモ母ノ名ニ付テハ婚姻届書及認知届書ニ基キ某町長之ヲ訂正スルコトヲ得ヘシ

ヲ抹消シ乙ノ甲號戸籍ヲ回復スヘシ而シテ乙隱居後ニ爲シタル分家等ニ基キ編製シタル丙號乃至庚號戸籍ハ之ヲ抹消シタル上戊號戸籍ノ丙及養女巳ニ付テハ乙ノ家族トシテ回復シタル戸籍ニ其ノ記載ヲ爲スヘキモノトス

事實

別紙戸籍(甲)中次男甲ハ約二十五箇年以前ヨリ所在不明ナルモノナリシカ同人ノ父タル戸主乙ハ明治三十八年三月二十日自己ノ隱居届及家督相續人タル右甲ノ家督相續届ヲ所轄戸籍吏ニ差出シテ同人ノ戸籍(乙)ヲ編製セシメ同年四月五日妻丙ト共ニ分家(丙)シタル上丁ナル者ヲ養子ト爲シ後廢家シテ一且右甲ノ家籍ニ入り同四十四年九月二十九日再ヒ妻丙ト共ニ分家(丁)シテ本家戸籍ニアル孫戊ナル者ヲ養子ト爲シ同四十五年二月十七日再ヒ隱居シテ戊ヲ戸主ト爲シ(戊)同年四月十六日更ニ復々妻丙ト共ニ分家(巳)シ大正二年二月二十三日死亡セリ依テ同人ノ妻丙ハ選定ニヨリ家督相續(庚)ヲ爲シ後同人ハ巳ナル者ヲ養子ト爲シタルモノナリ然ルニ右甲ハ同五年九月十五日失踪ノ宣告ヲ受ケ明治三十三年二月十五日死亡シタルモノト看做サレタルヲ以テ茲ニ(甲)以下(庚)ノ各戸籍ノ記載ニ錯誤アルコトヲ發見セシモノナリ(右甲カ届出人又ハ

第一編 戸籍法規 第五章 戸籍ノ訂正 第六十五條

(大正六年六月二十五日西條區裁判所監督判事代理判事問合
同年九月十四日民第一二八四號法務局長回答)

◎未成年戸主ノ母ノ入夫婚姻ヲ受理シ登記シタルモノノ訂正
1、未成年者戸主アリ其ノ母入夫ヲナシ得サルニ入夫婚姻届出ヲナシ戸籍吏誤ツテ之ヲ受理登記シタリ而シテ未成年戸主死亡家督相續人選定ニ付本件ノ錯誤ヲ發見セリ此場合訂正方ニ付キテハ明治三十七年二月二十二日勝山區裁判所判事問合同年三月十六日民刑第七八號民刑局長但書回答ノ通り市町村長限リ取扱ヒテ可然ヤ或ハ現戸籍法第三十九條本文適用取扱フヘキヤ同條一項但書ニ因リ取扱フモノナリヤト云フニ此場合ニハ戸籍法第三十九條第一項本文及第二項ニ依リ處理スヘシ

(大正六年八月十七日宇都宮市長代理判事問合
大正七年五月二十四日民第一〇一六號法務局長回答)

◇所在不明者ノ父カ隱居ヲ爲シタル上分家、縁組等ヲ爲シタル後所在不明者ニ付失踪宣告アリタル場合ニ於ケル戸籍ノ訂正
1、左記ノ錯誤ノ記載ハ單ニ戸籍法第六十四條以下ノ規定ニヨリ訂正スルコトヲ得サルヤ又タ何人ヨリ如何ナル方法ニヨリ訂正セシムヘキモノナリヤト云フニ甲カ所在不明者ナルニ拘ハラス相續ノ承認ヲ爲シタル乙ノ隱居並甲ノ相續ハ無効ナルヲ以テ利害關係人タル弟丁、丙、戊ヨリ戸籍法第六十五條ニ依リ戸籍訂正ノ申請ヲ爲サシメ之ニ基キテ甲ノ乙號戸籍

同意者トシテ署名及捺印ハ何レモ同人カ死亡セシモノト看做サレシヨリ以後ノモノナルニ付本人ノ爲シタルモノニアラサルハ勿論ナリ)

(大正六年六月二十八日山口區裁判所監督判事問合
大正七年五月二十四日民第一〇一六號法務局長回答)

◎變更前ノ省議ニ基キ父母ノ婚姻ニ因リ庶子ヲ父ノ家ニ入レタルモノハ其ノ儘トス

1、明治三十一年八月二十一日山梨縣南都留郡寶村戸籍吏問ニ對スル同年十月六日附民刑第一二五五號民刑局長ノ回答以來該趣旨ニ依リ父ノ家ニ在ル庶子ハ父カ庶子ノ母ト入夫婚姻ヲ爲シタル場合ニ父ト共ニ母ノ家ニ入ルヘキモノトシテ取扱來リタリ其後明治四十五年三月二十七日今治區裁判所判事問合ニ對スル同年四月二日民事第六三〇號民事局長ノ回答ニヨリ變更セラレタルヲ以テ從前記寶村戸籍吏ニ對スル民刑局長ノ回答ノ趣旨ニヨリ父ノ家ニ在ル庶子ヲ父ノ入夫婚姻ニヨリ入籍セシメタルハ結局違法ノ取扱ヲ爲シタルモノト見ルノ外ナカルヘキカ故ニ該入籍ノ記載ハ戸籍法第六十四條ニ所謂錯誤ノ記載ト爲ルヘキヲ以テ大正五年十一月二十七日大阪區裁判所監督判事問合ニ對スル同年十二月十九日民第一八九三號法務局長ノ回答ノ趣旨ニ基キ戸籍訂正ノ手續ニ依リ母ノ家

ニ入籍セシメタル記載ヲ全部抹消シ父ノ家ニ於ケル除籍ノ記載ヲ回復セシムヘキモノナルヲ云フニ右ハ當時許サレタル手續ニ依リ適法ニ取扱ヒタルモノナルヲ以テ戸籍訂正ノ手續ヲ要セス其儘ニ爲シ置キ差支ナキモノナリ

(大正七年二月二十五日大阪市東區長問合) (同年五月三十一日民第一八〇號法務局長回答)

◎未成年戸主ノ母ヲ誤テ入籍後離婚ノ届出アリタル場合ニ於ケル戸籍ノ訂正

1、未成年戸主ノ母其家ニ在リテ夫ヲ迎フルコトヲ得サルニ入籍後離婚ヲ爲シ町村長モ亦誤テ之ヲ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲シタルトキハ戸籍訂正ノ手續ニヨリ普通ノ婚姻ニ訂正スヘキハ勿論ナルモ其訂正前協議離婚ノ届出タル場合未タ其間ニ子女アラサルニ於テハ便宜之ヲ受理シ其儘戸籍ノ記載ヲ爲シ差支ナキヤト云フニ離婚届ハ之ヲ受理シ婚姻ニ關スル戸籍訂正ノ手續ニ關スル記載ヲ爲スヘシ

(大正六年十月二十五日字部官區裁判所監督判事問合) (大正七年五月三十一日民第一二四八號法務局長回答)

◎廢家届出後他家入籍届出前ニ廢家者死亡シタル場合ノ手續

1、分家戸主カ廢家ノ届出ヲ爲シタル後死亡シタルカ爲他家ニ入籍スルコト能ハサルニ至リタルトキハ其ノ廢家ハ無効ナルヲ以テ戸籍訂正ノ手續ニ依リ廢家ニ關スル事項ヲ抹消スルコトヲ要ス

戸三號 (二八五)

書類ト丙村長カ前ニ受理シタル届書トニ基キ甲村ノ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキモノナルニ付此ノ趣旨ヲ以テ返戻セラレタル届書ヲ甲村長ヘ再送スヘキモノトス

(大正七年五月二十三日巖手縣和賀郡横川村長問合) (同年八月一日民第一七四八號法務局長回答)

◎法定ノ推定家督相續人タル私生子ヲ認知シタル場合ニ誤テ子ヲ父家ニ入籍セシメタルトキノ訂正

1、明治三十一年十一月八日神戶市書記問合推定家督相續人タル私生子認知ノ件ニ對スル同年十二月二十一日民刑第二〇五〇號回答ノ趣旨ハ大正四年八月十六日北海道空知郡岩見澤町長問同年九月二十日民第一四二六號回答第三項ニヨリ全ク變更セラレタルモノナレハ既ニ受理ノ上入籍ノ手續ヲ了シタルモノハ如何ニ取扱フヘキヤト云フニ戸籍訂正ノ手續ヲ爲サシメ父ノ戸籍中庶子ニ關スル戸籍記載ヲ抹消スヘシ而テ既ニ母ノ戸籍ヨリ私生子ヲ除籍シタルニ於テハ其ノ記載ヲ抹消シ且新ニ私生子ノ欄ヲ起シ其ノ戸籍ヲ回復シタル上認知ニ關スル記載ヲ爲シ置クヘシ

(大正七年七月十八日奈良縣吉野郡下市町長問合) (同年八月二日民第一六六三號法務局長回答)

【參照】

2、女戸主ノ私生子ハ父ノ認知ニ因リテ庶子ト爲リ法律上父ノ

トヲ要ス此ノ場合ニ於テ家族ハ民法第七百六十三條ノ規定ニ依リテ他家ニ入籍スルコトヲ得サルハ勿論ナルヲ以テ家族ノミカ他家ニ入ラムト欲セハ廢家ナキ状態ニ於テ爲スコトヲ得ヘキ普通ノ方法ニ依リテ他家入籍ノ手續ヲ爲スノ外ナシ

(大正六年十月二日靜岡安部郡有度町長問合) (大正七年六月十五日民第一三二九號法務局長回答)

◎女戸主トノ婿養子縁組婚姻届ヲ誤テ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲シタル場合ノ處理方

1、甲村何番地戸主甲長女乙子ト乙村何番地戸主丙二男丁トノ婿養子縁組及婚姻届ヲ丙村ニテ受理シ届書ノ一通ヲ當該村ニ送付シ尙一通ハ監督區裁判所ヘ送付シタル處妻ノ本籍地役場ヨリ當事者タル妻ハ現今戸主ナルニ付キ受理致シ難キ旨ノ理由ニテ届書返戻セラレタリ(夫ノ本籍地役場ヨリハ何等ノ事モナキニ依リ錯誤ナク戸籍記載濟ト推定ス)此ノ場合丙村ニ於テ其ノ届書如何ニ處理スヘキヤト云フニ養子縁組及婚姻ハ共ニ丙村長ノ届出受理ニ因リテ乙子ノ母甲ト丁トノ間ニハ養子縁組、乙子ト丁トノ間ニハ入籍婚姻ノ效力ヲ生シタルモノナルモ乙長村ニ於テ乙子ヲ家族トシテ爲シタル婚姻ノ記載ハ錯誤ナルニ付此ノ點ニ關シ戸籍訂正ノ申請ヲ爲サシメ一而入夫カ戸主トナリタルトキハ其ノ旨ノ追完ヲモ爲サシメ此等ノ

家ニ入ルヘキモノナルカ故ニ法定ノ推定家督相續人タルトキト雖モ廢除ノ手續ヲ要セサルヘシ

(明治三十一年十一月八日兵庫縣神戶市書記問合) (同年十二月二十一日民刑第二〇五〇號民刑局長回答)

3、私生子認知ニシテ被認知者カ一家ノ戸主又ハ推定家督相續人ナルトキハ認知届ニ在籍ノママ認知ト記載セシムヘキヤト云フニ必スシモ届書ニ在籍ノママ認知ノ旨ノ記載ヲ要セサルモ之ヲ記載スルヲ妨ケス

(大正四年八月十六日北海道空知郡岩見澤町長問合) (同年九月二十日民第一四二六號法務局長回答)

4、前項ノ場合ノ戸籍記載例ハ左ノ振合ニ依ル

(大正四年八月十六日北海道空知郡岩見澤町長問合) (同年九月二十日民第一四二六號法務局長回答)

5、明治三十一年十一月八日兵庫縣神戶市書記問合推定家督相續人タル私生子認知ノ件ニ對シ同年十二月二十一日民刑第二〇五〇號回答ノ趣旨ハ大正四年八月十六日北海道空知郡岩見澤町長問ニ對スル同年九月二十日民第一四二六號ノ回答第三項ニ依リ變更セラレタルモノナリ

(大正七年三月二十五日廣島市長問合) (同年三月二十五日法務局長回答)

◎弟ノ名義ニテ縁組並婚姻ヲ爲シタルモノニ付事實ニ訂正方

1、別紙戸籍謄本(略)記載ノ甲ハ今ヨリ約二十年前居村乙ト内

縁ヲ結ヒタルモ甲ハ戸主、乙ハ乙家ノ推定家督相續人ナルカ
 爲メ容易ニ婚姻スルヲ得サルヨリ明治三十六年六月三日弟丙
 名義ヲ以テ乙家丁ト養子縁組ヲ爲シ同日其長女乙ト婚姻届出
 ヲ爲シ同日丁死亡ニ因リ戸主トナリ爾來乙ト同棲シ乙家
 ヲ主宰シ居リタルカ大正四年四月八日丙死亡シタルニ付同月
 九日乙名義ヲ以テ甲死亡ノ虚偽ノ届出ヲ爲シタルコト發覺シ
 本年二月十五日右虚偽ノ届出ニ基キ不實ノ記載ヲ爲サシメタ
 ル廉ニ依リ處罰セラレタルモノナル處甲死亡ノ記載ハ戸籍法
 第六十四條ニ依リ戸籍ノ届出ヲ爲シタリ此場合

- 一、養父丁養子丙ハ何レモ死亡セルニ付戸籍訂正ヲ申請ス可
 キモノナキニ依リ戸籍法第三十九條第二項ニ依リ村長ノ職
 權ヲ以テ養子縁組ノ記載ヲ抹消スルコトヲ得ルヤト云フニ
 養子縁組無効ノ確定判決ニ基キ戸籍法第六十七條ノ規定
 ニ依リ戸籍訂正ノ申請ヲ爲スヘキモノトス
- 二、丙ト乙トノ婚姻ハ無効ナルモ丙死亡ノ今日乙ノミノ申請
 ニ依リ抹消スルコトヲ得
- 三、乙ニ於テ戸籍訂正手續ニ出テサルトキハ戸籍法第三十九
 條第二項ニ依リ村長ノ職權ヲ以テ戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ
 得

戸三號 (二八六)
 戸三號 (二八七)

◎一ノ廢絶家ニ付キ數人ヨリ再興ノ届出ヲ爲シタル場合ノ訂正

(大正七年三月三十日西條區裁判所監督判事問合)
 (同年九月十四日民第一九六二號法務局長問答)

- 1、廢絶家ヲ再興シタル場合ニ於テ彙ニ編綴シアル帳簿ニハ何
 等ノ記載ヲ要セサルカ故ニ(參照明治三十一年十月一日大阪府堺市戸
 長同答)一ノ廢絶家ニシテ數人ノ再興者アルヲ見ルニ至リ
 取扱上複雑ノ恐レ有ル場合ハ其ノ錯誤ヲ防ク爲廢絶家ノ戸籍
 ニ再興アリタル旨ノ記載ヲ爲スモ妨ナキモノトス
 (大正七年八月八日北海道空知郡江部乙村長問合)
 (同年九月二十一日民第一八二二四號法務局長問答)
- 2、前項編綴シアル帳簿ニ記載ノ要ナシ他日同一廢絶家ニシテ
 數人ノ再興者ヲ發見セハ戸籍訂正ノ手續ニ依ルヘキモノトス
 (大正七年八月八日北海道空知郡江部乙村長問合)
 (同年九月二十一日民第一八二二四號法務局長問答)

◎法定推定家督相續人タル私生子認知ニ付前省議ニ基キテ父ノ家

ニ入籍セシメタルモノハ其ノ儘トス

- 1、法定推定家督相續人タル私生子ハ認知セララルモ直ニ父ノ
 家ニ入ルヲ得サル旨ノ省議ヲ公ニセラレタル以前女戸主ノ法
 定推定家督相續人タル私生子ヲ認知ニ因リ父ノ家ニ入籍セシ
 メタルモノアリ今日其女戸主ノ死亡ニヨリ家督相續開始シタ
 ルニ他ニ直系卑屬ナキトキハ戸籍訂正ノ手續ニ依リ戸籍ノ記

四、如上養子縁組無効ニ付從テ丙ノ家督相續モ亦無効ナルカ

故ニ前記各訂正ノ手續ヲ了シタル後乙ヨリ丙ノ戸籍抹消ノ
 申請アリタルトキハ之ヲ抹消シ先代丁ノ戸籍ヲ復活編製シ
 更ニ乙ヨリ家督相續届出ヲ爲サシメ新戸籍ヲ編製スヘシ
 五、婚姻事項訂正ノ結果長女戊、二女己、三女庚ノ身分ニ變更
 ヲ生スヘク長女戊ニ付爲シタル丙ノ認知ハ甲ノ虚偽ノ届出
 ニ基クカ故ニ戸籍訂正ノ手續ニ依リ之ヲ乙ノ私生子ト訂正
 シ二女、三女ニ付テハ甲ト乙トノ婚姻届出ヲ爲サシメ且父
 母ヨリ子女ノ認知届出ヲ爲サシメ父ノ氏名ヲ訂正ス若シ右
 等ノ届出ヲ爲ササル時ハ利害關係人ノ申請ニ依リ父ノ氏名
 ナ抹消シ母トノ續柄ヲ私生子ト訂正スルコトヲ得

- 六、甲及乙ハ丁ト養子縁組又ハ婚姻セシモノナルモ甲ハ戸主
 ニシテ廢家スルニアラサレハ乙家ニ入籍スルヲ得サルヨリ
 丙名義ヲ以テ乙家ニ入りタルモノニシテ事實ニ於テハ縁組
 又ハ婚姻ノ當事者ニ人違アルニアラサルニヨリ前書ノ如ク
 訂正ノ手續ヲ爲サス乙家戸籍(除籍ヲモ含ム)中丙入籍事項
 其他丙トアルヲ甲ニ甲家ノ戸籍中丙除籍事項ニ訂正スルコ
 トヲ得サルヤト云フニ養子縁組及婚姻ハ人違ニ因リ當事者
 間ニ其ノ意思ナキモノト認ムヘキニ付前各號ニ依リ取扱フ

載ヲ回復シ該私生子ヲシテ家督相續ヲ爲サシムルモノナリヤ
 尙彙ニ認知ニヨリ除籍セラレタル私生子ハ現ニ女戸主ノ家ニ
 在籍スル他ノ直系卑屬ニ對シ先順位ノ相續人タル場合ニ於テ
 ハ同様戸籍訂正ノ手續ヲ爲サシムヘキヤ大正五年十二月十九
 日民第一八九三號問答ノ趣旨ニ依レハ右何レモ戸籍訂正ノ手
 續ヲ必要トスト解セラレタルモ大阪市東區長問第三項ニ對ス
 ル本年五月三十一日民第二八〇號問答ノ次第モ有リ如何取扱
 フヘキモノナリヤト云フニ法定ノ推定家督相續人タル私生子
 ト雖前省議ニ基キ認知ニ依リテ一旦父ノ家ニ入籍セシメタル
 モノニ付テハ本年五月三十一日民第二八〇號問答ノ趣旨ニ依
 ルヘシ
 (大正七年七月二十七日大阪區裁判所監督判事問合)
 (同年十一月十一日民第一七二六號法務局長問答)

◎法定ノ推定家督相續人ノ分家ノ場合ニ於ケル訂正方

- 1、大正四年十二月中法定ノ推定家督相續人カ戸主ノ同意ヲ得
 テ分家届ヲ爲シタルニ戸籍吏誤テ之ヲ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲
 シタリトスルモ今日ニ至リ本家戸主ヨリ右ハ無効ノ分家ナル
 ヲ以テ分家戸籍ノ抹消アリタリトノ申請ヲ爲シタル場合ニハ
 無効ノ分家トシテ取消スヘキモノナリ
 (大正八年九月三日大田原區裁判所監督判事問合)
 (同年九月十三日民第三八九〇號民事局長問答)

實例判例文例人事法總覽

2、前項ノ如ク取消スヘキモノトスレハ戶籍法第六十四條ニ依リ利害關係人ヨリ戶籍訂正ノ申請ヲ爲スヘキモノニアラス...

市町村監督區裁判所ノ管轄ヲ各異ニスル場合ニ於ケル戶籍ノ訂正申請方

1、戶籍法第六十四條第六十五條ノ規定ニ依ル戶籍訂正許可ノ申請ハ其訂正ヲ要スル者カ轉籍入籍其他ニ依リ既ニ除籍セラレタル場合ハ轉籍又ハ入籍等ニ依リ其者ノ戶籍カ現在存...

相續、婿養子縁組及婚姻等ニ關シ故意ニ兄弟間相互ニ其ノ名ヲ僞リ届出ヲ爲シタルモノノ戶籍訂正申請

1、甲家ノ法定推定家督相續人タル長男一耶カ大正四年一月弟二郎ノ名ヲ用ヒ婿養子縁組ニヨリ乙家ニ入り家女ト婚姻ヲ爲シ二郎ヲ擧ケ二郎ノ名ヲ以テ届出ヲ爲シ一面弟二郎ハ甲家ニ在リテ兄一耶ノ名ヲ以テ他女ト婚姻シ一子ヲ擧ケ其届出ヲ爲シタリ而シテ乙家ニ入りタル長男一耶ハ養父タル戶主死亡ニ付弟二郎ノ名ニテ相續届出ヲ爲シ乙家ノ戶主トナレリ然ルニ...

【判例】

戶籍ノ記載ト身分關係

1、戶籍ノ記載ハ人ノ身分關係ヲ確定スル效力ヲ有スルモノニ非サレハ民法ノ規定ニ依リ家族タル者カ誤テ戶主トシテ戶籍ニ記載セラレタル場合ニ於テモ其ノ者ハ依然トシテ家族タル身分ヲ有シ其ノ記載ニ因リ新ニ戶主タル身分ヲ取得スルモノニ非ス

戶籍訂正ニ異議アル場合ノ申請ノ要件

1、戶籍法第六十五條ニ依リ戶籍訂正ヲ申請スル場合ニ於テ届出人二人以上アリテ若シ其者ノ間ニ戶籍ノ訂正ニ付異議アルトキハ判決ヲ得テ訂正ヲ申請セサル可カラズ

【同趣旨】

戶籍法第六十五條ヲ適用スヘキ場合

1、戶籍法第六十五條ノ規定ハ戶籍ノ訂正ニヨリ親族又ハ相續法上利害ノ影響ヲ被ムル者カ訂正ニ異議ナキ場合ニ限り適用スヘキモノニシテ此等ノ者ニ於テ届出行爲ノ有效無効ニ付爭アル場合ニハ判決ヲ受ケ之ニ基キ訂正ノ申請ヲ爲スヘキモノニ管轄區裁判所ノ許可ニヨリ訂正ヲ爲スヘキモノニ非ス

(大審院大正六年三月二十四日決定) (法律評論六卷諸法一五五頁)

第一編 戶籍法規 第五章 戶籍ノ訂正 第六十五條

今日ニ至リ其届出ノ違法ナリシヲ悔ヒ婿養子縁組及婚姻ニ關スル事項ハ戶籍法第六十五條ニ依リ出生及相續ニ關スル事項ハ同法第六十四條ニ依リ根本ヨリ訂正方申請セリ右養父死亡シ其意ヲ確ムルニ由ナキモ生存セル届出人間ニ於テ爭ヒナキトキハ許可差支ナキヤト云フニ此ノ場合無効ナルコト確實ナルニ於テハ申請ヲ許可スヘキモノトス

元甲村在籍者轉籍又ハ廢家入籍ニ因リ乙村ニ移轉シ錯誤遺漏ノ爲メ戶籍訂正ト甲村ノ除籍記載ノ訂正ノ處理方

1、元甲村在籍者タリシ者カ轉籍又ハ廢家入籍等ニ因リ乙村ヘ移轉シタル處其ノ者ノ戶籍ニ錯誤遺漏多ク之カ訂正ノ許可ヲ得テ乙村ノ現戶籍ヲ訂正スルト同時ニ甲村ノ保存ニ係ル除籍ノ記載ヲ訂正ノ必要アリトシテ申請書ニ提出シタル場合ニ乙村長ハ其一通ヲ甲村長ニ送付シ來レ此通提出シタル場合ニイ受付帳ノ記載及申請書ノ處理ハ本籍人ニ準シ取扱フヘキモノトス

元甲村在籍者轉籍又ハ廢家入籍ニ因リ乙村ニ移轉シ錯誤遺漏ノ爲メ戶籍訂正ト甲村ノ除籍記載ノ訂正ノ處理方

(大正八年七月十九日關西區裁判所監督判事問合) (同年九月十五日民事第二八八六號民事局長回答) 元甲村在籍者タリシ者カ轉籍又ハ廢家入籍等ニ因リ乙村ヘ移轉シタル處其ノ者ノ戶籍ニ錯誤遺漏多ク之カ訂正ノ許可ヲ得テ乙村ノ現戶籍ヲ訂正スルト同時ニ甲村ノ保存ニ係ル除籍ノ記載ヲ訂正ノ必要アリトシテ申請書ニ提出シタル場合ニ乙村長ハ其一通ヲ甲村長ニ送付シ來レ此通提出シタル場合ニイ受付帳ノ記載及申請書ノ處理ハ本籍人ニ準シ取扱フヘキモノトス

戸籍法(二八九)

戶籍法第六十五條ニ於テ戶籍ノ訂正ヲ申請スルコトヲ得

3、戶籍法第六十五條ニ於テ戶籍ノ訂正ヲ申請スルコトヲ得シメタルハ届出人又ハ届出事件ノ本人間ニ於テ其ノ戶籍ノ訂正ニ異議ナキ場合ニ限ルモノニシテ若シ届出人又ハ届出事件ノ本人間ニ於テ届出行爲ノ有效ニ付爭アル場合ニハ判決ヲ受ケ之カ訂正ノ申請ヲ爲スヘキモノニ非ラス

戶籍訂正許可申請事件ニ於ケル抗告棄却ノ不當ナル實例

1、戶籍訂正許可申請事件ニ於ケル抗告棄却ノ不當ナル實例十五條ニ基キ爲サレタルモノナルニ抗告裁判所カ右同法第六十四條ニヨリ申請セルモノト誤認シ同條ノ事案ノ如キ親族又ハ相續法上重大ナル影響ヲ及ボスヘキ場合ニ適用スヘキモノニ非ストノ理由ノ下ニ右抗告ヲ棄却シタルハ失當ナリトス

戶籍ノ訂正ト申請者

1、戶籍法第六十五條ハ届出人又ハ届出事件ノ本人以外ノ者ヨリ之カ申請ヲ爲シ得ヘキ場合ヲモ規定シタルモノニ非ス

本條ノ訂正ノ範圍

1、戶籍法第六十五條ハ戶籍ニ關スル届出アリタル場合ニ關スルモノニシテ届出ナカリシ場合ハ同條ニ依リ訂正ヲ求ムルコトヲ得ス

戶籍訂正ノ性質

1、戶籍訂正ハ一旦喪失シタル身分關係ヲ回復スルモノニ非スシテ眞正ノ身分關係ト戸籍ノ記載トヲ一致セシメントスル方シタルニ過キサルモノトス

第一編 戶籍法規 第五章 戶籍ノ訂正 第六十五條

第一編 戶籍法規 第五章 戶籍ノ訂正 第六十五條

【文例】

◎戸籍訂正許可申請書ノ例ノ一

戸籍訂正許可申請書

收入
印紙

本籍 東京市麹町區 町番地戸主
住所 東京市神田區 町番地

事件本人父

申請人

數 鳴 禮 治

本籍住所トモ同上

事件本人

數 鳴 花 子

申請ノ趣旨

東京市麹町區長ノ保管スル戸籍簿中申請人ノ長女花子ノ出生年月日大正五年十二月二十八日トアル
ヲ大正四年五月六日ト訂正スルコトヲ許可ストノ御決定アリタシ

原因タル事實關係

申請人ハ妻道子ト大正三年六月頃ヨリ内縁ヲ結ヒ同棲中大正四年五月六日一女兒ヲ擧ケタルモ私生
子ノ名ヲ冠セシムルニ忍ヒス大正五年六月七日正式婚姻後ニ至リ大正五年十二月二十八日出生シタ
ル如ク記載シタル出生ヲ麹町區役所ニ提出シ其登録ヲ受ケタルハ實ニ法規ヲ存セサル處トハ申シナ

カラ恐縮ノ至リニ付キ本申請ニ及ヒタル次第ナリ

附 屬 書 類

一、戸籍謄本

壹 通

一、胞衣會社ノ證明書

壹 通

一、産婆ノ證明書

壹 通

一、大正五年何月何日付ノ種痘證明書

壹 通

右申請候也

大正 年 月 日

右申請人 數 鳴 禮 治

東京區裁判所

監督判事 何 某殿

備考 一、申請書壹通ニテ足ル

二、印紙ハ二十錢ノ收入印紙ヲ貼用スルコト

◎戸籍訂正許可申請書ノ例ノ二

實例判例文例人事法總覽

戸籍訂正許可申請書

收入
印紙

東京市麴町區 町 番地戸主

事件本人ノ兄

同 所

申請人

敷 嶋 禮 治

事件本人

敷 嶋 平 吉

申請ノ趣旨

東京市麴町區長ノ保管スル戸籍簿中東京市麴町區 町 番地戸主敷嶋禮治戸籍中同人弟平吉ニ關スル記載全部ヲ抹消スルコトヲ許可ストノ決定アリタシ

原因タル事實

申請人ノ實父敷嶋讓吉ハ東京市神田區 町 番地ニ何々業ヲ營ミ居住中隣人ニシテ同業者ナル桐生松藏カ高崎濱子ト私通シ分娩セシメタル男子ヲ暫時讓吉夫婦ノ出生ナル如ク裝ヒ出生届ヲ爲シ吳レ度キ旨ノ懇談ヲ受ケ懇親ノ間柄トテ拒絶スルニ忍ヒス枉ケテ其ノ意ニ應シ大正何年何月何日三男平吉トシテ出生届出ヲ爲シタルモ出生ノ日ヨリ今日迄全然申請人家ニ起臥セス高崎濱子ニ扶養セラレ

テ今日ニ及ヒタルモノナリ然ルニ實父敷嶋讓吉ハ大正何年何月何日死亡シ平吉ハ父母遂ニ婚姻ヲ爲サス又母高崎濱子ノ家ニ入ルコト能ハサルヲ以テ大正何年何月何日母濱子ニ於テ平吉ノ出生届ヲ爲シ東京市神田區 町 番地ニ一家創立ヲ爲シタル爲メ複本籍ヲ有スルニ至レリ右ノ次第二シテ弟平吉ハ全ク虚構ノ届出ニシテ戸籍ノ記載ハ錯誤ニ付キ本申請ニ及ヒタルモノナリ

附 屬 書 類

- 一、申請人ノ戸籍謄本 壹 通
- 一、高崎平吉戸籍謄本 壹 通
- 一、敷嶋道子ノ證明書 壹 通
- 一、高崎濱子ノ證明書 壹 通
- 一、産婆ノ證明書 壹 通

右申請候也

大正 年 月 日

右申請人 敷嶋禮治

東京區裁判所

監督判事 何 某殿

備考 一、同上備考参照

第一編 戸籍法規 第五章 戸籍ノ訂正 第六十五條

第六十六條 前二條ノ許可ノ裁判アリタルトキハ一箇月内ニ其謄

本ヲ添附シ戸籍ノ訂正ヲ申請スルコトヲ要ス

參考ニ非訟事件手續法一八條。

【實例】

◎戸籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノナルコト又ハ其ノ記載ニ錯誤若ハ遺漏アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ區裁判所ノ許可ヲ得テ爲ス戸籍訂正

1、戸籍ノ記載ノ錯誤カ戸籍面ニ於テ顯カナラス且身分ニ重大ノ變更ヲ來スモノハ確定判決ニ因リテ戸籍ノ訂正ヲ爲スチ相當トスル旨省議決定セリ

(大正十一年二月六日民事第四五四號民刑局長回答)

◎養子縁組ヲ爲シタル爲復本籍ヲ有スル者ニ對シ訂正許可ノ裁判アリタル處其ノ者カ既ニ認知ニ因リ實家ヨリ他家ニ入籍シタル場合ノ訂正

1、別紙甲野乙吉戸籍訂正申請ニ關シテハ明治四十二年四月二十九日夕張郡由仁村市街地西通拾番地在籍當時本村字美唄貳番地内甲野忠太郎妻トリト養子縁組シタルモノナルモ其ノ當

時ノ由仁村戸籍吏ハ之カ記載ヲ脱漏シタルタメ今日ニ至リ復本籍ヲ有スルニ至リタリ其後明治四十五年七月二十七日日本道上川郡人舞村字上佐幌西二線七番地ニ轉籍シ依然本村ト本籍ノ状態ニアリ之カ除籍ヲ親權者甲野トリヨリ管轄區裁判所ヘ申請シ除籍許可ノ裁判ヲ受ケ大正四年三月五日日本職ニ對シ戸籍訂正申請ヲ爲シタルニ既ニ人舞村長ハ乙山丙吉ノ私生子認知届ヲ受理シ乙吉ヲ夕張郡登川村市街地第五區西壹條五號地ニ送籍シ居テ以テ登川村ト復本籍ヲ有シ居ルカ事實乙吉ハ認知者乙山丙吉ノ子ニアラスシテ其母タル丙野マツハ乙吉ノ義親(甲野トリ)ノ實弟ト縁ヲ結ヒ其ノ間ニ上ケ間モナク死亡シタル爲依然私生子トシテアルモノニテ乙山丙吉ノ子ニ非サルコト事實ナリ然レハ本職ニ提出シタル戸籍訂正申請ハ人舞村長ヨリ右ノ事實ニ依リ返戻セラレタルニ付之カ申請書ヲ入

籍地タル夕張郡登川村長ヘ回送スヘキモノニアラサル如ク思考セラル果シテ然ラハ其手續トシテハ民法第八百三十四條ニ依リ其利害關係人ヨリ認知ニ對シ取消ノ裁判ヲ受ケタル後本戸籍訂正申請ヲ爲サシムヘキヤト云フニ私生子認知ノ取消ヲ缺タス現ニ本人ノ在籍ニ就キ本問訂正ノ手續ヲ爲スヘキモノナルヲ以テ訂正申請書ハ登川村長ニ廻付スヘキモノトス

決定

空知郡沼貝村字美唄貳番地内忠太郎妻

甲野トリ

右ノ申請ニヨリ上川郡人舞村上佐幌西貳線七番地戸主丙野乙郎ノ戸籍中甥乙吉ハ明治四十二年四月二十九日申請人ノ養子トナリタルモノニ付之カ除籍ヲ許可ス
大正四年二月二十四日

帶廣區裁判所判事

右謄本也

於同日同廳

裁判所書記圖

(大正四年三月十五日北海道空知郡沼貝村長辨稱
同年七月六日民務第四二四號法律局長回答)

◎選定家督相續人戸主ト爲リタル後失踪者タル長男ノ生存分明シ失踪宣告力取消サレタル場合ニ於ケル相續ノ回復

第一編 戸籍法規 第五章 戸籍ノ訂正 第六十六條

1、戸主甲妻乙、長男丙二男丁ナ有スル戸籍アリ丙長男ハ數年前ヨリ所在不明ナリシ處大正三年五月一日甲戸主死亡ニ因リ家督相續開始シ其後丙長男ハ失踪宣告ヲ受ケタルヲ以テ丁二男ハ乙妻ノ選定ニ依リ家督相續戸主ト爲リタル後失踪者タル丙長男ノ生存スルコト分明シ失踪宣告取消ノ裁判ヲ受ケタル場合ニ現戸主ナル丁ニ於テ其相續權ヲ丙長男ニ回復セシメントスルニハ戸籍訂正ノ手續ニ依ルコトヲ得ルモノトス

(大正四年六月十五日福井區裁判所判事(同合)
同年七月七日民務第四二四號法律局長回答)

右ノ申請ニヨリ上川郡人舞村上佐幌西貳線七番地戸主丙野乙郎ノ戸籍中甥乙吉ハ明治四十二年四月二十九日申請人ノ養子トナリタルモノニ付之カ除籍ヲ許可ス
大正四年二月二十四日

帶廣區裁判所判事

右謄本也

於同日同廳

裁判所書記圖

(大正四年三月十五日北海道空知郡沼貝村長辨稱
同年七月六日民務第四二四號法律局長回答)

◎選定家督相續人戸主ト爲リタル後失踪者タル長男ノ生存分明シ失踪宣告力取消サレタル場合ニ於ケル相續ノ回復

第一編 戸籍法規 第五章 戸籍ノ訂正 第六十六條

【文 例】

◎戸籍ノ記載カ法律上評スヘカラサルモノナルトキ又ハ其ノ記載ニ錯誤者クハ遺漏アル場合ノ戸籍訂正
(1) 届出義務者ニ非サル者ヨリ爲シタル出生届ニ基ク記載ヲ抹消スル場合ノ訂正申請ノ例

戸籍訂正申請

本籍 東京市麴町區 町 丁目 番地 戸主 甲野義太郎 孫 甲野智太郎

右智太郎ノ出生届無効ニ付キ大正何年何月何日附東京區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ戸籍訂正
右戸籍訂正別紙裁判ノ謄本相添ヘ及申請候也

大正 年 月 日

申請人 父 甲野禮太郎

明治二十年五月八日生

東京市麴町區長 何 某殿

備考

- 一、本例ニ依ル申請書ハ一通ヲ差出スヘシ
- 二、本申請後更ニ正當届出義務者ヨリ出生届ヲ爲スヘキモノトス

(2) 出生ノ年月日ノ記載ニ錯誤アル場合ノ訂正申請ノ例

戸籍訂正申請

本籍 東京市麴町區 町 丁目 番地 戸主 甲野義太郎 孫 甲野智太郎

右智太郎出生ノ日「一日」ヲ大正何年何月何日附東京區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ「六日」ト訂正
右戸籍訂正別紙裁判ノ謄本相添ヘ及申請候也

大正 年 月 日

申請人 父 甲野禮太郎

明治二十年五月八日生

東京市麴町區長 何 某殿

備考 一、本例ニ依ル申請書ハ一通ヲ差出スヘシ

第一編 戸籍法規 第五章 戸籍ノ訂正 第百六十六條

實例判例文例人事法總覽

(3) 複本籍ヲ有スル場合ノ訂正申請ノ例

戸籍訂正申請

除カルヘキ本籍 東京市麴町區 町 丁目 番地 戶主 甲野義太郎 男

甲野次郎

右次郎複本籍ニ付キ大正何年何月何日附東京區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ戸籍訂正

右戸籍訂正申請別紙裁判ノ謄本相添ヘ及申請候也

大正 年 月 日

本籍 東京市麴町區 町 丁目 番地 甲野禮二郎二男

申請人 甲野次郎

明治三十年九月十日生

東京市麴町區長 何 某殿

備考 一、本例ニ依ル申請書ハ一通ヲ差出スヘシ

(4) 婚姻届ニ嫡出子ノ身分ヲ取得スル庶子ノ記載ヲ脱漏シタル爲戸籍ニ其ノ記載ナキ場合ノ訂正申請ノ例

戸籍訂正申請

本籍 東京市麴町區 町 丁目 番地 戶主 甲野義太郎 孫

母 父 甲野禮太郎 庶子男
乙川冬子

甲野智太郎

右智太郎大正何年何月何日父甲野禮太郎母冬子ノ婚姻ニ因リ嫡出子ト爲ル同年何月何日附東京區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ戸籍訂正

右戸籍訂正別紙裁判ノ謄本相添ヘ及申請候也

大正 年 月 日

申請人 父 甲野禮太郎

明治二十年八月八日生

東京市麴町區長 何 某殿

備考 一、本例ニ依ル申請書ハ一通ヲ差出スヘシ

第一編 戸籍法規 第五章 戸籍ノ訂正 第六十六條

實例判例文例人事法總覽

(5) 入夫婚姻届ニ入夫カ戸主ト爲ル旨ノ記載ヲ脱漏シタル爲入夫カ女戸主ノ家族トシテ入籍セラレタル場合ノ訂正申請ノ例

戸籍訂正申請

本籍 東京市麴町區 町 丁目 番地戸主乙野夏子入夫

乙野孝二郎

右孝二郎大正何年何月何日夏子ト入夫婚姻届出同日戸主ト爲ル同年何月何日附東京區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ戸籍訂正

右戸籍訂正別紙裁判ノ謄本相添へ及申請候也

大正 年 月 日

申請人 乙野孝三郎

明治三十年一月一日生

東京市麴町區長 何 某殿

備考 一、本例ニ依ル申請書ハ一通ヲ差出スヘシ

(6) 無効ナル家督相續ニ付戸主ノ名義ヲ有スル者ヨリ訂正申請ヲ爲ス場合ノ例

戸籍訂正申請

本籍 東京市麴町區 町 丁目 番地戸主

甲野禮二郎

右禮二郎ノ家督相續無効ニ付キ大正何年何月何日附東京區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ戸籍訂正

右戸籍訂正別紙裁判ノ謄本相添へ及申請候也

大正 年 月 日

申請人 甲野禮二郎

明治三十一年八月一日生

東京市麴町區長 何 某殿

備考 一、本例ニ依ル申請書ハ一通ヲ差出スヘシ

二、本申請後更ニ正當相續人ヨリ家督相續届ヲ爲スヘキモノナリ

實例判例文例人事法總覽

(7) 分家届ニ分家者ノ父ヲ記載シ分家ノ家族ト爲シタル場合ノ訂正申請ノ例

戸籍訂正申請

本家 東京市麴町區 町 丁目 番地 戸主 甲野義太郎 叔父
分家 東京市麴町區 町 丁目 番地 戸主 甲野義二郎 父
甲野仁太郎

右仁太郎分家 戸主義二郎ノ家族トシテ入籍及除籍ヲ爲シタルハ錯誤ニ付キ大正何年何月何日東京區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ戸籍訂正

右戸籍訂正別紙裁判ノ謄本相添へ及申請候也

大正 年 月 日

申請人 仁太郎 男 甲野義二郎 印
明治二十九年九月八日生

東京市麴町區長 何 某殿

備考 一、本訂正申請ニ基キ分家、本家ノ戸籍ヲ訂正スヘキモノナルヲ以テ兩家カ同一市町村内ニ在ルトキト雖申請書ニ通テ差出スヘシ

◎届出ニ因リテ效力ヲ生スル行爲ニ付戸籍ノ記載ヲ爲シタル後其ノ行爲ノ無効ナルコトヲ發見シタル場合ノ訂正申請
(1) 養子縁組カ無効ナル場合ノ戸籍訂正申請ノ例

戸籍訂正申請

本籍 東京市麴町區 町 丁目 番地 戸主 甲野義太郎
養父 甲野義太郎 子
養母 梅子
實家 東京市神田區 町 丁目 番地 戸主 乙川孝輔 二男 孝二郎

右養子縁組無効ニ付キ大正何年何月何日附東京區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ戸籍訂正
右戸籍訂正別紙裁判ノ謄本相添へ及申請候也

大正 年 月 日

申請人 甲野義太郎 印
明治元年九月七日生

東京市麴町區長 何 某殿

備考 一、本例ニ依ル申請書ハ二通ヲ差出スヘシ

第一編 戸籍法 第五章 戸籍ノ訂正 第百六十六條

(2) 婚姻力無効ナル場合ノ訂正申請ノ例

實例判例文例人事法總覽

戸籍訂正申請

夫 本籍 東京市麹町區 町 丁目 番地 戶主 義太郎長男
 妻 實家 東京市麹町區 町 丁目 番地 戶主 乙川孝輔長女
 冬 子

右婚姻無効ニ付キ大正何年何月何日附東京區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ戸籍訂正
 右戸籍訂正別紙裁判ノ謄本相添ヘ及申請候也

大正 年 月 日

申請人 甲野禮太郎

明治三十年七月七日

東京市麹町區長 何 某殿

備考 一、本例ニ因ル申請書ハ二通ヲ差出スヘシ

◎市町村長ノ職權ニ因ル戸籍訂正ノ場合

(1) 戸籍訂正ノ申請ヲ爲ス者ナキ場合ノ訂正許可稟請ノ例

戸籍訂正許可稟請

本籍 東京市麹町區 町 丁目 番地 戶主

甲野義太郎

右義太郎戸籍中義三郎ノ戶主トノ續柄「甥」ト記載シアルハ「弟」ノ錯誤ナルモ其ノ通知ヲ爲スコ

ト能ハス(錯誤ニ付其ノ通知ヲ爲シタルモ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ス者ナシ)

右職權訂正御許可相成度別紙戸籍謄本(何々)相添ヘ及稟請候也

大正 年 月 日

東京市麹町區長 何

某 印職

東京區裁判所監督判事 何 某殿

(2) 市町村長ノ過誤ニ基ク記載ヲ訂正スル場合ノ訂正許可稟請ノ例

戸籍訂正許可稟請

本籍 東京市麴町區 町 丁目 番地 戸主

甲 野 義 太 郎

右義太郎戸籍中禮二郎庶子智太郎ヲ其ノ父母ノ入夫婚姻ニ因リテ除籍シタルハ本職ノ誤ナリ

右職權訂正御許可相成度別紙戸籍謄本(何々)相添ヘ稟請條也

大正 年 月 日

東京市麴町區長 何

某 印職

東京區裁判所監督判事 何 某殿

【學 說】

◎本條適用ノ例

1、甲戸主ノ子ヲ乙戸主ノ子トシテ乙ヨリ出生届ヲ爲シ其子乙ノ法定ノ推定家督相續人ナル場合戸籍訂正ノ申請ハ戸籍法第百六十七條ノ確定判決ニ基キ爲サルヘキモノトス

(大正十四年四月二十二日法曹會議決議) 法曹會雜誌三卷六號八九頁

第百六十七條

確定判決ニ因リ戸籍訂正ヲ爲スヘキトキハ訴ヲ提起

シタル者ハ判決確定ノ日ヨリ一箇月内ニ判決ノ謄本ヲ添附シ訂正

ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス

檢事カ訴ヲ提起シタル場合ニ於テハ判決確定ノ後遲滯ナク戸籍ノ

訂正ヲ請求スルコトヲ要ス

參考 期間ノ起算 民法一四〇條。戸籍法六三條。

【實例】

◎第六十七條第二項ニ依リ被事カ戸籍ノ訂正ヲ請求スル場合ト
判決ノ謄本ノ添附

1、戸籍法第六十七條第二項ニ依リ被事カ戸籍ノ訂正ヲ請求
スル場合ニハ確定判決謄本ノ添附ヲ要セサルヤト云フニ判決
ノ謄本ヲ添附スヘキモノトス

◎裁判所カ父ヲ定ムヘキ場合ニ於テ母其出生届出後父カ定マリタ
ル場合ノ戸籍ノ訂正

1、戸籍法第七十四條ノ規定ニヨリ母之カ届出ヲナシタル後確
定判決ニヨリ父カ定マリタル場合ハ戸籍法第六十七條ニヨ
リ戸籍訂正ノ申請ヲナスハ勿論ナルモ此ノ場合ニ於テハ現行
法第七十三條第二項ノ如キ義ニ届出ニ基ク戸籍ノ抹消申請ト
同時ニ戸籍法第六十九條第二項ノ要件ヲ記載シタル出生ノ届
出ヲ爲サシムヘキヤト云フニ此ノ場合ニハ父ノ確定ニヨリ相
異ノ點ノミノ戸籍訂正申請ヲ爲スヘキモノナリ

◎第六十七條ノ適用アル場合ノ例示
1、左記(イ)(ロ)(ホ)ハ戸籍法第三十九條ニ所謂法律上許スヘ
カラサルモノ(ハ)及(ニ)ハ錯誤ノ記載(ヘ)中第一例ハ本則ト
シテ民法第九百六十六條ノ家督相續回復ノ裁判ニ因リ回復ノ
届出ヲ爲スヘキ場合ニ該ルモ相續人自ラ訂正ノ申請ヲ爲ス場
合ニ於テハ質疑ノ通第二例ハ法律上許スヘカラサル記載(ト)

(大正三年十二月十五日愛媛縣西宇和郡千代村戸籍中甸
同年十二月二十八日民第一九六二號法務局長回答)

關スル事項ノ記載
裁判所ノ許可ヲ受ケシテ爲シタル届出ニ基ク廢家ニ關
スル事項ノ記載
届出ニ因リ效力ヲ生スヘキ行爲ニ關シ無効ノ行爲ニ基キ
届出ヲ爲シタルニ因ル記載
例 人違ノ婚姻又ハ縁組ニ關スル事項ノ記載
法定推定家督相續人アル者ノ家督相續人指定ニ關スル事
項ノ記載
チ 届出ニ因リ效力ヲ生スヘキ行爲ニ關シ取消シ得ヘキ行爲
ニ基キ届出ヲ爲シタルニ因ル記載
例 重婚又ハ年長者ヲ養子トスル縁組ニ關スル事項ノ記載
裁判所ノ許可ヲ受ケシテ爲シタル隠居ニ關スル事項ノ
記載

(大正三年七月七日福岡地方裁判所長問合
大正四年一月十六日民第一一八四號法務局長回答)

◎遺言ニ依ル廢除ノ裁判確定シ其届出前既ニ相續人ヨリ相續届ヲ
爲シタル場合ノ手續

1、遺言ニ依ル推定家督相續人廢除ノ裁判確定シ之カ届出ヲ爲
ス場合既ニ推定家督相續人(被廢除者)ヨリ家督相續ノ届出ヲ
爲シタルトキハ相續回復ノ手續ニ依ルヘキヤ將戸籍訂正ノ手
續ニ依リ抹消ノ上更ニ正當家督相續人ヨリ相續届出ヲ爲スヘ
キヤト云フニ大正三年七月七日福岡地方裁判所長問合ニ對ス
ル本年一月十六日附民第一一八四號回答ニ依リテ了知セラル
ヘシ

ノ場合ハ第六十五條ニ依ルヘク(子)ノ場合ハ取消ノ判決ニ
基キ第六十七條ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

イ 規定ナキ届出ニ基ク記載

例 父カ子ニ對スル親權ニ關スル事項ノ記載
家督相續人選定ニ關スル事項ノ記載

ロ 規定上不要ノ記載

例 被指定者ノ戸籍ニ爲シタル家督相續人指定ニ關スル事
項ノ記載

ハ 届出ニ基カサル記載

例 婿養子縁組届ノミニヨリ爲シタル婿養子婚姻ニ關スル
事項ノ記載

ニ 離婚届ノミニ因リ編製シタル絶家再興ノ戸籍ノ記載

例 他人ノ子ヲ自己ノ子トシテ出生届出ヲ爲シタルニ基ク
記載

ホ 無効ノ届出ニ基ク記載

例 届出義務者ニアラサル者カ爲シタル届出ニ基ク記載
偽造變造ノ届書ニ基ク事項ノ記載

ヘ 違法ノ届出ニ基ク記載

例 正當相續人ニアラサル者カ届出ヲ爲シタル家督相續ニ
關スル事項ノ記載

◎養子縁組ヲ爲シタル爲復本籍ヲ有スル者ニ對シ訂正許可ノ裁判
アリタル所其者カ事實父ニ非サル者ノ認知ニ因リ實家ヨリ他家
ニ入籍シタル場合ニ於ケル訂正方

(大正四年七月二十七日靜岡區裁判所監督判事代理問合
同年八月六日民第一二九三號法務局長回答)

1、別紙甲野乙吉戸籍訂正申請ニ關シテハ明治四十二年四月二
十九日夕張郡由仁村市街地西通拾番地在籍當時本村字美唄貳
番地内甲野忠太郎妻トリト養子縁組シタルモノナルモ其當時
ノ由仁村戸籍吏ハ之カ記載ヲ脱洩シタルタメ今日ニ至リ復本
籍ヲ有スルニ至リタリ其後明治四十五年七月二十七日日本道上
川郡人舞村字上佐幌西二線七番地ニ轉籍シ依然本村ト復本籍
ノ状態ニアリ之カ除籍ヲ親權者甲野トヨリ管轄區裁判所ヘ
申請シ除籍許可ノ裁判ヲ受ケ大正四年三月五日日本職ニ對シ戸
籍訂正申請ヲ爲シタルニ既ニ人舞村長ハ乙山丙吉ノ私生子認
知届ヲ受理シ乙吉夕張郡登川村市街地第五區西條九號地
ニ送籍シ居ルヲ以テ登川村ト復本籍ヲ有シ居ルカ事實乙吉ハ
認知者乙山丙吉ノ子ニアラスシテ其母タル丙野マツハ乙吉ノ
養親(甲野トヨ)ノ實弟ト内縁ヲ結ビ其ノ間ニ上ケ間モナク死
亡シタル爲依然私生子トシタルモノニシテ乙山丙吉ノ子ニ非
サルコト事實ナリ然レハ本職ニ提出シタル戸籍訂正申請ハ人
舞村長ヨリ右ノ事實ニ依リ返戻セラレタルニ付之カ申請書ヲ
入籍地タル夕張郡登川村長ヘ回送スヘキモノニアラサル如ク
思考セラル果シテ然ラハ其手續トシテハ民法第八百三十四條
ニ依リ其利害關係人ヨリ認知ニ對シ取消ノ裁判ヲ受ケタル後

實例判例文例人事法總覽

本戸籍訂正申請ニ依リテ除籍ヲ爲サシムヘキヤト云フニ私生子認知ノ取消ヲ竣タス現ニ本人ノ在籍ニ就キ本問訂正ノ手續ヲ爲スヘキモノナルヲ以テ訂正申請書ハ登川村長ニ廻付スヘキモノトス

決定

空知郡沼貝村字美唄貳番地内

忠太郎妻 甲 野 トリ

右ノ申請ニヨリ上川郡人舞村上佐幌西貳線七番地戸主丙野乙郎ノ戸籍中甥乙吉ハ明治四十二年四月二十九日申請人ノ養子トナリタルモノニ付キ之カ除籍ヲ許可ス

大正四年二月二十四日

帶廣區裁判所判事

(大正四年三月十五日北海道空知郡沼貝村長問合) 同年七月六日民第四二四號法務局長回答

◎第百六十五條ニ依リ戸籍ノ訂正ヲ申請スル者ナキ場合ノ手續

1、戸籍法第百六十五條ノ場合ニ於テ届出人又ハ事件ノ本人ニシテ若シ戸籍訂正ノ申請ヲ爲サ、ルトキハ婚姻養子縁組ノ如キ其ノ行爲無効ニ付確定判決ヲ必要トスルモノハ其ノ判決ニ基キ同第百六十七條ノ規定ニ依リ戸籍訂正ノ申請ヲ爲スヘク其ノ他ハ同法第三十九條ノ規定ニヨリ市町村長ハ職權ヲ以テ

戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得

(大正四年九月十一日小倉市長問合) 同年九月二十三日民第一五三九號法務局長回答

◎嫡出子否認ノ判決確定シ子カ私生子ト爲リタル場合母ノ家ニ入ルニハ戸籍訂正ニ依ル

1、嫡出子否認ノ判決確定シ其子カ母ノ私生子ト爲リタル場合其ノ私生子カ戸主ノ同意ヲ得テ現在母ノ屬スル家ニ止マルトキハ戸籍訂正ノ申請書ニ戸主ノ同意ヲ得テ入籍スル旨ヲ記載シテ其同意證書ヲ添附セシメ之レニ依リテ私生子ノ父母欄父ノ氏名ニ朱線ヲ劃シ續柄ヲ私生子ト更正シ事項欄ニハ細則附錄記載例百三十二ノ例ニ依リ記載シ其受附トアル下ニ「戸主ノ同意ヲ得テ入籍」ト記載シ差支ナキヤト云フニ事項欄ノ記載方ハ施行細則附錄記載例百三十二前段ノ例ニ依ルヘク「戸主ノ同意ヲ得テ入籍」ノ記載ヲ要セス

(大正四年九月二十三日帶廣區裁判所監督判事問合) 同年十一月六日民第一五六四號法務局長回答

2、前項ノ場合ニ於テ私生子カ若シ母ノ家ニ止マルコトヲ得スシテ一家ヲ創立スルトキハ戸籍訂正ノ申請書ニ一家創立ノ旨及其場所ヲ記載シテ申請セシメ之レニヨリテ一家創立ノ戸籍ヲ編製スヘキ場合ニ於テ創立シタル戸籍ニハ如何ナル振合ニ依リ記載スヘキヤト云フニ戸籍訂正申請者ニ戸籍法第六十九

條第二項第六號ノ事項ヲ記載セシメ之ニ因リテ新戸籍ヲ編製スヘク戸籍記載方ハ左ノ例ニ依ルヘシ

「何年何月何日確定何地方裁判所ノ嫡出子否認ノ判決ニ因リ何某戸籍訂正申請何月何日受附母ノ家ニ入ルコトヲ得サルニ因リ一家創立」

其他出生届出事項等ハ戸籍法施行細則第十四條第二項ノ規定ニ依リ之ヲ新戸籍ニ記載スヘシ

(大正四年九月二十三日帶廣區裁判所監督判事問合) 同年十一月六日民第一五六四號法務局長回答

◎法定ノ推定家督相續人ナキ戸主カ失踪ノ宣告ヲ受ケ妹戸主ト爲リタル後廢家者タル男ト入夫婚姻ヲ爲シ入夫戸主ト爲リタル後失踪ノ宣告力取消サレタル場合ノ取扱方

1、法定ノ推定家督相續人ナキ戸主甲カ失踪宣告ヲ受ケタルニ因リ妹乙ハ家督相續人ニ選定セラレ戸主トナリ更ニ他家ノ丙男戸主廢家ノ上乙ト入夫婚姻ヲ爲シ入夫戸主トナリタル後甲ノ失踪宣告取消サレ其ノ失踪宣告取消ノ判決ニ因ル戸籍訂正申請アリタルトキハ戸主甲ノ除籍ニ訂正事由ヲ記載シ失踪事項ヲ抹消シ又丙ノ戸籍モ事由ヲ記載シテ抹消シ甲ノ戸籍ヲ回復スヘキモノトス

(大正五年九月二日大阪區裁判所監督判事問合) 同年十一月二日民第一三三一號法務局長回答

第一編 戸籍法規 第五章 戸籍ノ訂正 第百六十七條

2、前項失踪宣告取消ノ判決ニハ當然廢家ヲ無効トスルヤト云フニ廢家ハ無効ト爲ラス從テ入夫ハ家族トシテ其ノ家ニ止ルヲ相當トス

(大正五年九月二日大阪區裁判所監督判事問合) 同年十一月二日民第一三三一號法務局長回答

◎民法施行前婚姻ノ儀式ヲ舉ケタル夫婦間ノ子ニ付父ニ於テ引取ルヘキ旨ノ裁判確定セルトキハ之ニ基キ戸籍訂正ノ申請ヲ爲スコトヲ得

1、民法施行前慣例ニ從ヒ婚姻ノ儀式ヲ舉ケ婚姻ヲ爲シ已ニ夫婦トシテ同棲シ妻ノ入籍ナキ中一子ヲ舉ケタル後離婚シタリ然ルニ妻ハ夫ニ對シ其出生子引取ノ訴訟ヲ提起シ勝訴ノ判決ヲ受ケ該判決確定(民法施行前)シタリ今其子ヲ父ノ家ニ入籍セシメントスルニハ如何ナル形式ニ依ル可キヤト云フニ民法施行前ニ於テ婚姻ノ儀式ヲ舉ケタルモノニ付テハ假令其ノ届出ヲ爲サストモ當時ノ例ニ依リ有效ノ婚姻ト認ムヘク從テ其ノ出生子ハ嫡出子トシテ父ノ家ニ入ルヘキモノトス而テ本件ニ關シ父カ子ヲ自己ノ家ニ引取ルヘキ旨ノ裁判アリタルトキハ戸籍法第百六十七條ノ規定ニ依リ右確定判決ニ基キ戸籍訂正ノ手續ヲ爲サシメ以テ其ノ子ヲ父ノ家ニ入籍セシムルコトヲ得ヘシ

◎失踪宣告取消ノ場合先ニ選定ニ因リ相續ヲ爲シタル者ニ對スル
 戸籍ノ回復手續

(大正九年十一月二十二日白河區裁判所監督判事問合)
 (大正六年二月十九日民第一八三號法務局長回答)

1、甲戸主乙長男アリ甲ハ明治二十九年六月十五日死亡シ乙ハ
 家督相續届出ヲ爲サスシテ明治三十九年七月十九日失踪宣告
 ヲ受ケ(民法第三十一條ノ期間満了ハ明治三十一年七月十六
 日ナリ)丙ハ明治三十九年七月三十一日親族會ノ選定ニ因リ
 他家ヨリ入りテ乙ノ家督相續ヲ爲シタリ然ルニ其後乙生存シ
 アリテ失踪宣告取消ノ判決ヲ受ケ戸籍法第六十七條第一項
 ニ基キ戸籍訂正ノ申請ヲ爲シタリ此ノ場合ニ於テ戸籍ノ編製
 ハ乙カ曾テ家督相續届ヲ爲サ、リシ者ナルモ甲死亡ニ因リア
 リタルトキハ之ヲ受理シテ戸籍ニ記載ヲ爲シ前ノ失踪宣告ニ
 關スル記載ニ付テハ戸籍訂正ノ手續ニ依リ抹消スヘキモノナ
 リヤ又ハ死亡届出ハ之ヲ受理スルコトヲ得サルモノナリトヤ云
 フニ此場合ハ死亡届出ハ之ヲ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲スヘシ但
 シ失踪ノ記載ハ失踪宣告取消ノ判決ニ基キテ之ヲ抹消スヘシ

(大正六年四月十八日宮古區裁判所監督判事問合)
 (大正七年五月三十一日民第一一四八號法務局長回答)

◎虚偽ノ出生届ニ因リ他家ノ家督相續ヲ爲シタル者ニ付戸籍回復
 ノ手續ヲ爲シタル場合其ノ妻子ハ訂正申請書ニ記載シテ入籍セ
 シム

決議無効ノ判決確定シタル場合ノ戸籍ノ復活

1、甲戸主死亡シ親族會ヨリ家督相續人ニ選定セラレタル乙ナ
 ル者家督相續届出後該親族會ノ決議無効ノ判決確定シ戸籍法
 第六十七條ニ依リ申請アリタルトキハ之ヲ受理シ右相續届
 出ニ基キ編製ノ戸籍ヲ抹消シ前戸主ノ戸籍ヲ復活スヘキモノ
 トス

(大正六年五月二十四日名古屋市中區長問合)
 (同年六月二十六日民第九九號法務局長回答)

◎弟ノ名義ニテ縁組並婚姻ヲ爲シタルモノニ付事實ニ訂正方

1、別紙戸籍謄本(略)記載ノ甲ハ今ヨリ約二十年前居村乙ト内
 縁ヲ結ヒタルモ甲ハ戸主、乙ハ乙家ノ推定家督相續人ナルカ
 爲メ容易ニ婚姻スルヲ得サルヨリ明治三十六年六月三日弟丙
 名義ヲ以テ乙家丁ト養子縁組ヲ爲シ同日其長女乙ト婚姻届出
 ヲ爲シ同日四日死亡ニ因リ戸主トナリ爾來乙ト同棲シテ乙
 家ヲ主宰シ居タルカ大正四年四月八日丙死亡シタルニ付同月
 九日乙名義ヲ以テ甲死亡ノ虚偽ノ届出ヲ爲シタルコト發覺シ
 本年二月十五日右虚偽ノ届出ニ基キ戸籍ニ不實ノ記載ヲ爲サ
 シメタル廉ニ依リ處罰セラレタルモノナル處甲死亡ノ記載ハ
 戸籍法第六十四條ニ依リ戸籍ノ訂正ヲ爲シタリ此ノ場合

一 養父丁養子丙ハ何レモ死亡セルニ付戸籍訂正ヲ申請ス可
 キモノナキニ依リ戸籍法第三十九條第二項ニ依リ村長ノ職
 權ヲ以テ養子縁組ノ記載ヲ抹消スルコトヲ得ルヤト云フニ
 養子縁組無効ノ確定判決ニ基キ戸籍法第六十七號ノ規定

1、甲家ノ長男ヲ乙家戸主ノ長男トシテ虚偽ノ出生届出ヲ爲シ
 タル爲メ乙家戸主ノ死亡ニ依リ同家ノ家督相續ヲ爲シタル後
 戸籍訂正ノ手續ニ依リ乙家戸籍ニ於テ其者ノ記載ヲ抹消シ且
 甲家ノ長男トシテ甲家戸籍ニ記載ヲ爲スヘキ裁判所ノ許可ヲ
 得タル場合其者ニ妻子アルトキハ戸籍訂正ノ結果トシテ當然
 其妻子モ共ニ戸籍訂正申請書ニ記載セシメ甲家へ入籍スヘキ
 モノナリ

(大正七年三月十九日靜岡縣志太郡津町長問合)
 (同年五月二日民第六二號法務局長回答)

◎失踪宣告ノ判決ニ因リ戸籍ニ其ノ旨記載シタル者現ニ生存スル
 ニ拘ハラス失踪宣告取消ヲ請求セサル場合市町村長ハ職權ヲ以
 テ其ノ記載ヲ抹消スルコトヲ得ス

1、失踪宣告ノ判決ニ因リ戸籍ニ死亡ト看做サル旨記載セラレ
 タル者現ニ生存スルニ拘ハラス其本人又ハ利害關係人カ失踪
 宣告取消ヲ請求セシテ漫然經過スル場合市町村長ハ監督區
 裁判所ノ許可ヲ得テ右戸籍ノ記載ヲ抹消スルコトヲ得ルヤト
 云フニ市町村長ノ職權ヲ以テ失踪ノ記載ヲ抹消スルコトヲ得
 サルモノトス

(大正八年十二月二日山口區裁判所監督判事問合)
 (同年十二月十六日民第五三五七號民事局長回答)

◎親族會ニ於テ相續人ニ選定セラレタルモノ相續届出後親族會ノ

ニ依リ戸籍訂正ノ申請ヲ爲スヘキモノトス

二 丙ト乙トノ婚姻ハ無効ナルモ丙死亡ノ今日乙ノミノ申請
 ニ依リ抹消スルコトヲ得

三 乙ニ於テ戸籍訂正手續ニ出テサルトキハ戸籍法第三十九
 條第二項ニ依リ村長ノ職權ヲ以テ戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ
 得

四 如上養子縁組無効ニ付從テ丙ノ家督相續モ亦無効ナルカ
 故ニ前記各訂正ノ手續ヲ了シタル後乙ヨリ丙ノ戸籍抹消ノ
 申請アリタルトキハ之ヲ抹消シ先代丁ノ戸籍ヲ復活編製シ
 更ニ乙ヨリ家督相續届出ヲ爲サシメ新戸籍ヲ編製スヘキモ
 ノトス

五 婚姻事項訂正ノ結果長女戊二女己三女庚ノ身分ニ變更ヲ
 生スヘク長女戊ニ付爲シタル丙ノ認知ハ甲ノ虚偽ノ届出ニ
 基クカ故ニ戸籍訂正ノ手續ニ依リ之ヲ乙ノ私生子ト訂正シ
 二女三女ニ付テハ更ニ甲ト乙トノ婚姻届出ヲ爲サシメ且父
 母ヨリ子女ノ認知届出ヲ爲サシメ父ノ氏名ヲ訂正ス若シ右
 等ノ届出ヲ爲サ、ル時ハ利害關係人ノ申請ニ依リ父ノ氏名
 ヲ抹消シ母トノ續柄ヲ私生子ト訂正スルコトヲ得

六 甲及乙ハ丁ト養子縁組又ハ婚姻セシモノナルモ甲ハ戸主
 ニシテ廢家スルニアラサレハ乙家ニ入籍スルヲ得サルヨリ
 丙名義ヲ以テ乙家ニ入りタルモノニシテ事實ニ於テハ縁組
 又ハ婚姻ノ當事者ニ人違アルニアラサルニヨリ前書ノ如ク

實例判例文例人事法總覽

訂正ノ手續ヲ爲サス乙家戸籍(除籍ヲモ含ム)中丙入籍事項
其他丙トアルヲ甲ニ甲家ノ戸籍中丙除籍事項ヲ甲ノ除籍事
項ニ訂正スルコトヲ得サルヤト云フニ養子縁組及婚姻ハ人
違ニ因リ當事間ニ其ノ意思ナキモノト認ムヘキニ付前各號
ニ依リ取扱フヘシ

(大正七年三月三十日西條區裁判所監督判事問合
同年九月十四日民第一九六二號法律局長回答)

◎前戸主カ其長女ノ私生子ヲ自己ノ二女トシテ届出テ後長女ヨリ
戸籍訂正申請ヲ爲ス場合戸主ノ同意ナキトキノ手續

【判例】

◎戸籍法第六十七條ノ注意

1、戸籍法第六十七條ハ確定判決ニ因リ身分ノ變動ヲ生シ戸
籍訂正ヲ要スヘキ場合ニ訴ノ提起者ニ戸籍ノ訂正申請ヲ爲ス
ヘキ義務アルコトヲ定メタルニ過キスシテ裁判所ニ對シ訴ノ
提起者カ戸籍訂正申請ヲ爲シ得ヘキコトヲ定メタル趣旨ニ非
ス

(東京地方裁判所大正十四年十一月四日判決
法律新聞二四九三號一六頁)

2、戸籍法第六十五條ノ規定ハ戸籍ノ訂正ニヨリ親族又ハ相
續法上利害ノ影響ヲ被ムル者カ訂正ニ異議ナキ場合ニ限り適
用スヘキモノニシテ此等ノ者ニ於テ届出行爲ノ有效無効ニ付
争アル場合ニハ判決ヲ受ケ之ニ基キ訂正ノ申請ヲ爲スヘク單
ニ管轄區裁判所ノ許可ニヨリ訂正ヲ爲スヘキモノトス

1、前戸主カ其長女ノ私生子ヲ自己ノ二女トシテ届出タル場合
ニ於ケル戸籍ノ訂正ハ戸籍法第六十七條ノ規定ニ據ルヘキ
モノニシテ其訂正許可申請ヲ長女ヨリ爲スニ付キ戸主ノ同意
ヲ得ル能ハサル場合ニ於テハ右戸籍ニ於ケル二女ノ記載ヲ抹
消ヘルト同時ニ同人ノ爲メ一家創立ノ戸籍ヲ編製スルノ形式
ニヨリ訂正ノ許可ヲ求ムヘキモノトス

(大正十三年十一月七日三島區裁判所判事問合
同年十一月十七日民第一九〇四號法律局長回答)

◎確定判決ニ因ル戸籍訂正

1、戸籍法第六十七條ニ所謂確定判決ニ因リ戸籍ノ訂正ヲ爲
スヘキトキハ嫡出子ノ否認縁組若クハ婚姻ノ無効隠居若クハ
失踪宣告ノ取消等ノ如キ確定判決ノアリタルカ爲メニ戸籍ノ
訂正ヲ必要トスル場合ヲ指稱シタルモノトス又同條ハ右ノ判
決ヲ受クル爲メニ訴ヲ提起シタルモノニ對シ戸籍訂正ノ申請
ヲ爲スヘキコトヲ命シタルモノニ過キスシテ如何ナル者カ戸
籍訂正ノ訴權ヲ有スルカヲ定メタルモノニアラサルモノトス

(大審院大正七年八月二日判決
民事判決録一五六〇頁法律評論七卷諸法三五)

◎戸籍訂正ノ訴權

1、分家戸主タル身分關係ニ基キ本家保護ノ爲メニ分家ノ戸主

カ本家ノ戸籍及ヒ身分登記ニ虚偽ノ記載アルコトヲ理由トシ
テ之カ訂正ヲ求ムルコトハ法律ノ認メサル處ナリトス

(大審院大正七年八月二日判決
民事判決録一五六〇頁)

◎行爲ノ効力ヲ攻撃スル手續法

1、行爲ノ効力ヲ攻撃スル手續法ニ付テハ其行爲カ舊戸籍當時
ニ爲サレタルモノナルト否トニ關係セズ之カ攻撃ノ手續ヲ爲
ス當時ノ法ニ依ルヘキモノトス

(神戸地方裁判所大正七年六月十八日判決
法律新聞一四三一號一七頁)

◎戸主ノ無効ナル離籍ト戸籍訂正

1、戸籍法第六十七條ノ確定判決中ニハ所謂確定判決ヲ包含
スルヲ以テ戸主ノ爲シタル離籍カ無効ナルニ於テハ離籍無効
確認ノ訴ニ依リ其確定判決ヲ得テ戸籍ノ訂正ヲ爲スモノニシ
テ之カ取消ヲ求ムヘキモノニ非ス

(大阪控訴院大正六年六月十四日判決
法律評論六卷諸法二二七頁)

◎離籍ノ取消ト判決ノ性質

1、取消ナル裁判所ノ創設ノ宣告ハ法律ニ於テ特ニ規定アル場
合ニ限り之ヲ爲シ得ルモノニシテ離籍ノ取消ニ付テハ民法其
他ノ法律ニ於テ右ノ如キ形成判決ヲ爲シ得ヘキ規定存セス

(大阪控訴院大正六年六月十四日判決
法律評論六卷諸法二三八頁)

◎身分登記變更ノ意義

1 戸籍法第六十七條ニ所謂身分登記ノ變更トハ戸籍ニ記載
セラレタル戸主又ハ家族ノ身分ノ登記ニ關スル誤謬ヲ更正ス

ルノ謂ニシテ戸主又ハ家族其人ヲ戸籍ヨリ除去シ別人ヲ以テ
之ニ代フルカ如キハ之ニ屬セス

(大審院大正四年十二月二十二日決定
法律新聞九九七號二九五頁)

◎分家創立者ト本家ノ戸籍ノ身分登記ノ訂正

1、乙カ甲ノ養子ニシテ其法定ノ推定家督相續人タリシモ之カ
廢除ノ確定判決ヲ受ケ分家ヲ爲シ一家ヲ創立セル以上ハ假令
本家タル甲家ノ戸籍若ハ身分登記ニ虚偽ノ記載アリトスルモ
之カ訂正ニ付キ何等ノ請求權ヲ有セサルモノトス

(大阪控訴院大正七年三月十六日判決
法律新聞一三八九號二二頁)

◎隱居カ裁判所ノ許可ヲ要スル場合其許可ヲ得スシテ爲シタルト
キノ効力ト戸籍訂正ノ許可

1、隱居ヲ爲スニ付裁判所ノ許可ヲ要スル場合ニ於テ其許可ヲ
得スシテ爲シタル隱居ハ無効ニアラスシテ單ニ民法第七百五
十八條ノ規定ニ從ヒ取消シ得ヘキモノトス

(大審院大正十四年十二月八日判決
法律評論四卷第一二號民法一五一頁)

2、隱居カ裁判所ノ許可ニ基キ爲サレ而モ其ノ許可カ取消サレ
タリトスルモ右隱居ノ無効又ハ取消カ判決ニ依リテ確定セラ
レサル限り隱居ハ依然有效ナルモノニシテ右隱居届出ニ依リ
テ爲シタル戸籍ノ記載ハ適法ニシテ之カ戸籍ノ訂正ハ許スヘ
カラサルモノトス

(大審院大正十四年十二月八日判決
法律評論四卷一二號民法一五一頁)

【文例】

○嫡出子否認ノ裁判カ確定シ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ノ訂正

(1) 子カ私生ナトシテ現在ノ母ノ家ニ止マル場合ノ訂正申請ノ例

戸籍訂正申請

本籍 東京市麴町區 町 丁目 番地 戸主 甲野義太郎 長男 禮太郎
長女

甲野 春子

右春子大正何年何月何日確定東京地方裁判所ノ嫡出子否認ノ判決ニ因リ甲野禮太郎妻冬子私生子ト爲ル

右戸籍訂正別紙裁判ノ謄本及判決確定證明書相添へ及申請候也

大正 年 月 日

申請人

甲野 禮太郎

明治三十年五月五日生

東京市麴町區長 何 某殿

右春子ノ入家ニ同意致候

戸主

甲野 義太郎

明治元年九月七日生

備考 一、本例ニ依ル申請書ハ一通ヲ差出スヘシ

戸籍 (三〇〇)

(2) 子カ一家ヲ創立スル場合ノ訂正申請ノ例

戸籍訂正申請

本籍 東京市麴町區 町 丁目 番地 戸主 甲野義太郎 長男 禮太郎
長女

甲野 春子

右春子大正何年何月何日確定東京地方裁判所ノ嫡出子否認ノ判決ニ因リ甲野禮太郎妻冬子私生子ト爲ル

右春子入家ニ付キ戸主ノ同意ヲ得ルコト能ハサルニ因リ東京市 區 町 丁目 番地ニ一家創立

乙野氏ヲ稱ス

右戸籍訂正別紙裁判ノ謄本及判決確定證明書相添へ及申請候也

大正 年 月 日

申請人

甲野 禮太郎

明治三十年五月八日生

東京市麴町區長 何 某殿

備考 一、本例ニ依ル申請書ハ二通ヲ差出スヘシ

二、一家創立者ハ任意ノ氏ヲ稱スルコトヲ得ルモノトス

三、一家創立地方他ノ市町村ニ屬スルトキハ申請書ニ戸籍ノ謄本ヲ添付スルカ又ハ申請書ニ一家創立者ノ身分ニ關スル事項(例ハハ出生ノ事項)ヲ記載スヘキモノトス

四、母ヨリ別ニ私生子出生届ヲ爲スニ及ハス

實例判例文例人事法總覽

◎父確定ノ判決確定シタル場合ノ戸籍訂正申請ノ例

戸籍訂正申請

本籍 東京市麹町區 町 丁目 番地 戸主 甲野義二郎 妻 冬子 男
甲野 一郎

大正九年二月十日生

右一郎大正何年何月何日確定東京地方裁判所ノ判決ニ因リ父丙山信兵衛ト確定同人三男ト爲ル
右戸籍訂正別紙裁判ノ謄本、判決確定證明書及戸籍謄本相添へ及申請候也

大正 年 月 日

本籍 東京市神田區 町 丁目 番地 戸主

申請人 父 丙山 信兵衛

明治十年九月九日生

東京市麹町區長 何 某殿

備考 一、本例ニ依ル申請書ハ二通ヲ差出スヘシ

二、父ヨリ更ニ出生届ヲ爲スニ及ハス

三、前文例(2)ノ備考参照ノコト

◎養子縁組無効ノ判決確定シタル場合ノ戸籍訂正申請ノ例

戸籍訂正申請

本籍 東京市麹町區 町 丁目 番地 戸主

養父

養母

養子

甲野義太郎

梅子

孝二郎

實家 東京市麹町區 町 丁目 番地 戸主 乙川孝輔二男

右養子縁組大正何年何月何日確定東京地方裁判所ノ無効ノ判決ニ因リ戸籍訂正

右戸籍訂正別紙裁判ノ謄本及判決確定證明書相添へ及申請候也

大正 年 月 日

申請人 養父 甲野義太郎

明治元年九月七日生

東京市麹町區長 何 某殿

備考 一、本例ニ依ル申請書ハ二通ヲ差出スヘシ

第一編 戸籍法規 第五章 戸籍ノ訂正 第百六十七條

實例判例文例人事法總覽

◎婚姻無効ノ判決確定シタル場合ノ戸籍訂正申請ノ例

戸籍訂正申請

夫 本籍 東京市麴町區 町 丁目 番地 戶主 甲野義太郎長男
 妻 實家 東京市麴町區 町 丁目 番地 戶主 乙川孝輔長女
 冬 子

右婚姻大正何年何月何日確定東京地方裁判所ノ無効ノ判決ニ因リ戸籍訂正

右戸籍訂正別紙裁判ノ謄本及判決確定證明書相添ヘ及申請候也

大正 年 月 日

申請人 夫 甲野禮太郎

明治三十年五月十日生

東京市麴町區長 何 某殿

備考 一、本例ニ依ル申請書ハ二通ヲ差出スヘシ

◎隠居取消ノ判決確定シタル場合ノ戸籍訂正申請ノ例

戸籍訂正申請

隱居者 本籍 東京市麴町區 町 丁目 番地 戶主 甲野義太郎父
 甲野仁吉

右隠居大正何年何月何日確定東京地方裁判所ノ取消ノ判決ニ因リ戸籍訂正

右戸籍訂正別紙裁判ノ謄本及判決確定證明書相添ヘ及申請候也

大正 年 月 日

申請人 甲野仁吉

安政三年九月七日生

東京市麴町區長 何 某殿

備考 一、本例ニ依ル申請書ハ一通ヲ差出スヘシ

第一編 戸籍法規 第五章 戸籍ノ訂正 第百六十七條

◎失踪宣告取消ノ判決確定シタル場合ノ戸籍訂正申請ノ例

戸籍訂正申請

失踪者 本籍 東京市麹町區 町 丁目 番地 戸主 甲野義太郎 二男 甲野禮二郎

右失踪宣告大正何年何月何日確定東京地方裁判所ノ取消ノ判決ニ因リ戸籍訂正

右戸籍訂正別紙裁判ノ謄本及判決確定證明書相添ヘ及申請候也

大正 年 月 日

申請人 妻 禮二郎 甲野 梅子

明治三十二年五月八日生

東京市麹町區長 何 某殿

備考 一、本例ニ依ル申請書ハ一通ヲ差出スヘシ

第六十八條 第四十三條第四十六條乃至第五十條第五十二條乃至第五十九條及第六十三條乃至第六十八條ノ規定ハ戸籍訂正ノ申請ニ之ヲ準用ス

【實例】

◎戸籍訂正ニ依リ二男ヲ長男トシタル結果他ノ者ノ續柄ニ變更ヲ生シタル場合ノ訂正

一、戸籍訂正ニヨリ二男ヲ長男トシタル場合ニ男トナルヘキ三男アルトキハ市町村長ハ職權ヲ以テ直チニ之ヲ訂正ヲ爲シ得ルヤト云フニ二男ヲ長男ニ訂正スヘキ場合ニ於テ二男ト爲ルヘキ三男アルトキハ本來戸籍法第四十條第二項ニ依ルヘキモノナレトモ其ノ身分ノ變更ハ戸籍上顯著ナルヲ以テ同條ノ手續ヲ缺タス市町村長ハ職權ヲ以テ戸籍記載ノ訂正ヲ爲スコトヲ得

(大正四年三月十八日教習區裁判所判事同會 同年七月六日民務第四二〇號法務局長回答)

◎戸主ノ失踪宣告ノ取消アリタルトキ先ニ選定ニ因リ續續ヲ爲シタル者ニ對スル戸籍ノ回復ヲ爲ス場合ニ於ケル訂正申請ノ記載方

一、甲戸主乙長男アリ甲ハ明治二十九年六月十五日死亡シ乙ハ家督相續届出ヲ爲サスシテ明治三十九年七月十九日失踪宣告ヲ受ケ(民法第三十一條ノ期間滿了ハ明治三十一年七月十六日ナリ)丙ハ明治三十九年七月三十一日親族會ノ選定ニ因リ他家ヨリ入りテ乙ノ家督相續ヲ爲シタリ然ルニ其後乙生存シアリテ失踪宣告取消ノ判決ヲ受ケ戸籍法第六十七條第一項ニ基キ戸籍訂正ノ申請ヲ爲シタリ此ノ場合ニ於テ戸籍編製ハ乙カ曾テ家督相續届ヲ爲ササリシ者ナルモ甲死亡ニ因リ實質上戸主權ヲ取得セシ者ナルヲ以テ失踪宣告取消ニ因リ戸主權ヲ回復シ戸籍訂正申請ト共ニ家督相續届ヲ爲サシメ乙チ戸主トシタル新戸籍ヲ編製スヘキヤ又乙カ嘗テ家督相續届ヲ爲セシ事ナキカ故ニ丙カ家督相續ヲ爲ス以前ノ戸籍(除籍)ト同一ノ戸籍ヲ作り之レニ失踪宣告取消ニ因ル戸籍訂正事項ヲ記載

實例判例文例人事法總覽

シ然ル後家督相續ノ届出チ爲サシムヘキモノナリヤト云フニ
長男乙ノ失踪宣告取消ノ判決ニ基キ戸籍訂正ノ申請アリタル
トキハ前戸主甲ノ除籍ニ記載シアル失踪事項ノ事由ヲ記載シ
テ之ヲ抹消シ又此ノ申請ニ基キ直ニ乙ノ新戸籍ヲ編製シタル
後丙ノ戸籍ハ其ノ事由ヲ記載シテ之ヲ抹消スヘシ但シ戸籍訂
正ノ申請書ニハ丙ノ連署アルコトヲ要ス

(大正六年四月十八日宮古區裁判所判例事同合)
同年六月十一日民部第七四八號法務局長回答)

2、前項ノ場合ニ丙ハ其後婚姻ヲ爲シ現ニ妻子アリ)ハ乙ノ
失踪宣告取消ニ因リ家督相續選定ノ無効ヲ來シタルト乙ノ家
族ト爲ル原因トチ有セサルニヨリ乙ノ戸籍訂正申請ト同時ニ
親族入籍ニヨリ實家ヘ復籍スヘキヤ又實家ヘ入籍スヘキモノ
トセハ去ルヘキ家ノ戸主トシテ乙ノ同意ヲ得ヘキモノナリヤ
又丙ハ親族入籍ニヨリ實家ヘ復籍スヘキモノトセハ妻ハ夫ニ
隨ヒ共ニ入籍スヘキモ意思能力チ有セサル丙ノ直系卑屬(大
正四年生)チハ如何ニ爲スヘキモノナリヤト云フニ乙ノ相續
回復ノ結果丙並其ノ妻子ハ當然丙ノ實家ニ復籍スヘキモノニ
シテ之ヲ入籍セシムルニハ戸籍法第四十七條第二項、同第百
六十八條ノ規定ニ從ヒ戸籍訂正ノ申請書ニ實家ニ入ルヘキ者
ノ氏名等必要ナル事項ヲ記載セシメ之ニ基キテ入除籍ノ手續

チ爲スヘキモノトス而モ其ノ復籍ニ付テハ去ルヘキ家ノ戸主
ノ同意ヲ得ルコトヲ要セス

(大正六年四月十八日宮古區裁判所判例事同合)
同年六月十一日民部第七四八號法務局長回答)

◎分家無効ノ場合ニ依テ分家ノ戸籍ニ記載セル婚姻及認知事項ヲ
本家ノ戸籍ニ記載スルニハ戸籍訂正申請書ニ戸主ノ同意書ヲ添
附スルヲ要ス

1、甲家戸主甲ノ家族乙ナル者戸主甲ノ同意ヲ得テ分家ヲ爲シ
分家地役場ニ該届出チ爲シタリ依テ分家地役場ニ於テハ之ヲ
受理シ戸籍ノ記載ヲ爲シ届書ノ一通ヲ本家ノ所在地役場ヘ送
付シ來リタルニ本家地ニ於テハ該分家届チ分家地役場カ受理
シタル日以前ニ甲家戸主甲隱居シ丙ニ於テ家督相續戸主トナ
リタルニ因リ本家所在地役場ヨリ其旨ヲ以テ分家届チ返戻セ
リ然ルニ分家地役場ニ於テハ分家後婚姻届並ニ私生子認知届
チ受理シ各其戸籍ノ記載ヲ了シタルモ右分家届ニ同意シタル
戸主ハ前戸主ニシテ現戸主ノ同意ナキ分家届ト爲リシ故分家
戸籍ノ記載全部ヲ抹消シ分家後該戸籍ニ記載シタル婚姻届並
ニ認知届ニ基ク記載全部チ丙戸主ノ戸籍ニ記載スルコトノ訂
正許可ノ裁判ヲ得テ戸籍訂正ノ申請ヲ受理シ其一通ヲ本家地
役場ニ送付シ來レリ此場合ニ於ケル戸籍訂正申請書ニハ訂正

許可裁判本ノ外戸籍法第六十八條同第五十八條及大正三
年十月九日江差區裁判所判例事同合同年十二月九日民部第一六八
四號回答ノ趣旨ニ依リ戸主ノ同意證書ノ添附ヲモ要スヘキモ
ノトス

(大正六年三月十三日大津區裁判所判例事同合)
同年五月十一日民部第四八三號法務局長回答)

◎第六十七條ハ申請事件ニモ準用アリ

1、第六十七條不受理ノ證明書ニハ其受理セサル事由ノ記載ノ
要否ニ付テハ本條ノ申請事件ニモ適用スヘキモノナリトス

(大正三年五月二十九日大阪市西區戶籍及同
同年十二月二十八日民部一九九二號法務局長回答)

第六章 抗 告

【判 例】

◎本章適用ノ範圍

1、戶籍法第六章ノ規定ハ戶籍事件ニ付キ市町村ノ爲シタル處分ニ對スル抗告ニ關スルモノニシテ裁判所ノ裁判ニ對スル抗告ニ適用セラルヘキモノニ非ス

(大審院、大正六年六月十四日決定、法律附錄六卷附法二二三頁、法律新聞一、二八六號二七頁)

【實 例】

◎市町村長カ民法第七百七十六條、第八百一十一條、第八百四十九條、第八百六十五條等ノ届出ヲ受理シ戶籍ノ記載ヲ爲シタル場合ハ戶籍訂正ノ手續ニ依ルヘク抗告ニ依リテ抹消スヘキモノニアラス

1、民法第七百七十六條第八百一十一條第八百四十九條第八百六十五條等ノ規定ニ依リ戶籍吏方届出ヲ受理ス可カラサル場合ニ之ヲ受理シ戶籍ノ記載ヲ爲シタルニ對シ戶籍吏ノ右受理及戶籍記載ヲ爲シタルヲ不當トシ抗告ヲ爲シタル者アリタル場合、裁判所ハ戶籍吏ニ對シ該届出ヲ受理ス可カラサルコトヲ命シ且其受理ニ基キ爲シタル戶籍ノ記載ニ付抹消其他原狀回

第一編 戶籍法規 第六章 抗告 第六百六十九條

第六百六十九條 戶籍事件ニ付キ市町村長ノ處分ヲ不當トスル者ハ市役所又ハ町村役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

參考 大正二年法律九號裁判所管轄區域。

戶籍法一七〇條、一七一條

復ニ必要ナル記載ヲ命スルコトヲ得可キヤ若シ命シ得ルモノトセハ婚姻又ハ縁組ノ場合ニ於テ取消ノ請求權カ法定期間ノ經過其他ノ理由ニ依リ消滅シタル以後ト雖之レヲ命シ得可キヤト云フニ市町村長方届書ニ基キ戶籍ノ記載ヲ爲シタル以上ハ其ノ記載カ無効ニシテ抹消スヘキモノナル場合ニ於テモ抗告ニ依リテ之ヲ抹消スルコトヲ得ス必戶籍法第六十四條以下ノ規定ニ從ヒ戶籍訂正ノ手續ニ出ツヘキモノトス

(大正四年九月二十一日長岡縣裁判所監督判事問合、同年十月三日長第一五五七號法務局長回答)

【判例】

◎所謂處分ノ意義

1、戶籍法第六十九條ニ所謂處分トハ市町村長ニ於テ届出申請等ヲ受理セサル場合戶籍若シクハ除籍簿ノ閱覽等ヲ許ササル場合、如ク戶籍記載以外ノ處分ニシテ即チ市町村長ノ職權ヲ以テ變更シ得ヘキモノヲ指シ其職權上絕對ニ之カ變更ヲ許サ、ルモノハ之ヲ包含セスト解セサルヘカラス蓋シ村長ニ於テ抗告ヲ理由アリトスルトキハ其處分ヲ變更スヘキモノナルヲ以テ變更シ得サル處分ハ之レヲ以テ抗告ノ目的ト爲スコトヲ得サルモノト斷定スルチ相當トス

(宮崎縣裁判所、大正七年一月十六日決定)
法律新聞一五〇號一六頁

◎抗告裁判所ノ審査權

1、裁判所ハ戶籍吏ノ處分ニ對シ抗告アリタルトキハ自由ナル判斷ヲ以テ戶籍吏カ届出ヲ受理スヘキモノナリヤ否ヤヲ查覈シ因テ以テ抗告理由ノ當否ヲ判斷スレハ足ルモノニシテ其判斷ヲ爲スニ當リ戶籍吏ノ爲シタル處分ニ對スル理由ノ當否如何ニ拘束セラルヘキモノニアラス

(東京地方裁判所、大正四年十一月二十九日判決)
法律新聞四卷民訴三〇一頁

2、裁判所カ抗告ニ對スル裁判ニ付キ理由ヲ付スル場合ニ當事

者ノ不服ノ點ヲ個々ニ指摘シテ之レニ理由ヲ與フルト將タ又概括的ニ理由ヲ付スルトハ一ニ裁判所ノ自由權内ニ屬スルモノトス

(東京地方裁判所、大正四年十月二十九日判決)
法律新聞四卷民訴三〇一頁

◎戶籍吏ノ調査權

1、戶籍吏ハ戶籍ノ届出カ實體法上ノ要件ヲ具備セリヤ否ヤヲ調査スルノ權限ナキモノトス

(東京地方裁判所、大正四年十月二十九日判決)
法律新聞四卷民訴三〇一頁

◎戶籍事件ノ不服申立ノ方法

1、戶籍事件ニ付キ市町村長ノ處分ヲ不當トシ裁判所ニ抗告ヲ爲シ同裁判所ノ決定ヲ受ケタルトキハ其決定ニ對シ更ニ抗告ヲ爲スコトヲ得ルモ地方裁判所ノ決定ニ對シテハ如何ナル理由ヲ以テスルモ最早抗告ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

(大審院、大正七年九月二十六日判決)
法律新聞七卷民訴三〇六頁

◎抗告ヲ爲シ得ヘキ事項ト市町村長ノ職權

1、第六十九條所定ノ抗告ノ目的タル可キ市町村長ノ處分ハ市町村長ニ於テ任意ニ之ヲ變更シ得ヘキ職權ヲ有スル處分事項ニ限ルモノト解セサルヘカラサルコトハ同法第七十二條

第一項ノ趣旨ニ徴シテ疑テ容レズ而シテ市町村長ニ於テ戶籍ニ關スル届出ヲ受理シ之ニ基キテ記載ヲ爲シタル以上ハ後日任意ニ之ヲ抹消又ハ訂正シ得可キ職權ナキヲ以テ如此處分ニ對スル抗告ハ之ヲ許ス可キニアラス

(武雄縣裁判所、大正七年十月十二日判決)
法律新聞一四六八號一九頁

◎戶籍ト抗告ヲ爲シ得ヘキ者

1、第六十九條ニヨリ抗告ヲ爲シ得ヘキ者ハ其處分ニ付キ戶籍上直接ノ利害關係ヲ有スル者ニ限ルト解スルチ相當トスルヲ以テ如此關係ナキ者ノ爲シタル抗告ハ之ヲ許スヘキニアラス

(武雄縣裁判所、大正七年十月十二日判決)
法律新聞一四六八號一九頁

◎攻撃手續法ト準據法

1、行爲ノ效力ヲ攻撃スル手續法ハ其行爲カ舊戶籍法施行當時ニ爲サレタルモノナルト否トニ關セス之カ攻撃ノ手續ヲ爲ス當時ノ法律ニ依ルヘキモノトス

(神戶地方裁判所、大正五年六月十日判決)
法律新聞七卷民訴二七五頁

◎戶籍ノ處分ト抗告

1、現行戶籍法ハ單ニ届出又ハ申請ノ不受理ノ如キ或ハ戶籍簿ノ閱覽又ハ戶籍ノ謄本抄本ノ交付ノ拒絕ノ如キ戶籍吏ノ處分

ニ對シ之ヲ不當ト爲スモノニ抗告ノ方法ヲ認許スルト雖モ受理及登記行爲無ノ效ヲ理由トシテ之カ抹消ヲ求ムル爲メ戶籍吏ノ處分ニ對シ抗告スルカ如キハ認容セサルナリ

(神戶地方裁判所、大正七年六月十八日決定)
法律新聞七卷民訴二七四頁、法律新聞一四三二號一七頁

【文例】

998 ◎抗告狀ノ例

抗告狀

收入
印紙

本籍 東京市 區 町 丁目 番地
住所 東京府 郡 町 大字 番地
戶主 數嶋幸子 實母

抗告人 數嶋 歌子

抗告ノ趣旨

東京府何郡何町長ニ對シ抗告人カ戶主未成年者數嶋幸子ノ親權ヲ行フ母トシテ提出シタル幸子ノ家督相續屆ヲ受理スヘシトノ御裁判ヲ求ム

抗告ノ理由

抗告人ノ私生子數嶋幸子ハ父前戶主數嶋禮治ニ認知セラレテ禮次ハ大正十年十月十日死亡シタルヲ以テ幸子ハ未成年ニテ戶主トナリ抗告人ハ幸子ト同一家籍ニ在ル實母タル關係上大正十年十月二十日幸子ノ親權者トシテ東京府何郡何町役場ニ幸子ノ家督相續屆ヲ提出シタルニ同町長ハ幸子ニハ嫡世タル數嶋信子アリ同人カ親權者タルヘク同人ヨリ家督相續屆ヲ爲スヘキモノナリトノ理由ヲ以テ屆書ヲ却下シタリ

然レトモ民法第八百七十七條第二項ニ所謂家ニ在ル母トハ同一家籍ニ在ル實母ヲ意味スルモノナルコトハ普通ノ解釋ニシテ同第八百七十八條ノ解釋上我國學者間ニ於テモ一定スル處ナリ然ルニ何町長カ其ノ解釋ヲ誤リ抗告人ノ提出シタル屆書ヲ却下シタルハ不當ナルニ依リ茲ニ抗告ニ及ヒタル次第ナリ

附屬書類

- 一、戶籍謄本 壹通
- 一、家督相續屆謄本 壹通
- 一、何町長ノ屆書不受理ノ證明書 壹通

右抗告候也

大正 年 月 日

抗告人 數嶋 歌子

東京區裁判所
監督判事 何 某殿

備考

- 一、本抗告狀ハ壹通ニテ足ル
- 二、印紙ハ五十錢ノ收入印紙ヲ貼用スルコトヲ要ス

第一編 戶籍法規 第六章 抗告 第六百六十九條

實例判例文例人事法總覽

第七十條 抗告ハ管轄區裁判所ニ抗告狀ヲ提出シテ之ヲ爲ス

抗告狀ニハ届書又ハ申請書及ヒ關係書類ヲ添附スルコトヲ要ス

參考||戶籍法一六九條、一七一條。

非訟事件手續法九條。

第七十一條 抗告ヲ受ケタル裁判所ハ抗告ニ關スル書類ヲ市町村

長ニ送付シテ其意見ヲ求ムルコトヲ要ス

參考||戶籍法一七〇條。

第七十二條

市町村長ハ抗告ヲ理由アリト認ムルトキハ處分ヲ變更シテ其旨ヲ裁判所及ヒ抗告人ニ通知スルコトヲ要ス
 抗告ヲ理由ナシト認ムルトキハ意見ヲ附シ送付ヲ受ケタル日ヨリ
 五日內ニ書類ヲ裁判所ニ返還スルコトヲ要ス

參考ニ民刑訴訟記録保存規程二條。

〔實例〕

◎戸籍抗告事件ニ關スル書類ノ屆書類ノ保存方

- 1、戸籍事件ニ付市町村長ノ處分ヲ不當トスル記録ノ保存方ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ取扱フヘキモノトス
 - 一 戸籍法第七十二條第一項ノ規定ニ依リ市町村長其ノ處分ヲ變更シタルトキハ屆書、申請書等市町村長ノ受理スヘキ書類ハ之ヲ市役所又ハ町村役場ニ留メ其ノ他ノ書類ハ全部之ヲ管轄區裁判所ニ返還シ同裁判所ニ於テ保存スヘシ
 - 二 同第七十三條ノ規定ニ依リ抗告ヲ却下シタルトキハ記録書類ノ全部ヲ管轄區裁判所ニ於テ保存スヘク市町村長ニ對シ相當ノ處分ヲ命シタルトキハ屆書、申請書等市町村長

ノ受理スヘキ書類ハ之ヲ當該市町村長ニ送付シ其ノ他ノ書類ハ之ヲ管轄區裁判所ニ於テ保存スヘシ
 三 前各號ニ依リ區裁判所ニ於テ保存スヘキ書類ノ保存期間ハ民刑訴訟記録保存規程第二條ニ依ルヘシ
(大正七年六月二十二日下關區裁判所監督判事同合)
 (同年十一月二十七日民第二六四三號法務局長回答)

〔判例〕

◎戸籍吏ノ處分ト其ノ裁判

1、裁判所ハ自己ノ權限ニ基キ自由ニ戸籍吏ノ爲シタル届出ニ對スル處分其ノ者ノ當否ヲ判斷シ抗告ノ理由アリヤ否ヤヲ決スヘキモノニシテ其處分ヲ爲シタル戸籍吏ノ理由ノ當否ヲ顧慮スルノ要ナシ戸籍法ニ依レハ其ノ第六十七條第一項ニ於テ届出人ハ届出ノ受理又ハ不受理ノ證明書ヲ請求スルコトヲ得ヘキ旨規定スレトモ之レ唯如何ナル處分ヲ爲シタリヤノ證明書ナレハ戸籍吏ハ之カ證明ヲナスニ當リ其處分ノ理由ヲ開始スルノ必要ナク其他右處分ヲ爲スニ當リ戸籍吏ニ其ノ理由ヲ開示スヘキコトヲ命シタル規定ナシ尤モ抗告アリタル時ハ同法第七十二條第二項ノ規定ニ從ヒ戸籍吏ハ意見ヲ付スルコトヲ要スレトモ之レ抗告ニ對スル意見ニシテ之ヲ以テ直チニ處分ニ理由ヲ付スヘキコトヲ命シタルモノト云フヲ得ス斯ノ如クナルヲ以テ裁判所ニ戸籍吏方届出ノ處分ヲ爲スニ付キ如何ナル理由ニ依リタルモノナリヤチ知ル能ハサル場合アルニ徴スルモ裁判所ハ戸籍吏ノ處分ノ理由其ノ者ノ當否ヲ判斷スルノ要ナシ唯戸籍吏方其理由ヲ付シタル場合ニ於テ裁判所カ戸籍吏ノ處分ヲ是認スルトキハ理由モ亦是認セラルルコト通

常アリ得ヘキコトニ屬スレ共裁判所ハ其戸籍吏ノ理由ヲ否認シ又ハ其理由ノ判斷ヲ爲サスシテ他ノ理由ニ從ヒ右處分ヲ是認スルコト能ハサルニ非ラサルモノナレハ神田區長ノ本件處分ノ理由方明白ニシテ抗告代理人解釋ノ如クナルニ拘ラス原裁判所カ其理由ノ意味ヲ闡明セス且ツ又其當否ヲ判斷セサレハトテ之ヲ以テ原決定カ理由不備ナリト稱スルコトヲ得ス
(東京地方裁判所、大正四年十月二十九日判決)
 (法律新聞一〇五八號二八一頁)

實例判例文例人事法總覽

第七十三條 裁判所ハ抗告ヲ理由ナシトスルトキハ之ヲ却下シ理

由アリトスルトキハ市町村長ニ相當ノ處分ヲ命スルコトヲ要ス

抗告ヲ却下シ又ハ處分ヲ命スル裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲シ市町村

長及ヒ抗告人ニ送達スルコトヲ要ス

【判例】

○届出ノ無効ト戸籍記載ノ抹消

1、未成年ノ女戸主カ其ノ親權者ノ同意ヲ得シテ乙村ニナシタル轉籍届及甲ヲ指定ノ家督相續人トナス旨ノ届出ヲ同村長カ不當ニ受理シ夫々戸籍ノ記載ヲナシタルニ急遽女戸主ノ隱居届出アリタルニヨリ實體上無効ナル指定家督相續人甲ニ於テ家督相續ヲナシ次テ急迫ナル事情ナキニ拘ラス親權者ノ同意ナキ婚姻届出ヲナシタル後甲カ丙村ニ轉籍シタル場合ニ於テ斯ク手續ノ進行セルハ前叙乙村長ノ不當處分其ノ因ヲ爲スモノナルヲ以テ根本ニ遡リ同村長ノ爲シタル戸籍記載ヲ抹消セシムヘク而シテ甲ノ戸籍ハ丙村ニアリテ乙村ニハ抹消スヘキ戸籍存セサルカ如キモ同村ニハ除籍簿アリテ丙村戸籍記載

ノ基本ヲ爲スカ故ニ其ノ基本ノ記載ヲ抹消セシメ乙村長ヨリ丙村長ニ對シ其ノ旨ヲ通知セシメ順次右ニ基ク丙村現在ノ戸籍ヲ抹消セシムヘキモノトス

(盛岡地方裁判所大正十三年四月六日判決)
(法律評論一三卷諸法二七頁)

五三三號 (三〇一)

第七十四條 裁判所ノ決定ニ對シテハ法律ニ違背シタル裁判ナルコトヲ理由トスルトキニ限り非訟事件手續法ノ規定ニ從ヒテ抗告ヲ爲スコトヲ得

抗告裁判所ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

參考||非訟事件手續法二〇條以下。

【判例】

○戸籍ノ訂正許可ノ裁判ニ對スル抗告

1、戸籍ノ訂正許可ノ裁判所ノ裁判ニ對スルモノニシテ非訟事件手續法ノ規定ニ從フモノナルハ抗告裁判所ノ裁判ニ對スル場合ヲ除キ事實認定ノ不當ナルコトヲ理由トスルトキニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

(大審院、大正六年六月十四日判決)
(法律評論六卷諸法二三三頁)

【同趣旨】

ニ對シテハ如何ナル理由ヲ以テスルモ最早抗告ヲ爲スコトヲ得サルモノナルコトハ第七十四條第二項ノ規定ニ依リ明ナリ

(大審院、大正七年九月二十六日決定)
(法律新聞一四六三號二四頁)

(大審院、大正七年八月二十六日決定)
(法律新聞一四六四號二六頁)

○戸籍法ト再抗告

1、戸籍事件ニ付キ市町村長ノ處分ヲ不當トスル者ハ區裁判所ニ抗告ヲ爲シ同裁判所ノ決定ヲ受ケタルトキハ其決定ニ對シ更ニ地方裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得ルモ地方裁判所ノ決定

第一編 戸籍法規 第六章 抗告 第七十四條

〔文例〕
◎再抗告狀ノ例

再抗告狀

收入
印紙

本籍 東京市 區 町 丁目 番地
住所 東京府 郡 町大字 番地
戸主 數嶋幸子ノ實母

抗告人 數嶋 歌子

抗告事件ニ付キ何町長ノ届出不受理ノ處分ニ對スル再抗告

右抗告人ノ申立ニ依ル東京區裁判所大正十一年(ウ)第何號家督相續届出不受理處分抗告事件ニ付キ東京區裁判所ハ左ノ如ク決定セラレタリ

主 文

本件抗告ハ之ヲ却下ス

右決定ハ大正十一年十二月十日送達ヲ受ケタリ

備考 一、再抗告狀ハ壹通ニテ足ル

二、印紙額ハ五十錢ノ收入印紙ヲ貼用スルコトヲ要ス

再抗告ノ趣旨

原決定ヲ取消シ東京府何郡何町長ヲシテ抗告人ノ届出ニ係ル家督相續届ヲ受理スヘシトノ御裁判ヲ求ム

再抗告ノ理由

一、
一、
一、

右再抗告候也

大正 年 月 日

東京地方裁判所々長
判事 何 某殿

抗告人 數嶋 歌子

第七十五條 抗告ノ費用ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第七章 罰則

第七十六條 正當ノ理由ナクシテ期間内ニ爲スヘキ届出又ハ申請

ヲ爲ササル者ハ十圓以下ノ過料ニ處ス

- 參考 戶籍法四五條、六九條、八四條、八五條、八六條、九三條、九八條、一〇二條、一〇五條、一〇七條、一〇九條、一一〇條、一一二條、一一四條、一一六條、一二四條、一二五條、一二七條、一二八條、一二九條、一三一條、一三二條、一三三條、一三六條、一四二條、一四九條、一五二條、一五三條、一五五條、一五六條、一六〇條、一六三條、一六六條、一六七條。

【實例】

◎出生届出前ニ子カ死亡シタルトキ其ノ出生届ヲ死亡届出期間内ニ爲シタル場合ト届出期間ノ經過

- 1、戶籍法第七十七條ノ規定ハ死亡届出義務者カ出生ノ届出ヲナシ且届出期間ハ死亡届出期間内ニ於テ之ヲ爲サハ假令出生ノ届出期間ヲ怠タルモ懈怠ノ責ニ任セサルモノトス

(大正三年十二月十五日愛媛縣西宇和郡千丈村戶籍吏例) (同年十二月二十八日民部第一九六二號法務局長回答)

◎第七十七條但書ノ意義ト届出期間懈怠ニ對スル處罰

- 1、第七十七條但書ハ後順位ノ届出義務者カ届出ヲ爲スモ其ノ

第一編 戶籍法規 第七章 罰則 第七十六條

届出ヲ無効ト爲ササルノ趣旨ニ外ナラスシテ戶主カ届出ヲ爲シ得ルニ拘ハラズ届出ヲ爲ササリシニ於テハ戶主ヲ處罰スヘク實際届出ヲ爲シタル後順位者ハ未タ法律上届出義務ヲ負ハサルモノナルヲ以テ之ヲ處罰スヘキノ限ニ在ラス

(大正三年五月二十九日大阪府戶籍吏例) (同年十二月二十八日民部第一九六二號法務局長回答)

◎舊法ノ届出期間ヲ怠リタルトキト新法施行後ニ於ケル處罰

- 1、舊戶籍法ノ規定ニ違反セシモノハ新法ニヨリ處罰スヘキヤト云フニ此ノ場合ニハ舊法ニ依リ處罰スヘキモノトス

實例判例文例人事法總覽

【同趣旨】

(大正四年一月十四日熊本地方裁判所長同答)

(同年一月十四日民部第一〇八號法務局長同答)

(大正四年一月十八日東京裁判所判例事同合)

(同年一月十八日民部第一〇八號法務局長同答)

(大正四年二月二十六日札幌裁判所判例事同合)

(同年二月十九日民部第二三二號法務局長同答)

(大正四年二月九日豊後裁判所判例事同合)

(同年二月二十日民部第二三二號法務局長同答)

◎新法施行前子女出生シ施行ノ前日ニテ十日ノ届出期間満了ノトキト實施後四日内ニ届出タルトキ

- 1、改正戸籍法實施前子女出生シ同法實施ノ前日ニテ十日ノ届出期間満了ノモノヲ實施後四日内(改正法ニ因ル届出期間内)届出タルトキモ届出期間ヲ怠リタルモノトシテ取扱フヘキモノトス

(大正三年六月九日大阪裁判所判例事同合)

(大正四年一月十四日民部第一〇二〇號法務局長同答)

◎舊法施行前ニ發生シタル事件ニ付キ新法施行後届出アリタル場合ノ處罰

- 1、舊戸籍法中ニ届出期間ノ定メアリタル出生又ハ死亡ノ如キ

モノニシテ同法施行中ニ其事件發生セシモノニ付本月一日以後ニ其届出アリタル場合之ニ戸籍法第七十六條ノ規定ヲ適用シ處罰スルコトヲ得ルヤ得ルトセハ其期間ハ事件發生ノ日ヨリ起算スルヤ又ハ本月一日ヨリ起算スルヤト云フニ戸籍法施行前舊法ニ依ル届出期間ヲ經過シタル場合ハ舊法ニ依リ否ラサル場合ハ事件發生ノ日ヨリ起算シ新法所定ノ期間内ニ届出チ爲サ、ル者ニ付處罰ノ手續ヲ爲スヘシ

(大正四年一月十五日山口裁判所判例事同合)

(同年一月十八日民部第七九號法務局長同答)

◎舊法ニ規定ナカリシ事件(親權、保佐)ニシテ新法施行前ニ發生シ施行後届出ヲ爲シタル場合ノ處罰

- 1、前項事件ノ發生カ舊戸籍法施行以前ニ係ルモノニシテ本月一日以後其届出アリタル場合及ヒ舊戸籍法ニ規定ナカリシ親權若ハ保佐ノ如キ事件ニシテ其發生カ昨年十二月三十一日以前ニ係ルモノニ付本月一日以後ニ其届出アリタル場合其届出ノ日カ幾日ヲ經過セルモ戸籍法第七十六條ノ規定ヲ適用スルコトヲ得サルヤ若シ得ルモノトセハ其期間ハ本月一日ヨリ起算スルヤト云フニ舊戸籍法施行前ニ發生シタル事件ニ付テハ處罰ノ限ニ在ラス親權、保佐ニ付テハ前同答ニテ了知アリタシ

(大正四年一月十五日山口裁判所判例事同合)

(同年一月十八日民部第七九號法務局長同答)

第一編 戸籍法規 第七章 罰則 第七十六條

◎舊法ニ依ル届出事件ノ期間カ新舊法ニ涉リテ完成スルトキト其ノ期間ノ通算

- 1、新戸籍法實施前ニ生シタル戸籍過意事件ハ戸籍法施行前既ニ舊法ニ依ル届出期間ヲ經過シタル場合ハ舊法ニ依ルヘシ
- 2、右過意事件ノ期間カ新舊法ニ涉リテ初テ完成セルトキハ其期間ヲ通算スヘキモノトス

(大正四年二月九日豊後裁判所判例事同合)

(同年二月二十日民部第二三二號法務局長同答)

◎職權ヲ以テ後見終了ノ旨ヲ記載シ得ル場合ト其ノ届出過意處分

1、未成年ノ女戸主カ成年者ト入夫婚姻ヲ爲シ又ハ縁組ニ因リ後見ノ終了スル場合ニハ職權ヲ以テ之カ後見終了ノ旨ヲ記載シ得ヘキ回答(法曹記事第二五卷七號一〇頁同卷一二號七八頁)ノ趣旨ハ右職權記載ヲ爲シ得ヘキ各場合ニ該當セサルモ便宜職權ヲ以テ記載ヲ爲シ得ヘシトノ趣旨ナルヤ又ハ他ニ準據スヘキ法條アリテ然ルヤ若シ回答ノ趣旨ニ從ヒ届出チ缺タスシテ職權記載ヲ爲シ得ヘシトセハ之カ届出チ爲サシムルノ要ナキモノナルヲ以テ届出期間ノ懈怠者ニ對シ之カ過意處分ヲ爲スハ失當ナリヤ又ハ裁判所ノ許可ヲ得テ職權記載ヲ爲シ得ル場合ノ如ク當然過意處分ヲ免レサルヤト云フニ大正四

年三月二十三日附大阪區裁判所監督判事ノ問合ニ對スル民部四二八號回答及同年九月二十三日附静岡區裁判所監督判事問合ニ對スル民部第一五六四號回答ノ趣旨ハ問合ニ係ル婚姻又ハ養子縁組ノ届書ニハ自ラ後見終了ニ關スル事項ノ記載ヲ具フルモノト認ムヘキヲ以テ之ニ基キ戸籍法第四十七條第二項ニ依リ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキモノト爲スニ在リテ届出ナキニ拘ラス職權ヲ以テ戸籍ノ記載ヲ爲スコトヲ得ト云フニ非ス故ニ此ノ場合ニ在リテハ後見終了ノ届出チ怠リタルモノトシ後見人チ處罰スヘキ限リニ在ラサルハ勿論ナリ

(大正五年三月十一日豊後裁判所判例事同合)

(同年三月二十八日民部第三八六號法務局長同答)

◎届出ヲ爲スヘキ者カ未成年者ナルトキト其ノ法定代理人ナキ爲届出期間ヲ經過シタル後其ノ者カ成年ニ達シタル場合

1、戸籍法上届出チ爲スヘキモノカ未成年者ニシテ其法定代理人無ク爲メニ届出期間ヲ經過シタル後其者カ成年ニ達シタル場合ニ於テハ其ノ成年ニ達シタル日ヨリ起算シ届出期間經過後自ラ届出チ爲シタル時ハ尙其者チ懈怠ノ責任者トシテ處罰スヘキ(參照明治三十七年二月二十五日金澤區裁判所判例事同合)ヤト云フニ當時右等ノ事實アルトキハ現行戸籍法第六十四條ニ依リ市町村長ニ於テ相當期間ヲ定メ催告シ尙之チ怠リタル場合ニ限

實例判例文例人事法總覽

リ處罰ヲ爲スヘキモノナリ

(大正四年六月二十一日 關東區裁判所判例) (同年七月八日 民部省第一〇二號 法務局長回答)

◎私生子出生ノ届出期間經過後父カ庶子出生届ヲ爲シタル場合ト母ノ私生子出生ノ届出ノ懈怠

1、法定ノ期間經過シ父カ庶子出生届出ヲ爲シタル場合ニ於ケル届出ノ懈怠者ハ母ナリヤ父ナリヤト云フニ私生子出生ノ届出期間經過ノ後戶籍法第八十三條ノ規定ニ依リテ父カ庶子出生ノ届出ヲ爲シタル場合ナルニ於テハ母ハ私生子出生ノ届出ヲ懈怠シタルモノトス

(大正五年三月十七日 北海道釧路郡江部村長稟向) (同年五月十七日 民部省第一七號 法務局長回答)

2、私生子出生ノ届出期間經過ノ後戶籍法第八十三條ノ規定ニ依リテ父カ庶子出生ノ届出ヲ爲シタル時ハ母ハ私生子出生ノ届出ヲ懈怠シタルモノトス (参照大正五年三月十七日 北海道釧路郡江部村長稟向) (同年五月十七日 民部省第一七號 法務局長回答)

而シテ此場合父カ庶子出生ノ届出ヲ懈怠シタル理由ヲ陳述シ届出タル場合ト雖モ法ハ母ヲ懈怠者トシ從テ村長ヨリ裁判所ヘノ失期報告ハ母ヲナスヘキモノナリ

(大正六年三月八日 岡山縣邑久郡美和村長稟向) (同年三月十五日 民部省四六三號 法務局長回答)

◎戸主ノ死亡届ヲ期間經過後妻ヨリ爲シタル場合ト長男アルトキノ懈怠者

1、戸主死亡シ其死亡届ヲ法定期間經過後同居者タル妻ヨリ届出ヲ爲シタリ然ルニ其届出義務者中ニハ戸主ト爲ルヘキ長男

(成年者)アリ此場合其長男ハ戸主トシテ第一順位ニ在リヤ將々第二順位ノ届出義務者トシテ死亡者ノ妻及長男ノ兩人共ニ管轄區裁判所ニ通知ヲ爲スヘキヤト云フニ届出義務者ハ長男ヲ以テ第一順位ト爲スモ長男ニ於テ届出ヲ爲スコト能ハサル事由アルカ爲届出期間經過後妻ヨリ死亡ノ届出ヲ爲シタルニ於テハ妻ヲ届出ヲ怠リタル者トシテ管轄區裁判所ニ通知スヘシ

(大正五年十二月八日 福井市長稟向) (大正六年二月二十三日 民部省三七九號 法務局長回答)

◎出生届出前ニ子カ死亡シタル場合ト出生シタル後數月ヲ經過シテ死亡届ト出生届トヲ爲シタルトキノ出生届出ニ付テノ懈怠ノ責

1、大正三年十二月十五日 愛媛縣西宇和郡千丈村戶籍吏問合同月二十八日 民部省第一九六二號 回答ノ趣旨ハ出生届出期間内ニ死亡シタル場合ニ限ルヘキモノ例ヘハ出生後十四日ニ死亡セハ其後七日ノ死亡届出期間アルヲ以テ出生後二十日以内ニ出生死亡ノ届出ヲ爲セハ右期間内ニ限リ出生届出期間ヲ經過スルモ懈怠ノ責ニ任セサルモノト解スヘク從テ數ヶ月ヲ經過セ

第一編 戶籍法規 第七章 罰則 第七百七十六條

◎舊法施行中ニ於テ他ノ届出事件ニ伴フ身分ノ變更ニ該當スル後見終了ニ付キ終了届出ヲ爲サカリシ場合ノ處罰

ル出生届洩ノモノカ死亡シタル爲メ出生届ト共ニ死亡届ヲ爲スモ假令同時ニ届出ツル場合ト雖モ出生届ニ付テハ懈怠アルモノトシテ處罰スルヲ相當トス

(大正七年二月四日 土浦區裁判所監督官稟向) (同年三月五日 民部省三四七號 法務局長回答)

◎戸主未定中又ハ戸主ノ所在不明ナル家族ノ庶子又ハ私生子ヲ其ノ家ニ入ルルニ付親族會ノ同意ヲ得ル爲メ出生届出期間ヲ經過シタルトキト届出期間ノ懈怠

1、戸主未定又ハ戸主ノ所在不明者ノ家族ニシテ庶子及私生子出生届出ニ付キ戸主ニ對シ出生子ノ入籍同意ヲ求ムル能ハサルヲ以テ民法第七百五十一條ノ規定ニ因リ親族會ノ同意ヲ求ムルコト能ハサルトキハ一家創立ヲ爲サシムヘク單ニ同意ヲ求ムルコト能ハサル旨ヲ届書ニ記載セシメ其ノ届出ヲ受理シ出生子ヲ入籍セシムルコトヲ得ス但シ親族會ノ同意ヲ求ムルカ爲メ届出期間ヲ經過スルモ此ノ場合ニ於テハ届出ヲ怠リタルモノト云フヲ得サルヲ以テ可成親族會ノ同意ヲ求メシムルヲ相當トス

(大正六年六月六日 三重縣宇治山田市市長稟向) (同年六月二十一日 民部省一五三號 法務局長回答)

◎母カ私生子ノ出生届ヲ懈怠リタル責任

1、母ト私生子トノ間ノ法律上ノ親族關係ハ分娩ニ因リテ發生スルモノニシテ認知ニ因リテ發生スルモノニアラス民法第八百二十七條ニ私生子ハ母ニ於テ之ヲ認知スルコトヲ得ト規定シタルハ捨テ其他ノ原因ニヨリテ母子ノ關係ノ不明ト爲リタル後ニ於テ母カ之ヲ認知シ得ルコトヲ定メタルニ過キスシテ分娩ニ因リテ母子ノ關係ノ明瞭ナル場合ニ於テ母ハ尙ホ自己ノ生シタル子ヲ認知セサルコトヲ許シタル法意ニアラス故ニ母カ私生子ノ出生届ヲ懈怠シタル場合ニ於テハ戶籍法上ノ制裁ヲ受クヘキハ當然ナリトス

(大正六年三月十三日 山口縣廣部郡廣部町長稟向) (大正七年五月十一日 民部省六一三號 法務局長回答)

◎出生届出義務者ニ對スル責任

(大正十一年三月二十八日法曹會議議決) (法曹記事三卷八號三四頁)

1、父ハ私生子ノ認知ヲ爲スニヨリテ始メテ届出義務發生スルモノニシテ父ニシテ認知セサル限リ私生子ハ母ニ於テ適法ノ期間内ニ出生届ヲ出ササルヘカラス從テ戶籍法上出生ノ届出期間タル十四日內ニ父カ認知シタル事實アルニ拘ハラズ右期間内ニ庶子出生届ヲ出ササルトキハ父ニ於テ戶籍法第七十六條ノ責任ヲ負擔セサルヘカラスト雖既ニ右ノ十四日ヲ經過シタル後ニ至リ始メテ認知シ以テ庶子出生ノ届出ヲ爲シタルトキハ出生届出ノ懈怠ノ責任ハ母ニ在リト云ハサルヘカラス

(大正十一年五月三十日法曹會議決) (法曹記事三卷一〇號五八頁)

第七十七條

第六十四條ノ規定ニ依リ市町村長カ期間ヲ定メテ届

出又ハ申請ノ催告ヲ爲シタル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ其期間内ニ届出又ハ申請ヲ爲ササル者ハ二十圓以下ノ過料ニ處ス

【實例】

◎戶籍法施行前舊戶籍法ニ依ル届出期間ヲ經過シタル場合ト否ラサル場合ニ於ケル催告及處罰方

1、戶籍法施行以前ニ發生シタル届出事件ニ付テハ施行ノ日ヨリ起算シ戶籍法所定ノ期間ヲ經過スルモ届出ヲ爲サ、ルトキハ同法ノ催告及罰則ノ適用アリト解釋スルヲ相當トス然レトモ舊戶籍法罰則ノ適用ニ關シ明治三十一年八月一日沖繩縣八重山間切戶籍吏ノ伺ニ對スル同年九月三十日民刑第一一九五號民刑局長回答ニハ施行以前ニ發生シタル届出事件ハ其届出ヲ怠ルモ之ヲ罰スルコトヲ得サルニ因リ通知ニ及ハストアリ爾來舊戶籍法時代ニ於テハ該回答ニ從ヒ取扱ヒ居リタルヲ以テ新法施行ニ際シテモ亦同一ノ解釋ヲ採ルヘキヤト云フニ戶籍法施行前舊法ニ依ル届出期間ヲ經過シタル場合ハ舊法ニ依リ否ラサル場合ハ事件發生ノ日ヨリ起算シ新法所定ノ期間滿

第一編 戶籍法規 第七章 罰則 第七十七條

3、戶籍法施行以前ニ發生シタル届出事件ハ其届出ヲ怠ルモ之ヲ罰スルコトヲ得サルニ因リ區裁判所ニ通知スルニ及ハス

【參照】

2、戶籍法施行以前ニ發送シタル戶籍ニ關スル一切ノ届書(從前本縣ノ規則ニテハ届出人所在地ノ村事務所ニ届出ツルヲ以テ戶籍ヲ取扱フ間切役場ニ差出シタルモノト見做セリ)ニシテ本法施行後戶籍役場ニ到達シタル場合ハ本法ニ規定セル事項悉ク記載セサルニ因リ登記上差支ユルヲ以テ之ヲ却下スヘキモノナリ

了ノ後催告及處罰ノ手續ヲ爲スヘシ

(大正四年一月六日秋田區裁判所審判部審問會) (同年一月八日民刑第二六號法務局長回答)

(明治三十一年八月一日沖繩縣八重山間切戶籍吏伺) (同年九月三十日民刑第一一九五號民刑局長回答)

實例判例文例人事法總覽

【同趣旨】

(明治三十一年八月一日沖繩縣八重山郡切戸籍定例)

(大正四年一月十八日山口區裁判所監督判例事問合)

(大正三年十一月十九日廣島區裁判所監督判例事問合)

(大正四年一月十三日民部省第一七三五號法務局長回答)

(大正四年一月十四日民部省第一七三五號法務局長回答)

(同年一月二十八日民部省第一七三五號法務局長回答)

第七十八條 市町村長ハ左ノ場合ニ於テハ三十圓以下ノ過料ニ處

ス

- 一 正當ノ理由ナクシテ届出又ハ申請ヲ受理セサルトキ
- 二 戸籍ノ記載ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ
- 三 正當ノ理由ナクシテ戸籍簿、除籍簿又ハ第三十六條ノ書類ノ閲覧ヲ拒ミタルトキ
- 四 正當ノ理由ナクシテ戸籍若クハ除カレタル戸籍ノ謄本、抄本又ハ第六十七條ノ證明書ヲ交付セサルトキ
- 五 其他戸籍事件ニ付キ職務ヲ怠リタルトキ

【實例】

◎代理者ノ取扱ヒタル戸籍事務ニ付市町村長監督ノ責任ヲ盡ササルトキト過料

1、改正戸籍法第七十八條ノ規定ハ戸籍事務ヲ管掌スル吏員ノ代理者ニ準用スヘキ規定ナキモ之ヲ準用スヘキモノトセハ之ニ付同法第七條ノ如キ規定ナキハ如何ナル理由ナルヤ又代理者ニ之ヲ準用スヘキモノトセハ町村制第七十八條第二項ノ規定ニ從ヒ町村吏員カ町村長ノ任命ニ因リ其事務ノ臨時代理中ニ於ケル其吏員ノ處爲ニ付テハ場合ニ依リ町村長及ヒ其代理者タル町村吏員ノ雙方ヲ過料ニ處スルコトヲ得ルト云フニ過料ハ總テ市町村長ニ之ヲ科ス而テ代理者ニ於テ戸籍事務ヲ

取扱ヒタル場合ニ於テ其ノ市町村長監督ノ責任ヲ盡ササルトキハ第七十八條第五號ニ依リ過料ニ處セラルヘキモノトス

(大正三年六月二十六日山口區裁判所監督判事同合) 同年十二月二十八日民第一二五號法務局長同答)

◎市町村長ノ代理者ニ對スル處罰

1、市町村長缺員中又ハ故障ニ依リ代理者カ事務ヲ取扱フ場合ニ戸籍法第七十八條第一號乃至第五號ニ該當スル事由アルモ何人チモ處罰セサル法意ナリヤト云フニ缺員ノ場合ハ格別市町村長監督其ノ他ニ付過意ノ責アルトキハ其ノ市町村長チ處罰スヘキモノトス

(大正三年十二月十日五島區裁判所監督判事同合) 大正四年一月十四日民第一八四八號法務局長同答)

【判例】

◎戸籍記載ノ懈怠ト數罪

1、市町村長カ數個ノ届書ニ付キ繼續シテ戸籍ノ記載ヲ怠リタル場合ニ於テハ之ナ一箇ノ行爲ト看做シ處斷スヘキモノト爲シタル既定アルニ非サレハ此場合ニ於テハ戸籍法第七十八條二號ニ該當スル數箇ノ違反行爲アルモノトシテ各行爲ニ對

シテ各別ニ參拾圓以下ノ過料ニ處スヘキモノトス

(大審院、大正八年六月六日判決) 法律新聞一五九一號一九頁)

第七十九條

過料ノ裁判ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ住所又ハ居所

ノ地ヲ管轄スル區裁判所之ヲ爲ス其裁判及ヒ裁判ノ執行ニ付テハ

非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

參考||非訟事件手續法二〇七條、二〇八條。

第八十條

戸籍ノ記載ヲ要セサル事項ニ付キ虚偽ノ届出ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス日本ノ國籍ヲ有セサル者ニ關スル事項ニ付キ虚偽ノ届出ヲ爲シタル者亦同シ

參考 刑法一五七條一項。

【實例】

◎重婚ヲ爲シタル場合

1、甲村ノ某女乙村ノ某男ト婚姻ヲ爲シ數年後離婚チナサスシテ實家ニ歸リ後丙村某男ト婚姻チナシ某女ハ甲村在籍者トシテ丙村長ニ婚姻ノ届出チナシタリ丙村長ハ之ヲ受理シ某女ノ入籍手續チナシ甲村長ニ届書ノ送付チナシタルニ甲村長ハ某女ハ先年乙村某男ト婚姻チナシ除籍シタルモノニシテ甲村在籍者ニアラサル旨チ付シテ届書ヲ返戻シ來レリ此場合ニ於テ丙村長ハ該婚姻ハ民法第七百六十七條ニ該當シ全然無効ノ旨當事者ニ通知シ當事者ハ同法第七百八十條ニヨリ婚姻ノ無効取消ヲ裁判所ニ請求シ其許可ヲ得テ戸籍法第六十五條ニヨリ丙村長ニ戸籍訂正ノ申請チナスヘキモノナリヤト云フニ

某女ト丙村某男トノ婚姻ハ民法第七百六十六條ノ規定ニ違反シタルモノトシテ同第七百八十條ノ規定ニ依リ其ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得而シテ婚姻取消ノ裁判カ確定シタルトキハ戸籍法第六十七條ノ規定ニ依リ丙村長ニ戸籍訂正ノ申請ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年一月二十三日廣島縣比治郡東城町長何) (同年二月十三日民第一七七號法律局長何答)

2、前項ニ於ケル某女未タ丙男ト婚姻ノ届出チナサ、ル前一子チ擧ケ丙男ヨリ庶子出生届チナシ丙男ノ戸籍ニ入籍シ父母ノ婚姻ニヨリ嫡出子トナリタル某子アリ然ルニ前項ノ結果婚姻無効トナル時ハ民法第八百二十條ニヨリ前問ニ於ケル乙村某男ヨリ嫡出子出生ノ届出チナサシメ丙村某男ハ戸籍法第六

十五條ノ規定ニ從ヒ裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍訂正ノ申請チナスヘキヤト云フニ婚姻カ取消サルルコトアルモ其ノ效力ハ既往ニ遡ラサルニ付戸籍ノ記載ハ其ノ儘ニ爲シ置クヘシ

(大正四年一月二十三日廣島縣比治郡東城町長何) (同年二月十三日民第一七七號法律局長何答)

3、前二項ノ如キ事實アリタルトキハ戸籍法第八十條ニ該當スルモノニハ非サルヤト云フニ戸籍法第八十條ヲ適用スヘキモノニ非ス

(大正四年一月二十三日廣島縣比治郡東城町長何) (同年二月十三日民第一七七號法律局長何答)

附 則

第八十一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(大正三年六月勅令第二百二十一號ヲ以テ同四年一月一日ヨリ施行)

第八十二條 本法ノ施行ニ關スル細則ハ司法大臣之ヲ定ム

參考 大正三年十月三日司法省令第七號戶籍法施行細則。

第八十三條

本法ノ規定ハ本法施行前ノ届出其他ノ事由ニ因リテ
戸籍ノ記載ヲ爲シ又ハ新ニ戸籍ヲ編製スル場合ニモ亦之ヲ適用ス

【實例】

◎家督相續ニ因リ新ニ戸籍ヲ編製スル場合ト家族ノ事項欄ノ新記載例ニ依ル記載

1、家督相續ニ依リ新ニ戸籍ヲ編製スルトキハ家族ノ事項欄ハ新法ノ記載例ニ引直スヘキモノトス

(大正四年一月七日長崎縣裁判所監督判例事問合) 同年一月八日民務第二一號法務局長回答

◎非本籍地役場ニ於テ戸籍法施行前身分登記變更申請書ヲ受理シ其ノ一通ヲ本籍地役場ニ送付シタルニ戸籍法施行後到達シタル場合ノ手續

1、非本籍地役場ニ於テ昨年身分登記變更申請書ヲ受理登記シ申請書ノ一通ヲ本籍地役場ニ送付シ本年ニ至リテ本籍地役場ニ該申請書カ到達シタル場合ハ如何ナル取扱ヲ爲スヘキヤト云フニ送付ヲ受ケタル身分登記變更申請書ニ基キ新法ニ依リテ戸籍訂正ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年一月十四日青森縣裁判所監督判例事問合) 同年一月二十八日民務第九四號法務局長回答

◎舊法ニ依ル身分登記變更許可裁判ノ謄本ヲ添附シ新法施行後新

法ニ依ル戸籍訂正申請ヲ爲シタル場合ノ手續

1、舊法ニ依ル身分登記變更許可裁判謄本ヲ添附シ新法實施後新法ニ依ル戸籍訂正申請ヲ爲シタル場合ハ該謄本ハ新法ニ依ル戸籍訂正ノ許可ノ裁判謄本ト同一效力アルモノト看做シ申請ヲ受理シ戸籍訂正ノミヲ爲スヘキモノトス

(大正四年一月十四日青森縣裁判所監督判例事問合) 同年一月二十八日民務第九四號法務局長回答

◎舊法施行前家督相續ニ因リ戸主ト爲リタル者ノ戸籍ニ付改寫ヲ爲サリシモノヲ發見シタル場合ノ手續

1、舊法施行前家督相續ニ因リ戸主ト爲リタル者ノ戸籍ニ付當時其ノ改寫ヲ爲サリシモノハ戸籍法第三十九條第二項ノ規定ニ依リ市町村長監督區裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ戸籍ヲ新ニ編製スヘシ而テ之カ改寫ニ付テハ新用紙ヲ用フヘク新舊戸籍ニ記載スヘキ事由ハ「何年何月何日附何區裁判所ノ許可ニ因リ氏名ノ家督相續ニ因ル戸籍ヲ編製シタルニ付キ何年何月何日本籍ヲ抹消ス」、「家督相續ニ因ル新戸籍編製漏ニ付キ何

年何月何日附何區裁判所許可ニ因リ何年何月何日本籍ヲ編製ス」ノ例ニ依ルヘシ

(大正六年二月十五日東京市ニ關區長例) 同年五月十一日民務六五六號法務局長回答

【同趣旨】

(大正六年四月十四日熊本縣河野郡白木村長例) 同年五月二十八日民務八二六號法務局長回答

第八十四條

舊法ノ規定ニ依ル戸籍ハ本法ノ規定ニ依ル戸籍トシテ其效力ヲ有ス但本法ノ規定ニ依リ戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ舊法ノ規定ニ依ル戸籍ニ記載ナキモノハ身分登記ニ依リ之ヲ記載スルコトヲ得

司法大臣ハ前項ノ規定ニ拘ハラズ本法ノ規定ニ依リ戸籍ヲ改製スヘキコトヲ命スルコトヲ得

【實例】

◎第八十四條ノ「舊法」ノ意義

1、改正戸籍法第八十四條ニ云フ舊法トハ明治三十一年七月十六日實施ニ係ル戸籍法ノミチ指シタルモノナリ

(大正四年一月六日愛媛縣西宇和郡西村長官署
同年一月二十日民部第五四號法律局長官署)

◎第八十四條第一項但書ノ意義

1、戸籍法第八十四條第一項但書ハ戸籍法施行後市町村長ハ直ニ身分登記ニ依リ相當記載ノ補充ヲ爲スヘキヤ又ハ戸籍改製若クハ戸籍法第十二條ノ新戸籍編製ノ際ニ新戸籍ニ相當記

載ヲ爲スヲ以テ足ルヤト云フニ市町村長ハ何時ニテモ戸籍法第八十四條第一項但書ニ依リ戸籍ノ記載ヲ補充スルコトヲ得
(大正三年十一月二日大森縣裁判所判例
同年十二月二十八日民部第二六六號法律局長官署)

2、第八十四條第一項但書ニ依レハ戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ舊法ノ規定ニ依ル戸籍ニ記載ナキモノハ身分登記ニ依リ之ヲ記載スルコトヲ得ヘク規定シアリ右ハ家督相續家督相續回復等ニ依リ新ニ戸籍編製ノ場合市町村長ハ職權ヲ以テ記載

シ得ルノ趣旨ナルヤト云フニ第八十四條但書ノ記載ヲ爲スハ新ニ戸籍ヲ編製スル場合ニ限ラス何時ニテモ市町村長ノ職權ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

(大正三年五月十八日大坂市東區戸籍吏官
同年十二月二十八日民部第九九九號法律局長官署)

3、新ニ戸籍編製ノトキ身分登記ニ基キ知り得ヘキ事項ハ之ニヨリ記載シ得ルモ編製後個々ノ場合ニ發見シタルトキモ隨時適用シ得ルヤト云フニ新戸籍編製ノ前後ヲ問ハス其ノ適用アリ

(大正三年五月二十日大坂市北區戸籍吏官
同年十二月二十八日民部第九九九號法律局長官署)

4、戸籍法第八十四條第一項但書ニヨリ身分登記ニ基キ戸籍ノ記載ヲ爲スニハ新ニ戸籍ヲ編製シタルトキニ限ルヤト云フニ新ニ戸籍ヲ編製シタル場合ニ限ラス現在ノ戸籍ニモ戸籍法第八十四條第一項但書ニ依リ記載ヲ爲スコトヲ得

(大正三年十二月八日金澤縣裁判所判例
大正四年一月十三日民部一八三〇號法律局長官署)

5、戸籍法第八十四條但書ノ規定ハ新ニ戸籍編製ノ必要ヲ生シタル場合ナルト否トニ關セス此際舊法規定ニ依ル戸籍記載ノ全部ヲ新法ノ記載主義ニ補足スヘキ趣旨ニ解スヘキヤ或ハ新戸籍編製ノ必要ヲ生シタル際時々補足スヘキ義ナルヤト云フニ新戸籍編製ノ必要ヲ生シタル場合ニ限ラス何時ニテモ職

權ヲ以テ記載ヲ爲スコトヲ得ヘシト雖必スシモ新法施行ノ際補記セシムルコトヲ要セス

(大正四年一月十五日長野縣裁判所判例
同年二月十日民部一〇〇〇號法律局長官署)

6、戸籍法第八十四條第一項但書ノ補記ハ必然之ヲ爲スヘキモノニ非サルモ事情ノ許ス限リ成ルヘク記載ノ補記ヲ爲スヘク且後日補充ヲ爲スノ必要上身分登記簿ヲ保存期間經過後マテ保存スルハ妨ナシトス

(大正四年一月二十七日山口縣熊毛郡宇賀町長代理判例
同年三月八日民部第一八號法律局長官署)

7、戸籍法第八十四條但書ノ法文ノ趣旨ハ前項ノ通解スヘク事務ノ取扱トシテハ事情差支ナキ限リ記載ノ補充ヲ爲スニ相當トスヘキモ分家、轉籍又ハ相續ノ場合ニ於テ編製スル新戸籍亦必新法ニ依リ記載ノ補充ヲ爲ササル可ラサルニ非ス

(大正四年二月十二日愛媛縣西宇和郡西村長官署判例
同年三月十一日民部第二六二號法律局長官署)

8、戸籍法第八十四條但書ハ舊法ノ規定ニ依ル戸籍ハ新法ノ規定ニ依リ效力ヲ有スルモノナルヲ以テ身分登記ニ依リ記載云云ニハ市町村長ノ任意ニシテ絶對ニ新法ニ依リ記載ヲ要スル精神ニアラス

(大正四年二月十二日愛媛縣西宇和郡西村長官署判例
同年三月十一日民部第二六二號法律局長官署)

◎第八十四條但書ノ補記ハ事情ノ許ス限リ成ルヘク之ヲ爲シ且

實例判例文例人專法總覽

身分登記ヲ保存スル間ニ爲スヘシ

1、戸籍法第八十四條第一項但書ニ於ケル戸籍ノ記載補充ハ舊戸籍法ノ規定ニ依ル凡テノ戸籍全體ニ涉リ義務トシテ爲ササルヘカラサルモノナリヤト云フニ其補充ヲ爲スト否トハ當該吏員ノ任意ナルモ事情ノ許ス限リ成ルヘク記載ノ補充ヲ爲スヘク且補充ヲ爲スハ身分登記ヲ保存スル間ニ爲ササルヘカラサルハ勿論ナルヘシ

(大正四年二月四日長崎區裁判所監督判事問合) 同年二月十八日長崎區第一五號法務局長回答)

◎第百八十四條第一項但書ノ補記ハ重要ナル事項ヨリ漸次記載セ

シムルモ差支ナシ舊法ニ依ル戸籍ニシテ未タ補記ヲ爲ササルモノヲ基本トシテ新ニ編製シタル戸籍ハ身分登記ニ依リ直チニ其ノ記載ヲ爲スコトヲ得

1、戸籍法第八十四條第一項但書ニ依リテ記載スヘキ事項ハ新法ノ規定ニ依リ戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ舊法ノ規定ニ依ル戸籍ニ記載ナキモノノ全部ヲ包含スルモ市町村ノ事情ニ依リ先ツ重要ナル事項ヨリ漸次記載セシムルハ差支ナキ所トス

(大正四年一月二十八日福岡地方裁判所長問合) 同年二月十九日長崎第一八三號法務局長回答)

2、舊法ノ規定ニ依ル戸籍ハ前項ノ方法ニ因リ整理ヲ爲スコト

ヲ得ヘシト雖モ未タ其整理ヲ爲サル前ノ戸籍ヲ基本トシテ新ニ編製シタル戸籍ハ如何ニシテ之ヲ整理スヘキヤト云フニ戸籍法第八十四條第一項但書ニ準シ舊身分登記ニ依リ直チニ之ヲ記載ヲ得ルモノナリ

(大正四年一月二十八日福岡地方裁判所長問合) 同年二月十九日長崎第一八三號法務局長回答)

◎舊戸籍中養子ノ氏名欄ノ右ニ養父母ヲ記載スルニハ「養父母ノ

氏名及續柄ハ身分登記ニ依リ記載ス」ト記シ身分登記ニ依ルヲ得サル場合ハ不明ノ事由ヲ記載スルヲ以テ足ル

1、戸籍法第八十四條但書ニ依ルトキハ新法ニ依ル戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ舊戸籍ニ記載シアラサル事項ハ身分登記ニ依リ記載スルヲ得ルニ付市町村長ニ於テ隨時舊戸籍ヘ記載シ差支ナキモノトス此ノ場合ニ於テ假令ハ舊戸籍中養子ノ氏名欄ノ右ニ養父母ヲ記載スルニ當リ事項欄ヘ單ニ養父母ノ氏名及續柄ハ身分登記ニ依リ記載スト記シ差支ナキモ身分登記ニ依ルコトヲ得サル事項ハ特ニ届出ヲ爲サシムルニ及ハス不明ノ事由ヲ記載シ置クヲ以テ足ル

(大正四年一月二十六日高知縣(阿部監督判事問合) 同年二月十九日長崎第一五三號法務局長回答)

◎舊法施行前ノ戸籍中舊法ノ規定ニ依リ記載シタル事項ノ補記ト身分登記ニ依ル前項ノ場合出生事項補記ノ記載例

1、戸籍法第八十四條第一項但書ハ舊法ニ依ル戸籍ノミニ適用スヘキモノナリヤ即チ舊法施行以前ノ様式ノ戸籍ニシテ身分登記ニ基キ記載シタル分ニ對シテハ適用セサル趣旨ナリヤト云フニ舊戸籍法施行前ニ編製シタル戸籍中舊法ノ規定ニ依リ記載シタル事項ハ身分登記ニ依リ補記スルヲ相當トス

(大正四年二月十五日江蘇區裁判所判事問合) 同年三月四日長崎第一九一號法務局長回答)

2、前項掲記ノ規定ニ依ル記載例ハ例令ハ新法施行前ノ戸籍ニ「年月日出生届出同日受付」トノミアル部分ニ對シ出生場所、届出人等ヲ何レノ個所ニ記載シ且ツ施行細則第二十三條ノ事項ヲ如何ニ記載スルヤト云フニ例示ノ場合ニ於テハ出生届出事項ノ冒頭ニ「何區何町何番地ニ於テ出生父何某」ノ文字ヲ補記シ戸籍法施行細則第二十三條ニ依リ記載方ハ「出生事項中出生ノ場所及届出人ノ資格並氏名身分登記ニ依リ記載例」ノ例ニ依ルヘシ

(大正四年二月十五日江蘇區裁判所判事問合) 同年三月四日長崎第一九一號法務局長回答)

◎補記ノ事由ノ記載例

1、戸籍法第五十四條ニ依ル届書ノ記載及ヒ同法第八十四條第一項但書ニ依リ身分登記ニ基キ記載シタル事項並ニ戸籍法施行細則第十四條第二項第十五條及ヒ第十七條ニ依リ移記シ

第一編 戸籍法規 附則 第百八十四條

◎舊法施行前ノ戸籍ニ記載シタル事項ニシテ新法ニ依リ記載ヲ要スル事項ヲ登記日録ニ依リテ爲ス補充

1、舊戸籍法施行前ノ戸籍事項ニシテ新記載例ニヨリ記載ヲ要

タル場合ニハ其ノ事項ノ文末ニ各記載シタル事由ヲ附記スヘキモノナルヤ若シ附記スヘキモノトセハ如何ナル附記ヲ爲ス可キヤ殊ニ一事項ニシテ一部分ハ身分登記又ハ届出ニ基キ記載スルカ如キ場合ニハ如何ナル附記ヲ爲スヘキヤト云フニ届書ニハ戸籍法第五十四條ニ依リ戸籍ノ記載ヲ明瞭ナラシムル爲メ必要ナル事項ヲ記載セシムルコトアルモ其ノ記載ハ届書ノ記載ニシテ之ニ依ル戸籍ノ記載ハ畢竟届出ニ因ル戸籍ノ記載ナルヲ以テ其ノ記載ハ普通届出ニ因ル場合ト異ナル所アルヘカラス同法第八十四條第一項但書ニ依リ身分登記ニ基キ記載シタル事項ニハ同法施行細則第二十三條ニ依リ「何々事項及届出人ノ資格並氏名ハ身分登記ニ依リ記載」ト記載スヘク又戸籍法施行細則第十四條第二項第十五條及第十七條ニ依リ基本タル戸籍ニ記載シタル事項ヲ移記シタル場合(記載例第八十及第九十九ヲ除ク)ハ其ノ事項文末ニ移記シタル事由ヲ附記スルコトヲ要セス

(大正四年三月十九日大阪區裁判所監督判事問合) 同年七月六日長崎第一六號法務局長回答)

實例判例文例人事法總覽

スル事項ハ登記目録ニ依リ補充シ得ヘキトキハ身分登記ニ依リ補充スル場合ト同様ノ方法ニ依リ補充シ差支ナシ

〔注意〕 舊戸籍法施行前ニ爲シタル記載事項ヲ新戸籍ニ移

記スルニ當リテハ新記載例ニ依ラス其ノ儘移記スルコトニ省議變更セラレタリ

◎身分登記ニ依リ家督相續又ハ一家創立ニ關スル事項ヲ補記スル場合ト事項欄ニ其ノ記載並記載例

1、家督相續又ハ一家創立ニ關スル事項ノ如キ舊法ノ規定ニ依ルル戸主ト爲リタル原因及ヒ年月日欄ニ記載シアリ該欄ハ頗ル狹隘ニシテ其多クハ身分登記ニ依リ補足ヲ爲スノ餘白ナキ場合ニ於テハ左ノ振合ニ依リ事項欄ニ記載シ置キ差支ナキモノトス

〔家督相續届出人母甲野松子右身分登記ニ依リ記載例〕

〔大正四年七月六日福岡地方裁判所判例〕

◎戸籍法第百八十四條但書ニ依リ出生、死亡事項ノ記載例

1、戸籍法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依ル出生事項記載例ハ大正四年二月十五日江差區裁判所判例事間合ニ對スル同年三月四日民第二九一號回答ニ依ル而シテ死亡事項ニ付テモ右

記載例ニ準スヘキモ出生、死亡事項ノ冒頭ニ出生死亡ノ場所及届出人資格氏名ヲ補記スル餘白ナキ場合ニ於テハ左ノ振合ニ依リ記載シ置クモ差支ナシ

〔出生(死亡)ノ場所本籍(又ハ何縣何郡何町何番地)届出人父(又ハ戸主等)何某右身分登記ニ依リ記載例〕

〔大正四年九月十一日小倉市長原判例〕

◎身分登記簿ノ正本カ滅失シ若ハ其ノ虞アル場合ニハ副本ニ依リテ補記ヲ爲スヘシ

1、市町村長ニ於テ保存スル戸籍法施行前ノ身分登記簿ノ正本又ハ舊戸籍法施行前ノ登記目録中滅失シタルトキ又ハ滅失ノ虞アルトキハ如何ナル手續ヲ爲スヘキヤト云フニ再製スルニ及ハス但シ戸籍法第百八十四條第一項但書ノ補記ハ便宜ノ方法ニ依リ身分登記ノ副本ニ依リテ之ヲ爲スヘシ

〔大正四年十月二日大阪區裁判所判例事間合〕

〔大正五年一月二十五日民第一六一一號法務局長回答〕

◎追完ノ事由ニハ追完ノ年月日ノ記載ヲ要セス

1、身分登記又ハ登記目録其ノ他家督相續届轉籍届等ニ依リ戸籍記載ヲ補記シタル追完事由ハ爾後新戸籍ヲ編製スル毎ニ移記スヘキモノナルヲ以テ其追完年月日ヲ其事由中ニ記載スル必要ナキト云フニ追完年月日ノ記載ヲ要セス

〔大正五年十二月八日福井市長原判例〕

〔大正六年二月二十三日民第三七九號法務局長回答〕

第一編 戸籍法規 附則 第百八十四條

◎第百八十四條第二項ノ意義

1、戸籍法第百八十四條第二項ハ市町村長ヨリ戸籍改製ノ上申ヲ爲ストキハ許可セラルヘキヤト云フニ事情ノ許ス限ハ許可セラルヘシ

〔大正三年十一月二日大坂區裁判所判例事間合〕

〔同年十二月二十八日民第一六六九號法務局長回答〕

◎戸籍改製ノ手續

1、戸籍改製ヲ爲シタルトキノ他ノ取扱手續ハ戸籍編製ヲ爲シタルトキノ例ニ依ルヘキヤト云フニ戸籍改製ニ關スル手續ノ例ニ依ルヘキモノアリ否ヲサルモノアリ一概ニ之ヲ謂フヘカラス

〔大正四年二月四日長崎區裁判所判例事間合〕

〔同年二月二十八日民第一一五號法務局長回答〕

◎戸籍中死亡、婚姻ニ因リ抹消シタルモノハ移記スルニ及ハス

1、舊戸籍ヲ改製スルニ方リテハ家督相續ニ因リ新戸籍ヲ編製スルカ如ク死亡又ハ婚姻等ノ爲メ抹消シタルモノハ移記スルヲ要セサルナリ

〔大正四年五月十九日廣島縣佐伯郡小方村長判例〕

〔同年六月十二日民第七四七號法務局長回答〕

◎屋番號ハ村長ノ職權ヲ以テ地番號ニ改ムルコトヲ得

1、舊戸籍ノ屋敷番トナリ居ルモノハ別ニ本人ヨリ追完届ヲ徴セス村長ノ職權ヲ以テ地番ニ更正スヘキナリ

〔大正四年五月十九日廣島縣佐伯郡小方村長判例〕

〔同年六月十二日民第七四七號法務局長回答〕

◎原戸籍ニ記載スヘキ改製ノ事由及認印

1、新戸籍ニ改製済ノ原戸籍ハ左記ノ如ク戸主ノ事項欄ニ事由ヲ記載シ之レニ認印スヘキナリ

〔司法大臣ノ命令ニ因リ年月日新戸籍ニ改製シタルニ付抹消例〕

〔大正四年三月十八日甲府區裁判所判例事間合〕

〔同年六月二十二日民第四〇六號法務局長回答〕

2、戸籍改製ノ場合前戸籍ニ戸籍抹消ノ事由ヲ記載ス此ノ場合ノ記載例ハ左ノ振合ニ依ル

〔年月日改製ニ付キ本戸籍ヲ抹消ス例〕

◎改製シタル戸籍ニ記載スヘキ改製ノ專田ヲ認印

1、改製シタル戸籍ニハ戸主ノ事項欄ニ左記ノ通り事由ヲ記載シ之レニ認印スレハ可ナリ

〔司法大臣ノ命令ニ因リ年月日原戸籍ヲ改製ス例〕

〔大正四年五月十九日廣島縣佐伯郡小方村長判例〕

〔同年六月十二日民第七四七號法務局長回答〕

2、改製シタル戸籍ニハ左ノ振合ニ依リ改製ノ旨ヲ記載スヘシ

〔司法大臣ノ命令ニ依リ年月日日本戸籍ヲ改製ス例〕

〔大正四年三月十八日甲府區裁判所判例事間合〕

〔同年六月二十二日民第四〇六號法務局長回答〕

◎戸番號ヲ地番號ニ改ムルニハ土地臺帳ニ照査シ市町村長職權ヲ以テ記載ス

實例判例文例人事法總覽

1、戸籍ノ地番號記載方ニ關シ當區管内北巨摩郡葦崎町長ノ伺ニ對スル大正四年三月十一日附民第三四五號法務局長ノ回答ハ(一)舊法ノ規定ニ因リ改製セサリシ戸籍タルト(二)舊法ノ規定ニ因ル戸籍ナルトヲ問ハス一般ニ之ヲ新法ノ規定ニ因リ改製スル場合ニ通シテ適用スヘキ趣旨ナルヤ(一)ノ場合ハ總テ戸番ヲ以テ編製シアルヲ以テ之ヲ新ニ相當地番ニ變更スルニ際シ土地臺帳通リ記載スル爲メニハ各戸主ヨリ相當地番ノ届出ヲ爲サシムヘキヤ又各市町村長ニ於テ一々役場備付ノ土地臺帳ト戸番ノ實地トニ付キ職權調査ノ上相當地番ニ變更スヘキモノナリヤト云フニ土地臺帳ニ照査シタル上市町村長職權ヲ以テ記載ヲ爲スヘシ

(大正四年三月十八日甲府區裁判所監督判事問合
同年六月二十二日民第四〇六號法務局長回答)

◎戸籍改製ノ場合ニ於テハ戸籍法施行細則第二十三條及二十四條ノ適用アリ

1、舊法ノ規定ニ因ル戸籍ヲ改製スル場合及舊法ノ規定ニ依リ改製セサリシ戸籍ヲ改製スル場合ニモ戸籍法施行細則第二十三條及第二十四條ノ適用アリ

(大正四年三月十八日甲府區裁判所監督判事問合
同年六月二十二日民第四〇六號法務局長回答)

◎舊戸籍中「代理」ト記載シアルモノハ其ノ儘記載スヘシ

1、身分登記簿ニ養子縁組トシテ登記ヲ爲シ入籍シ同所ニ婚姻ノ部ニ婚養子婚姻ヲナシタル旨登記シアリ(戸籍簿ニモ同様ノ記載アリ)之ヲ戸籍改製又ハ編製スル場合單純ノ養子縁組トシテ取扱フ可キモノナルヤ將又婚養子縁組トシテ取扱フ可キモノナルヤト云フニ婚養子縁組トシテ取扱フヘシ

(大正五年十一月二十二日白河區裁判所監督判事問合
大正六年二月十九日民第一八三號法務局長回答)

◎原戸籍ノ本籍欄ト除籍印ノ押捺

1、戸籍法第八十四條第二項及同法第八十五條ニ依リ改製シタル場合ノ原戸籍ニハ戸主ノ事項欄ニ抹消ノ事由ヲ記載シ各自ノ氏名ヲ抹消(戸籍法施行細則附錄第五號ニ依ル)スルニ止メ本籍欄ヘハ戸籍法施行細則附錄第五號ノ除籍ト朱印ノ押捺ヲ爲スヘキモノニアラサルヘシ何トナレハ戸籍法施行細則第二十條ニ依ル戸籍ノ抹消トハ戸籍法第十六條ノ除籍簿ニ綴込ム除籍ニシテ同法ハ戸主ノ變更ヲ生スヘキ事由ニ付キ届出申請又ハ請求ニ依リ新戸籍ヲ編製スル場合ヲ謂フモノナルニ前段ノ原戸籍ニ在テハ元ヨリ戸主ノ變更ナク且ツ届出、申請又ハ請求等ニ依リ新戸籍ヲ編製スルモノニアラス原戸籍ハ其儘保存スルモノナルニ付キ本籍欄ヘハ除籍ノ記載ヲ要セサルモノトス

(大正七年六月十九日沼津區裁判所監督判事問合
同年七月二十日民第一三八八號法務局長回答)

第一編 戸籍法規 附則 第八十四條

1、舊戸籍ニ於テ改製シタル戸籍及改製セサリシ戸籍ニ市町村戸籍吏ノ代理者又ハ事務取扱者カ戸籍ノ記載ヲナシタル事項ハ文末ニ「代理」ト記載シアルヲ以テ其資格不明ナリ而シテ今其戸籍ヲ本法ノ規定ニヨリ改製スルニハ戸籍法第八十五條但書ニ依リ之ヲ省略スヘキヤト云フニ從前ノ通り單ニ代理ト記載スヘキナリ

(大正四年七月八日北海道有珠郡社務局長問合
同年七月二十二日民第二二〇六號法務局長回答)

◎改製ニ際シ戸主死亡後法定家督相續人所在不明ニテ其ノ儘ト爲リタル戸籍ニ付テハ戸主死亡ノ儘移記シ其ノ家族ノ除籍者ハ移記スルニ及ハス

1、戸籍改製ノ際原戸籍ニ於ケル死亡者其他ノ除籍ハ戸籍ニ記載ヲ要セサルコトハ本年三月六日青森區裁判所監督判事問合ニ對シ同年四月二十六日民第三五三號回答ニ依リ明カナリ而シテ戸主カ死亡後十年經過ノ今日法定ノ家督相續人所在不明等ノタメ其儘トナリ居ル戸籍ニ付テハ戸主ハ死亡ノ儘移記シ他家族ノ除籍者ハ戸籍ニ記載ヲ要セサルモノトス

(大正四年七月八日北海道有珠郡社務局長問合
同年七月二十二日民第二二〇六號法務局長回答)

◎身分登記ニ養子縁組トシテ登記シ婚姻ノ部ニ婚養子婚姻ノ登記アルモノト婚養子縁組トシテノ取扱

◎舊戸籍法ニ依リ編製若ハ改製セサリシ戸籍トシテノ效力
1、戸籍法第八十四條ニ依レハ舊法ノ規定ニ依ル戸籍ハ本法ノ規定ニ依ル戸籍トシテ其效力ヲ生ス云々トアルヲ以テ其反面解釋トシテ現行法ノ下ニ編製若ハ改製セラレサリシ戸籍ハ新法實施ト同時ニ新法ノ所謂戸籍トシテ其效力ヲ有セサルモノト解ス

(大正三年十二月二十二日沼津區裁判所監督判事問合
同年十二月二十八日民第一八六四號法務局長回答)

第八十五條 舊法ノ規定ニ依リテ改製セザリシ戸籍ハ司法大臣ノ

命スル所ニ依リ本法ノ規定ニ依リテ之ヲ改製スルコトヲ要ス但記載ヲ要スル事項ニシテ従前ノ戸籍ニ依リ其事實ヲ知ルコト能ハサルモノハ其記載ヲ省クコトヲ得

【實例】

◎戸籍ノ改製ト司法大臣ノ命令竝改製ノ區域ト一郡又ハ一市町村ハ新戸籍法第八十五條ハ司法大臣ノ命令アルニアラサレハ戸籍ノ改製ヲ爲シ得サルモノナリ凡テ改製セント欲スルモノハ命令アラシコトヲ申請スルコトヲ得而シテ其改製ノ區域ハ一郡又ハ一市町村ニテモ可ナリ

(大正三年十二月十一日若松區裁判所監督裁判事問合 同年十二月二十五日民第一八六三號法務局長回答)

2、舊法ノ規定ニ依リテ改製セザリシ戸籍ノ改製ニ關シテハ戸籍法第八十五條ノ規定スル所ナルモ既ニ戸籍法施行細則第一條ノ規定アル以上ハ改製ニ付特ニ命令ヲ受ケサルモ市町村長ノ見込ニ依リ漸次改製シ差支ナキヤト云フニ司法大臣ノ命

令アルニ非サレハ改製ヲ爲スコトヲ得ス

(大正四年一月二十九日若松區裁判所監督裁判事問合 同年二月十六日民第一七〇號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正四年二月四日長岡區裁判所監督裁判事問合 同年三月十八日民第一七五號法務局長回答)

◎戸籍ノ改製ト市町村長ノ上申ニ基キ各地ニ付命令

1、戸籍法第八十五條ハ相當ノ時機ニ於テ一般ニ命令ヲ發セラル、ヤ又ハ市町村長ノ上申ヲ缺ツテ改製ヲ命セラル、ヤト云フニ各地又ハ一般ニ付命セラルヘキモノナレトモ目下ノ處市町村長ノ上申ニ基キ各地ニ付命令アルヘシ

(大正三年十二月二日大森區裁判所監督裁判事問合 同年十二月二十八日民第一六六九號法務局長回答)

◎改製戸籍ノ副本ト監督區裁判所ニ送付

1、戸籍法第八十五條ノ規定ニ依リ戸籍ノ改製ヲ爲シタルトキハ新ニ戸籍ヲ編製シタルニアラサルヲ以テ第十二條ノ適用ナキモ第十一條ニ依リ正副二本ヲ作り同第二項ニ依リ副本ヲ監督區裁判所ニ送付スヘキヤト云フニ戸籍法第八十五條ニ依リ戸籍ノ改製ヲ爲スハ即チ新ニ戸籍ヲ編製スルモノナルヲ以テ正副二本ヲ作り副本ヲ監督區裁判所ニ送付スル事ヲ要ス

(大正四年一月十三日若松區裁判所監督裁判事問合 同年二月十日民第一九三號法務局長回答)

◎改製戸籍ト婚姻、縁組、死亡其ノ他ニ因リテ除カレタル者ノ記載

1、原戸籍ニ於ケル死亡者除籍者ト雖改製スヘキ戸籍ニ記載スヘキヤト云フニ原戸籍ニ於ケル死亡者其ノ他ノ除籍者ハ改製戸籍ニ記載スルヲ要セス(先例變更)

(大正四年三月六日青森區裁判所監督裁判事問合 同年四月二十六日民第三五三號法務局長回答)

【參照】

2、戸籍法第八十五條ニ依リ戸籍ノ改製ヲ爲スハ即チ新ニ戸籍ヲ編製スルモノナルヲ以テ正副二本ヲ作り副本ヲ監督區裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

(大正四年一月十三日若松區裁判所監督裁判事問合 同年二月十日民第一九三號法務局長回答)

【參照】

第一編 戸籍法規 附則 第八十五條

3、前項戸籍改製ノ場合ニハ婚姻縁組死亡其他ニ因リ除カレタル者ト雖モ之ヲ記載スヘキモノトス

(大正四年一月十三日若松區裁判所監督裁判事問合 同年二月十日民第一九三號法務局長回答)

◎舊法ノ規定ニ依リ改製セザリシ戸籍ト改製ノ命令アル迄新用紙ヲ繼續シテ使用

1、舊法ノ規定ニヨリテ改製セザリシ戸籍ノ改製ハ別ニ命令アル迄細則第二條第二項ニ準シ取扱フヘシ

(大正四年一月十六日愛媛縣西宇和郡宮内村長問合 同年二月十日民第一七九號法務局長回答)

◎改製戸籍ト舊法施行前ノ失踪ニ關スル事項ノ省略

1、舊戸籍法施行前ノ届出ニ依リ戸籍ニ記載アル失踪ニ關スル事項ハ新ニ戸籍ヲ編製スル場合ニハ移記ヲ要セサルモノトス

(大正四年二月十八日高田區裁判所監督裁判事問合 同年三月三日民第二七七號法務局長回答)

2、前項ノ記載事項ヲ抹消セントスルニハ從來ノ如ク復歸又ハ分明届出ヲ爲サシムヘキモノニ非スシテ戸籍訂正ノ手續ニ據ラシムヘキモノトス

(大正四年二月十八日高田區裁判所監督裁判事問合 同年三月三日民第二七七號法務局長回答)

3、戸籍法第八十五條ニ依リ戸籍ヲ改製スル場合ニ於テハ前項ノ失踪ニ關スル事項ハ事由ノ記載ヲ爲サスシテ其記載ヲ省クコトヲ得ヘシ

(大正四年二月十三日高田區裁判所監督裁判事問合 同年三月三日民第二七七號法務局長回答)

實例判例文例人事法總覽

◎第百八十四條第一項但書ノ補記ハ改製戸籍ニ付直チニ之ヲ爲スヘシ

1、戸籍法第百八十五條ニ依リ司法大臣ノ命令ニ依リ戸籍ヲ改製スル場合ニ於テ舊法施行前ノ戸籍用紙若クハ舊法ノ規定ニ依ル戸籍用紙(繼續用紙)ニ身分登記ニ依リ記載シタル事項ニ付テハ先ツ同法第百八十四條第一項但書ノ記載ヲ爲シタル上之ニ基キ新戸籍ヲ改製スヘキヤト云フニ舊記載及身分登記ニ據リ直チニ新法規定ニ依リ記載ヲ爲シテ以テ戸籍ノ改製ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年三月六日青森區裁判所監督裁判事同合) (同年四月二十六日民部第三五三號法務局長回答)

◎原戸籍及新戸籍ニ爲ス改製事由ノ記載例ト文末ニ認印

1、改製戸籍ニハ戸主ノ事項欄最終ニ「司法大臣ノ命ニ依リ年月日本戸籍ヲ改製ス」ト記載認印スヘク原戸籍戸主事項欄ニハ「年月日改製ニ付本戸籍ヲ抹消ス」ト記載認印シ除籍ノ手續ヲ爲スヘク各氏名ノ事項欄ニハ改製又ハ抹消事由ヲ記載スルニ及ハス

(大正四年三月六日青森區裁判所監督裁判事同合) (同年四月二十六日民部第三五三號法務局長回答)

2、改製シタル戸籍ノ事項欄ノ記載ニ付テハ前項ノ改製事由及戸籍法施行細則第二十四條ノ記載ヲ除ク外文末ニ認印ヲ爲

三條及第二十四條ノ適用アリ

(大正四年三月十八日甲府區裁判所監督裁判事同合) (同年六月二十二日民部第四〇六號法務局長回答)

◎戸番號ヲ地番號ニ改ムルトキト土地臺帳照査

1、戸籍ノ地番號記載方ニ關シ當區管内北巨摩郡葦崎町長ノ伺ニ對スル大正四年三月十一日民部第三四五號法務局長ノ回答ハ(一)舊法ノ規定ニ因リ改製セザリシ戸籍タルト(二)舊法ノ規定ニ因ル戸籍ナルトナ問ハス一般ニ之ヲ新法ノ規定ニ因リ改製スル場合ニ通シテ適用スヘキ趣旨ナリヤ若シ然リトセハ(一)ノ場合ハ總テ戸番ヲ以テ編製シアルヲ以テ之ヲ新ニ相當地番ニ變更スルニ際シ土地臺帳通り記載スル爲メニハ各戸主ヨリ相當地番ノ届出ヲ爲サシムヘキヤ(之モ結局各戸主カ市町村役場ニ付問合セタル上届出スルコトニ歸着スヘキカ)又各市町村長ニ於テ一々役場備付ノ土地臺帳ト戸番ノ實地トニ付職權調査ノ上相當地番ニ變更スヘキモノナリヤト云フニ土地臺帳ニ照査シタル上市町村長職權ヲ以テ記載ヲ爲スヘシ

(大正四年三月十八日甲府區裁判所監督裁判事同合) (同年六月二十二日民部第四〇六號法務局長回答)

◎戸籍改製ノ場合身分登記ニ依リ戸籍ノ記載ヲ爲シタルトキト身分登記ニ依ル旨ヲ記載

1、戸籍法第百八十四條但書ハ現存セル戸籍ニシテ新法記載例

第一編 戸籍法規 附則 第百八十五條

サスシテ差支ナキヤト云フニ原戸籍ヨリ移記シタル事項ノ末尾ニ市町村長ノ認印ヲ要ス

(大正四年三月六日青森區裁判所監督裁判事同合) (同年四月二十六日民部第三五三號法務局長回答)

◎原戸籍及改製戸籍ノ副本ト監督區裁判所ニ送付

1、改製戸籍及原戸籍ニ付テハ戸籍法第十一條及同施行細則第五條ニ依リ其副本ヲ作り監督區裁判所ニ送付スヘキハ勿論ナリ

(大正四年三月六日青森區裁判所監督裁判事同合) (同年四月二十六日民部第三五三號法務局長回答)

◎改製戸籍ニ記載ヲ要スル事項ト登記目録及ヒ身分登記ニ依リ其ノ事實ヲ知ルコトヲ得ルトキノ記載

1、戸籍法第百八十五條但書ニ從前ノ戸籍ニ依リ其事實ヲ知ルコト能ハサルモノハトアルモ從前ノ戸籍ニ依リ其事實ヲ知ルコト能ハサルモノ從前ノ登記目録及身分登記ニ依リ其事實ヲ知ルコトヲ得ルモノハ其記載ヲ省略セス身分登記ニ依リ記載シ差支ナキモノトス

(大正四年三月十八日甲府區裁判所監督裁判事同合) (同年六月二十二日民部第四〇六號法務局長回答)

◎戸籍改製ノ場合ト戸籍法施行細則第二十三條及第二十四條

1、舊法ノ規定ニ因ル戸籍ヲ改製スル場合及舊法ノ規定ニ依リ改製セザリシ戸籍ヲ改製スル場合ニモ戸籍法施行細則第二十

ニ對シ不備事項ヲ追書シタル場合ノ規定ナルニ依リ同法第百八十五條ニ依リ改製ノ場合ハ本年三月六日青森區裁判所監督裁判事問合ニ對シ同年四月二十六日民部第三五三號法務局長回答ニ依リ當然舊記載並ニ身分登記ニ依リ直ニ新戸籍ノ記載ヲ爲スヘキモノニシテ從テ此場合ハ戸籍法施行細則第二十三條ノ適用ナク身分登記ニ依リ記載シタル旨ノ記入ヲ要セサルモノナリヤト云フニ身分登記ニ依リテ戸籍ノ記載ヲ爲シタル旨ヲ記載スヘシ

(大正四年六月二十九日京都府乙訓郡大枝村長伺) (同年七月十六日民部第一一三八號法務局長回答)

◎戸籍改製ノ場合ト戸番ヲ地番ニ改正

1、新法ニ依ル戸籍ニハ總テ地番號ヲ記載スヘキハ法ノ命スル所ニシテ從テ戸番號ノ記載アル戸籍ヲ戸籍法第百八十五條ニ依リ改製スル場合ハ何等ノ届出ヲ埃タス直ニ當該戸番號ノ存在スル地番號ニ更ムヘキモ土地臺帳ト照査シ誤ナキナ期スヘシ

(大正四年六月二十九日京都府乙訓郡大枝村長伺) (同年七月十六日民部第一一三八號法務局長回答)

2、戸籍改製ノ場合本籍ヲ有スルモ實際居住セス又家屋モナキ

モノニ就テハ戸番ヲ地番ニ改ムルコトヲ得ス此ノ場合ニ於テハ前戸番ノ儘ヲ記載スヘキヤ又ハ無番地ト記載スヘキヤト云

實例判例文例人事法總覽

フニ戸籍改製ノ場合ニ於テ戸番號ヲ總テ土地臺帳ニ照査シ地番號ニ改ムヘシ

(大正四年七月二十七日靜岡區裁判所監督判事代理問合) 同年八月六日民第一二九三號法務局長回答

◎戸籍改製ノ場合原戸籍ノ抹消手續及保存

1、戸籍法第百八十五條ニ依リ改製シタル原戸籍ノ抹消手續ハ本年四月二十六日民第三五三號法務局長回答ノ記載ヲ爲ス外施行細則附録第五號ノ一ニ準シテ抹消シ當該年度ノ除籍簿ニ編綴スヘキモノナルヲ云フニ此ノ場合ハ原戸籍トシテ別ニ保存スヘキモノトス(戸籍法施行細則第四十八條參照)

(大正四年六月二十九日京都市乙訓郡大伎村長問合) 同年七月十六日民第一一三八號法務局長回答

◎舊戸籍中「代理」ト記載アルモノハ其ノ儘記載スヘク原戸籍ノ副本ハ監督區裁判所ニ送付スヘシ

1、舊戸籍ニ於テ改製シタル戸籍及改製セザリシ戸籍ニ市町村戸籍吏ノ代理者又ハ事務取扱者カ戸籍ノ記載ヲナシタル事項ハ文末ニ「代理」ト記載シアルヲ以テ其資格不明ナリ而シテ今其戸籍ヲ本法ノ規定ニヨリ改製スルニハ戸籍法第百八十五條但書ニ依リ之ヲ省略スヘキヤト云フニ前ノ通り單ニ代理ト記載スヘキナリ

(大正四年七月八日北海道有珠郡野付村長問合) 同年七月二十二日民第一二〇六號法務局長回答

◎原戸籍ノ出生事項ト記載方

1、戸籍改正ノ場合原戸籍ニ出生事項記載ナキモノハ總テ各事項欄ニ出生事項記載省略ノ旨ヲ記載スヘキヤト云フニ出生ニ關スル事項ニ付テモ戸籍法第百八十五條但書及同施行細則第二十四條ノ規定ニ依ルヘシ

(大正四年七月二十七日靜岡區裁判所監督判事代理問合) 同年八月六日民第一二九三號法務局長回答

【注・意】舊戸籍法施行前ニ記載シタル事項ハ總テ其ノ儘ニ新戸籍ニ移記スヘキコトニ先例變更セラレタリ

◎原戸籍ニ記載アル婚姻又ハ縁組事項ノ移記方

1、舊戸籍法施行以前ノ記載ニシテ其ノ當時ノ例ニ依リ妻又ハ養子ノ事項欄ニ「明治何年何月何日何郡何村平民何某二女入籍」ト記載シ婚姻ト養子縁組トハ同様ノ記載アルモ改製戸籍ニハ婚姻又ハ養子縁組ノ記載ニ引直シ記載シ差支ナキヤト云フニ婚姻又ハ養子縁組ノ記載ニ引直スヘシ

(大正四年七月二十七日靜岡區裁判所監督判事問合) 同年八月六日民第一二九三號法務局長回答

【注・意】舊戸籍法施行前ニ記載シタル事項ハ總テ其ノ儘ニ新戸籍ニ移記スヘキコトニ先例變更セラレタリ

◎戸籍改製ノ時期

1、戸籍法第百八十五條ノ改製ハ今直チニ之ヲ爲サシムルノ趣

旨ニ非スシテ市町村ノ經濟其他ノ事情ヲ斟酌シ漸次其ノ改製ヲ命セラル、モノトス而シテ一旦其ノ改製ヲ命セラレタル上ハ原戸籍ノ副本ヲ作り之ヲ監督區裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

(大正四年七月八日北海道有珠郡野付村長問合) 同年七月二十二日民第一二〇六號法務局長回答

◎改製ニ際シ主死亡シ後法定家督相續人所在不明ナル場合ト戸主ノ死亡ノ儘移記及ヒ家族ノ除籍者ノ移記ノ要否

1、戸籍改製ノ際原戸籍ニ於ケル死亡者其他ノ除籍者ハ戸籍ニ記載ヲ要セサルハ本年三月六日青森區裁判所監督判事問合ニ對シ同年四月二十六日民第三五三號法務局長回答ニ依リ明カナルモ戸主カ死亡後十年經過ノ今日法定ノ家督相續人所在不明ノ爲メ其ノ儘トナリ居ル戸籍ニ付テハ戸主ハ死亡ノ儘移記シ他家族ノ除籍者ハ戸籍ニ記載ヲ要セサルモノトス

(大正四年七月八日北海道有珠郡野付村長問合) 同年七月二十二日民第一二〇六號法務局長回答

◎戸籍ヲ地番ニ改ムルニ當リ戸番ニ該當スヘキ地番ノ不明ナル場合ト地番ノ記載ヲ省略シ其ノ事由ノ記載

1、戸籍改正ノ場合ニ於テ本籍ヲ有スルモ實際居住セス又家屋ヲ有セサルモノ、戸番ヲ地番ニ改ムルニハ土地臺帳ニ照査シ地番ニ改ムヘキモノ(靜岡區裁判所ノ問合本年八月六日民第一

二九三號法務局長回答) 事實居住セス又土地家屋ヲモ有セス只數十年前一度其番地ニ本籍ヲ定メタル儘行衛不明トナリ居ルモノニ付テハ原戸籍カ舊戸籍法施行以前ノ編製ニ係ルヲ以テ戸番トハ認メ得ヘキモ該戸番ハ何レノ土地ニ該當セルヤ不明ノコトアリ此ノ場合ニハ土地臺帳ニ照査シ戸番ニ該當スヘキ地番ノ不明ナル場合ニ於テハ地番ノ記載ヲ省略シ其事由ヲ記載スヘキモノトス

(大正四年九月十七日靜岡縣安部郡千代田村長問合) 同年九月二十三日民第一五四三號法務局長回答

◎舊法ノ規定ニ依リ改製セザリシ戸籍ノ改製ト基本タル戸籍中不明ナル事項ヲ人別帳又ハ登記目錄ニ依リ知り得ルモノノ記載

1、戸籍法第百八十五條ノ從前ノ戸籍トハ前戸主又ハ戸主タル名義ヲ有セシ戸籍ノミニ限ラス其移記セントスル者ニ關聯セル戸籍簿、除籍簿、戸籍簿ニシテ其役場ニ存在スルモノヲ指稱シ人別帳登記目錄ノ如キハ之ニ包含セサルモノナルモ舊法ニ依リ改製セザリシ戸籍中舊法施行前他管轄ヨリ入籍セシ者及ヒ老齡者ニ付キ記載ナキ事項例ハハ原籍地番入籍原因父母ノ氏名父母トノ續柄等ハ右人別帳又ハ登記目錄ニ依リ知ルコトヲ得ル場合ハ之ニ基キ記載ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年七月二十四日富山縣東礪波郡城端町長問合) 同年八月六日民第一三〇三號法務局長回答

實例判例文例人事法總覽

◎原戸籍ノ記載事項ヲ新記載例ニ引直方

1、出生ノ事項ニ「何年何月何日出生」ト記載シ届出ノ日ニアラスシテ生年月日ヲ重複ニ記載セシモノアリ右ハ移記ヲ要セス即チ何等記載ヲ爲サスシテ「出生事項不詳」トノミ記載スヘキヤ又ハ出生事項更ニ記載ナキモノハ「出生事項不詳」ト記載ヲ要スルヤト云フニ出生ニ關スル事項ニ付テモ戸籍法第八十五條但書及同施行細則第二十四條ノ規定ニ依ルヘク記載省略ノ事由ハ「原戸籍ニ依リ出生ノ場所、届出人並ニ届出ノ年月日ヲ知ルコト能ハサルニ付キ其記載ヲ省略ス」ノ例ニ依ルヘシ

(大正五年一月二十七日若松區裁判所監督判事問合)
(同年三月十八日民第一四六號法務局長回答)

2、「何村何某何女」或ハ「何村何某何女入籍ス」トノミ記載セシモノアリ其儘移記シ次行ニ「入籍ノ事由届出並ニ入籍ノ年月日不詳」ト記載スヘキヤ又ハ妻ト記載アルモノハ婚姻ニ因リ入籍セシモノト推定シ「何村何某何女何某ト婚姻届出入籍」ト記載シ次行ニ「婚姻事項中届出並ニ入籍ノ年月日不詳」ト記載スヘキヤト云フニ移記スヘキ事項ノ記載方ハ前段後段共ニ實疑ノ通記載省略ノ事由ハ前項ノ例ニ準スヘシ

(大正五年一月二十七日若松區裁判所監督判事問合)
(同年三月十八日民第一四六號法務局長回答)

3、前項ノ場合男子ニシテ續柄ニ養子ト記載アリ家女若クハ養女ノ夫ナルトキハ婿養子ナルヤ否不明ニ付「何村何某何男何某同人妻某ト養子縁組届出某ト婚姻届出入籍」ト記載シ次行ニ「養子縁組婚姻ノ事項中届出並ニ入籍ノ年月日不詳」ト記載スヘシ但シ記載省略ノ事由ハ(1)ノ例ニ準スヘシ

(大正五年一月二十七日若松區裁判所監督判事問合)
(同年三月十八日民第一四六號法務局長回答)

4、「何年何月何日何村何某何男若クハ何女入籍ス」ト記載セシモノアリ右年月日ハ保存ノ届書ニ依リ調査スルニ届書ノ日附ニアラス又受附ノ日ニアラスシテ届書ニ何年何月何日何村何某ヲ實ヒ受ケ云々トアル其年月日ヲ記載セシ場合ニ新記載例ニ依リ婚姻届出ノ年月日ニ疑アルトキト雖從前ノ戸籍ニ婚姻年月日ノ記載アル上ハ其ノ日ヲ婚姻及入籍ノ日トシ新戸籍記載例ニ依リテ記載ヲ爲スヘシ届出日附記載省略ノ事由ハ(1)ノ例ニ準スヘシ

(大正五年一月二十七日若松區裁判所監督判事問合)
(同年三月十八日民第一四六號法務局長回答)

5、「何年何月何日相續」トノミ記載アルモノハ戸籍ニ前戸主ト何某トアル場合ハ「何年何月何日前戸主何某死亡ニ因リ家督相續届出」前戸主離縁何某トアル場合ハ「何年何月何日前戸主某離縁ニ因リ云々」戸籍ニ前戸主カ家族トシテ記載アル場合

戸籍ニ移記スヘキコトニ省議變更セラレタリ

◎妾ノ續柄

1、舊法ノ規定ニ依リ改製セサリシ戸籍中妾某トシテ入籍シタル者及妾某ノ子トシテ入籍シアルモノノ戸籍編製ノ場合續柄及身分ニ關スル事項ハ如何ニ取扱フヘキヤト云フニ妾ニ付テハ續柄ヲ記載スルコトナク「妾某ノ子」ハ「庶子」ニ改ムヘシ

(大正五年十一月二十二日白河區裁判所監督判事問合)
(同年十二月十九日民第一八八號法務局長回答)

◎原戸籍ノ本籍欄ト除籍印ノ捺捺

1、戸籍法第八十四條第二項及同法第八十五條ニ依リ改製シタル場合ノ原戸籍ニハ戸主ノ事項欄ニ抹消ノ事由ヲ記載シ各自ノ氏名ヲ抹消(戸籍法施行細則附錄第五號ニ依ル)スルニ止メ本籍欄ハハ戸籍法施行細則附錄第五號ノ除籍ト朱印ノ押捺ヲ爲スヘキモノニアラス

(大正七年六月十九日福島縣郡摩郡喜多方町長臨時代理者問合)
(同年七月二十日民第一三八八號法務局長回答)

第一編 戸籍法規 附則 第八十五條

合ハ「何年何月何日前戸主某隱居ニ因リ云々」ト記載シ共ニ次行ニ「受附ノ年月日不詳」トノミ記載スヘキヤト云フニ戸籍上家督相續開始ノ原因カ明ナルニ於テハ質疑ノ通但シ記載省略ノ事由ハ(1)ノ例ニ準スヘシ

(大正五年一月二十七日若松區裁判所監督判事問合)
(同年三月十八日民第一四六號法務局長回答)

6、相續ノ事項更ニ記載ナキモノニアリテハ「相續ノ事項不詳」トノミ記載スヘキヤト云フニ(1)ノ例ニ準シテ記載省略ノ事由ヲ記載シ置クヘシ

(大正五年一月二十七日若松區裁判所監督判事問合)
(同年三月十八日民第一四六號法務局長回答)

7、「何年何月何日何村何某方ヨリ分家」ト記載シ續柄ノ不明ナルモノハ其儘移記シ次行ニ「分家事項中續柄並ニ受附ノ年月日不詳」ト記載スヘキヤ又ハ「何年何月何日何村何某續柄不詳分家届出」ト記載シ次行ニ「受附ノ年月日不詳」トノミ記載スヘキヤト云フニ原戸籍ニ記載シアル分家ノ日ヲ届出ノ日トシ新戸籍記載例ニ依リテ新戸籍ノ記載ヲ爲スヘシ續柄ノ記載方ハ後段質疑ノ通省略事由ノ記載方ハ前各項ニ依リテ了知セラルヘシ

【注】 舊戸籍法施行前ニ記載シタル事項ハ總テ其ノ儘新

(大正五年一月二十七日若松區裁判所監督判事問合)
(同年三月十八日民第一四六號法務局長回答)

實例判例文例人事法總覽

第八十六條 身分登記及ヒ舊法ニ保存期間ノ定アル帳簿並ニ書類ノ保存期間ハ司法大臣之ヲ定ム

參考ニ戶籍法施行細則五一條。

實例判例 戶籍法總覽終

大正十五年二月廿五日印
大正十五年三月一日發
大正十五年九月一日再版發行

實例判例 戶籍法總覽與付
定價金九圓五拾錢

法令研究會編纂

東京市外中澁谷八百三十番地
編輯人兼 市田賢治
東京市神田區美土代町二丁目一番地
印刷人 島連太郎

版權所有

發行所 敬文社出版部

大賣捌所 東京市神田區一ツ橋通五番地 有斐閣書店
東京市神田區仲猿樂町二番地 巖松堂書店

東京・中澁谷・八三〇
電話長青山二二七番
電話東京五七二七番
電話長青山一〇五〇三番

印刷所 東京市神田區美土代町二丁目一番地 三秀舍

犬養前遞信大臣題字
塚本内閣書記官長序文

法令研究會編纂

四六判美裝 定價金參圓也
總頁五百八拾四頁 送料 拾錢
外二別冊(百頁)添附

第七十二版

改正普通選舉法示解

東京・中澁谷・八三〇

發行所 敬文社出版部

電話 表背山六二番
東京 五七二七番
東京 六九五二番
花巻 一〇五〇三番

本書ハ帝國議會ニ於ケル政府提出ノ參考書並委員會本會議等ニ現ハレタル質疑意見等ヲ材料トシテ立法ノ精神ニ遡ツテ規定ノ趣旨ヲ闡明シタルモノデ新選舉法ヲ理解スルニ頗ル便利且有益ナル良書タルヲ信ジテ疑ハナイ乃チ此ニ一言ヲ敍シテ本書ヲ江湖ニ推薦スル次第アル

|| 塚本内閣書記官長序文ノ一節 ||

別冊附錄添附

本書には新選舉法に伴ひ今般公布せられた下記内容を集輯し菊半截百頁を附録として別冊添附した

是等は云ふ迄もなく新選舉法運用上缺く可からざる手續を規定したもので兩者相俟て其運用の正確を期するを得るであらう

別冊内容一般

- 勅令 衆議院議員選舉法施行令
- 内務省令 衆議院議員選舉法施行規則
- 内務省令 選舉運動ノ爲ニスル文書圖書ニ關スル件
- 陸軍省令 陸海軍軍人演習召集中又ハ教育召集ニ關スル證明ノ件
- 逓信省令 選舉無料郵便規則
- 逓信省告示 選舉無料郵便物ヲ小區域ニ分チ差出スコトヲ得ル市町村
- 地方局長通牒 普通選舉法施行令並同施行規則實施上ノ注意事項

法令研究會編

實例判例親族法總覽

現行法規殊ニ親族法規カ如何ニ家族制度ノ確立ト存續トノ基礎ニ立脚シ世態人心ノ歸嚮ニ合宜融和シツツアルカヲ識リ、我國特殊ノ醇美ノ風敦厚ノ俗ヲ助長セシメ、一家組織延イテハ國家組織ノ整齊ヲ期スハ必須ノ急務タラサルヘカラス。

本書ハ此軌制ヲ闡明シタルモノニシテ、眞摯ナル研鑽ト精透ナル調査トヲ各マス編纂シタルモノナリ。故ニ斯法ニ携ルモノノ便益ヲ享クルコト蓋シ尠少ナラサルモノアルヘシ。

下記ニ舉ケシハ本書ノ内容ノ要較ニ過キサレトモ、其ノ收ムルトコロ一トシテ斯法ノ指針トナラサルモノナシ。敢テ本書ヲ江湖ニ推奨スル所以ナリ。

【容内ノ書本】

- 本書 ハ親族ニ關スル法規ノ正文ノモトニ參考法規、學說、實例、判例、文例ヲ挿入セリ
- 參考法規 ハ其ノ條項ニ直接關係アルモノハ悉ク摘録ス
- 學說 ハ學者ノ著書、各大學ノ講義錄及諸雜誌中ヨリ要旨ヲ拔萃抄録シ尙法曹會ノ決議ヲ加ヘタリ
- 實例 ハ斯法ニ關スル最近ニ至ル迄ノ主務省ノ訓令回答通牒ノ要旨ヲ掲記ス
- 判例 ハ大審院以下各司法裁判所ノ判例要旨ヲ掲記ス
- 文例 (書式)ハ主務省ニ於テ作成セラレタルモノ及實務家力實際ニ作成セラレタルモノヲ掲記ス

- ◆菊判・全二冊
- ◆總紙數約二千三百餘頁
- ◆裝幀 背革上製 函入
- ◆定價 上卷 金九圓五十錢
- ◆定價 下卷 金八圓五十錢
- ◆書留 送料 金五十四錢

〇三八・谷澁中・京東

敬文社出版部 發行所

振替口座東京五七二七番
電話 青島山八二番
番七二七五京東座
番二八山青島話

池下43

内務省地方局長 文序 内務省行政課長 校閲

内務法規全集

本書は在來の法規書に代るべく、而も執務参考として更に優良のものたるべきを期し、深慮ある計畫と苦心せる編輯の下に新刊せられたものであります。左にその要點を掲げて御精覽を煩します。

【内務法規の系統的分類】

漸次複雑を極めつゝある内務行政は、今や其關係法規を一般法規より分離し、一系統の下に分類、排列する必要に迫つてゐます。本書はこの要望に鑑み、幾千萬の現行法規より内務行政に直接關係あるもののみを蒐輯し、之れに斬新なる分類を施したものであります。

【紙數に比し容量の多大】

凡て書冊の登載容量は、紙數と共に各頁の容積に比例すること勿論であります。本書は從來の法規書の型を破りたる三三判（四六判より五割方）を採り、（菊判より三割方）大量を採用し、内容の充備・通覽の利便・及び紙葉の節約を圖りました。

【檢索の利便其他の特長】

披覽檢索の難易は日常の執務能率に多大の影響を及ぼします。本書は活字の字體・大小の變化等により本法と附屬法規との識別その他索出引用上の利便に念細心の注意を加へました。加之印刷の鮮明・紙質の優良・裝釘の善美等も亦他の追隨を許さざる處と信じます。

全四輯=總頁約四千頁

- ◇體裁 三三判(菊判より大型)加除綴
- ◇裝幀 上革製表紙背表紙附
- ◇定價 各輯 七圓也
- ◇送費 金 七 十 二 錢
- ◇追録 年額僅かに 十 四 五 圓

東京・中澁谷・八三〇
 發行所 敬文社出版部
 電話 長 青 山 二 番
 攝 東 京 五 七 二 七 番
 電 信 局 番 号 一 〇 五 〇 三 番

